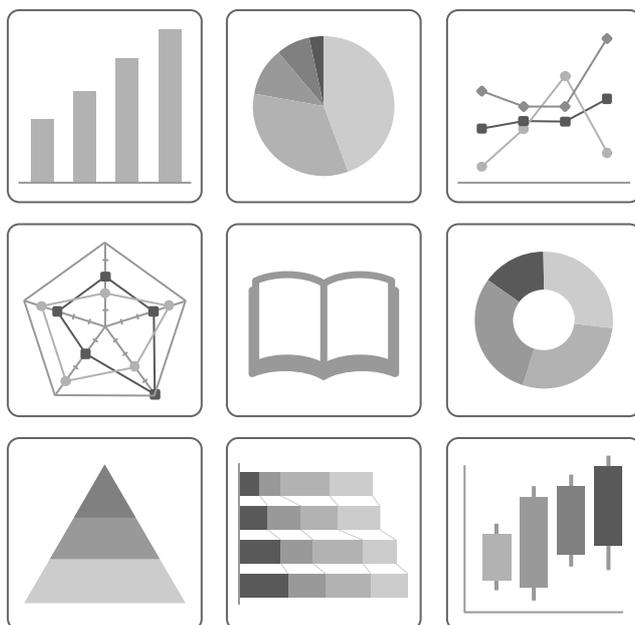


枚方市 子ども・子育て支援に関するアンケート調査 調査結果報告書



令和6年5月

枚 方 市

目次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象	1
3 調査期間	1
4 調査方法	1
5 回収状況	1
6 調査結果の表示方法	2
II 調査結果	3
1 就学前児童の保護者	3
(1) 封筒のあて名のお子さんご家族の状況について	3
(2) 保護者の就労状況について	7
(3) 子育てについて	19
(4) 保育サービスの利用について	32
(5) 土曜日と日曜日・祝日の保育について	42
(6) 病児・病後児の保育の利用について	50
(7) 一時預かりの利用について	57
(8) 宿泊を伴う一時預かりの利用について	66
(9) 令和6年4月から小学校へ入学するお子さんの保護者の方	69
(10) 地域子育て支援拠点事業の利用について	83
(11) 育児休業制度の利用について	89
(12) 子育て支援サービスについて	100
(13) 仕事と子育ての両立、仕事と生活の調和（ワークライフバランス）について	111
(14) 行政サービスへの要望について	121
2 小学生児童の保護者	133
(1) 封筒のあて名のお子さんご家族の状況について	133
(2) 保護者の就労状況について	140
(3) 子育てについて	153
(4) 留守家庭児童会室の利用について	165
(5) 一時預かりの利用について	179
(6) 枚方子どもいきいき広場について	186
(7) 子育て支援サービスについて	188

<u>(8) 子どもが心身ともに健やかに成長するための取り組みについて</u>	194
<u>(9) 仕事と子育ての両立、仕事と生活の調和（ワークライフバランス）について</u>	201
<u>(10) 行政サービスへの要望について</u>	211
<u>Ⅲ 自由回答</u>	219
<u>1 就学前児童の保護者</u>	219
<u>2 小学生児童の保護者</u>	222
<u>Ⅳ 調査票</u>	225
<u>1 就学前児童の保護者</u>	225
<u>2 小学生児童の保護者</u>	237

I 調査の概要

1 調査の目的

子ども・子育て支援法に基づき、令和2年3月に「第2期枚方市子ども・子育て支援事業計画」（期間：令和2年度～令和6年度）を策定し、子ども・子育て施策の総合的かつ計画的な推進に努めているところです。

この度、本計画の計画期間が令和6年度末までであることから、この計画を引き継ぐ、令和7年度以降の新たな計画の策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

	対象者
就学前児童の保護者	市内在住の就学前の子どもから3,000人の方を無作為抽出
小学生児童の保護者	市内在住の小学生の子どもから3,000人の方を無作為抽出

3 調査期間

令和6年2月19日～令和6年3月11日

4 調査方法

郵送による配布・回収またはインターネット回答

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前児童の保護者	3,000通	1,986通	66.2%
小学生児童の保護者	3,000通	1,883通	62.8%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。
- ・前回調査では複数回答の設問は無回答を記載していないため、今回調査では「-」と記載しています。

II 調査結果

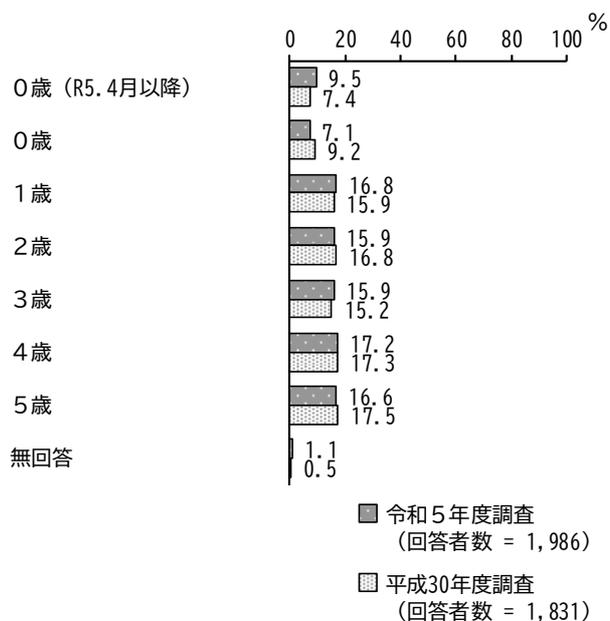
1 就学前児童の保護者

(1) 封筒のあて名のお子さんのご家族の状況について

問1 封筒のあて名のお子さん（今後は「お子さん」と表記します。）の生年月をお伺いします。

「4歳」の割合が17.2%と最も高く、次いで「1歳」の割合が16.8%、「5歳」の割合が16.6%となっています。

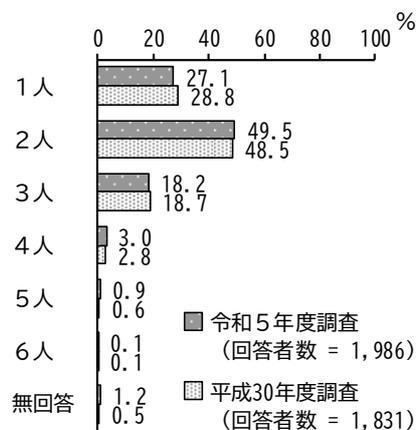
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問2 お子さんを含め、子どもは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（令和5年4月1日現在の年齢）をご記入ください。（令和5年4月2日以降にお生まれの場合は「0」（歳）と記入してください。）

「2人」の割合が49.5%と最も高く、次いで「1人」の割合が27.1%、「3人」の割合が18.2%となっています。

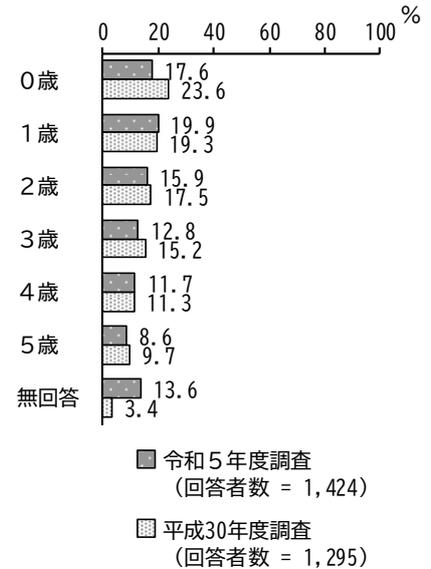
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



未子の年齢

「1歳」の割合が19.9%と最も高く、次いで「0歳」の割合が17.6%、「2歳」の割合が15.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「0歳」の割合が減少しています。

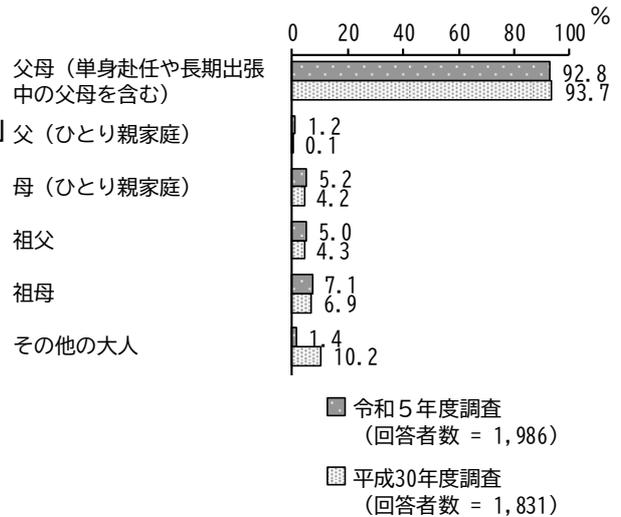


問3 お子さんとの同居・近居（概ね30分以内に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。

《（1）お子さんと同居している方（大人）に○をつけてください》（○はいくつでも）

「父母（単身赴任や長期出張中の父母を含む）」の割合が92.8%と最も高くなっています。

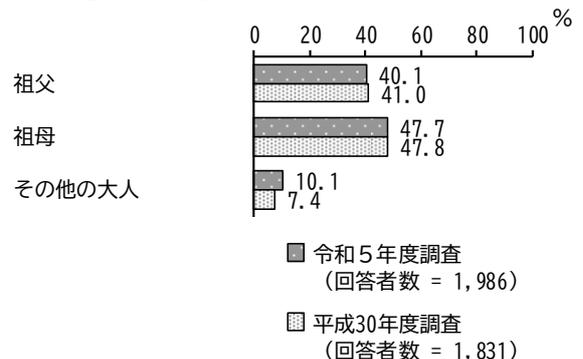
平成30年度調査と比較すると、「その他の大人」の割合が減少しています。



《（2）お子さんと近居している方（大人）に○をつけてください》（○はいくつでも）

「祖母」の割合が47.7%と最も高く、次いで「祖父」の割合が40.1%、「その他の大人」の割合が10.1%となっています。

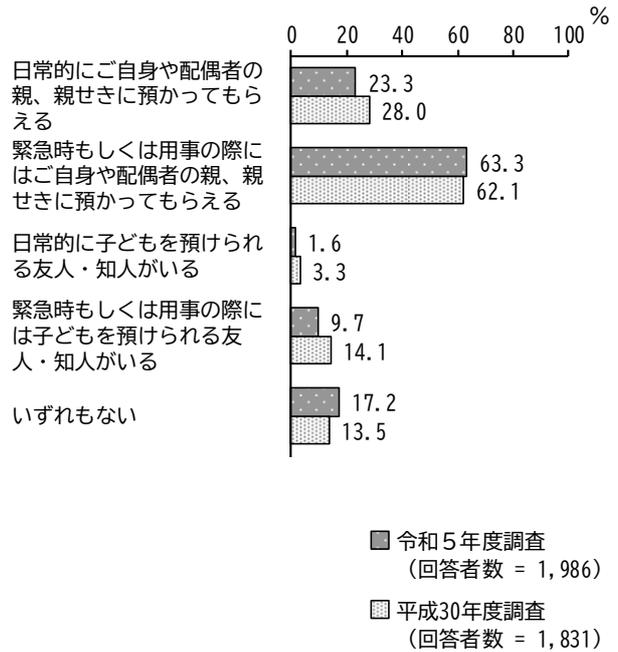
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問4 日頃、お子さんを預かってもらえる方はいますか。(〇はいくつでも)

「緊急時もしくは用事の際にはご自身や配偶者の親、親せきに預かってもらえる」の割合が63.3%と最も高く、次いで「日常のご自身や配偶者の親、親せきに預かってもらえる」の割合が23.3%、「いずれもない」の割合が17.2%となっています。

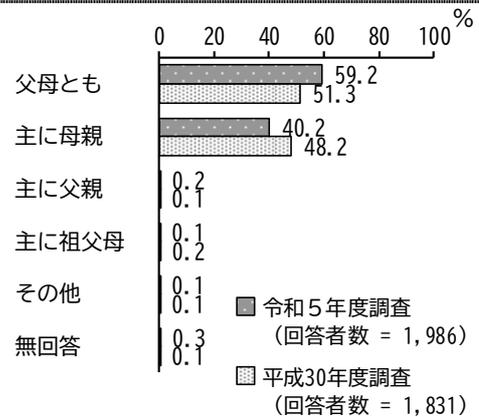
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問5 お子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。(〇は1つ)

「父母とも」の割合が59.2%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が40.2%となっています。

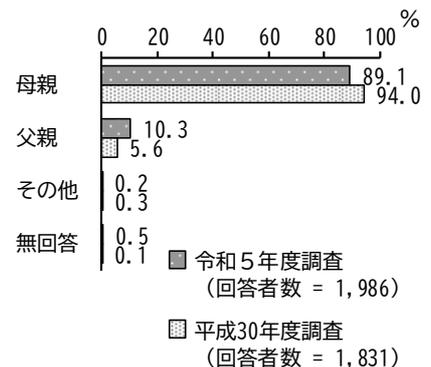
平成30年度調査と比較すると、「父母とも」の割合が増加しています。一方、「主に母親」の割合が減少しています。



問6 このアンケートをご記入いただいた方はどなたですか (〇は1つ)

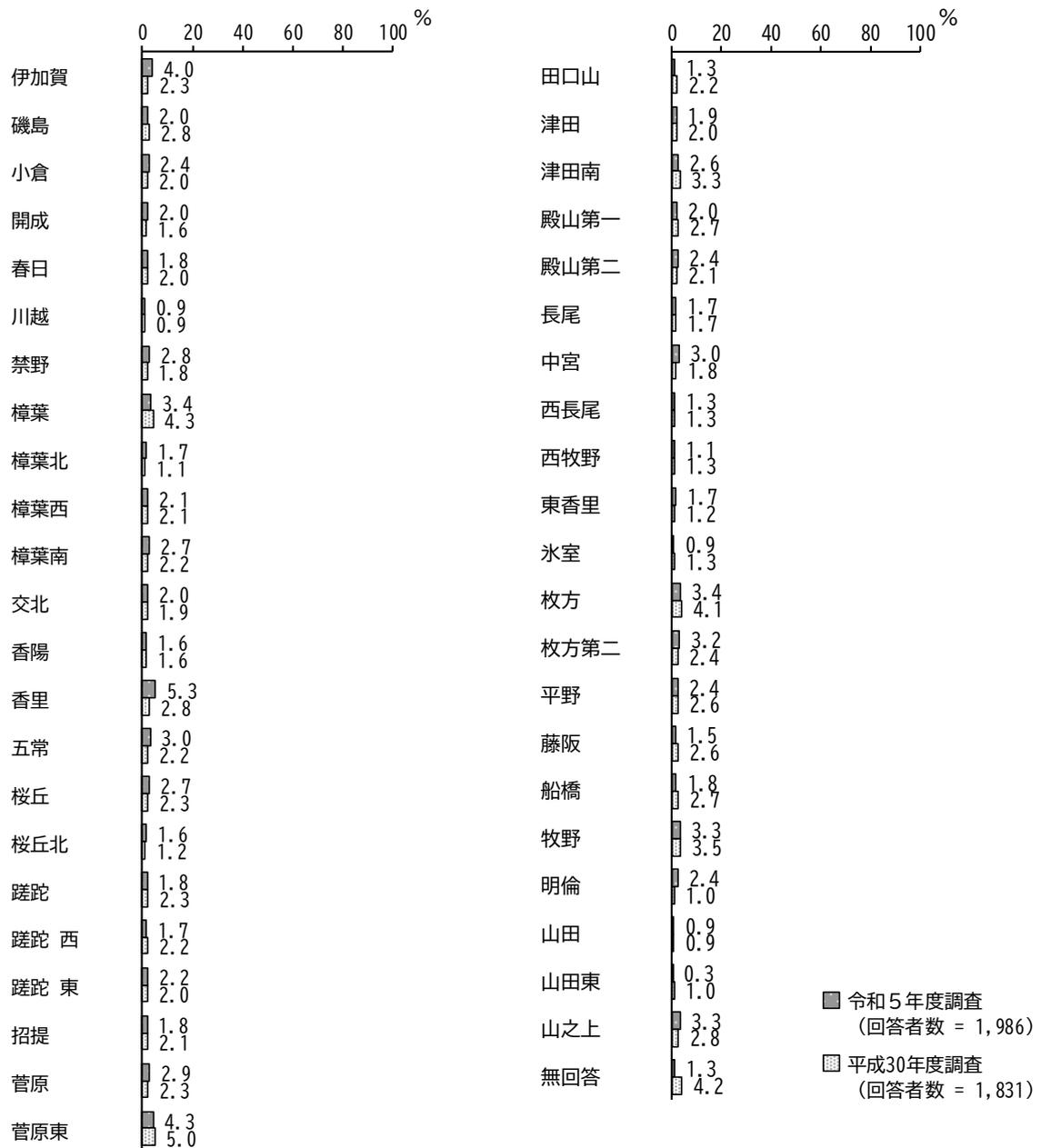
「母親」の割合が89.1%、「父親」の割合が10.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問7 お住まいの地域の小学校区名（市立）をご記入ください。

「香里」の割合が5.3%と最も高くなっています。
 平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

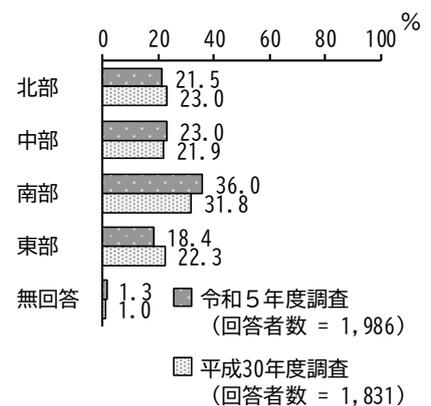


※2022年4月1日に「中宮北」「高陵」が統合し「禁野」となったため、「禁野」前回の数値は「中宮北」と「高陵」を合算した数値となっています。

エリア区分

「南部」の割合が36.0%と最も高く、次いで「中部」の割合が23.0%、「北部」の割合が21.5%となっています。

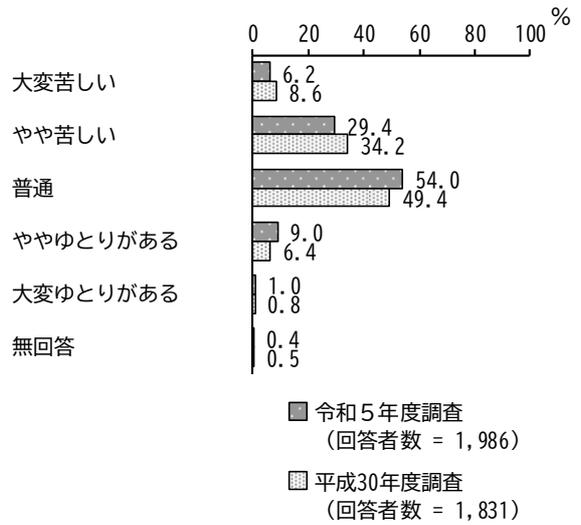
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 保護者の就労状況について

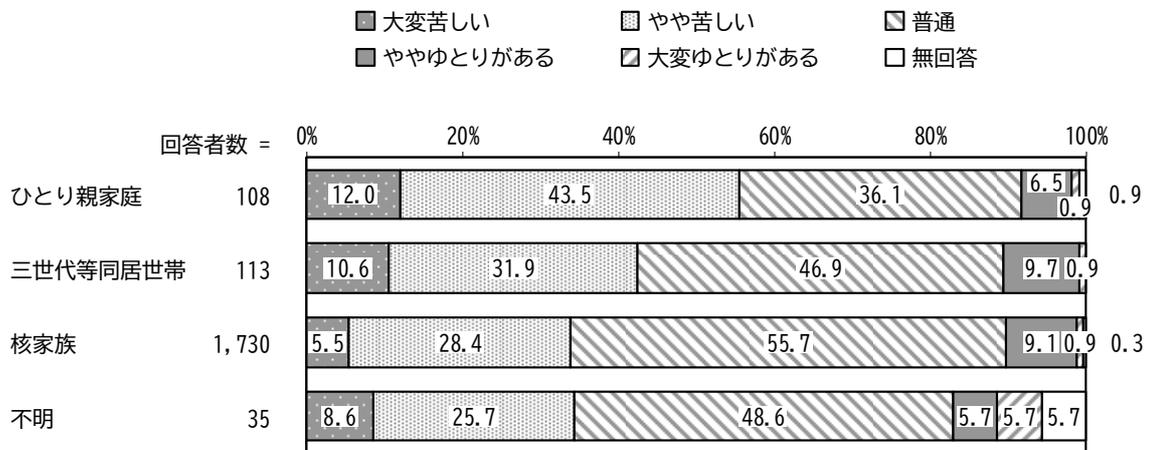
問8 世帯の現在の経済的な暮らし向きについて、どう感じていますか。(○は1つ)

「普通」の割合が54.0%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が29.4%となっています。
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【世帯類型別】

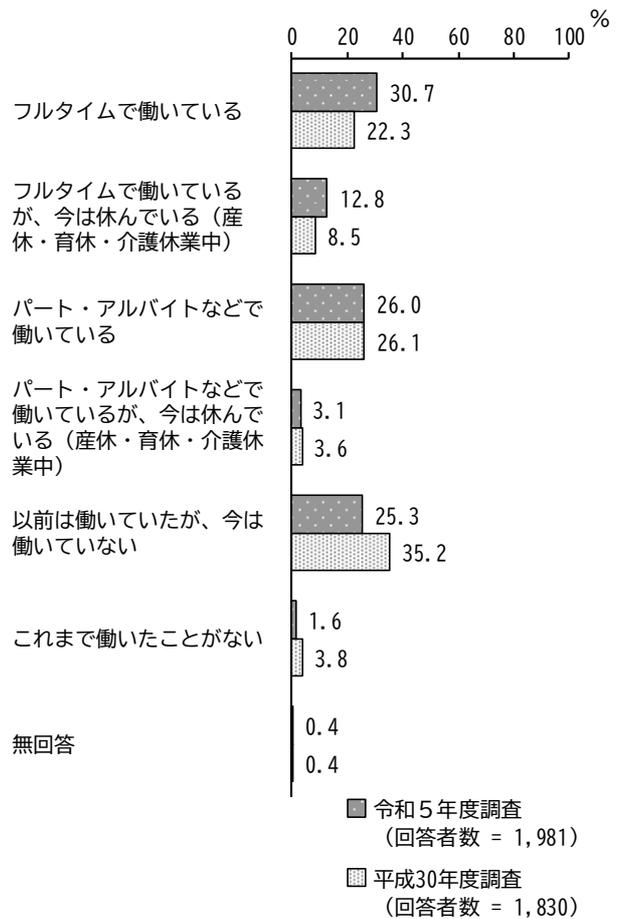
世帯類型別にみると、ひとり親家庭で「やや苦しい」の割合が高くなっています。



問9 「母親」の働いている状況についてお伺いします。自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。(〇は1つ)
 <父子家庭の場合は記入不要です。⇒【問10】へ>

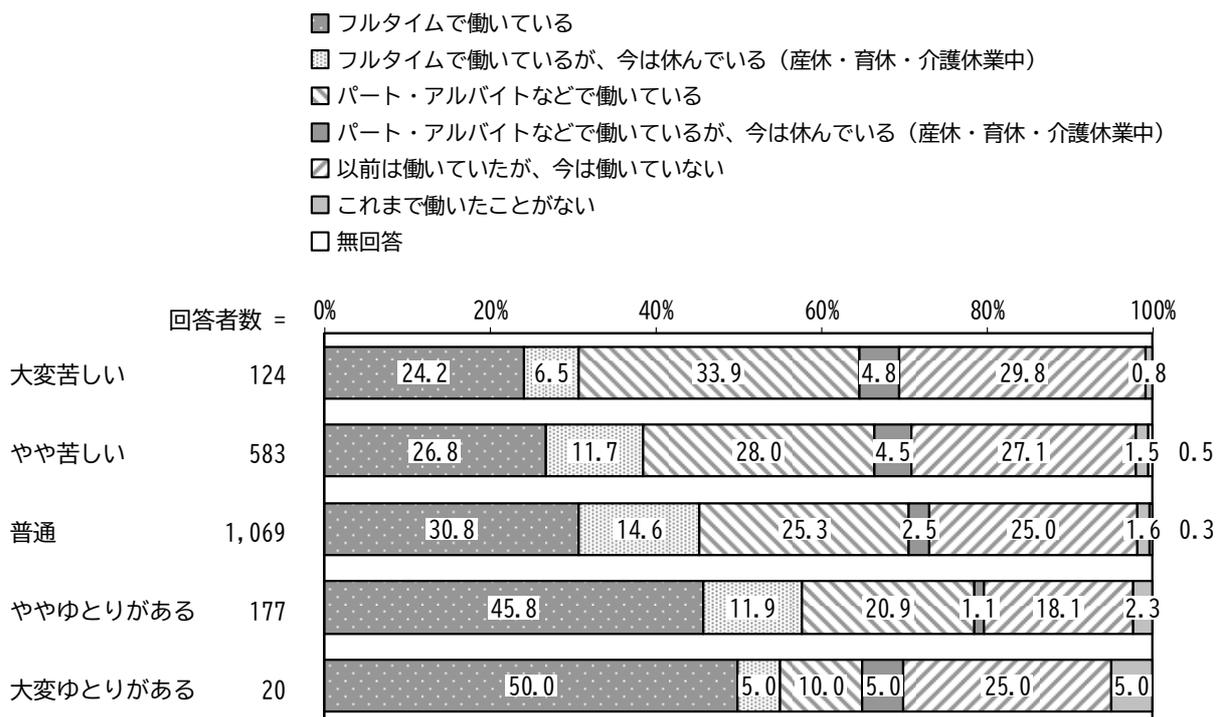
「フルタイムで働いている」の割合が30.7%と最も高く、次いで「パート・アルバイトなどで働いている」の割合が26.0%、「以前は働いていたが、今は働いていない」の割合が25.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイムで働いている」の割合が増加しています。一方、「以前は働いていたが、今は働いていない」の割合が減少しています。



【現在の暮らし向き別】

現在の暮らし向き別にみると、大変ゆとりがあるで「フルタイムで働いている」の割合が高くなっています。



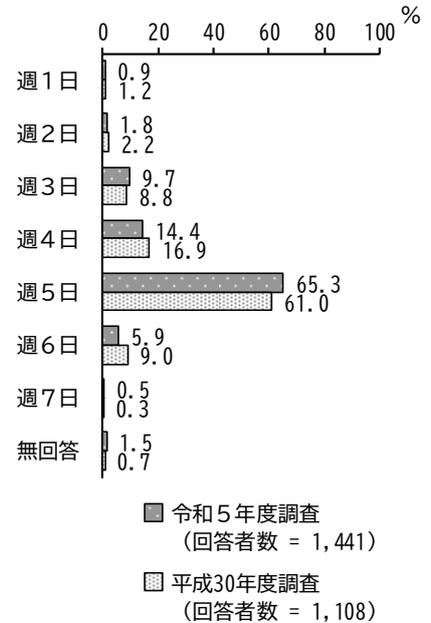
問9-1 問9で「1. フルタイムで働いている」～「4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中）」を選ばれた方にお伺いします。1週間・1日当たりどのくらい働きますか。家を出る時間と帰宅時間についてもお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

母親

1週あたりの就労日数

「週5日」の割合が65.3%と最も高く、次いで「週4日」の割合が14.4%となっています。

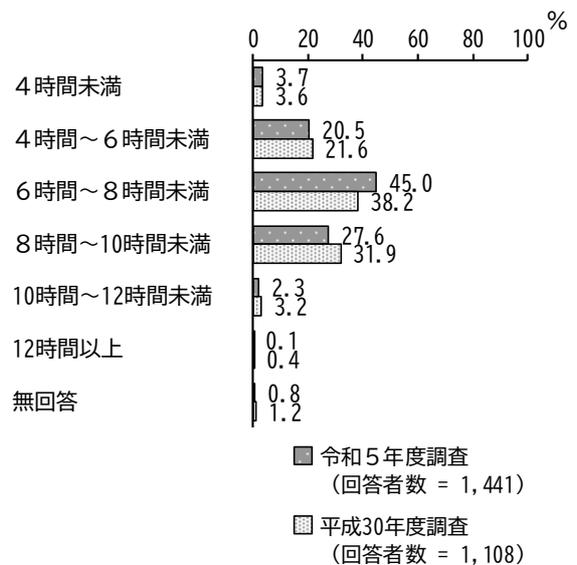
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1日当たりの就労時間

「6時間～8時間未満」の割合が45.0%と最も高く、次いで「8時間～10時間未満」の割合が27.6%、「4時間～6時間未満」の割合が20.5%となっています。

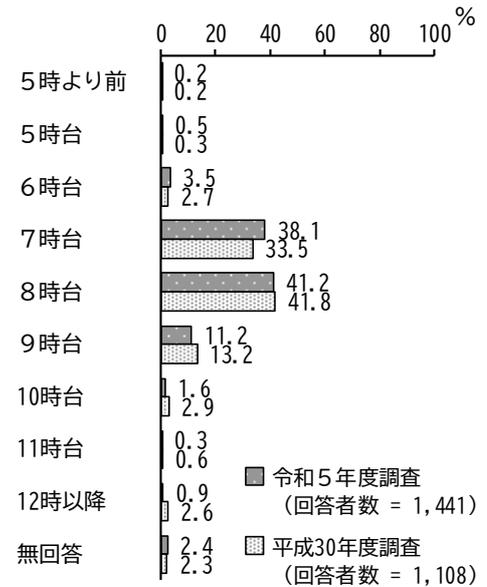
平成30年度調査と比較すると、「6時間～8時間未満」の割合が増加しています。



家を出る時間

「8時台」の割合が41.2%と最も高く、次いで「7時台」の割合が38.1%、「9時台」の割合が11.2%となっています。

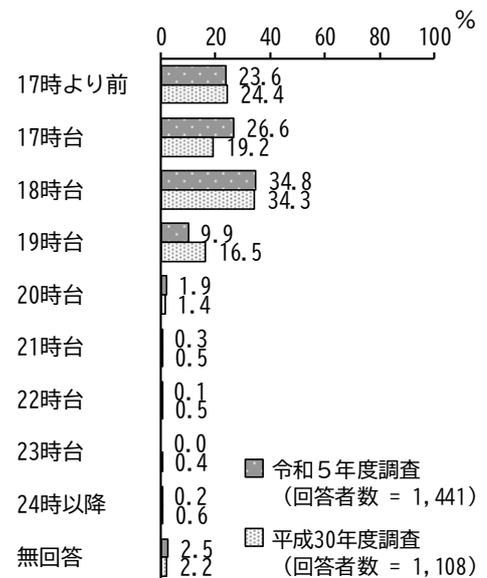
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



帰宅時間

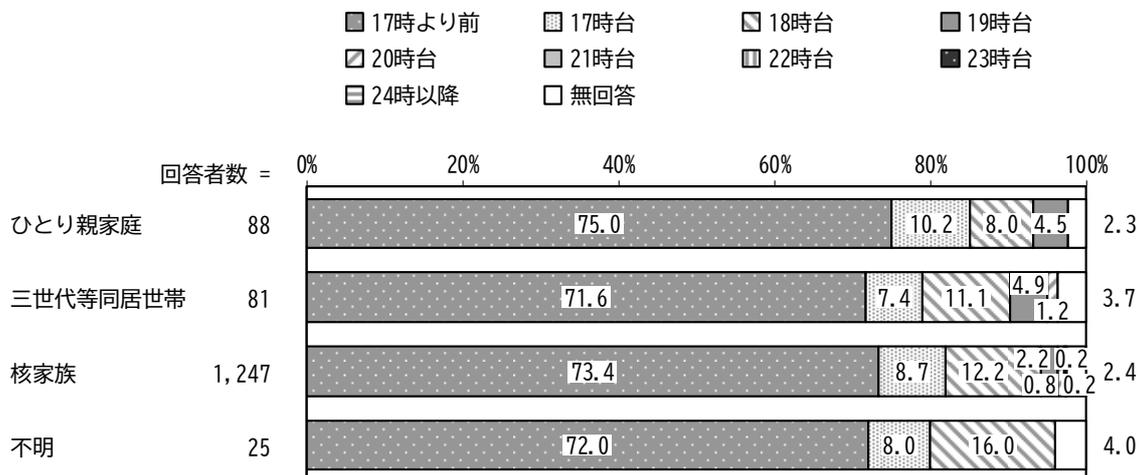
「18時台」の割合が34.8%と最も高く、次いで「17時台」の割合が26.6%、「17時より前」の割合が23.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「17時台」の割合が増加しています。一方、「19時台」の割合が減少しています。



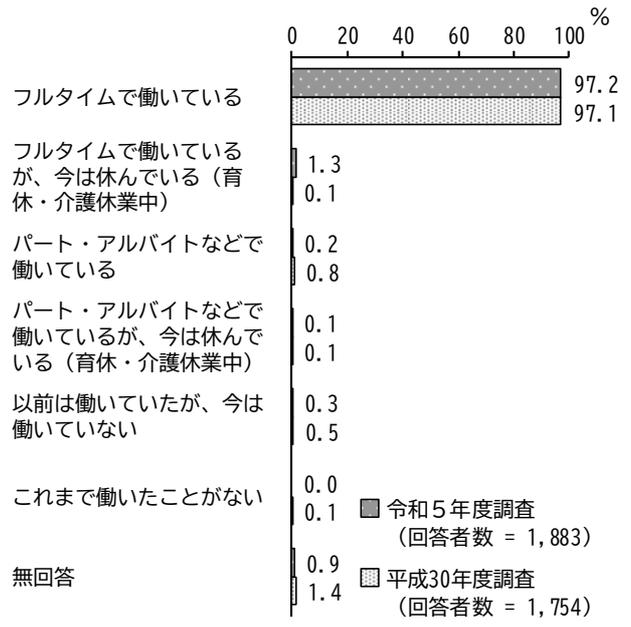
【世帯類型別】

世帯類型別にみると、大きな差はみられません。



問10 「父親」の働いている状況についてお伺いします。自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。(〇は1つ) <母子家庭の場合は記入不要です。>

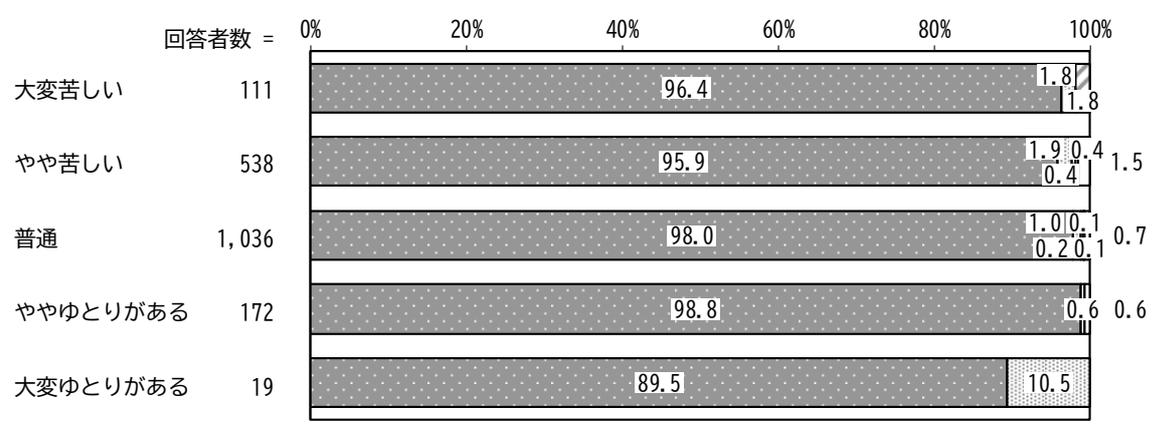
「フルタイムで働いている」の割合が97.2%と最も高くなっています。
 平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【現在の暮らし向き別】

現在の暮らし向き別にみると、大きな差はみられません。

- フルタイムで働いている
- フルタイムで働いているが、今は休んでいる(育休・介護休業中)
- パート・アルバイトなどで働いている
- パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる(育休・介護休業中)
- 以前は働いていたが、今は働いていない
- これまで働いたことがない
- 無回答



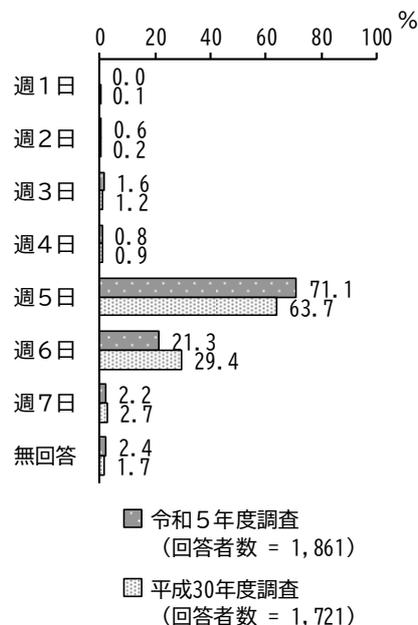
問10-1 問10で「1. フルタイムで働いている」～「4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（育休・介護休業中）」を選ばれた方にお伺いします。1週間・1日当たりどのくらい働きますか。家を出る時間と帰宅時間についてもお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

父親

1週当たりの就労日数

「週5日」の割合が71.1%と最も高く、次いで「週6日」の割合が21.3%となっています。

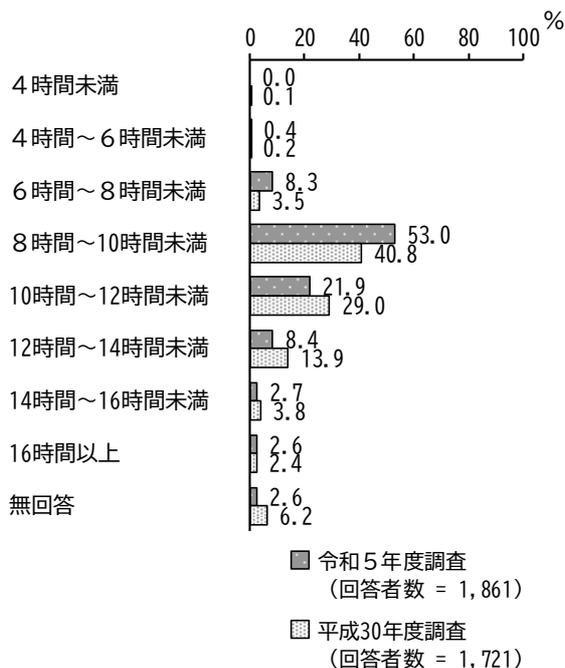
平成30年度調査と比較すると、「週5日」の割合が増加しています。一方、「週6日」の割合が減少しています。



1日当たりの就労時間

「8時間～10時間未満」の割合が53.0%と最も高く、次いで「10時間～12時間未満」の割合が21.9%となっています。

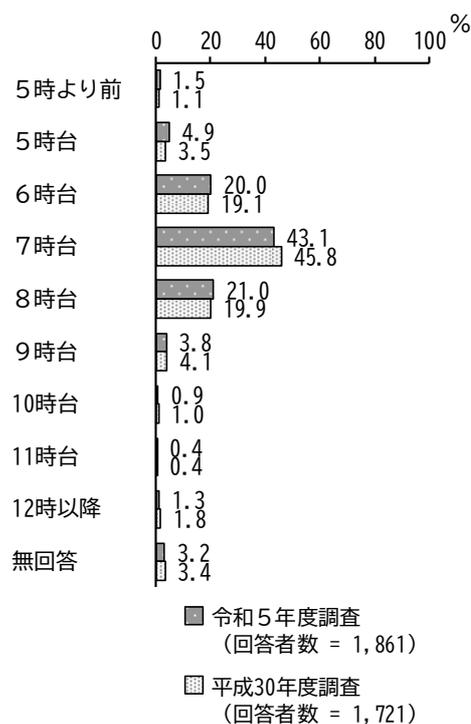
平成30年度調査と比較すると、「8時間～10時間未満」の割合が増加しています。一方、「10時間～12時間未満」「12時間～14時間未満」の割合が減少しています。



家を出る時間

「7時台」の割合が43.1%と最も高く、次いで「8時台」の割合が21.0%、「6時台」の割合が20.0%となっています。

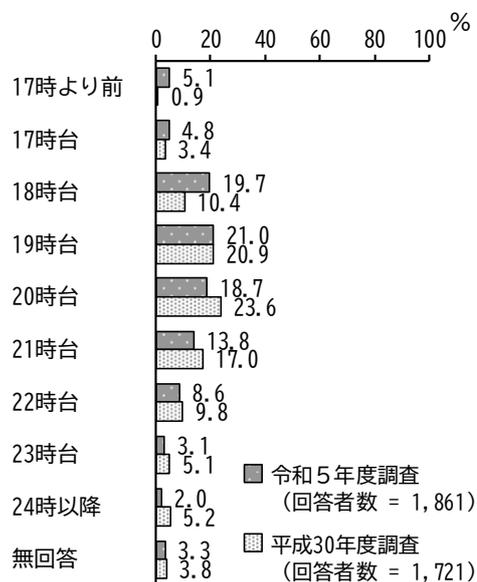
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



帰宅時間

「19時台」の割合が21.0%と最も高く、次いで「18時台」の割合が19.7%、「20時台」の割合が18.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「18時台」の割合が増加しています。

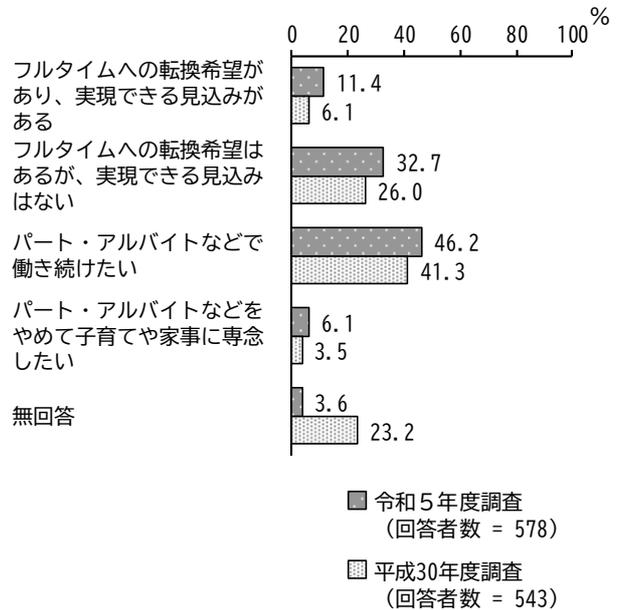


問11 問9または問10で、「3. パート・アルバイトなどで働いている」または「4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（育休・介護休業中）」を選ばれた、パート・アルバイトなどで働いている方（休業中の方も含む）にお伺いします。フルタイムへの転換希望はありますか。

(1) 母親 (〇は1つ)

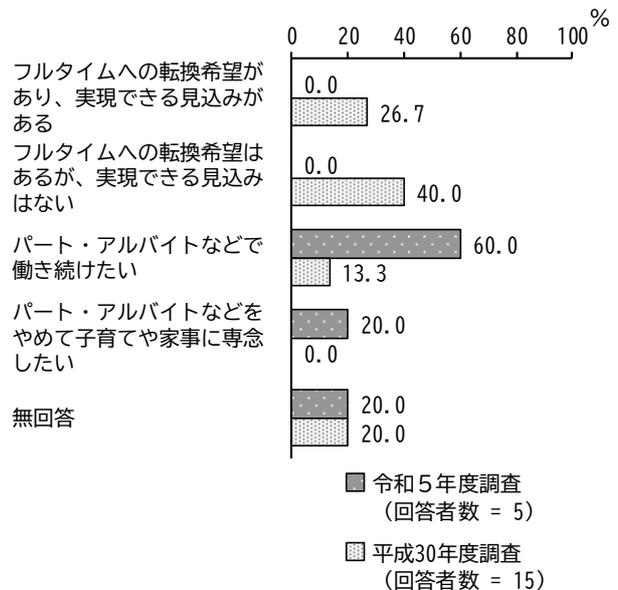
「パート・アルバイトなどで働きたい」の割合が46.2%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が32.7%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が11.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が増加しています。



(2) 父親 (〇は1つ)

「パート・アルバイトなどで働きたい」が3件となっています。「パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい」が1件となっています。

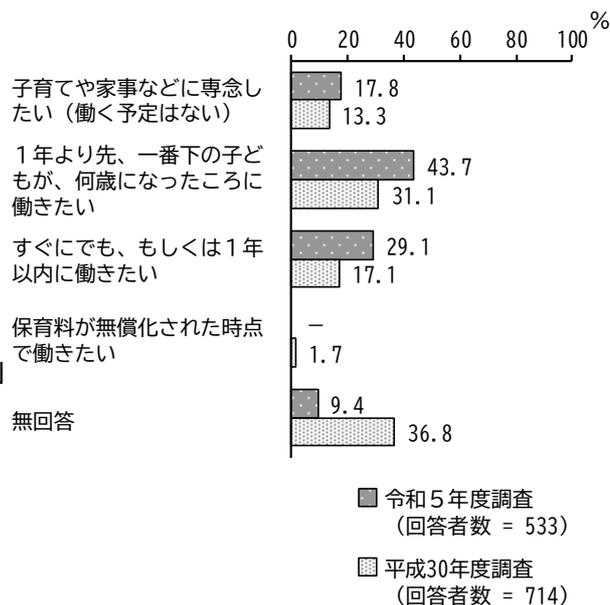


問12 問9または問10で「5. 以前は働いていたが、今は働いていない」または「6. これまで働いたことがない」を選ばれた、仕事をお持ちでない方にお伺いします。働きたい希望はありますか。カッコ内には具体的な数字を入れてください。

(1) 母親 (〇は1つ)

「1年より先、一番下の子どもが、何歳になったところに働きたい」の割合が43.7%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」の割合が29.1%、「子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)」の割合が17.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1年より先、一番下の子どもが、何歳になったところに働きたい」「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」の割合が増加しています。

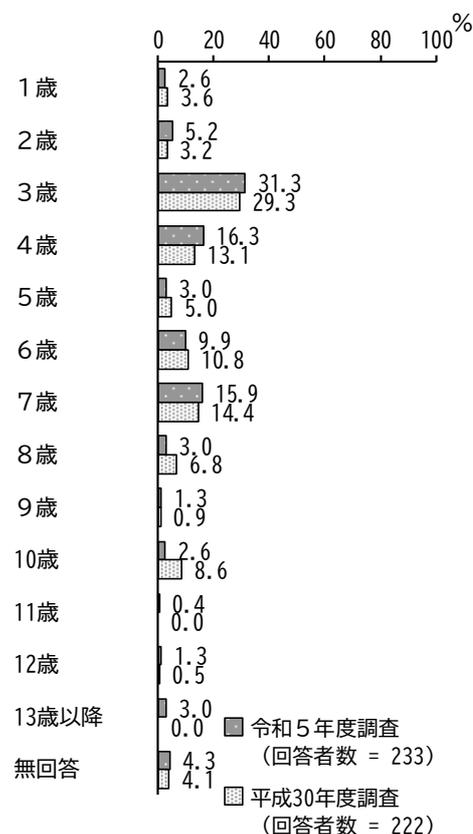


※前回調査では、「保育料が無償化された時点で働きたい」の選択肢がありました。

母親が就労を希望する末子の年齢

「3歳」の割合が31.3%と最も高く、次いで「4歳」の割合が16.3%、「7歳」の割合が15.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「10歳」の割合が減少しています。



希望する働き方（いずれかに○）

「フルタイム」の割合が9.7%、「パートタイム、アルバイトなど」の割合が88.4%となっています。

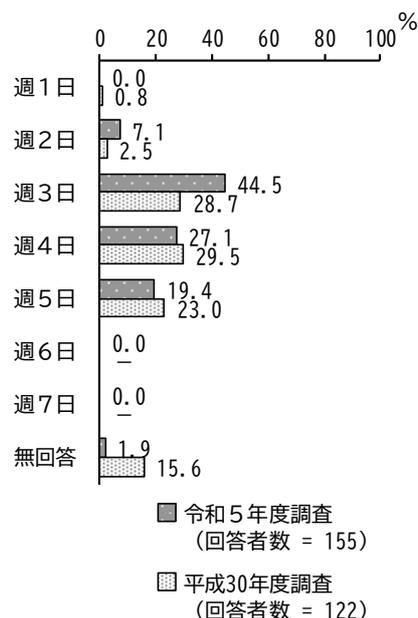
平成30年度調査と比較すると、「パートタイム、アルバイトなど」の割合が増加しています。



1週当たりの就労希望日数

「週3日」の割合が44.5%と最も高く、次いで「週4日」の割合が27.1%、「週5日」の割合が19.4%となっています。

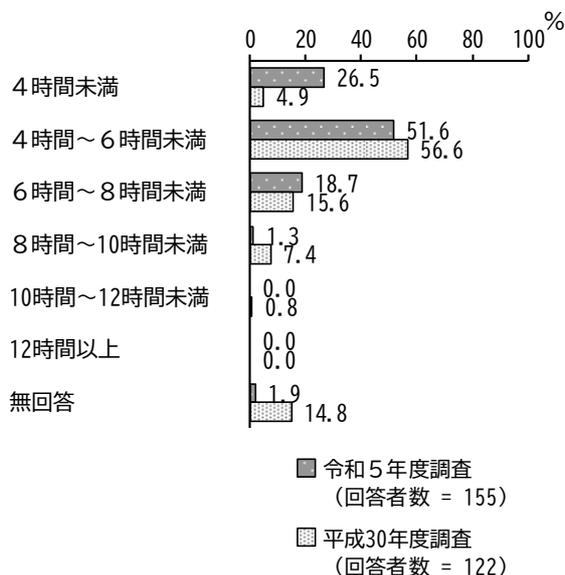
平成30年度調査と比較すると、「週3日」の割合が増加しています。



1日当たりの就労希望時間

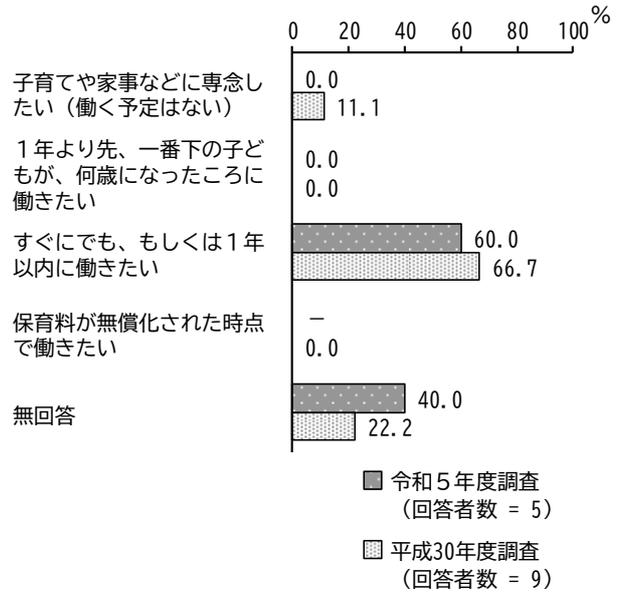
「4時間～6時間未満」の割合が51.6%と最も高く、次いで「4時間未満」の割合が26.5%、「6時間～8時間未満」の割合が18.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4時間未満」の割合が増加しています。一方、「8時間～10時間未満」の割合が減少しています。



(2) 父親 (〇は1つ)

「すぐにも、もしくは1年以内に働きたい」
が3件となっています。



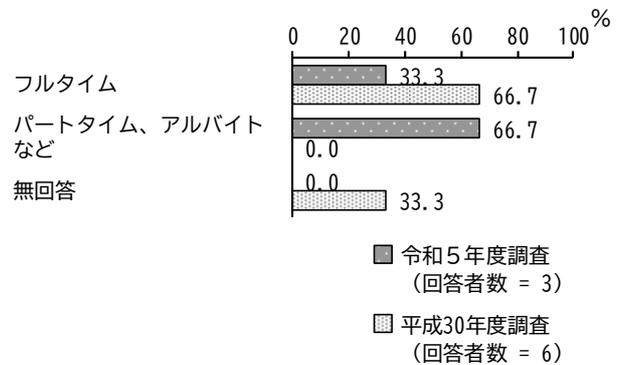
※前回調査では、「保育料が無償化された時点で働きたい」の選択肢がありました。

父親が就労を希望する末子の年齢

有効回答がありませんでした。

希望する働き方 (いずれかに〇)

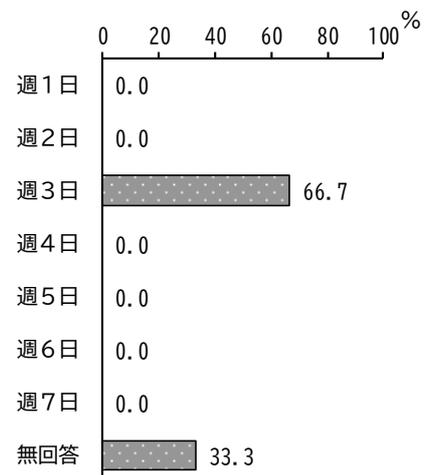
「フルタイム」が1件、「パートタイム、アルバイトなど」が2件となっています。



1週当たりの父親の就労希望日数

「週3日」が2件となっています。

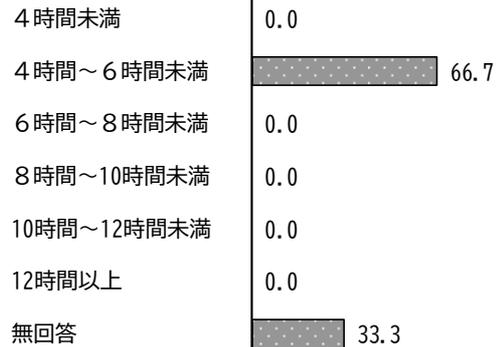
回答者数 = 3



1日当たりの父親の就労希望時間

「4時間～6時間未満」が2件となっています。

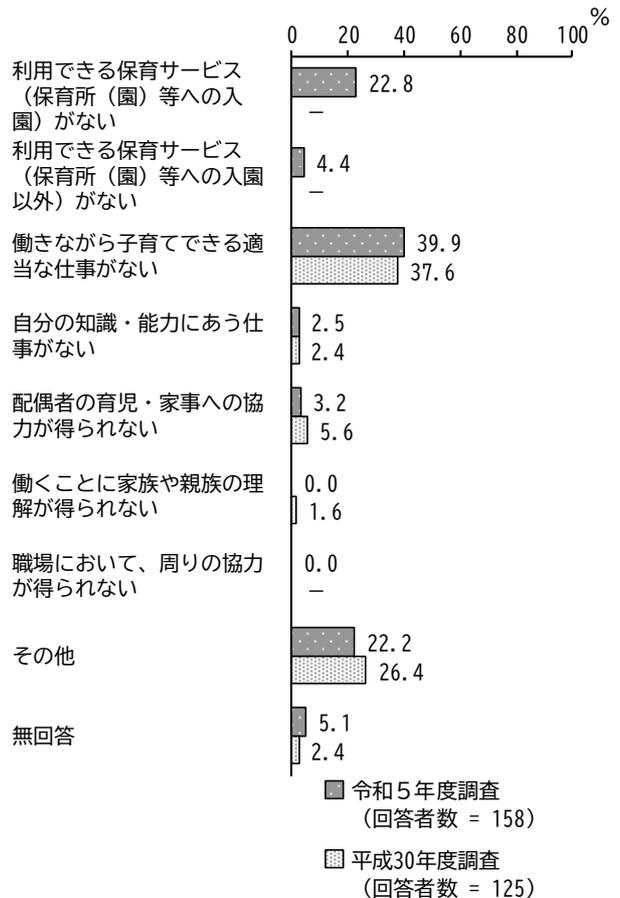
回答者数 = 3



問12-1 問12で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」を選ばれた、すぐにでも、もしくは1年以内に働きたいと考えておられる方にお伺いします。就労希望がありながら、現在働いていない主な理由は何ですか。(○は1つ)

「働きながら子育てできる適当な仕事がない」の割合が39.9%と最も高く、次いで「利用できる保育サービス(保育所(園)等への入園)がない」の割合が22.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



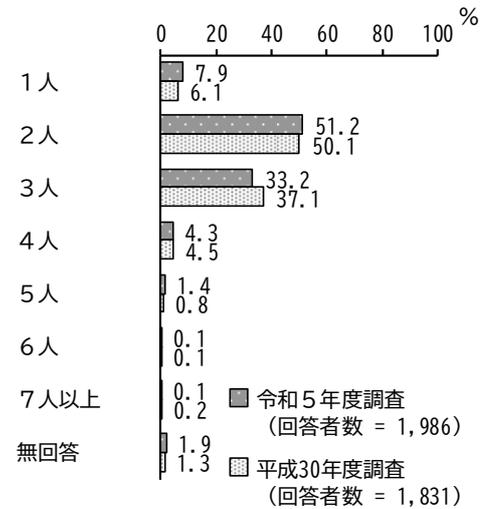
※前回調査では、「利用できる保育サービスがない」の選択肢は今回のように分かれていませんでした。

※前回調査では、「職場において、周りの協力が得られない」の選択肢はありませんでした。

(3) 子育てについて

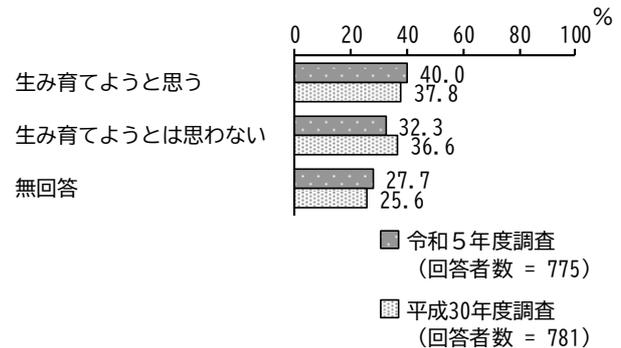
問 13 希望する子どもの数は何人ですか。

「2人」の割合が 51.2%と最も高く、次いで「3人」の割合が 33.2%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



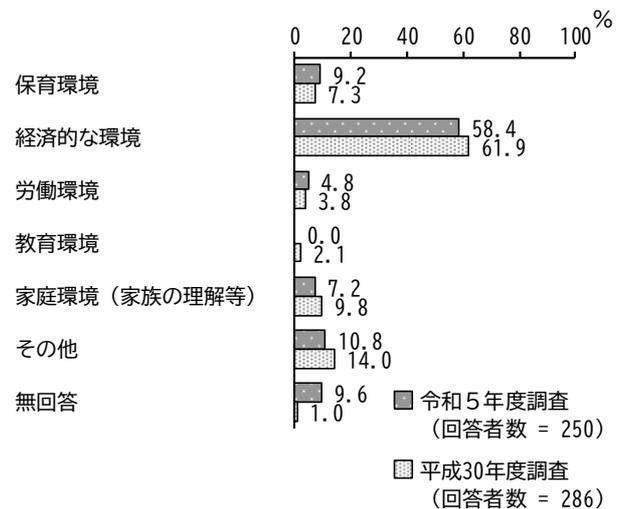
問 14 希望する子どもの数が現在の子どもの数より多い方にお伺いします。現在の家庭・教育環境等において、もう一人子どもを生き育てようと思いませんか。(〇は1つ)

「生き育てようと思う」の割合が 40.0%、「生き育てようとは思わない」の割合が 32.3%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 14-1 問 14で「2. 生き育てようとは思わない」を選ばれた方にお伺いします。どのような環境を整えればもう一人子どもを生き育てようと思いませんか。最もあてはまる答えの番号に〇をつけてください。(〇は1つ)

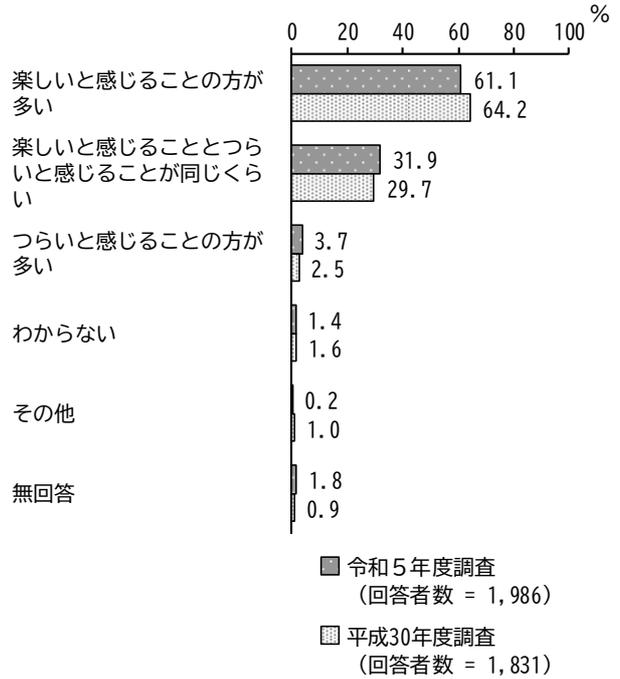
「経済的な環境」の割合が 58.4%と最も高くなっています。
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問15 子育てについて、どのように感じていますか（○は1つ）

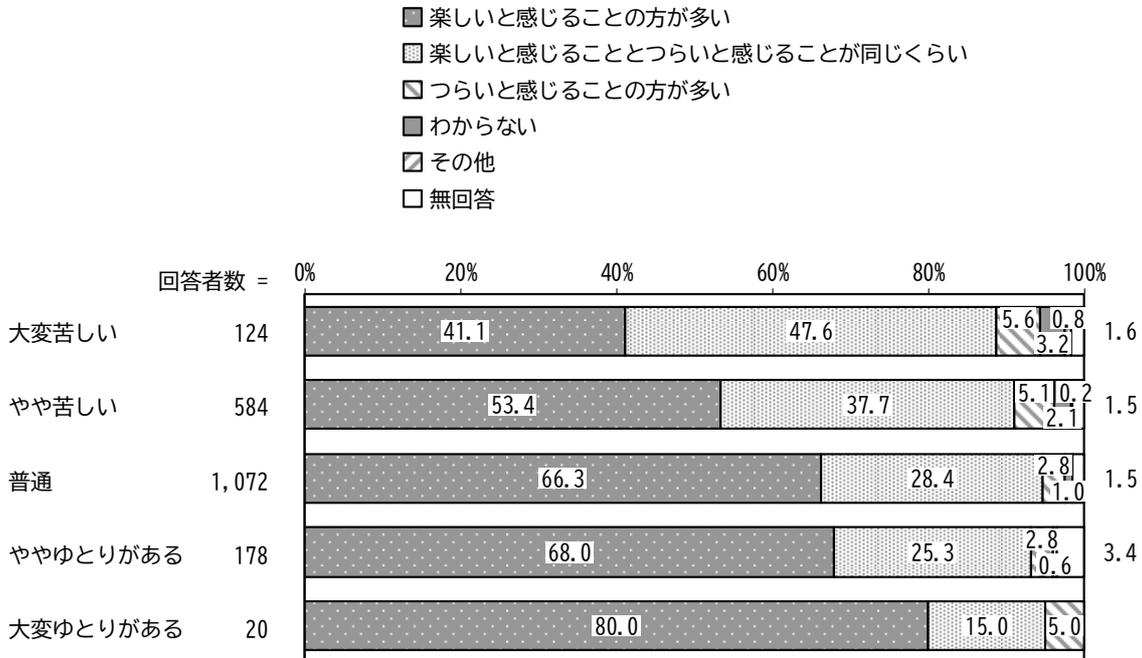
「楽しいと感じることの方が多い」の割合が61.1%と最も高く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」の割合が31.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



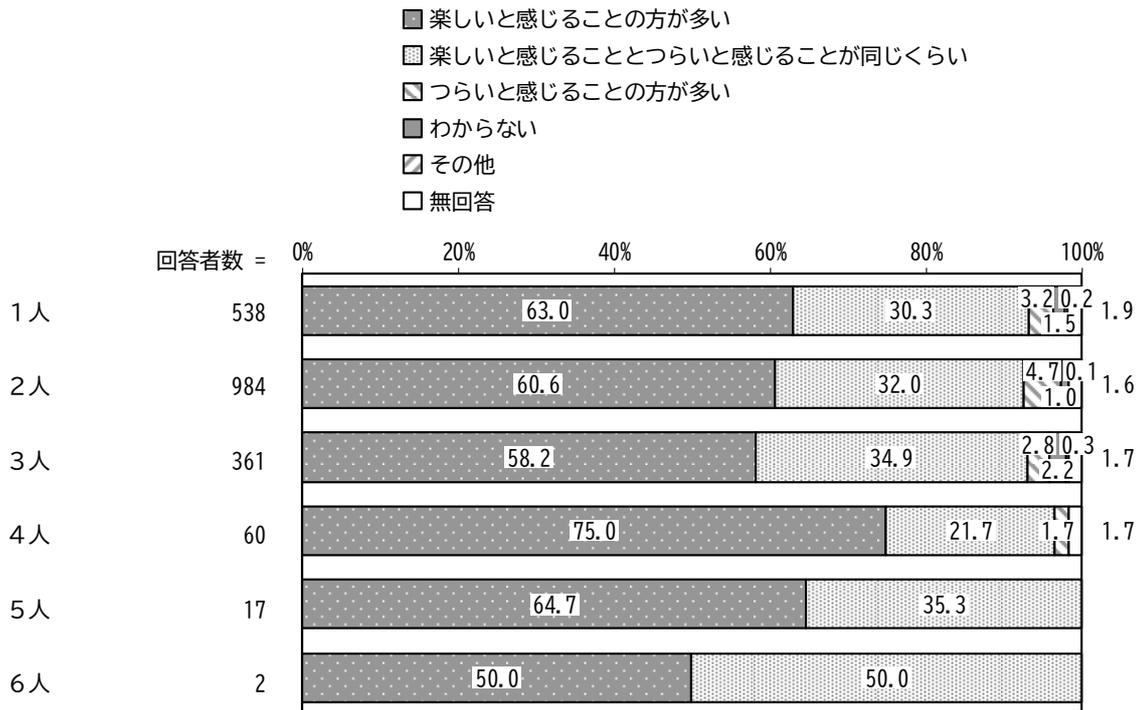
【現在の暮らし向き別】

現在の暮らし向き別にみると、大変ゆとりがあるで「楽しいと感じることの方が多い」の割合が高くなっています。



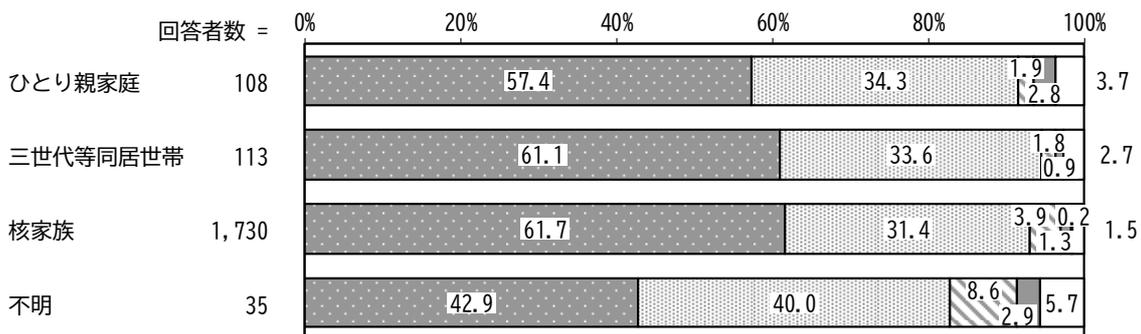
【子どもの人数別】

子どもの人数別にみると、4人で「楽しいと感じることの方が多い」の割合が高くなっています。



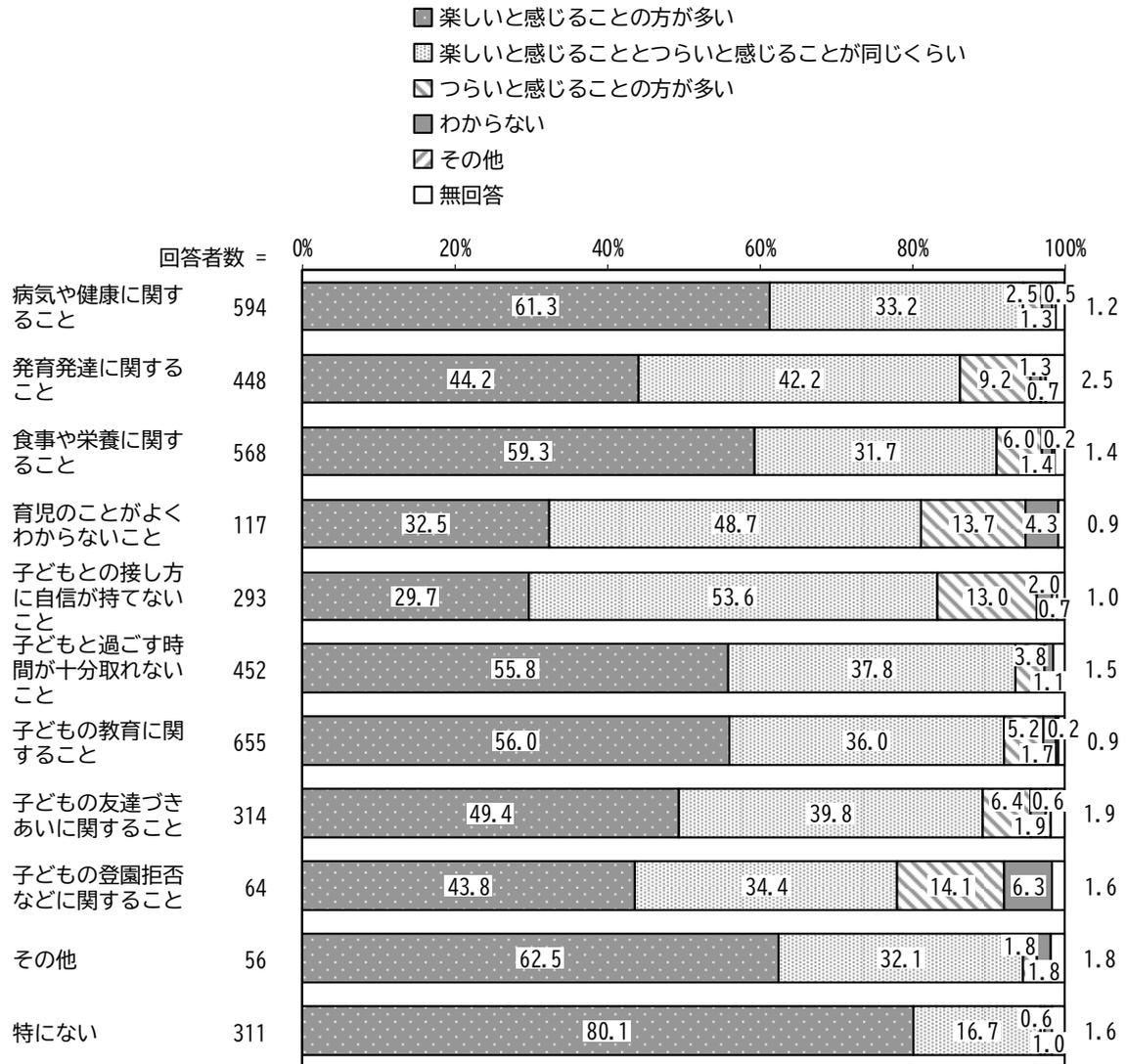
【世帯類型別】

世帯類型別にみると、不明で「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」の割合が高くなっています。



【子どもに関する悩み別】

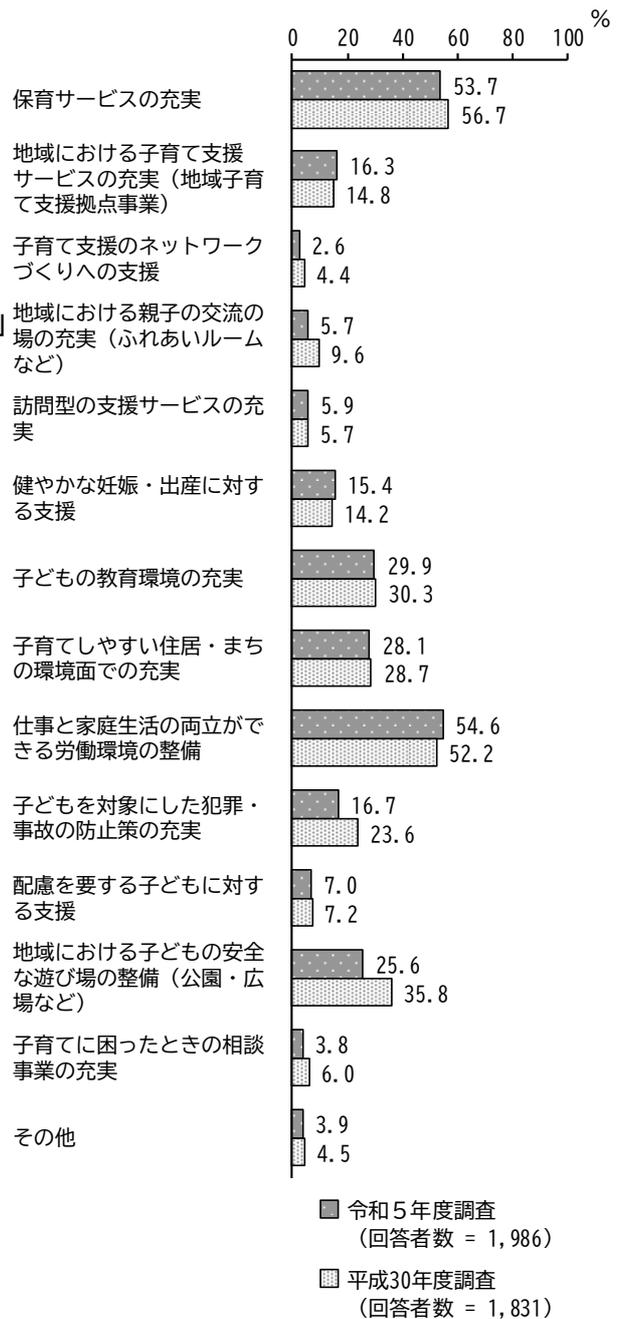
子どもに関する悩み別にみると、子どもとの接し方に自信が持てないことで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」の割合が高くなっています。



問 16 子育てをする中で、どのような支援・対策が重要だと感じますか。
(〇は3つまで)

「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」の割合が54.6%と最も高く、次いで「保育サービスの充実」の割合が53.7%、「子どもの教育環境の充実」の割合が29.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子どもを対象にした犯罪・事故の防止策の充実」「地域における子どもの安全な遊び場の整備(公園・広場など)」の割合が減少しています。



※前回調査では、「子育て支援のネットワークづくりへの支援」の選択肢が「子育て支援のネットワークづくり」、「子どもを対象にした犯罪・事故の防止策の充実」の選択肢が「子どもを対象にした犯罪・慈子の軽減」でした。

【現在の暮らし向き別】

現在の暮らし向き別にみると、大変ゆとりがあるで「保育サービスの充実」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	保育サービスの充 実	地域における子育て 支援サービスの充 実(地域子育て支 援拠点事業)	子育て支援のネッ トワークづくりへ の支援	子育て支援の充 実(ふれあいルー ムなど)	地域における親子 の交流の場の充 実	訪問型の支援サ ービスの充実	健やかな妊娠 出 産 に対する支援	子どもの教育環 境 の充実
全 体	1,986	53.7	16.3	2.6	5.7	5.9	15.4	29.9	
大変苦しい	124	41.9	17.7	2.4	3.2	4.0	19.4	24.2	
やや苦しい	584	52.6	15.9	2.4	5.0	6.0	14.7	29.3	
普通	1,072	54.8	17.1	2.8	6.5	5.7	16.0	30.0	
ややゆとりがある	178	58.4	12.9	2.8	4.5	7.9	11.2	36.5	
大変ゆとりがある	20	65.0	10.0	-	10.0	15.0	10.0	25.0	

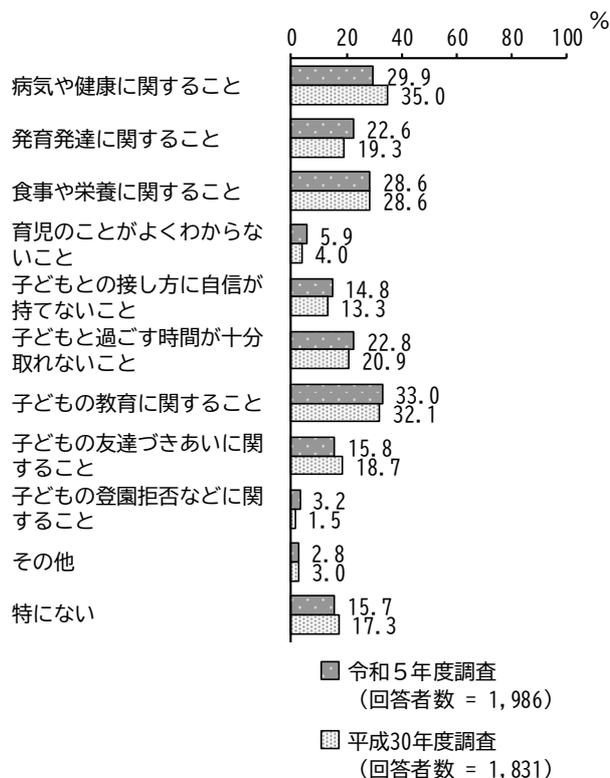
区分	子育てしやすい住 居まちな環境面 での充実	仕事と家庭生活の 両立ができる労働 環境の整備	子どもを対象にし た犯罪 事故の防 止 策の充実	配慮を要する子ど もに対する支援	地域の安全な遊び 場の整備(公園・広 場など)	子育てに困ったと きの相談事業の充 実	その他	無回答
全 体	28.1	54.6	16.7	7.0	25.6	3.8	3.9	3.7
大変苦しい	26.6	55.6	16.9	9.7	22.6	5.6	11.3	4.0
やや苦しい	26.4	59.6	17.8	6.7	23.1	4.3	5.1	3.3
普通	29.4	52.1	15.6	7.4	26.8	3.5	2.2	3.9
ややゆとりがある	27.0	55.1	19.7	2.8	29.2	2.2	3.9	2.8
大変ゆとりがある	30.0	45.0	20.0	10.0	25.0	10.0	5.0	-

問 17 子育てに関して、あなたが日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。また、「2. 発育発達に関すること」を選ばれた場合は、具体的な内容に○をつけてください。

(1) 子どもに関すること (○はいくつでも)

「子どもの教育に関すること」の割合が33.0%と最も高く、次いで「病気や健康に関すること」の割合が29.9%、「食事や栄養に関すること」の割合が28.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「病気や健康に関すること」の割合が減少しています。



【子どもの人数別】

子どもの人数別にみると、5人で「子どもの友達づきあいに関すること」の割合が高くなっています。

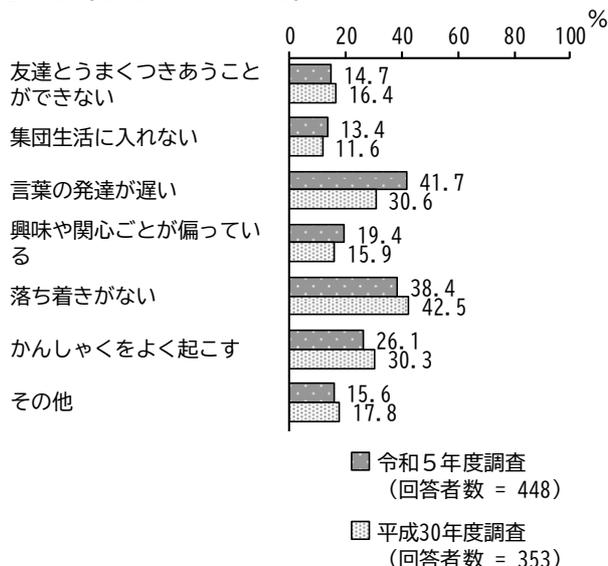
単位：%

区分	回答者数(件)	病気や健康に関すること	発育発達に関すること	食事や栄養に関すること	育児のことがよくわからないこと	子どもとの接し方に自信が持てないこと	子どもと過ごす時間が十分取れないこと	子どもの教育に関すること	子どもの友達づきあいに関すること	子どもの登園拒否などに関すること	その他	特になし	無回答
全体	1,986	29.9	22.6	28.6	5.9	14.8	22.8	33.0	15.8	3.2	2.8	15.7	1.5
1人	538	35.7	26.6	34.9	11.3	15.1	20.4	29.9	13.4	2.0	3.3	13.4	1.7
2人	984	27.7	22.7	27.9	4.4	16.3	23.7	35.6	16.1	4.0	2.5	14.7	1.4
3人	361	27.7	17.7	23.5	2.8	13.3	23.8	31.9	19.9	3.9	2.8	17.2	1.4
4人	60	26.7	15.0	15.0	—	3.3	26.7	33.3	8.3	—	3.3	35.0	—
5人	17	35.3	—	17.6	—	—	11.8	17.6	23.5	—	5.9	29.4	—
6人	2	—	—	50.0	—	—	50.0	—	—	—	—	50.0	—

2. 発育発達に関することについて以下もお選びください。(〇はいくつでも)

「言葉の発達が遅い」の割合が41.7%と最も高く、次いで「落ち着きがない」の割合が38.4%、「かんしゃくをよく起こす」の割合が26.1%となっています。

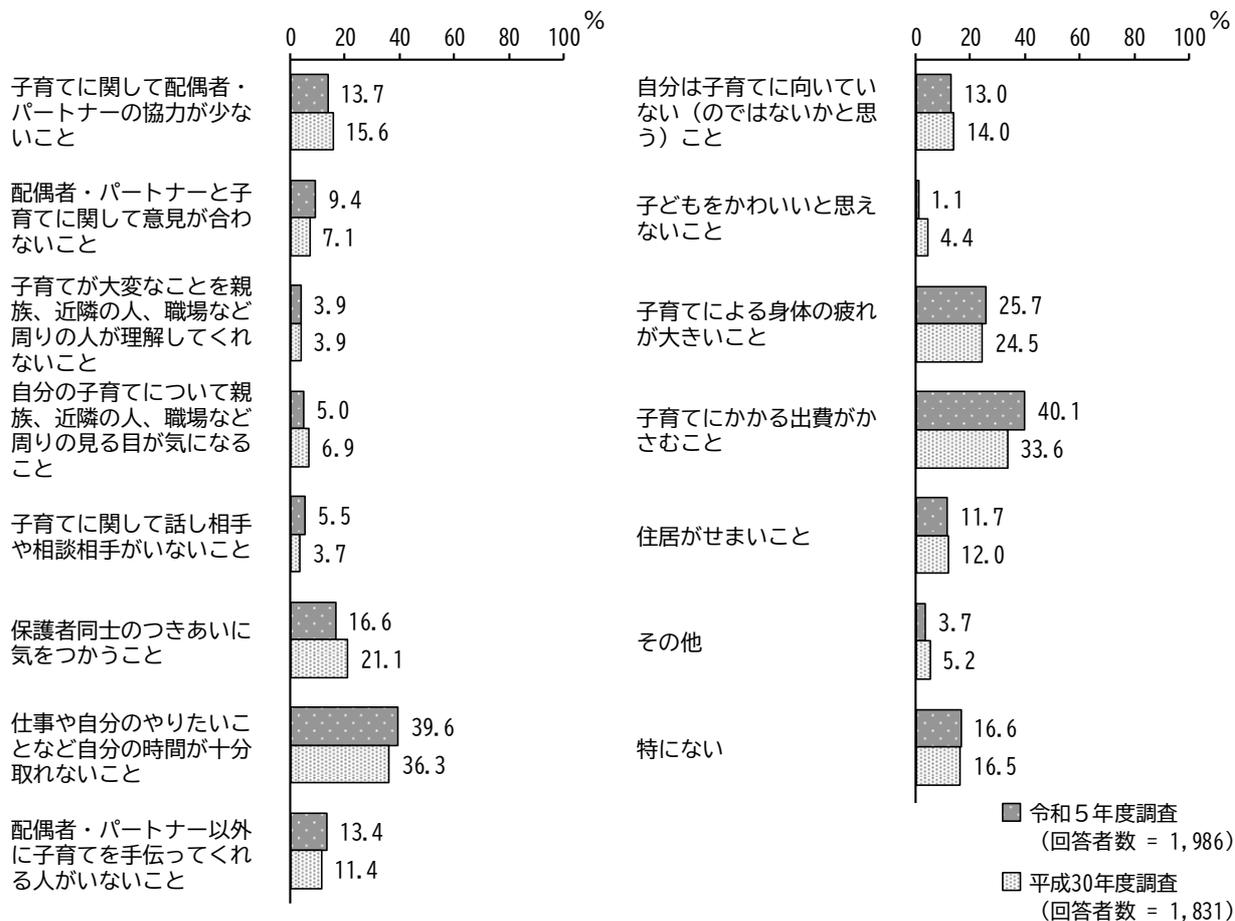
平成30年度調査と比較すると、「言葉の発達が遅い」の割合が増加しています。



(2) あなたに関すること (〇はいくつでも)

「子育てにかかる出費がかさむこと」の割合が40.1%と最も高く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が39.6%、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」の割合が25.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子育てにかかる出費がかさむこと」の割合が増加しています。



※前回調査では、「子どもをかわいいと思えないこと」の選択肢が「子どもがかわいく思えないことがあること」でした。

【現在の暮らし向き別】

現在の暮らし向き別にみると、大変苦しいで「子育てにかかる出費がかさむこと」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと	配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと	子育てが大変なことを親族、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと	自分の子育てについて親族、近隣の人、職場など周りの見る目が気になること	子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと	保護者同士のつきあいに気をつかうこと	仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
全体	1,986	13.7	9.4	3.9	5.0	5.5	16.6	39.6	13.4
大変苦しい	124	16.9	14.5	8.9	4.8	8.1	22.6	46.8	16.9
やや苦しい	584	18.2	12.3	5.1	6.8	6.0	18.7	40.6	11.6
普通	1,072	11.7	7.9	2.4	4.7	5.0	15.5	37.4	13.8
ややゆとりがある	178	10.1	6.2	5.6	1.1	6.2	13.5	45.5	16.3
大変ゆとりがある	20	5.0	5.0	—	10.0	—	10.0	35.0	5.0

区分	自分では子育てに向いていないのではないかと思うこと	子どもをかわいいと思えないこと	子育てによる身体の疲れが大きいこと	子育てにかかる出費がかさむこと	住居がせまいこと	その他	特にない	無回答
全体	13.0	1.1	25.7	40.1	11.7	3.7	16.6	2.5
大変苦しい	14.5	0.8	31.5	71.8	26.6	5.6	5.6	2.4
やや苦しい	17.0	1.7	28.8	62.0	15.4	3.6	9.6	1.7
普通	11.4	0.8	23.3	29.3	8.9	3.3	20.2	2.9
ややゆとりがある	9.0	1.1	25.3	14.0	7.9	5.1	23.0	2.2
大変ゆとりがある	15.0	—	30.0	10.0	—	5.0	35.0	—

【子どもの人数別】

子どもの人数別にみると、5人で「子育てにかかる出費がかさむこと」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと	配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと	子育てが大変なことを親族、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと	自分の子育てについて親族、近隣の人、職場など周りの見る目が気になること	子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと	保護者同士のつきあいに気をつかうこと	仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
全体	1,986	13.7	9.4	3.9	5.0	5.5	16.6	39.6	13.4
1人	538	12.8	8.9	3.5	4.5	7.6	16.4	42.0	14.3
2人	984	13.1	9.6	4.3	5.6	5.4	16.9	39.9	13.4
3人	361	15.2	10.2	4.4	5.3	3.6	17.7	38.8	14.4
4人	60	18.3	8.3	—	1.7	1.7	6.7	23.3	1.7
5人	17	17.6	5.9	—	—	—	29.4	29.4	—
6人	2	—	—	—	—	—	—	50.0	—

区分	自分では子育てに向いていないのではないかと思うこと	子どもをかわいいと思えないこと	子育てによる身体の疲れが大きいこと	子育てにかかる出費がかさむこと	住居がせまいこと	その他	特にない	無回答
全体	13.0	1.1	25.7	40.1	11.7	3.7	16.6	2.5
1人	13.4	0.9	28.1	34.9	13.4	5.4	17.7	2.6
2人	14.1	1.3	26.8	40.0	9.2	3.3	16.1	2.6
3人	11.4	1.1	21.3	47.4	14.1	2.5	15.0	2.2
4人	3.3	—	25.0	45.0	15.0	5.0	20.0	—
5人	5.9	—	11.8	58.8	29.4	5.9	17.6	—
6人	—	—	—	50.0	—	—	50.0	—

【子どもに関する悩み別】

子どもに関する悩み別にみると、子どもとの接し方に自信が持てないことで「自分は子育てに向いていない（のではないかと思う）こと」の割合が高くなっています。

単位：％

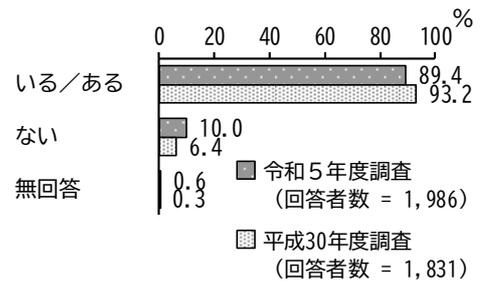
区分	回答者数 (件)	子育てに関して配偶者・パート の協力が少ないこと	配偶者 パートと子育てに 関して意見が合わないこと	子育てが大変なことを親族、近 隣の人、職場など周りの人が理 解してくれないこと	自分の子育てについて親族、近 隣の人、職場など周りの見る目 が気になること	子育てに関して話し相手や相 談相手がいないこと	保護者同士のつきあいに気を つかうこと	仕事や自分のやりたいことな ど自分の時間が十分取れない こと	配偶者 パートナー以外に子育 てを手伝ってくれる人がいな いこと
全 体	1,986	13.7	9.4	3.9	5.0	5.5	16.6	39.6	13.4
病気や健康に関すること	594	15.3	11.1	6.1	6.1	6.7	20.4	44.4	13.3
発育発達に関すること	448	19.9	13.2	6.7	9.6	10.3	21.0	44.0	19.4
食事や栄養に関すること	568	19.4	12.5	4.4	6.7	9.7	18.1	43.8	16.4
育児のことがよくわからないこと	117	19.7	20.5	9.4	11.1	22.2	23.1	59.8	25.6
子どもとの接し方に自信が持てない こと	293	24.6	20.8	8.2	12.6	12.3	27.3	58.7	23.9
子どもと過ごす時間が十分取れない こと	452	15.9	12.2	7.3	9.3	6.9	22.1	59.7	18.4
子どもの教育に関すること	655	18.2	13.0	5.8	7.0	9.2	22.4	50.4	17.4
子どもの友達つきあに関すること	314	17.2	15.0	5.7	9.9	10.2	35.7	47.5	18.8
子どもの登園拒否などに関すること	64	26.6	21.9	14.1	14.1	7.8	20.3	46.9	15.6
その他	56	16.1	8.9	5.4	7.1	5.4	12.5	46.4	21.4
特にない	311	5.8	2.6	0.3	0.6	1.0	4.8	19.9	9.6

区分	自分 は子育て に向いて いないか と思う こと	子 どもを かわい いと思 えない こと	子 育てに よる身 体の疲 れが大 きいこ と	子 育てに かかる 出費が かさむ こと	住 居がせ まいこ と	そ の他	特 にない	無 回答
全 体	13.0	1.1	25.7	40.1	11.7	3.7	16.6	2.5
病気や健康に関すること	13.5	0.7	31.5	46.0	15.2	4.4	11.6	2.2
発育発達に関すること	23.0	3.3	36.8	39.3	12.7	4.2	8.0	2.7
食事や栄養に関すること	17.1	2.1	32.7	43.7	15.7	3.2	13.0	1.6
育児のことがよくわからないこと	42.7	5.1	55.6	51.3	18.8	5.1	2.6	0.9
子どもとの接し方に自信が持てない こと	46.1	4.1	45.7	47.8	13.7	5.1	3.1	1.0
子どもと過ごす時間が十分取れない こと	16.2	1.3	32.3	46.2	15.0	5.3	6.9	0.7
子どもの教育に関すること	18.2	1.7	31.5	51.8	15.6	5.0	8.4	0.9
子どもの友達つきあに関すること	19.7	2.5	30.6	50.3	15.9	3.8	8.0	1.6
子どもの登園拒否などに関すること	18.8	6.3	45.3	51.6	7.8	14.1	3.1	—
その他	10.7	—	25.0	53.6	17.9	25.0	3.6	—
特にない	1.6	—	9.6	29.3	6.1	3.5	42.8	1.9

問18 お子さんの子育てや健康や教育について、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(○は1つ)

「いる／ある」の割合が89.4%、「ない」の割合が10.0%となっています。

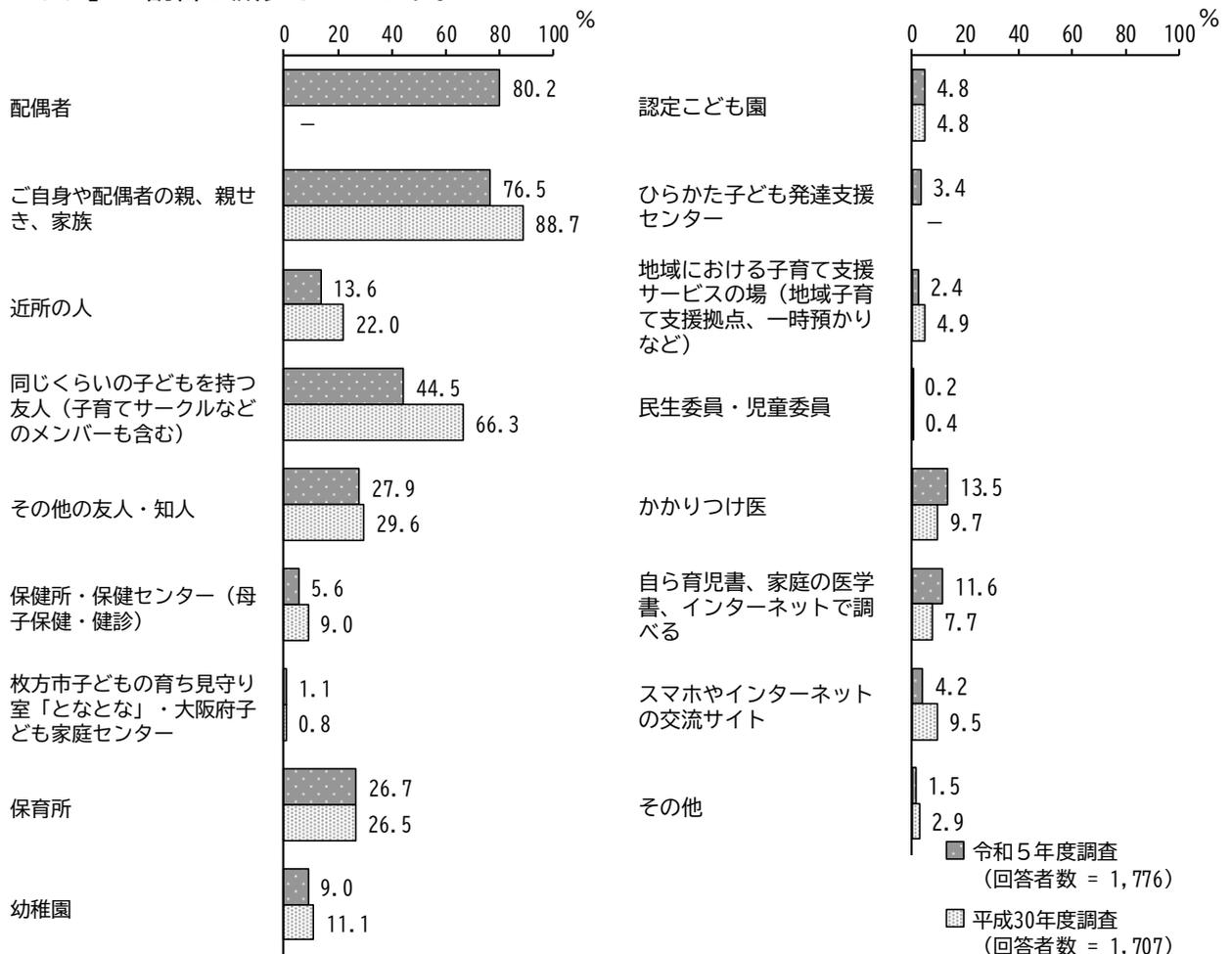
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問18-1 問18で「1. いる／ある」を選ばれた方にお伺いします。気軽に相談できるのは、どのような人や場所などですか。(○はいくつでも)

「配偶者」の割合が80.2%と最も高く、次いで「ご自身や配偶者の親、親せき、家族」の割合が76.5%、「同じくらいの子どもの持つ友人（子育てサークルなどのメンバーも含む）」の割合が44.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「ご自身や配偶者の親、親せき、家族」「近所の人」「同じくらいの子どもの持つ友人（子育てサークルなどのメンバーも含む）」「スマホやインターネットの交流サイト」の割合が減少しています。



※前回調査では、「配偶者」「ひらかた子ども発達支援センター」の選択肢はありませんでした。

※前回調査では、「枚方市子どもの育ち見守り室「ととな」・大阪府子ども家庭センター」の選択肢が「枚方市子ども総合相談センター「ととな」・大阪府子ども家庭センター」、「かかりつけ医」の選択肢が「医師、看護師」、「スマホやインターネットの交流サイト」の選択肢が「携帯電話やインターネットの交流サイト」でした。

【現在の暮らし向き別】

現在の暮らし向き別にみると、大変ゆとりがあるで「同じくらいの子どもを持つ友人（子育てサークルなどのメンバーも含む）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	配偶者	ご自身や配偶者の親、親せき、家族	近所の人	同じくらいの子どもを持つ友人、子育てサークルなどのメンバーも含む)	その他の友人・知人	保健所 保健センター 母子保健(健診)	枚方市子どもの育ち見守り室「こなとな」大阪府子ども家庭センター	保育所	幼稚園
全体	1,776	80.2	76.5	13.6	44.5	27.9	5.6	1.1	26.7	9.0
大変苦しい	101	71.3	71.3	11.9	36.6	30.7	9.9	2.0	23.8	8.9
やや苦しい	513	73.5	74.3	13.5	41.9	31.6	5.5	1.2	24.8	9.6
普通	978	83.6	77.7	13.9	46.1	25.8	5.4	0.9	28.0	8.5
ややゆとりがある	158	86.7	76.6	13.3	44.9	25.3	5.1	—	29.1	8.9
大変ゆとりがある	19	78.9	94.7	21.1	68.4	42.1	5.3	5.3	21.1	15.8

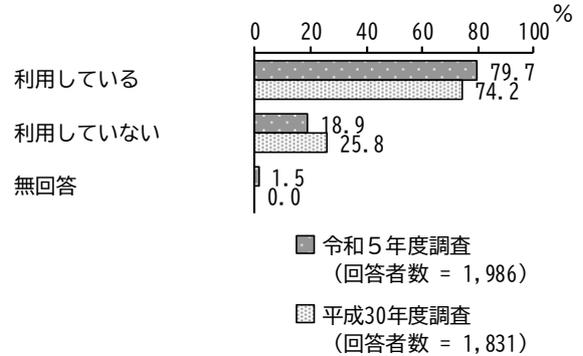
区分	認定こども園	ひらかた子ども発達支援センター	地域における子育て支援サービス(地域の場、地域子育て支援拠点、一時預かりなど)	民生委員・児童委員	かかりつけ医	自ら育児書、家庭の医学書、インターネットで調べる	スマホやインターネットの交流サイト	その他	無回答
全体	4.8	3.4	2.4	0.2	13.5	11.6	4.2	1.5	0.1
大変苦しい	5.9	5.0	2.0	—	11.9	12.9	5.9	2.0	—
やや苦しい	4.3	4.7	2.5	0.2	14.2	14.0	4.7	1.0	0.2
普通	4.7	2.8	2.4	0.2	14.1	10.8	3.6	1.5	0.1
ややゆとりがある	6.3	1.9	2.5	—	7.0	8.2	5.1	1.9	—
大変ゆとりがある	10.5	5.3	—	—	26.3	10.5	5.3	—	—

(4) 保育サービスの利用について

問 19 平日（月曜日～金曜日）に、「幼稚園」や「保育所」、「認定こども園」などの子どもを預かる施設（問 19-1 に記載の施設）やサービスを「定期的に」利用されていますか。（○は1つ）

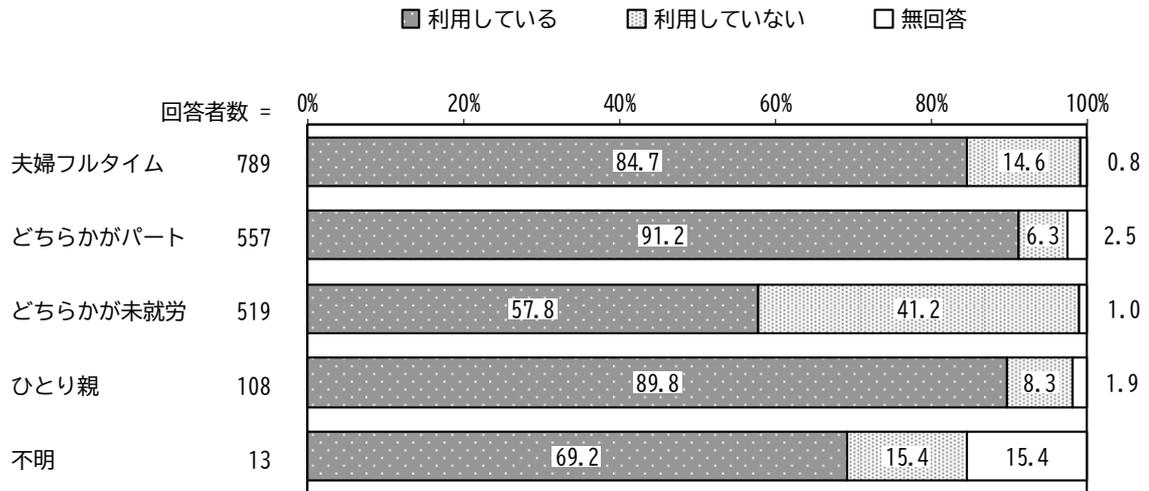
「利用している」の割合が 79.7%、「利用していない」の割合が 18.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用している」の割合が増加しています。一方、「利用していない」の割合が減少しています。



【就労状況別】

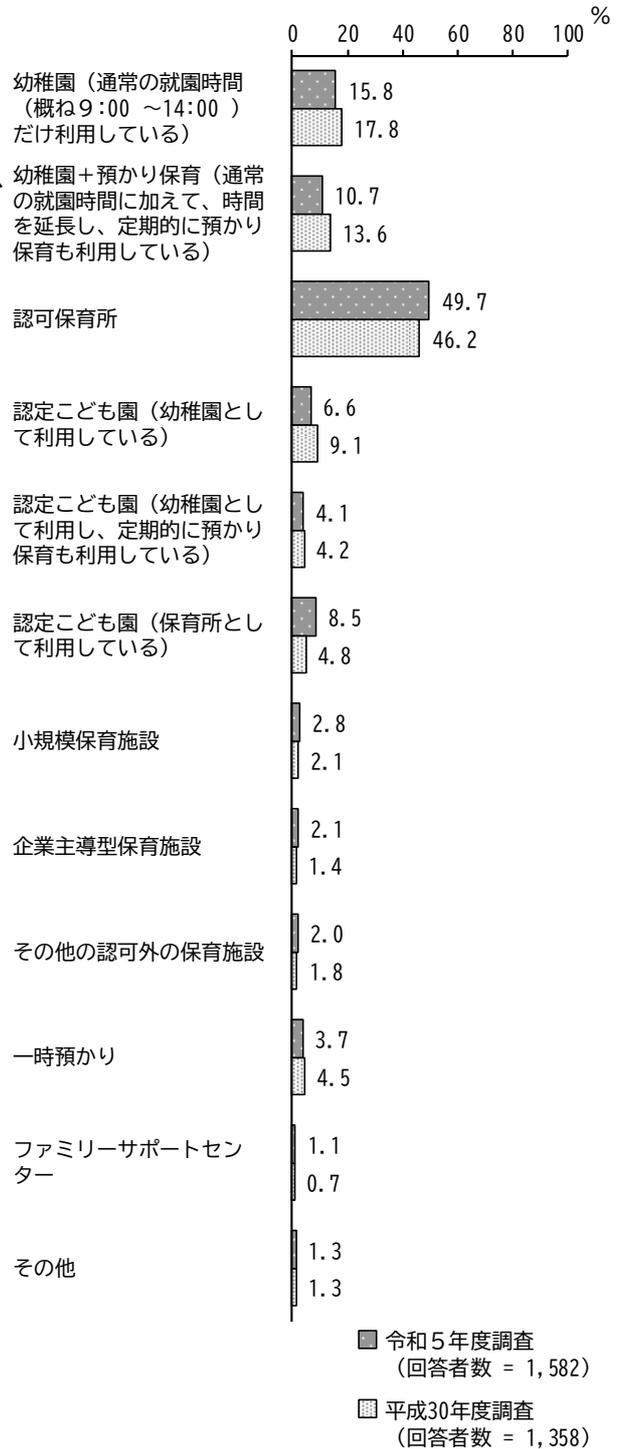
就労状況別にみると、どちらかが未就労で「利用していない」の割合が高くなっています。



問 19-1 問 19 で「1. 利用している」を選ばれた方にお伺いします。お子さんは、現在、どのような施設やサービスを利用していますか。年間を通じて平日に定期的に利用されているサービスに、○をつけてください。(○はいくつでも)

「認可保育所」の割合が 49.7% と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間（概ね 9:00 ～ 14:00）だけ利用している）」の割合が 15.8%、「幼稚園+預かり保育（通常の就園時間に加えて、時間を延長し、定期的に預かり保育も利用している）」の割合が 10.7% となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



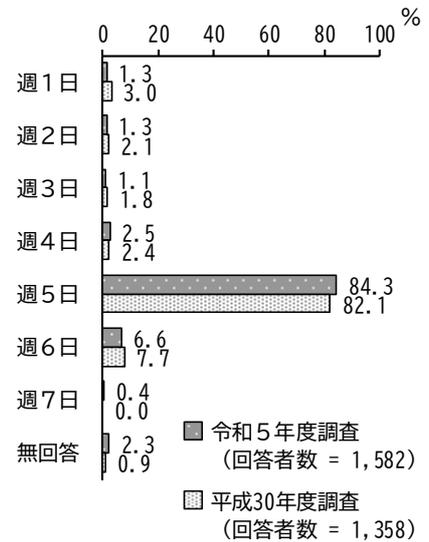
問 19-2 問 19 で「1. 利用している」を選ばれた方にお伺いします。現在利用している幼稚園や保育所、認定こども園などについて、もっとも多いパターンとして、1週間に、また、1日あたりどのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。カッコ内に具体的な数字を入れてください。※時間は、必ず（例）9時台～19時台のように24時間制でご記入ください。

（1）現在

1週当たりの幼稚園や保育所などの利用日数

「週5日」の割合が84.3%と最も高くなっています。

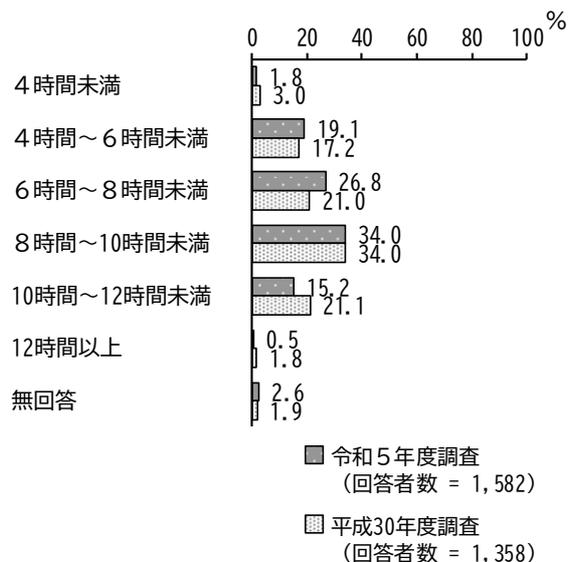
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1日当たりの利用時間

「8時間～10時間未満」の割合が34.0%と最も高く、次いで「6時間～8時間未満」の割合が26.8%、「4時間～6時間未満」の割合が19.1%となっています。

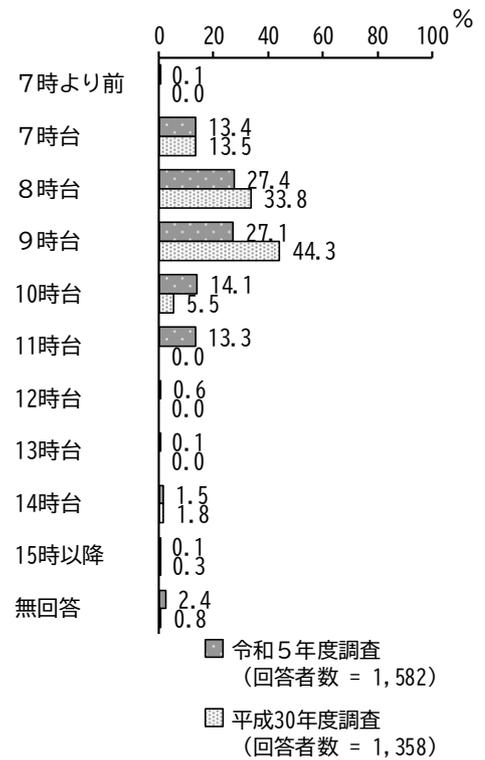
平成30年度調査と比較すると、「6時間～8時間未満」の割合が増加しています。一方、「10時間～12時間未満」の割合が減少しています。



利用開始時間

「8時台」の割合が27.4%と最も高く、次いで「9時台」の割合が27.1%、「10時台」の割合が14.1%となっています。

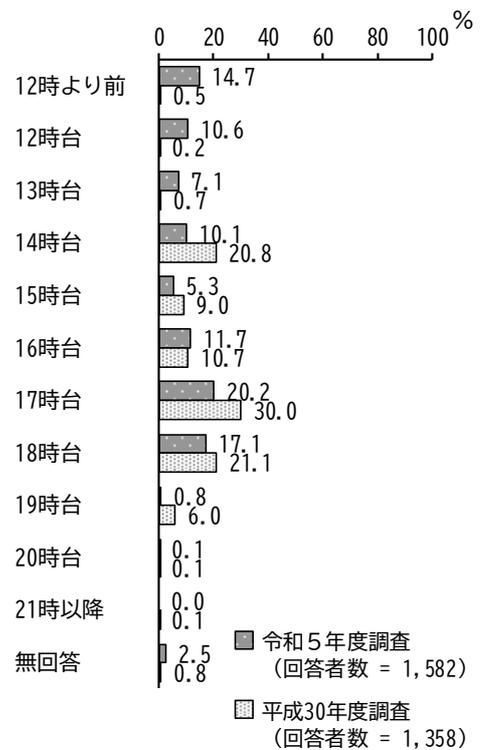
平成30年度調査と比較すると、「10時台」「11時台」の割合が増加しています。一方、「8時台」「9時台」の割合が減少しています。



利用終了時間

「17時台」の割合が20.2%と最も高く、次いで「18時台」の割合が17.1%、「12時より前」の割合が14.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「12時より前」「12時台」「13時台」の割合が増加しています。一方、「14時台」「17時台」「19時台」の割合が減少しています。

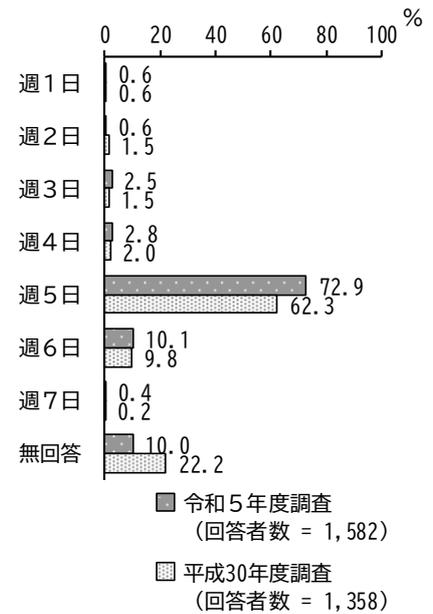


(2) 希望

1週当たりの幼稚園や保育所などの利用日数

「週5日」の割合が72.9%と最も高く、次いで「週6日」の割合が10.1%となっています。

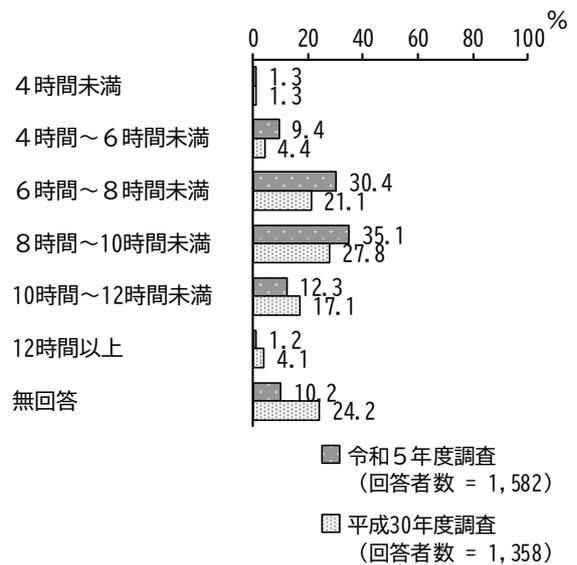
平成30年度調査と比較すると、「週5日」の割合が増加しています。



1日当たりの希望利用時間

「8時間～10時間未満」の割合が35.1%と最も高く、次いで「6時間～8時間未満」の割合が30.4%、「10時間～12時間未満」の割合が12.3%となっています。

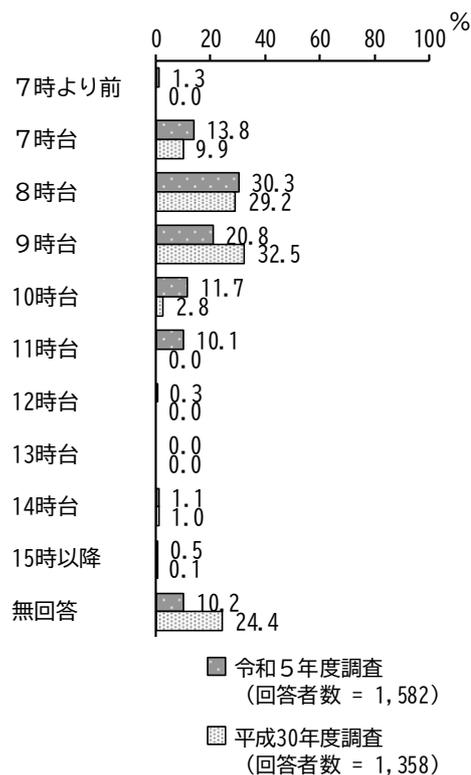
平成30年度調査と比較すると、「6時間～8時間未満」「8時間～10時間未満」の割合が増加しています。



利用開始時間

「8時台」の割合が30.3%と最も高く、次いで「9時台」の割合が20.8%、「7時台」の割合が13.8%となっています。

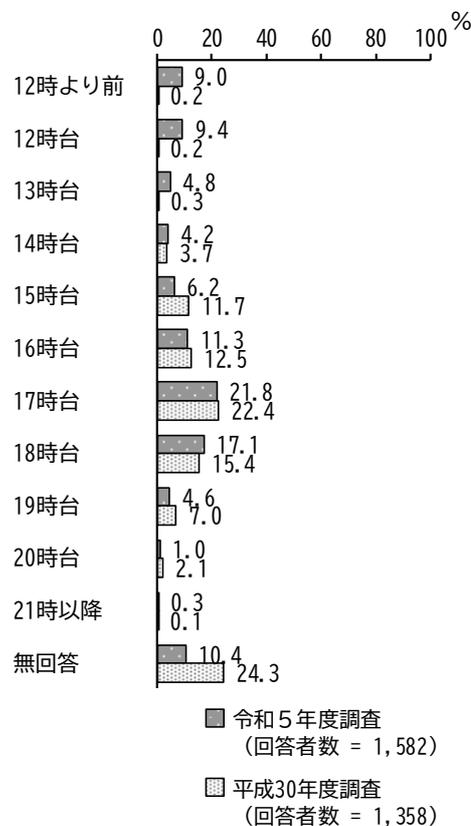
平成30年度調査と比較すると、「10時台」「11時台」の割合が増加しています。一方、「9時台」の割合が減少しています。



利用終了時間

「17時台」の割合が21.8%と最も高く、次いで「18時台」の割合が17.1%、「16時台」の割合が11.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「12時より前」「12時台」の割合が増加しています。一方、「15時台」の割合が減少しています。

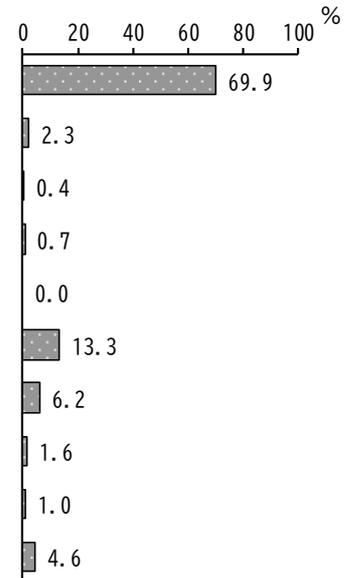


問 19-3 問 19 で「1. 利用している」を選ばれた方にお伺いします。幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用されている主な理由は何ですか。(〇は1つ)

「保護者が現在就労している」の割合が 69.9% と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」の割合が 13.3% となっています。

回答者数 = 1,582

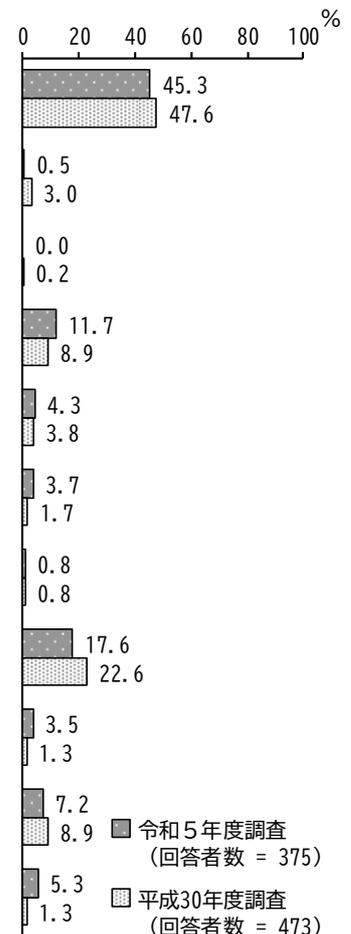
保護者が現在就労している
 保護者が就労予定である／求職中である
 保護者が家族・親族などを介護しなければならない
 保護者に病気や障害がある
 保護者が学生である
 子どもの教育や発達のため
 子どもが集団の中で遊べる場所であるため
 育児疲れやリフレッシュのため
 その他
 無回答



問 19-4 問 19 で「2. 利用していない」を選ばれた方にお伺いします。保育サービスを利用していない主な理由は何ですか。(〇は1つ)

「子どもの母親か父親がみている」の割合が 45.3% と最も高く、次いで「子どもがまだ小さい(何歳くらいになったら預けようと考えている)」の割合が 17.6%、「預けたいが、保育サービスに空きがない」の割合が 11.7% となっています。平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

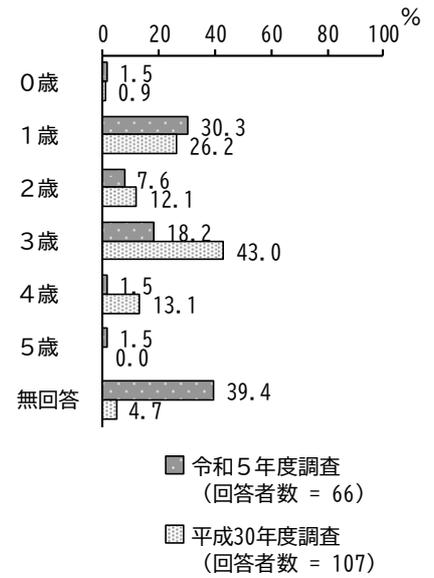
子どもの母親か父親がみている
 子どもの祖母や親戚の人がみている
 近所の人や父母の友人・知人がみている
 預けたいが、保育サービスに空きがない
 預けたいが、経済的な理由でサービスを利用できない
 預けたいが、場所や時間帯の条件が整わない
 預けたいが、サービスの質など、納得できるサービスがない
 子どもがまだ小さい(何歳くらいになったら預けようと考えている)
 どんなサービスがあるか知らない
 その他
 無回答



保育サービスを利用しようと考えている年齢

「1歳」の割合が30.3%と最も高く、次いで「3歳」の割合が18.2%となっています。

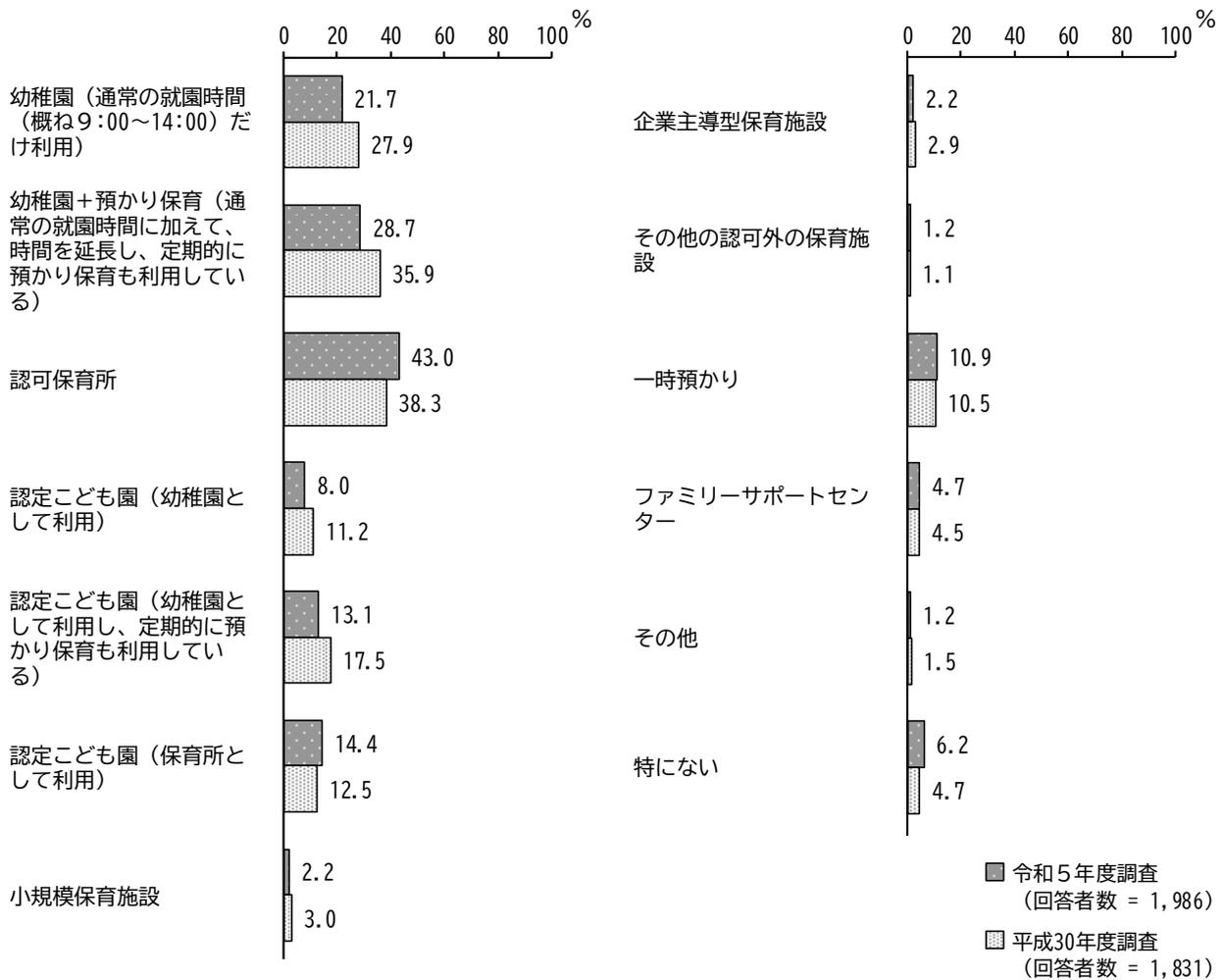
平成30年度調査と比較すると、「3歳」「4歳」の割合が減少しています。



問 20 幼稚園や保育所、認定こども園などを、現在利用している、利用していないにかかわらず、お子さんに平日に「定期的に」利用させたいもの（継続も含む）をお答えください。（〇はいくつでも）

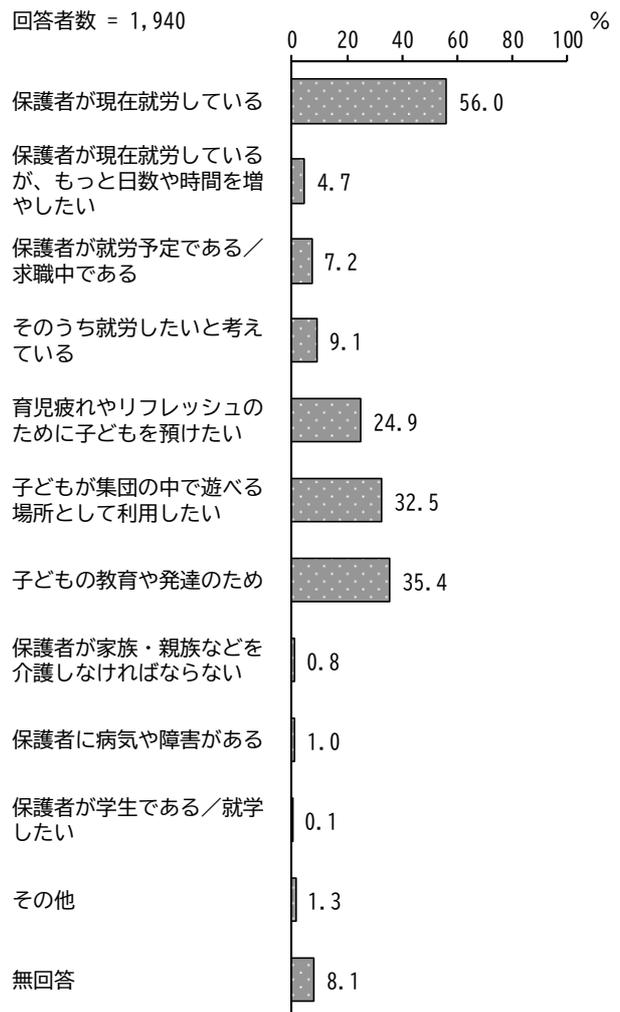
「認可保育所」の割合が43.0%と最も高く、次いで「幼稚園+預かり保育（通常の就園時間に加えて、時間を延長し、定期的に預かり保育も利用している）」の割合が28.7%、「幼稚園（通常の就園時間（概ね9:00~14:00）だけ利用）」の割合が21.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「幼稚園（通常の就園時間（概ね9:00~14:00）だけ利用）」「幼稚園+預かり保育（通常の就園時間に加えて、時間を延長し、定期的に預かり保育も利用している）」の割合が減少しています。



問 20-1 問 20 で選択したサービスの利用を希望する主な理由は何ですか。
(○は3つまで)

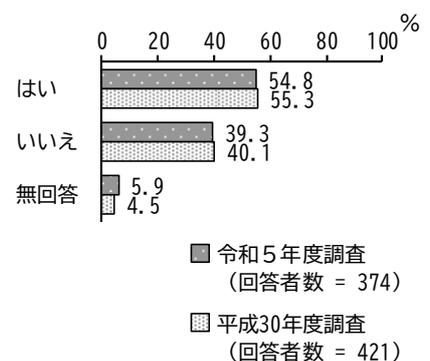
「保護者が現在就労している」の割合が 56.0% と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」の割合が 35.4%、「子どもが集団の中で遊べる場所として利用したい」の割合が 32.5%となっています。



問 20-2 問 20 で「1. 幼稚園」「2. 幼稚園+預かり保育」「4. 認定こども園（幼稚園として利用）」「5. 認定こども園（幼稚園として利用し、定期的に預かり保育も利用している）」のいずれか（幼稚園を利用）に○をつけた方で、「3. 認可保育所」または「6. 認定こども園（保育所として利用）」～「12. その他」のいずれかにも○をつけた方にお伺いします。他の施設より、特に幼稚園または認定こども園（幼稚園として利用）の利用を強く希望しますか。(○は1つ)

「はい」の割合が 54.8%、「いいえ」の割合が 39.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



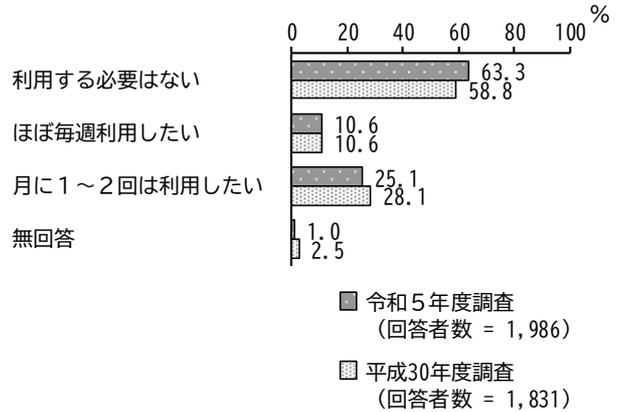
(5) 土曜日と日曜日・祝日の保育について

問 21 土曜日や日曜日・祝日に、幼稚園や保育所、認定こども園などの利用希望はありますか。(一時的な利用は除きます)(○は1つ)希望がある場合は、カッコ内に具体的な数字を入れてください。※時間は、必ず(例)9時台~19時台のように24時間制でご記入ください。

(1) 土曜日

「利用する必要はない」の割合が63.3%と最も高く、次いで「月に1~2回は利用したい」の割合が25.1%、「ほぼ毎週利用したい」の割合が10.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

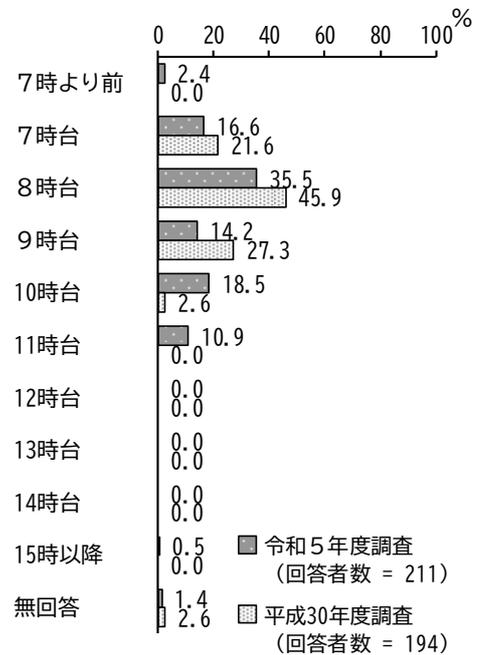


ほぼ毎週利用したい

希望開始時間

「8時台」の割合が35.5%と最も高く、次いで「10時台」の割合が18.5%、「7時台」の割合が16.6%となっています。

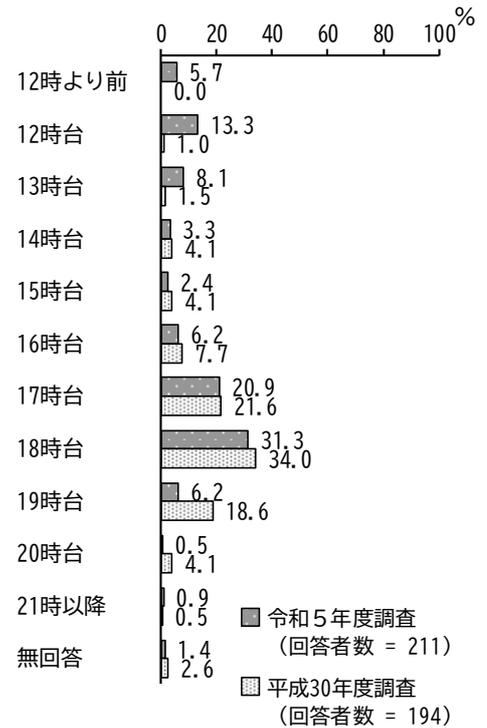
平成30年度調査と比較すると、「10時台」「11時台」の割合が増加しています。一方、「8時台」「9時台」の割合が減少しています。



希望終了時間

「18 時台」の割合が 31.3%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 20.9%、「12 時台」の割合が 13.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「12 時より前」「12 時台」「13 時台」の割合が増加しています。一方、「19 時台」の割合が減少しています。

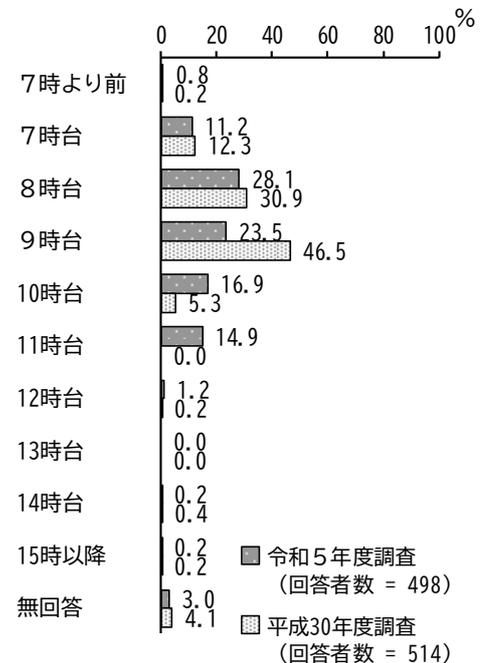


月に1～2回は利用したい

希望開始時間

「8 時台」の割合が 28.1%と最も高く、次いで「9 時台」の割合が 23.5%、「10 時台」の割合が 16.9%となっています。

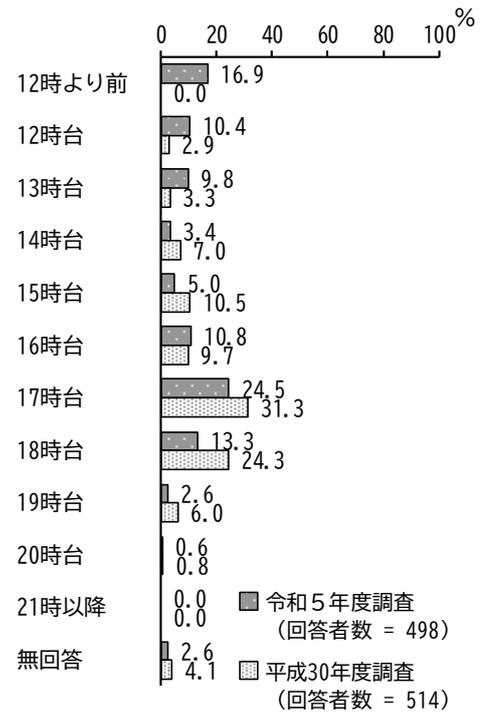
平成 30 年度調査と比較すると、「10 時台」「11 時台」の割合が増加しています。一方、「9 時台」の割合が減少しています。



希望終了時間

「17 時台」の割合が 24.5%と最も高く、次いで「12 時より前」の割合が 16.9%、「18 時台」の割合が 13.3%となっています。

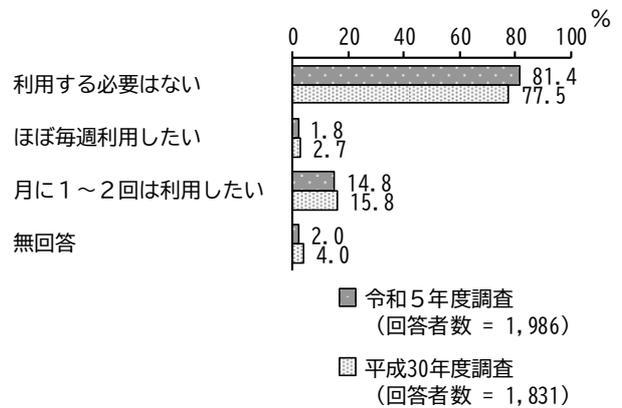
平成 30 年度調査と比較すると、「12 時より前」「12 時台」「13 時台」の割合が増加しています。一方、「15 時台」「17 時台」「18 時台」の割合が減少しています。



(2) 日曜日・祝日

「利用する必要はない」の割合が 81.4%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が 14.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

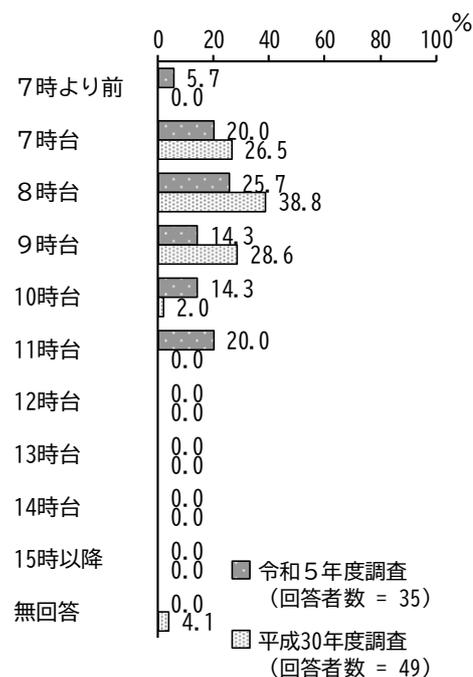


ほぼ毎週利用したい

希望開始時間

「8時台」の割合が25.7%と最も高く、次いで「7時台」、「11時台」の割合が20.0%となっています。

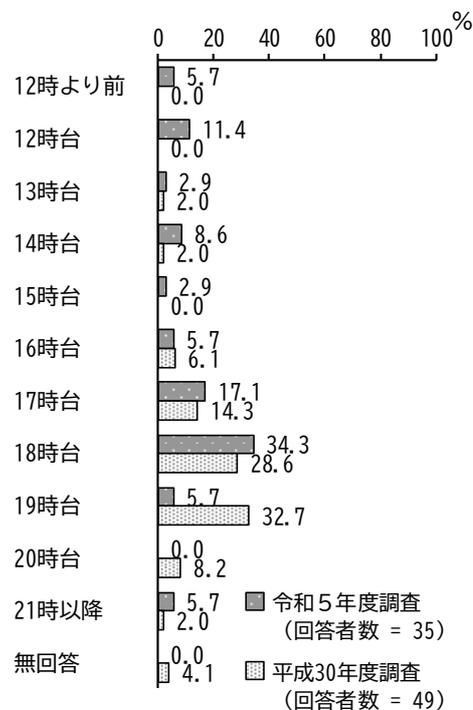
平成30年度調査と比較すると、「7時より前」「10時台」「11時台」の割合が増加しています。一方、「7時台」「8時台」「9時台」の割合が減少しています。



希望終了時間

「18時台」の割合が34.3%と最も高く、次いで「17時台」の割合が17.1%、「12時台」の割合が11.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「12時より前」「12時台」「14時台」「18時台」の割合が増加しています。一方、「19時台」「20時台」の割合が減少しています。

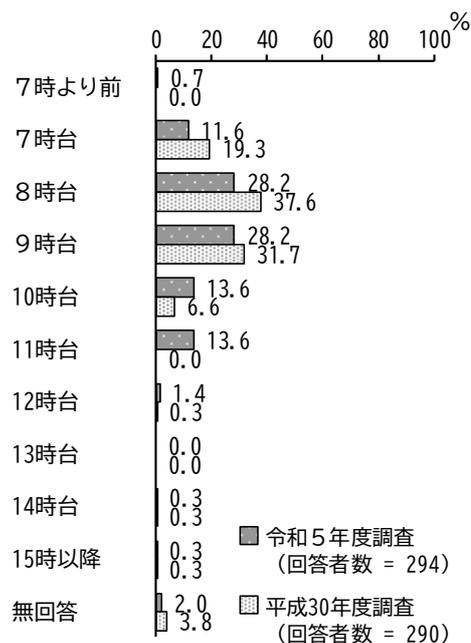


月1～2回は利用したい

希望開始時間

「8時台」、「9時台」の割合が28.2%と最も高く、次いで「10時台」、「11時台」の割合が13.6%となっています。

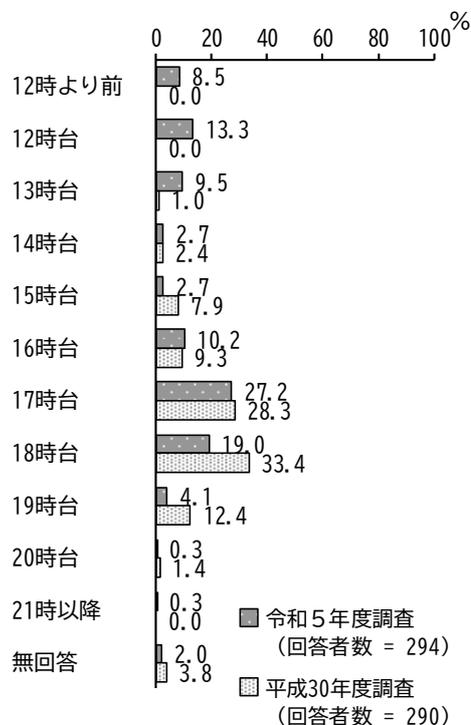
平成30年度調査と比較すると、「10時台」「11時台」の割合が増加しています。一方、「7時台」「8時台」の割合が減少しています。



希望終了時間

「17時台」の割合が27.2%と最も高く、次いで「18時台」の割合が19.0%、「12時台」の割合が13.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「12時より前」「12時台」「13時台」の割合が増加しています。一方、「15時台」「18時台」「19時台」の割合が減少しています。



問 22 「幼稚園」または「認定こども園（幼稚園として利用）」を利用されている方にお伺いします。夏休み・冬休みなど長期休業中の利用を希望しますか。（○は1つ）希望がある場合は、カッコ内に具体的な数字を入れてください。※時間は、必ず（例）9時台～17時台のように24時間制でご記入ください。※これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。

「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が43.0%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が27.6%、「休みの期間中、ほぼ毎日使いたい」の割合が26.7%、「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が26.7%となっています。

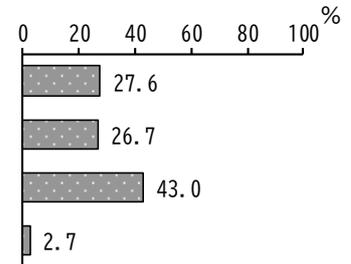
回答者数 = 554

利用する必要はない

休みの期間中、ほぼ毎日使いたい

休みの期間中、週に数日利用したい

無回答



長期休暇中、ほぼ毎日使いたい
希望開始時間

「8時台」の割合が32.4%と最も高く、次いで「9時台」、「10時台」の割合が18.2%となっています。

回答者数 = 148

7時より前

7時台

8時台

9時台

10時台

11時台

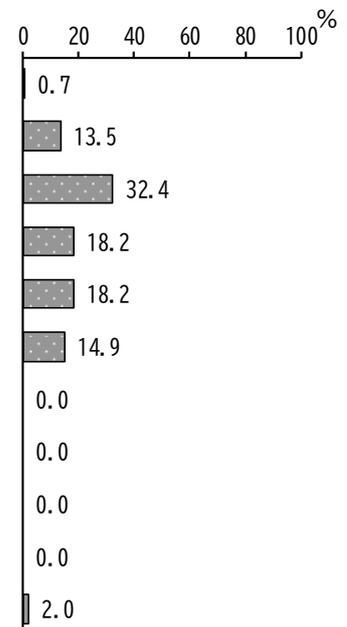
12時台

13時台

14時台

15時以降

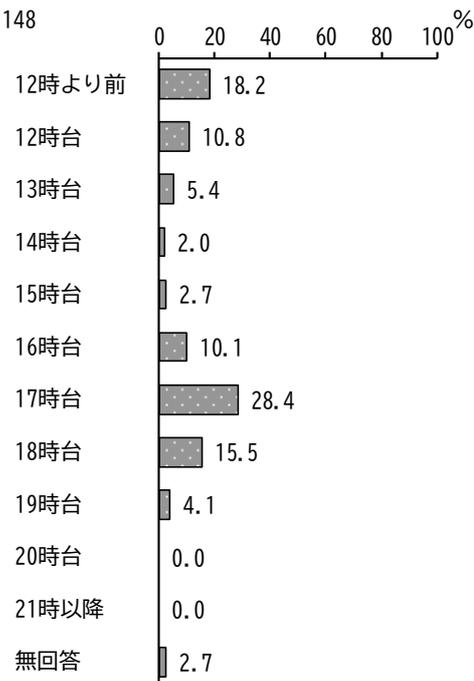
無回答



希望終了時間

「17 時台」の割合が 28.4%と最も高く、次いで「12 時より前」の割合が 18.2%、「18 時台」の割合が 15.5%となっています。

回答者数 = 148

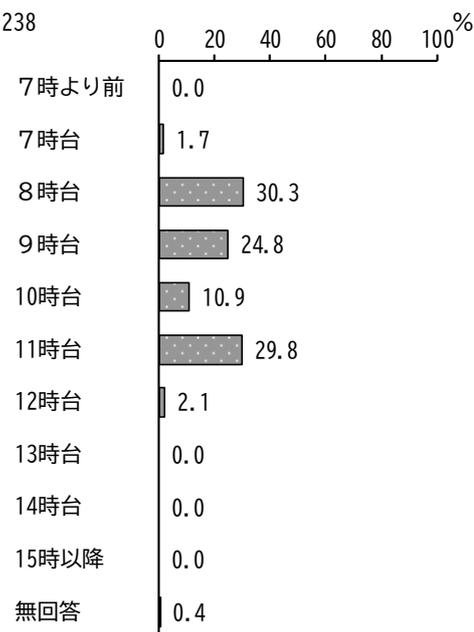


休みの期間中、週に数日利用したい

希望開始時間

「8 時台」の割合が 30.3%と最も高く、次いで「11 時台」の割合が 29.8%、「9 時台」の割合が 24.8%となっています。

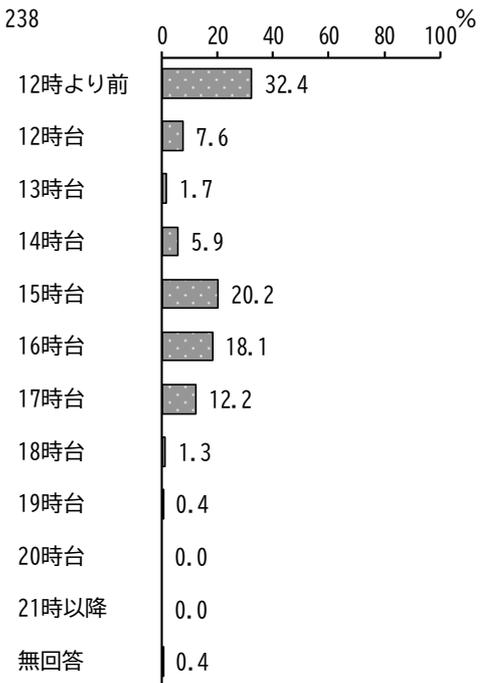
回答者数 = 238



希望終了時間

「12 時より前」の割合が 32.4%と最も高く、次いで「15 時台」の割合が 20.2%、「16 時台」の割合が 18.1%となっています。

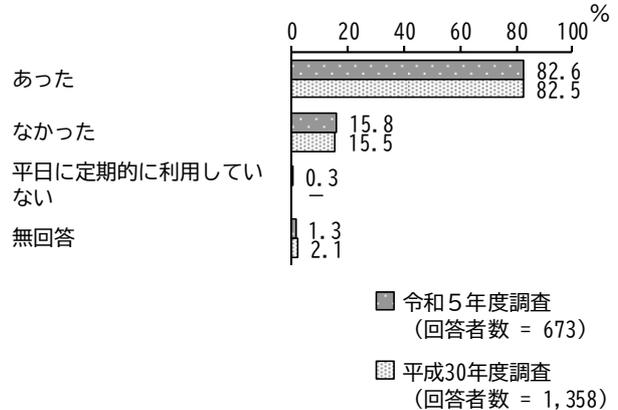
回答者数 = 238



(6) 病児・病後児の保育の利用について

問 23 問 19-1 で平日に定期的に幼稚園や保育所、認定こども園などを利用していると答えた保護者の方に、お伺いします。この1年間に、お子さんが病気やけがで、幼稚園や保育所、認定こども園などを利用できなかったことはありますか。
(○は1つ)

「あった」の割合が 82.6%と最も高く、次いで「なかった」の割合が 15.8%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

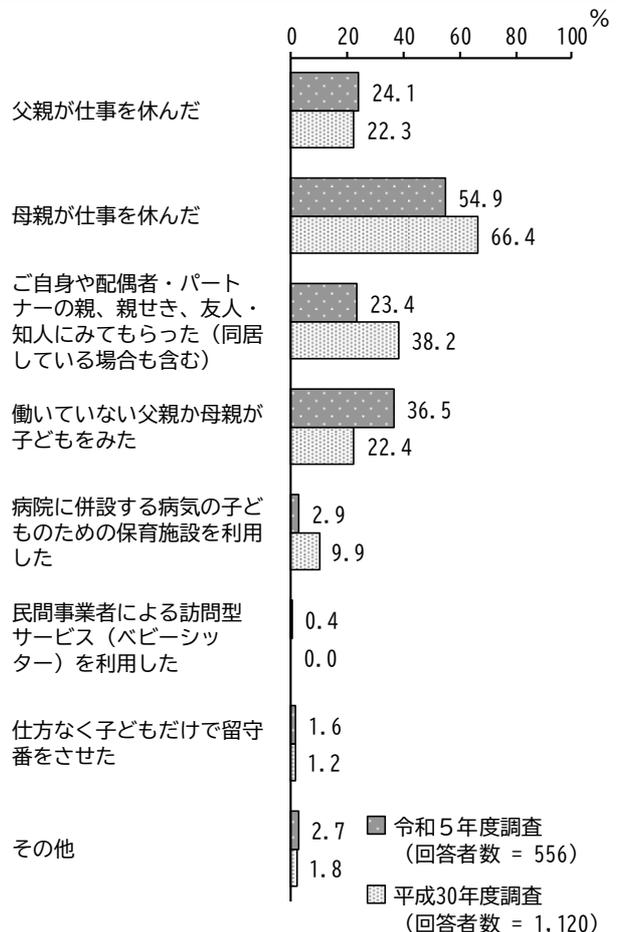


※前回調査では、「平日に定期的に利用していない」の選択肢はありませんでした。

問 23-1 問 23 で「1. あった」を選ばれた方にお伺いします。この1年間で、お子さんが病気で幼稚園や保育所、認定こども園などを利用できなかった場合の対処方法とその日数は何日くらいですか。その日数についてカッコ内に具体的な数字を入れてください。(半日程度についても1日としてカウントしてください)
(○はいくつでも)

「母親が仕事を休んだ」の割合が 54.9%と最も高く、次いで「働いていない父親か母親が子どもをみた」の割合が 36.5%、「父親が仕事を休んだ」の割合が 24.1%となっています。

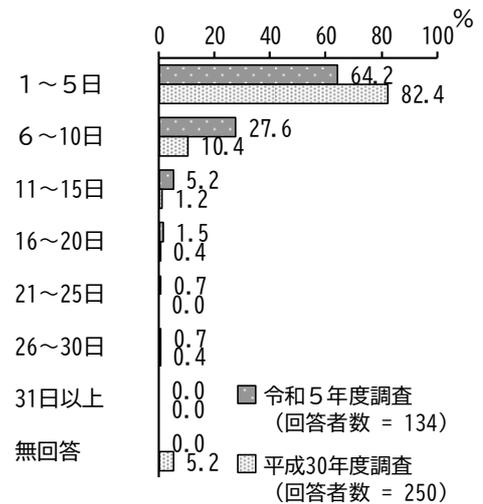
平成 30 年度調査と比較すると、「働いていない父親か母親が子どもをみた」の割合が増加しています。一方、「母親が仕事を休んだ」「ご自身や配偶者・パートナーの親、親せき、友人・知人にみてもらった(同居している場合も含む)」「病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した」の割合が減少しています。



ア. 父親が仕事を休んだ日数

「1～5日」の割合が64.2%と最も高く、次いで「6～10日」の割合が27.6%となっています。

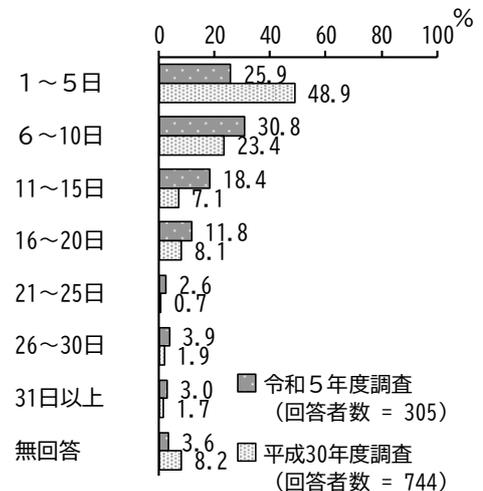
平成30年度調査と比較すると、「6～10日」の割合が増加しています。一方、「1～5日」の割合が減少しています。



イ. 母親が仕事を休んだ日数

「6～10日」の割合が30.8%と最も高く、次いで「1～5日」の割合が25.9%、「11～15日」の割合が18.4%となっています。

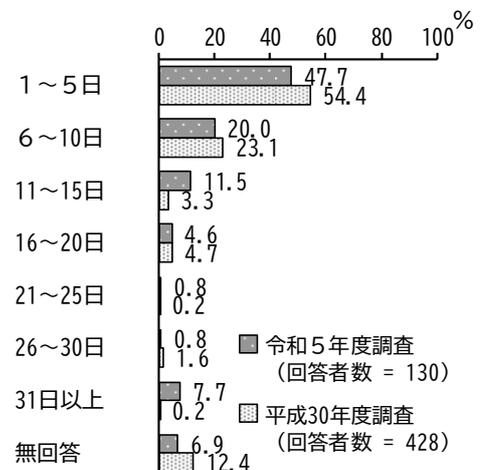
平成30年度調査と比較すると、「6～10日」「11～15日」の割合が増加しています。一方、「1～5日」の割合が減少しています。



ウ. ご自身や配偶者・パートナーの親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）日数

「1～5日」の割合が47.7%と最も高く、次いで「6～10日」の割合が20.0%、「11～15日」の割合が11.5%となっています。

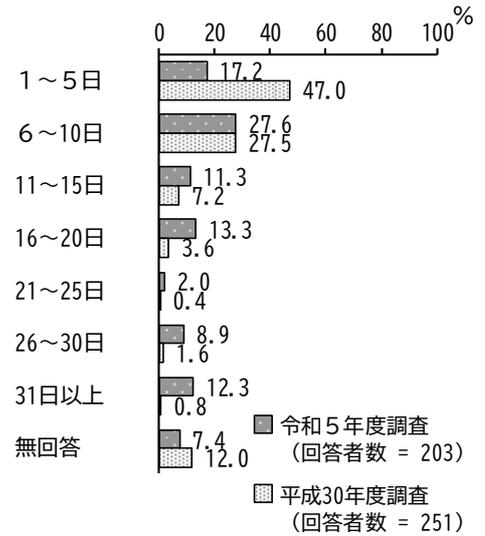
平成30年度調査と比較すると、「11～15日」「31日以上」の割合が増加しています。一方、「1～5日」の割合が減少しています。



エ. 働いていない父親か母親が子どもをみた日数

「6～10日」の割合が27.6%と最も高く、次いで「1～5日」の割合が17.2%、「16～20日」の割合が13.3%となっています。

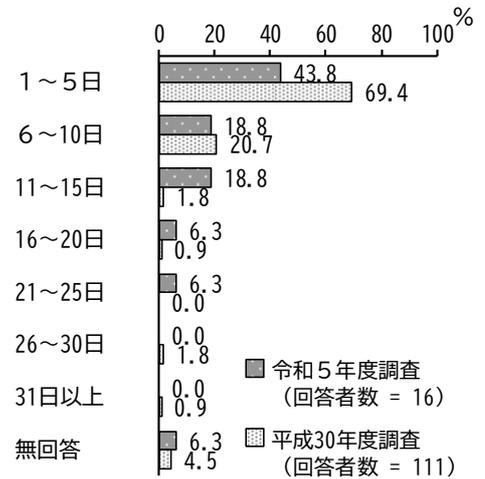
平成30年度調査と比較すると、「16～20日」「26～30日」「31日以上」の割合が増加しています。一方、「1～5日」の割合が減少しています。



オ. 病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した日数

「1～5日」の割合が43.8%と最も高く、次いで「6～10日」「11～15日」の割合が18.8%となっています。

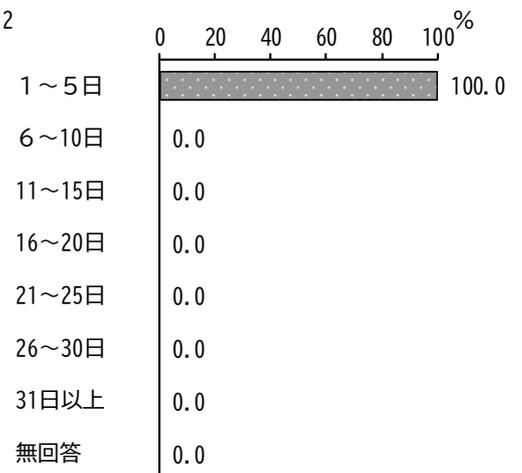
平成30年度調査と比較すると、「11～15日」「16～20日」「21～25日」の割合が増加しています。一方、「1～5日」の割合が減少しています。



カ. 民間事業者による訪問型サービス（ベビーシッター）を利用した日数

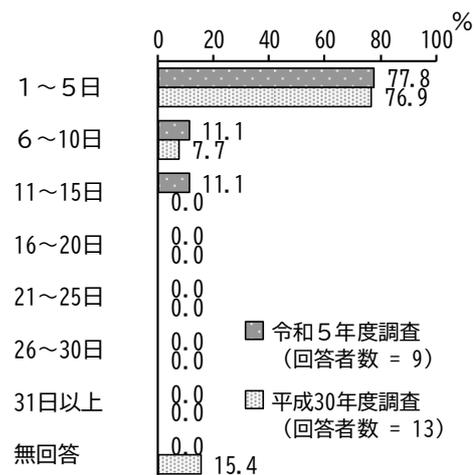
「1～5日」が2件となっています。

回答者数 = 2



キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数

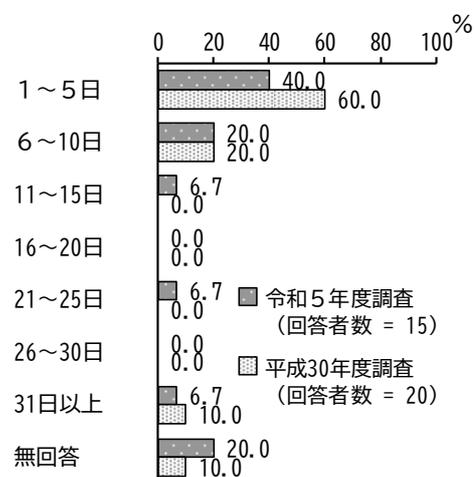
「1～5日」が7件となっています。「6～10日」、「11～15日」が1件となっています。



ク. その他の日数

「1～5日」の割合が40.0%と最も高く、次いで「6～10日」の割合が20.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「11～15日」「21～25日」の割合が増加しています。一方、「1～5日」の割合が減少しています。



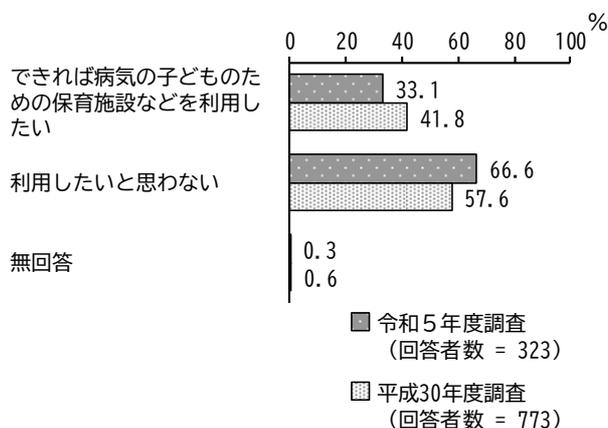
問 23-2 問 23-1 で「ア. 父親が仕事を休んだ」「イ. 母親が仕事を休んだ」を選ばれた方にお伺いします。そのときに「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。

(○は1つ) 希望がある方はカッコ内に具体的な数字を入れてください。

※病気の子どものための保育施設などの利用には、一定の利用料がかかり、また、利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要な場合があります。

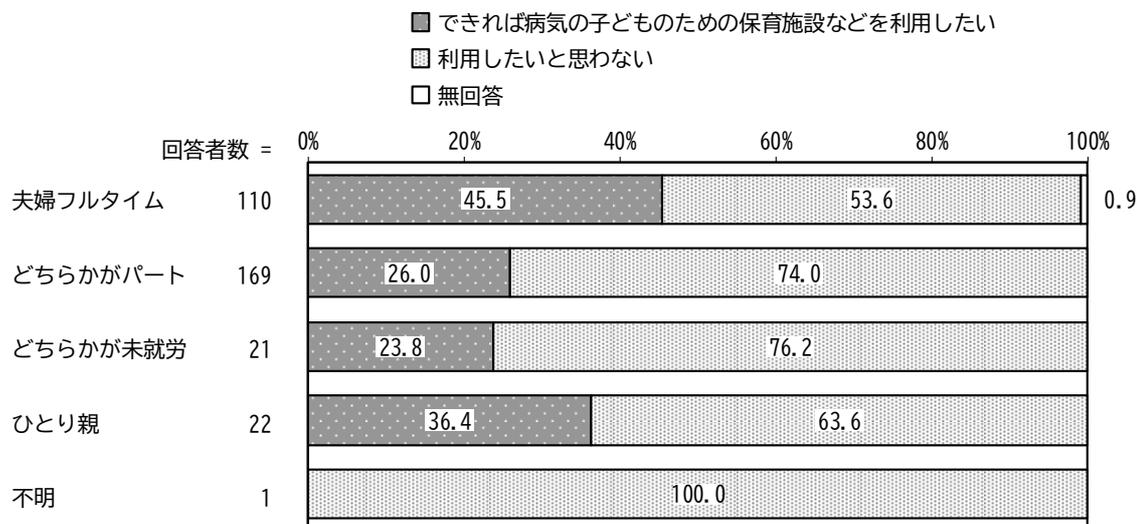
「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」の割合が 33.1%、「利用したいと思わない」の割合が 66.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用したいと思わない」の割合が増加しています。一方、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」の割合が減少しています。



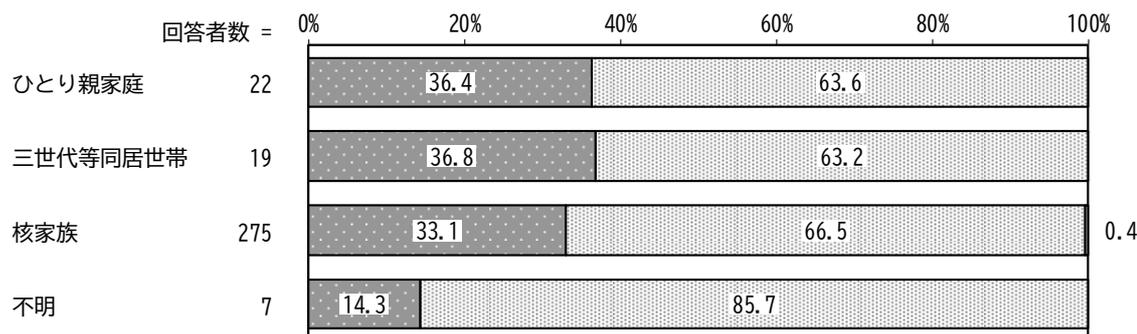
【就労状況別】

就労状況別にみると、夫婦フルタイムで「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」の割合が高くなっています。



【世帯類型別】

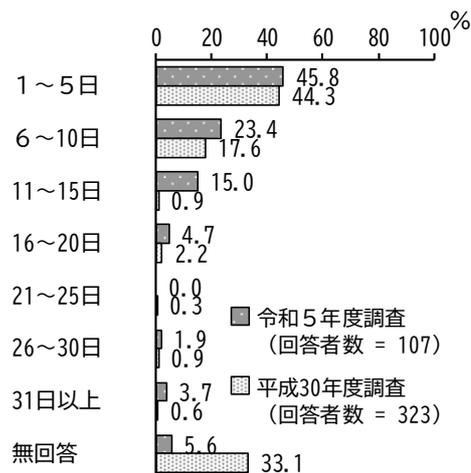
世帯類型別にみると、大きな差はみられません。



病児・病後保育の利用したい日数

「1～5日」の割合が45.8%と最も高く、次いで「6～10日」の割合が23.4%、「11～15日」の割合が15.0%となっています。

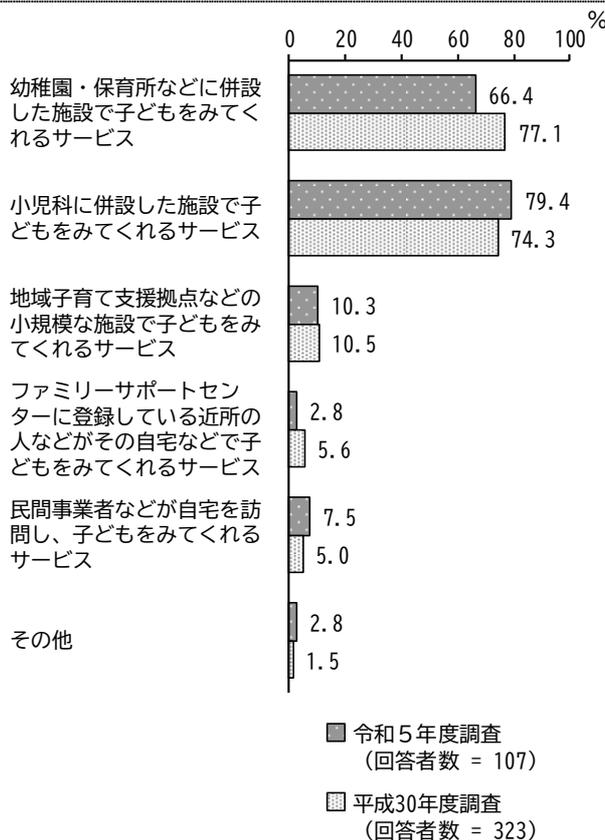
平成30年度調査と比較すると、「6～10日」「11～15日」の割合が増加しています。



問23-3 問23-2で「1. できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」を選ばれた方にお伺いします。利用する場合、下記のいずれのサービスが望ましいと思われますか。(〇はいくつでも)

「小児科に併設した施設で子どもをみてくれるサービス」の割合が79.4%と最も高く、次いで「幼稚園・保育所などに併設した施設で子どもをみてくれるサービス」の割合が66.4%、「地域子育て支援拠点などの小規模な施設で子どもをみてくれるサービス」の割合が10.3%となっています。

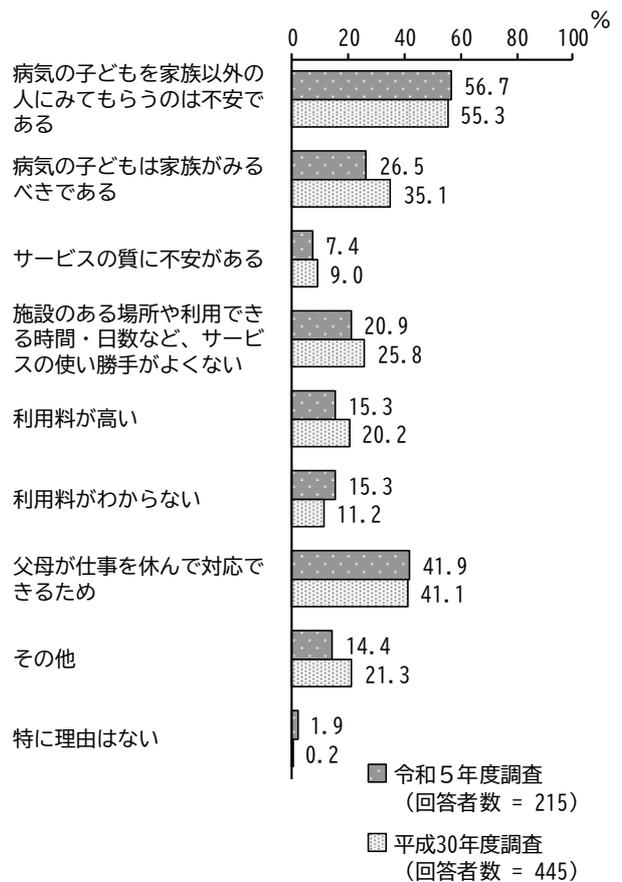
平成30年度調査と比較すると、「小児科に併設した施設で子どもをみてくれるサービス」の割合が増加しています。一方、「幼稚園・保育所などに併設した施設で子どもをみてくれるサービス」の割合が減少しています。



問 23-4 問 23-2で「2. 利用したいと思わない」を選ばれた方にお伺いします。その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「病気の子どもを家族以外の人にみてもらうのは不安である」の割合が56.7%と最も高く、次いで「父母が仕事を休んで対応できるため」の割合が41.9%、「病気の子どもは家族がみるべきである」の割合が26.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「病気の子どもは家族がみるべきである」の割合が減少しています。



(7) 一時預かりの利用について

問 24 この1年間に、私用、ご自身やご家族の通院、不定期な仕事やリフレッシュなどを理由として、子どもを預かるサービスを「不定期に」利用しましたか。
 (〇はいくつでも) 1年間のおおよその利用日数についてカッコ内に具体的な数字を入れてください。※幼稚園や保育所、認定こども園などの定期的な利用や子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。

「利用していない」の割合が79.8%と最も高くなっています。
 平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

一時預かり（私用などの理由で、保育所などで一時的に子どもを保育するサービス）

幼稚園や認定こども園の預かり保育（幼稚園等に通う子どもを対象にして、通常の就園時間を延長して預かるサービスを不定期に利用している場合）

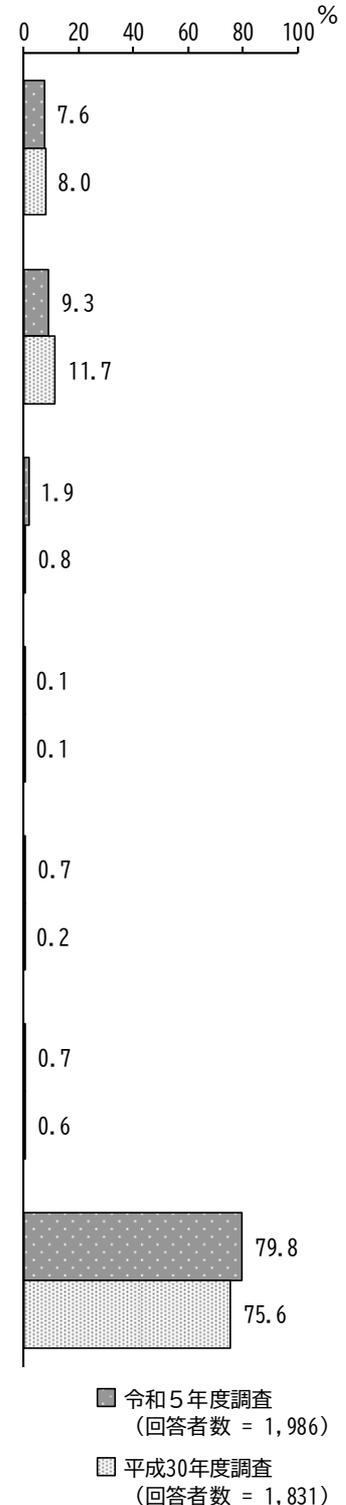
ファミリーサポートセンター（有償ボランティアによる子どもの預かりや送迎を受けられる事業）

夜間養護事業：トワイライトステイ（仕事などの理由により、児童養護施設などで休日や夜間に子どもを一時的に預かるもの）

ベビーシッター

その他

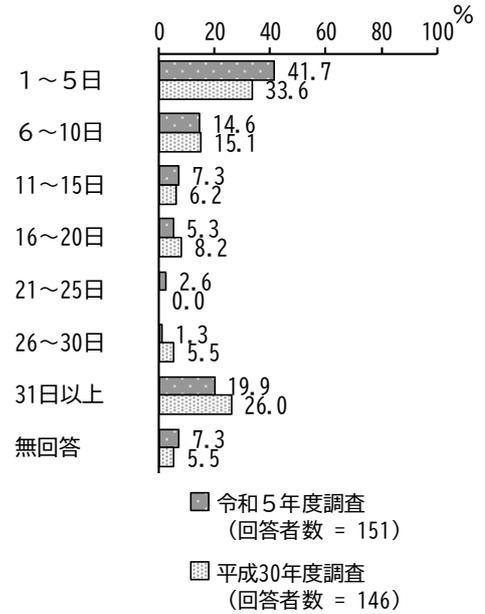
利用していない



1. 一時預かり（私用などの理由で、保育所などで一時的に子どもを保育するサービス）の日数

「1～5日」の割合が41.7%と最も高く、次いで「31日以上」の割合が19.9%、「6～10日」の割合が14.6%となっています。

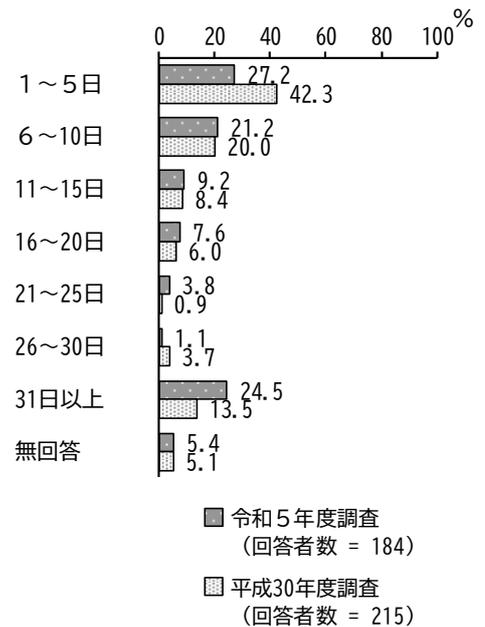
平成30年度調査と比較すると、「1～5日」の割合が増加しています。一方、「31日以上」の割合が減少しています。



2. 幼稚園や認定こども園の預かり保育（幼稚園等に通う子どもを対象にして、通常の就園時間を延長して預かるサービスを不定期に利用している場合）の日数

「1～5日」の割合が27.2%と最も高く、次いで「31日以上」の割合が24.5%、「6～10日」の割合が21.2%となっています。

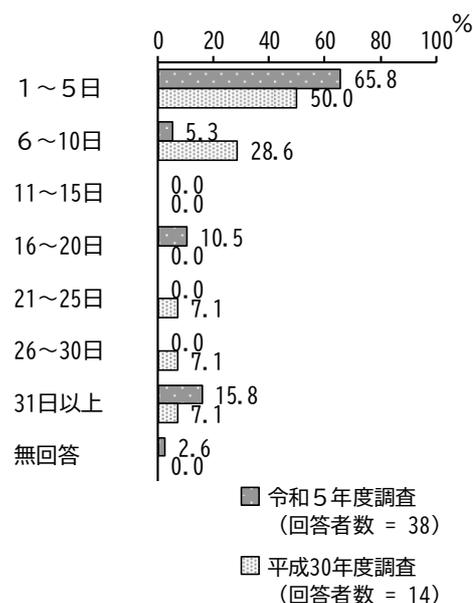
平成30年度調査と比較すると、「31日以上」の割合が増加しています。一方、「1～5日」の割合が減少しています。



3. ファミリーサポートセンター（有償ボランティアによる子どもの預かりや送迎を受けられる事業）の日数

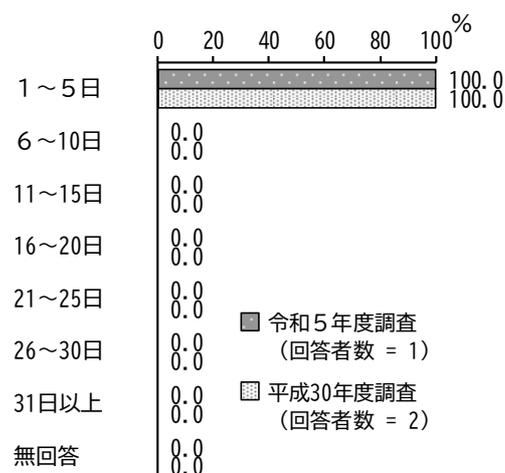
「1～5日」の割合が65.8%と最も高く、次いで「31日以上」の割合が15.8%、「16～20日」の割合が10.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1～5日」「16～20日」「31日以上」の割合が増加しています。一方、「6～10日」「21～25日」「26～30日」の割合が減少しています。



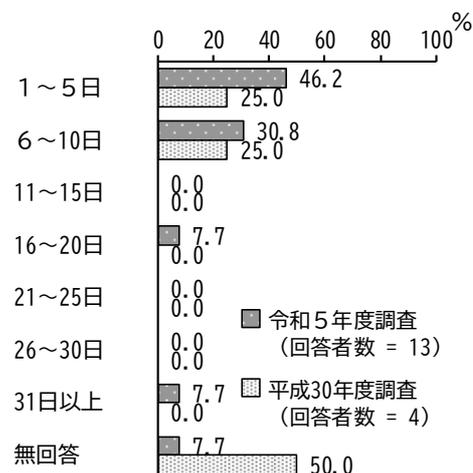
4. 夜間養護事業：トワイライトステイ（仕事などの理由により、児童養護施設などで休日や夜間に子どもを一時的に預かるもの）の日数

「1～5日」が1件となっています。



5. ベビーシッターの日数

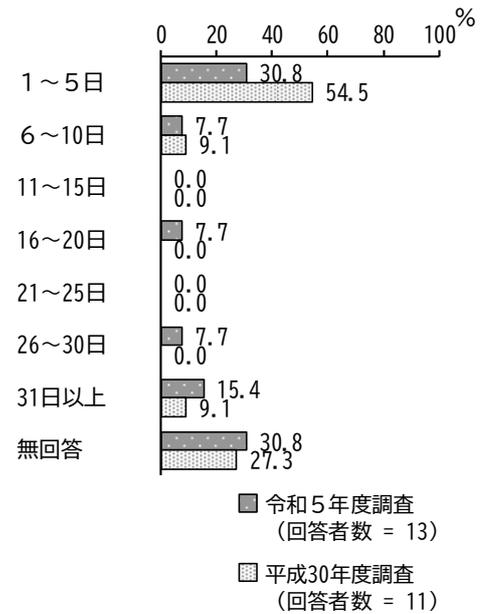
「1～5日」の割合が46.2%と最も高く、次いで「6～10日」の割合が30.8%となっています。



6. その他の日数

「1～5日」の割合が30.8%と最も高く、次いで「31日以上」の割合が15.4%となっています。

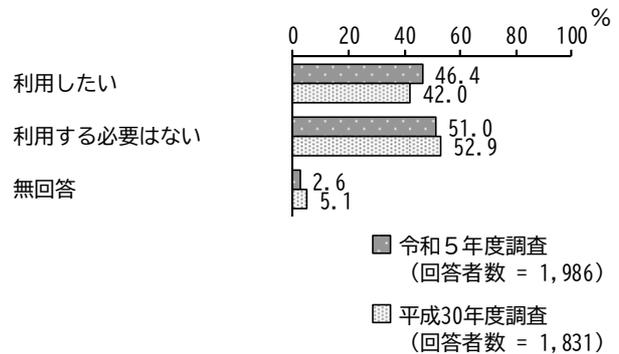
平成30年度調査と比較すると、「16～20日」「26～30日」「31日以上」の割合が増加しています。一方、「1～5日」の割合が減少しています。



問25 私用、ご自身やご家族の通院、不規則な仕事やリフレッシュなどを理由に、保育所などで実施されている「一時預かり」について、1年間に何日くらいを利用したいと思いますか。(○は1つ) また、利用したい場合、利用したい目的ごとにカッコ内に日数を記入し、合計のカッコ内についても記入してください。※サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

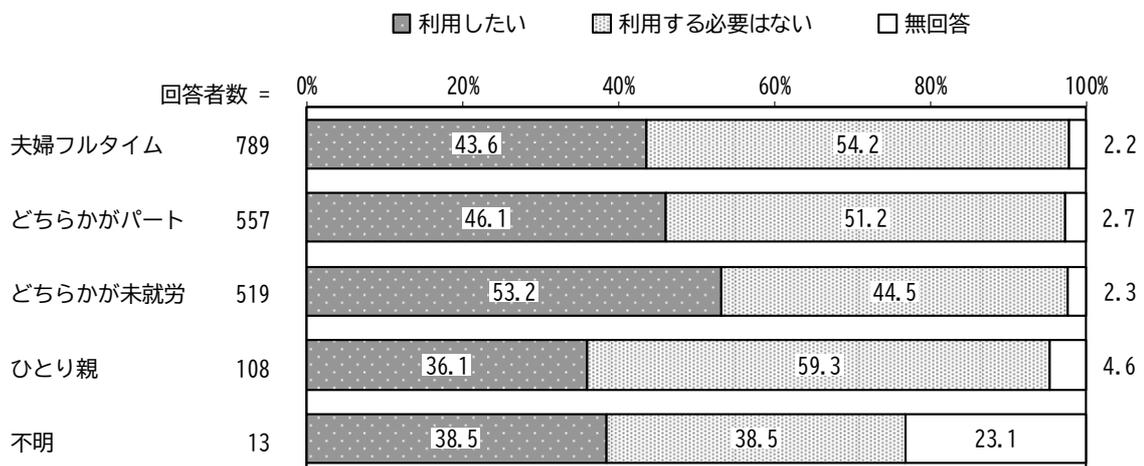
「利用したい」の割合が46.4%、「利用する必要はない」の割合が51.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



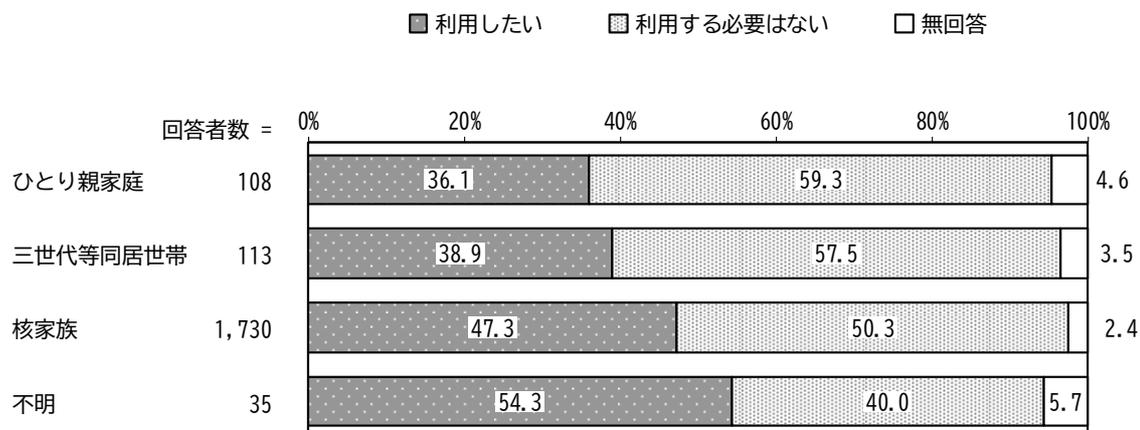
【就労状況別】

就労状況別にみると、ひとり親で「利用する必要はない」の割合が高くなっています。



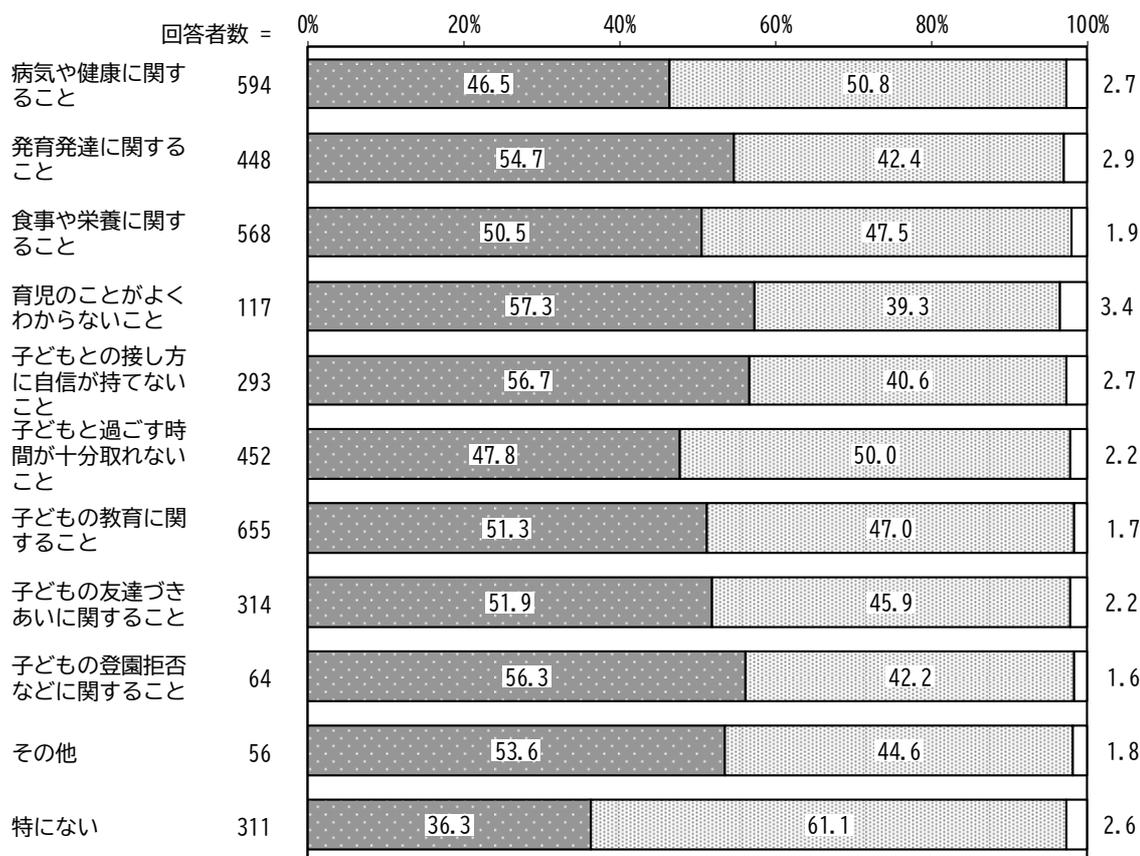
【世帯類型別】

世帯類型別にみると、ひとり親家庭で「利用する必要はない」の割合が高くなっています。



【子どもに関する悩み別】

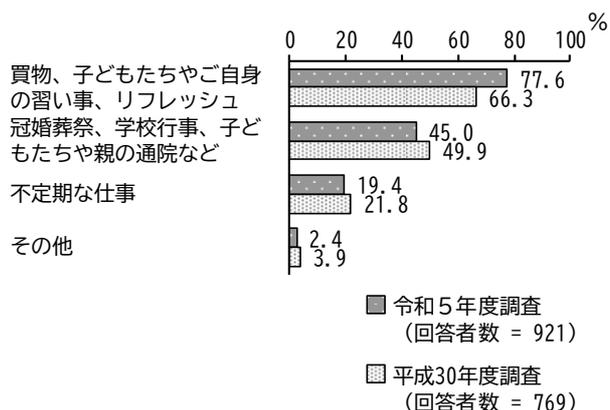
子どもに関する悩み別にみると、育児のことがよくわからないことで「利用したい」の割合が高くなっています。



利用目的

「買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ」の割合が77.6%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など」の割合が45.0%、「不定期な仕事」の割合が19.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ」の割合が増加しています。



【就労状況別】

就労状況別にみると、どちらかがパートで「不定期な仕事」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ	冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など	不定期な仕事	その他	無回答
全体	921	77.6	45.0	19.4	2.4	4.3
夫婦フルタイム	344	80.8	49.4	20.3	2.0	3.2
どちらかがパート	257	72.0	39.3	27.2	1.2	7.4
どちらかが未就労	276	79.3	46.7	10.5	4.3	2.5
ひとり親	39	76.9	33.3	20.5	—	5.1
不明	5	60.0	20.0	40.0	—	20.0

【世帯類型別】

世帯類型別にみると、不明で「不定期な仕事」の割合が高くなっています。

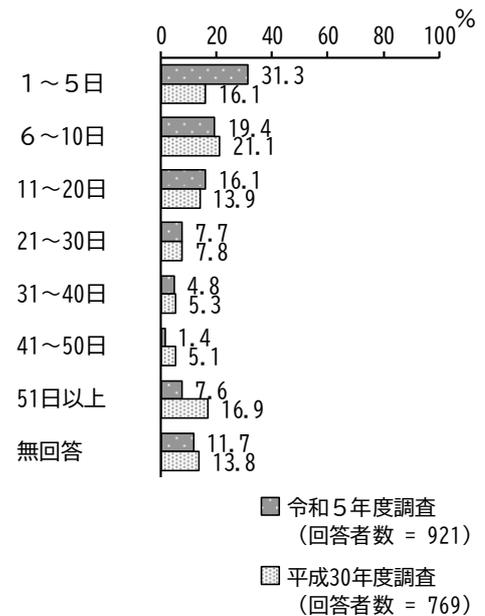
単位：%

区分	回答者数 (件)	買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ	冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など	不定期な仕事	その他	無回答
全体	921	77.6	45.0	19.4	2.4	4.3
ひとり親家庭	39	76.9	33.3	20.5	—	5.1
三世帯等同居世帯	44	81.8	40.9	25.0	—	6.8
核家族	819	77.7	45.9	18.8	2.7	4.2
不明	19	68.4	36.8	31.6	—	5.3

一時預かりの希望合計日数

「1～5日」の割合が31.3%と最も高く、次いで「6～10日」の割合が19.4%、「11～20日」の割合が16.1%となっています。

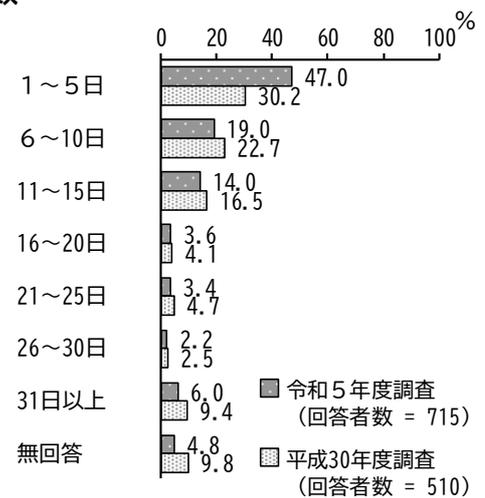
平成30年度調査と比較すると、「1～5日」の割合が増加しています。一方、「51日以上」の割合が減少しています。



ア. 買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュの日数

「1～5日」の割合が47.0%と最も高く、次いで「6～10日」の割合が19.0%、「11～15日」の割合が14.0%となっています。

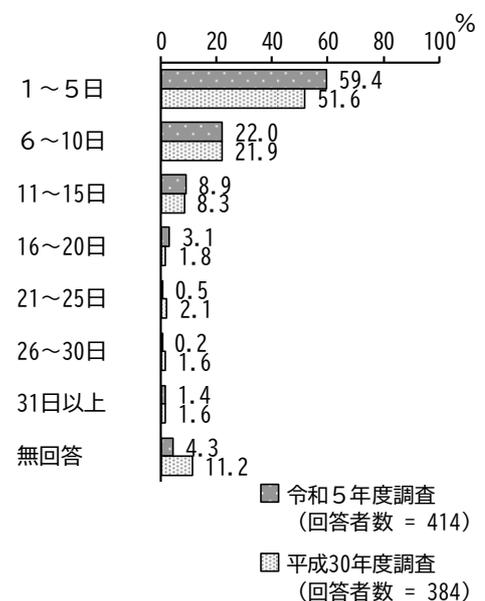
平成30年度調査と比較すると、「1～5日」の割合が増加しています。



イ. 冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院などの日数

「1～5日」の割合が59.4%と最も高く、次いで「6～10日」の割合が22.0%となっています。

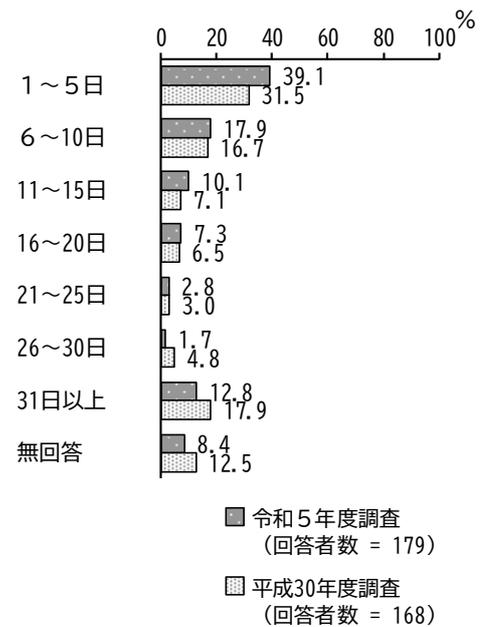
平成30年度調査と比較すると、「1～5日」の割合が増加しています。



ウ. 不定期な仕事の日数

「1～5日」の割合が39.1%と最も高く、次いで「6～10日」の割合が17.9%、「31日以上」の割合が12.8%となっています。

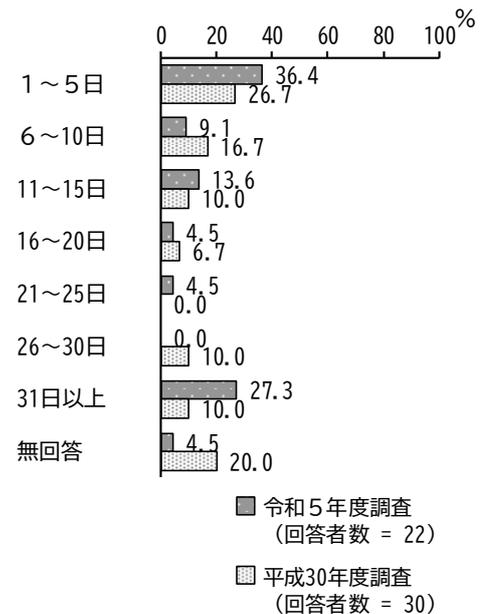
平成30年度調査と比較すると、「1～5日」の割合が増加しています。一方、「31日以上」の割合が減少しています。



エ. その他の日数

「1～5日」の割合が36.4%と最も高く、次いで「31日以上」の割合が27.3%、「11～15日」の割合が13.6%となっています。

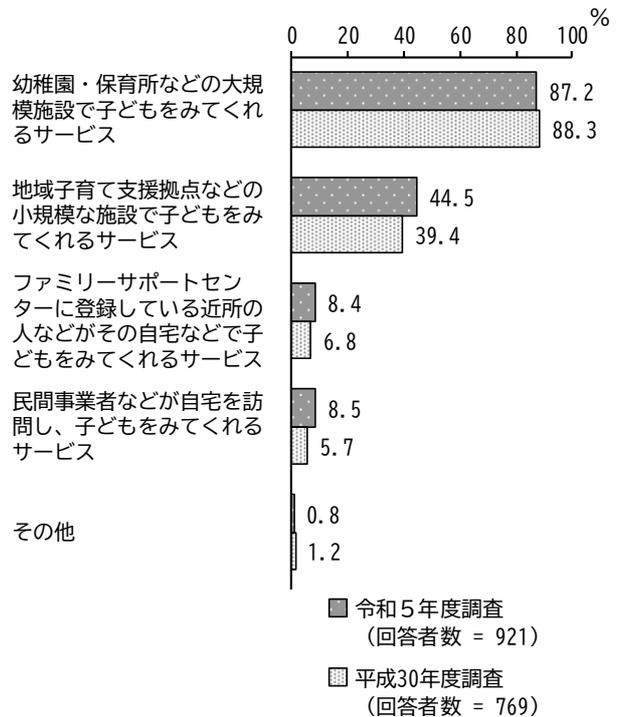
平成30年度調査と比較すると、「1～5日」「31日以上」の割合が増加しています。一方、「6～10日」「26～30日」の割合が減少しています。



問 25-1 問 25 で「1. 利用したい」を選ばれた方にお伺いします。問 25 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの子育て支援サービスが望ましいと思われますか。(〇はいくつでも) ※サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

「幼稚園・保育所などの大規模施設で子どもをみてるサービス」の割合が 87.2%と最も高く、次いで「地域子育て支援拠点などの小規模な施設で子どもをみてるサービス」の割合が 44.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「地域子育て支援拠点などの小規模な施設で子どもをみてるサービス」の割合が増加しています。



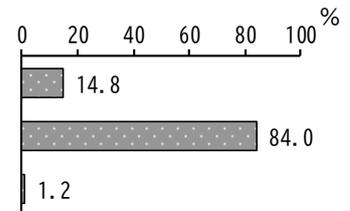
(8) 宿泊を伴う一時預かりの利用について

問 26 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください。（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳泊数を枠内に具体的な数字を入れてください。）なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が 14.8%、「利用する必要はない」の割合が 84.0%となっています。

回答者数 = 1,986

利用したい
利用する必要はない
無回答

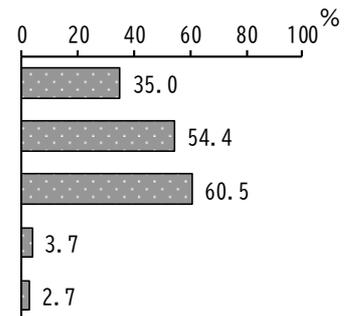


利用目的

「保護者や家族の病気」の割合が 60.5%と最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が 54.4%、「冠婚葬祭」の割合が 35.0%となっています。

回答者数 = 294

冠婚葬祭
保護者や家族の育児疲れ・不安
保護者や家族の病気
その他
無回答

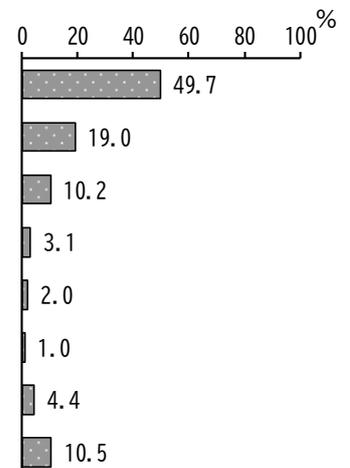


保護者の用事により家族以外に預けたい合計泊数

「1～5日」の割合が 49.7%と最も高く、次いで「6～10日」の割合が 19.0%、「11～20日」の割合が 10.2%となっています。

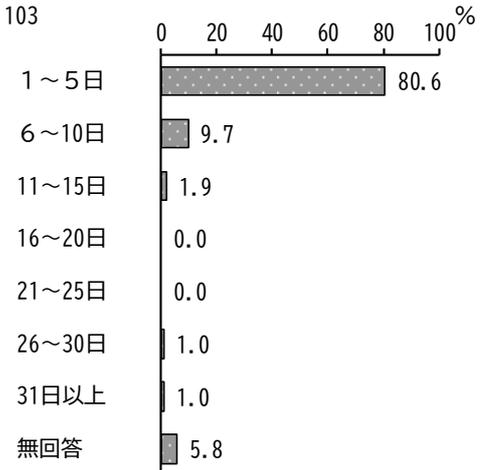
回答者数 = 294

1～5日
6～10日
11～20日
21～30日
31～40日
41～50日
51日以上
無回答



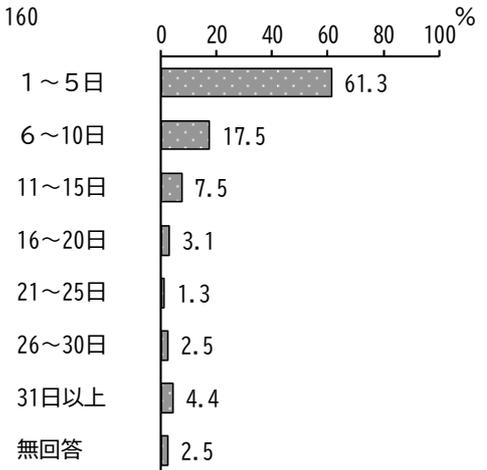
ア. 冠婚葬祭の泊数

「1～5日」の割合が80.6%と最も高くなって
います。 回答者数 = 103



イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安の泊数

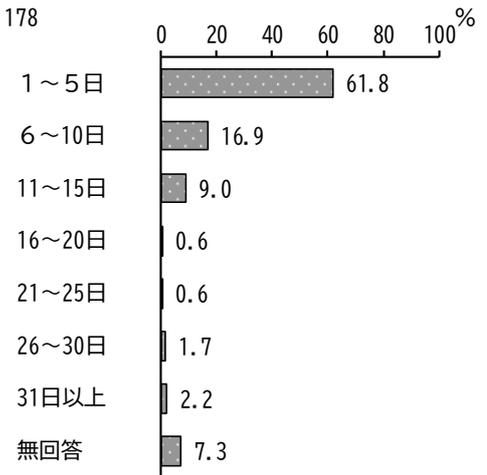
「1～5日」の割合が61.3%と最も高く、次いで「6～10日」の割合が17.5%となっています。 回答者数 = 160



ウ. 保護者や家族の病気の泊数

「1～5日」の割合が61.8%と最も高く、次いで「6～10日」の割合が16.9%となっています。

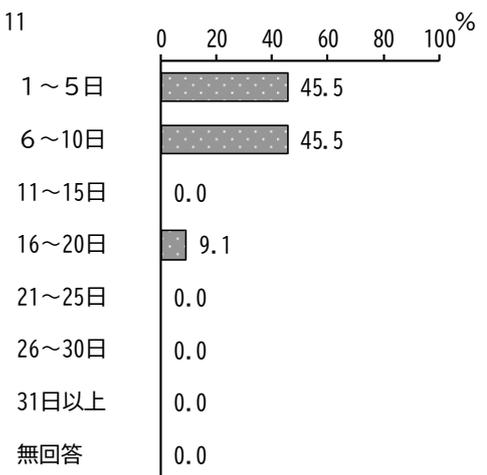
回答者数 = 178



エ. その他の泊数

「1～5日」、「6～10日」の割合が45.5%と最も高くなっています。

回答者数 = 11

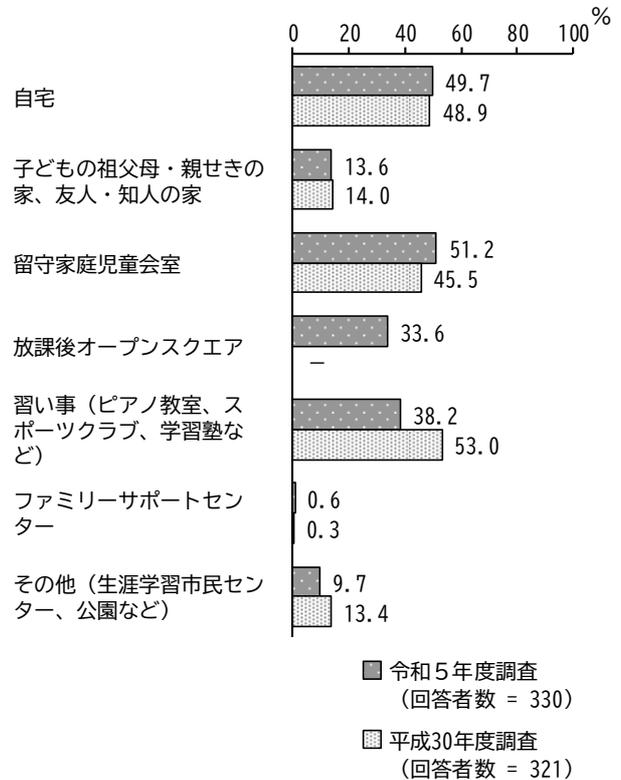


(9) 令和6年4月から小学校へ入学するお子さんの保護者の方

問 27 小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はいくつでも）また選んだ項目について、1週間（またはひと月）の希望日数について、カッコ内に数字を入れてください。※「留守家庭児童会室」の場合は、利用時間も記入してください。時間は（18）時までのように24時間制で記入してください。

「留守家庭児童会室」の割合が51.2%と最も高く、次いで「自宅」の割合が49.7%、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」の割合が38.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「留守家庭児童会室」の割合が増加しています。一方、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」の割合が減少しています。

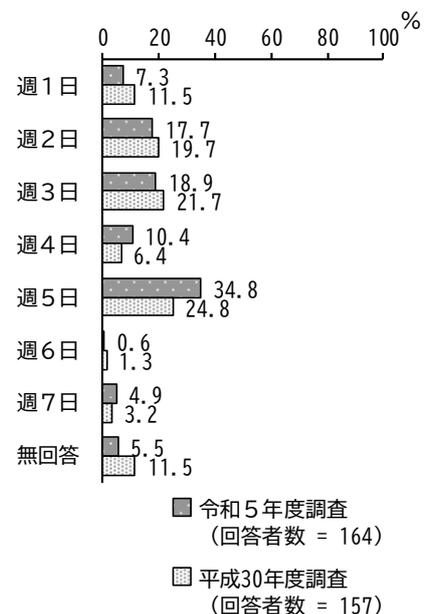


※前回調査では、「放課後オープンスクエア」の選択肢が「放課後自習教室」「放課後子ども教室」と分かれていました。

1. 自宅の日数

「週5日」の割合が34.8%と最も高く、次いで「週3日」の割合が18.9%、「週2日」の割合が17.7%となっています。

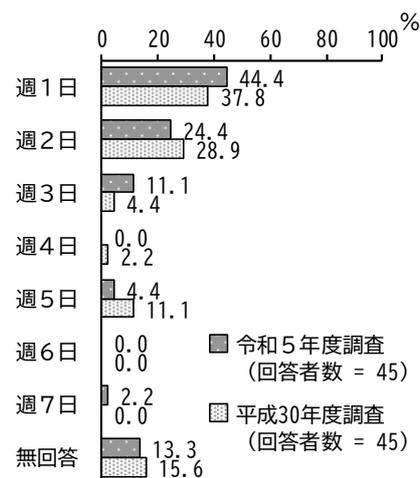
平成30年度調査と比較すると、「週5日」の割合が増加しています。



2. 子どもの祖父母・親せきの家、友人・知人の家の日数

「週1日」の割合が44.4%と最も高く、次いで「週2日」の割合が24.4%、「週3日」の割合が11.1%となっています。

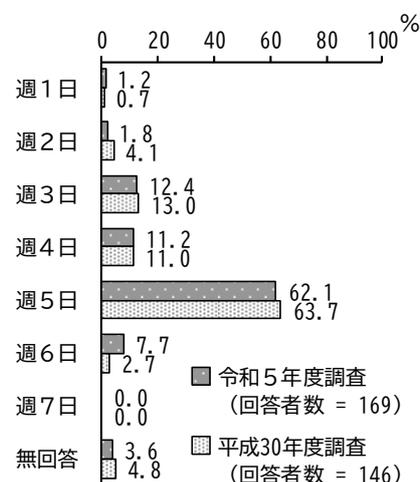
平成30年度調査と比較すると、「週1日」「週3日」の割合が増加しています。一方、「週5日」の割合が減少しています。



3. 留守家庭児童会室の日数

「週5日」の割合が62.1%と最も高く、次いで「週3日」の割合が12.4%、「週4日」の割合が11.2%となっています。

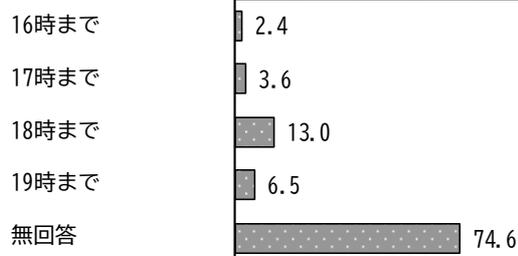
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



3. 留守家庭児童会室 下校時から

「18時まで」の割合が13.0%と最も高くなっています。

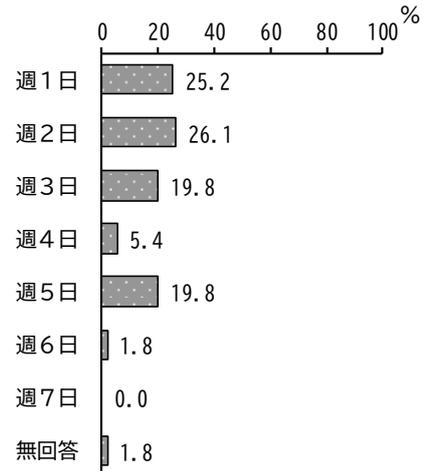
回答者数 = 169



4. 放課後オープンスクエアの日数

「週2日」の割合が26.1%と最も高く、次いで「週1日」の割合が25.2%、「週3日」、「週5日」の割合が19.8%となっています。

回答者数 = 111



5. 習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）の日数

「月4日」の割合が30.2%と最も高く、次いで「月7日」、「月8日」の割合が19.0%となっています。

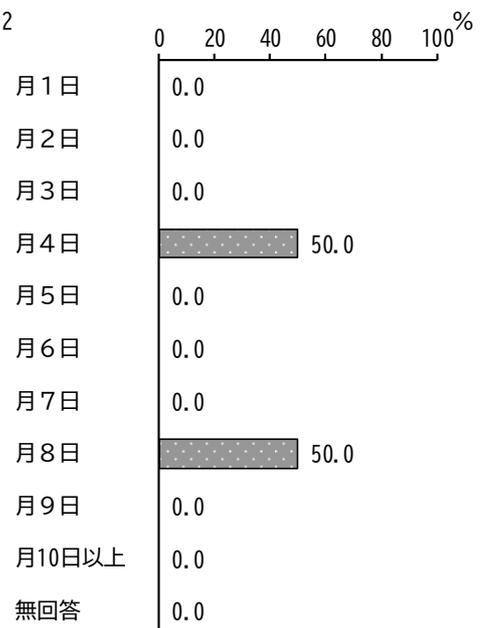
回答者数 = 126



6. ファミリーサポートセンターの日数

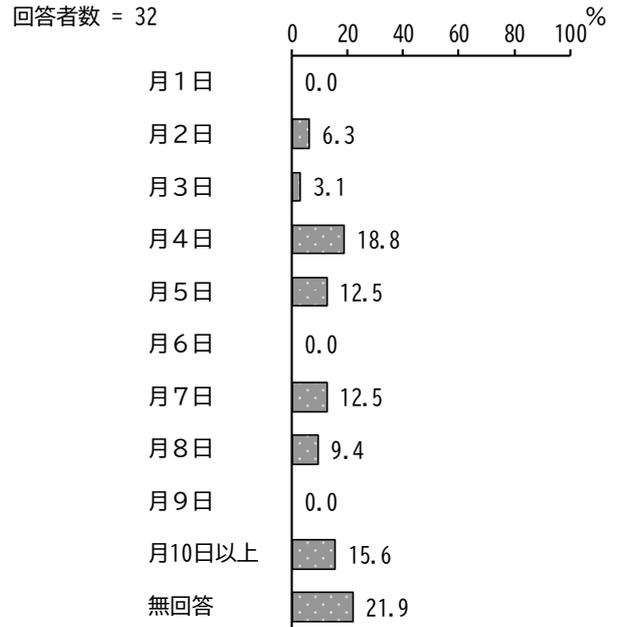
「月4日」、「月8日」が1件となっています。

回答者数 = 2



7. その他（生涯学習市民センター、公園など）の日数

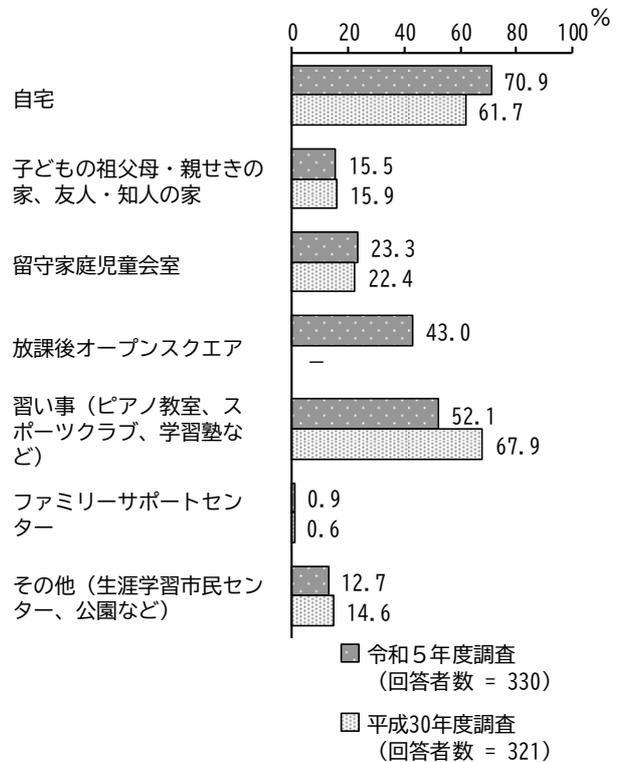
「月4日」の割合が18.8%と最も高く、次いで「月10日以上」の割合が15.6%、「月5日」、「月7日」の割合が12.5%となっています。



問28 小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はいくつでも）また、選んだ項目について、1週間（またはひと月）の希望日数について、カッコ内に数字を入れてください。※「留守家庭児童会室」の場合は、利用時間も記入してください。時間は（18）時のように24時間制で記入してください。※かなり先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

「自宅」の割合が70.9%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」の割合が52.1%、「放課後オープンスクエア」の割合が43.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「自宅」の割合が増加しています。一方、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」の割合が減少しています。

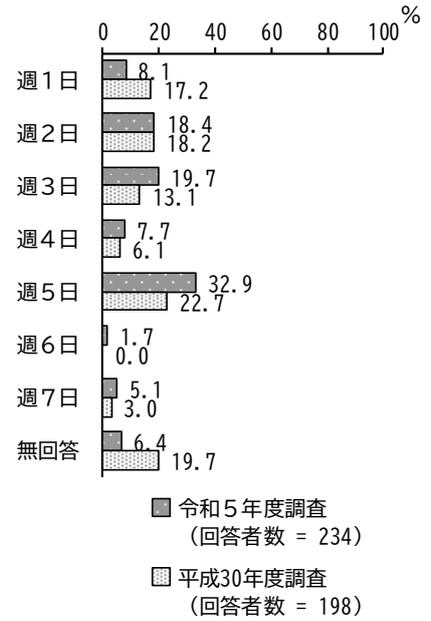


※前回調査では、「放課後オープンスクエア」の選択肢が「放課後自習教室」「放課後子ども教室」と分かれていました。

1. 自宅の日数

「週5日」の割合が32.9%と最も高く、次いで「週3日」の割合が19.7%、「週2日」の割合が18.4%となっています。

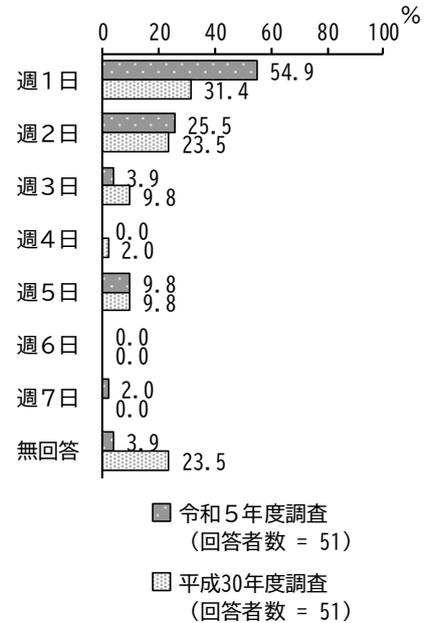
平成30年度調査と比較すると、「週3日」「週5日」の割合が増加しています。一方、「週1日」の割合が減少しています。



2. 子どもの祖父母・親せきの家、友人・知人の家の日数

「週1日」の割合が54.9%と最も高く、次いで「週2日」の割合が25.5%となっています。

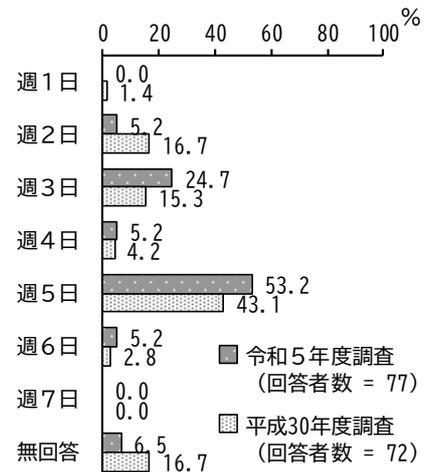
平成30年度調査と比較すると、「週1日」の割合が増加しています。一方、「週3日」の割合が減少しています。



3. 留守家庭児童会室の日数

「週5日」の割合が53.2%と最も高く、次いで「週3日」の割合が24.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「週3日」「週5日」の割合が増加しています。一方、「週2日」の割合が減少しています。

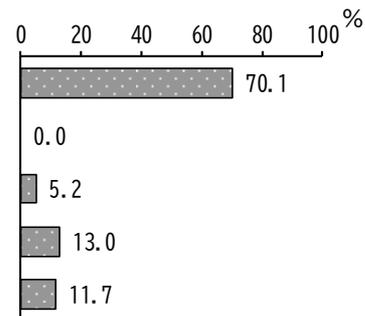


3. 留守家庭児童会室 下校時から

「16時まで」の割合が70.1%と最も高く、次いで「19時まで」の割合が13.0%となっています。

回答者数 = 77

16時まで	70.1
17時まで	0.0
18時まで	5.2
19時まで	13.0
無回答	11.7

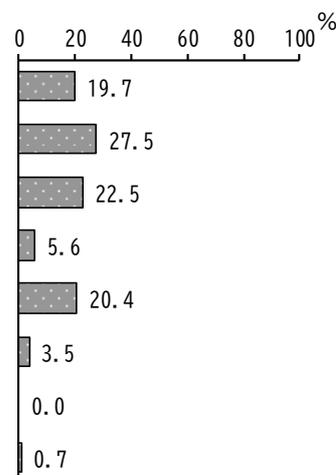


4. 放課後オープンスクエアの日数

「週2日」の割合が27.5%と最も高く、次いで「週3日」の割合が22.5%、「週5日」の割合が20.4%となっています。

回答者数 = 142

週1日	19.7
週2日	27.5
週3日	22.5
週4日	5.6
週5日	20.4
週6日	3.5
週7日	0.0
無回答	0.7

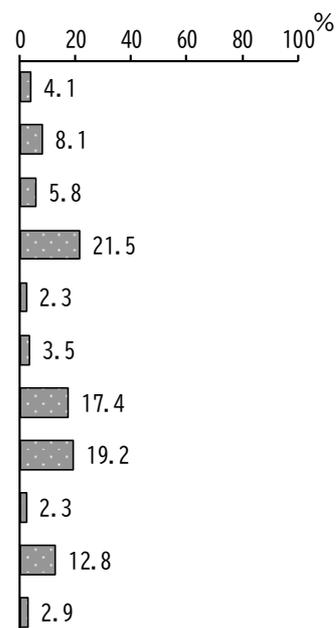


5. 習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）の日数

「月4日」の割合が21.5%と最も高く、次いで「月8日」の割合が19.2%、「月7日」の割合が17.4%となっています。

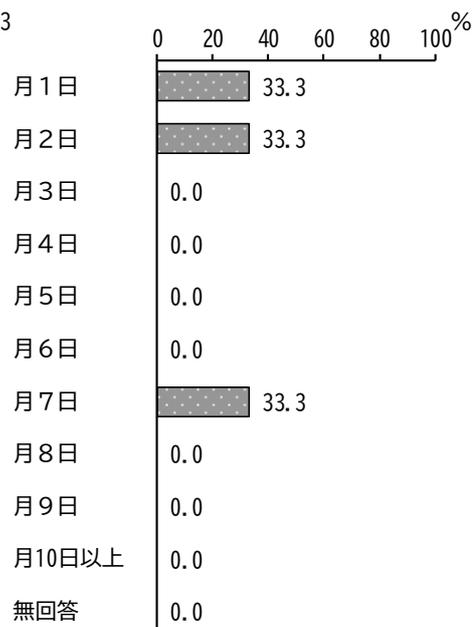
回答者数 = 172

月1日	4.1
月2日	8.1
月3日	5.8
月4日	21.5
月5日	2.3
月6日	3.5
月7日	17.4
月8日	19.2
月9日	2.3
月10日以上	12.8
無回答	2.9



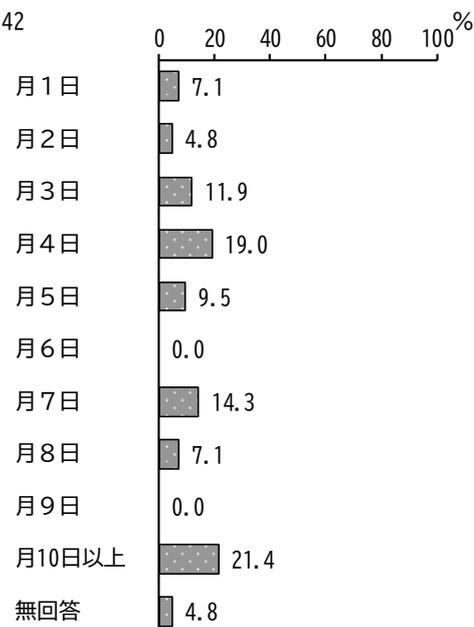
6. ファミリーサポートセンターの日数

「月1日」、「月2日」、「月7日」が1件となつています。 回答者数 = 3



7. その他（生涯学習市民センター、公園など）の日数

「月10日以上」の割合が21.4%と最も高く、次いで「月4日」の割合が19.0%、「月7日」の割合が14.3%となっています。 回答者数 = 42

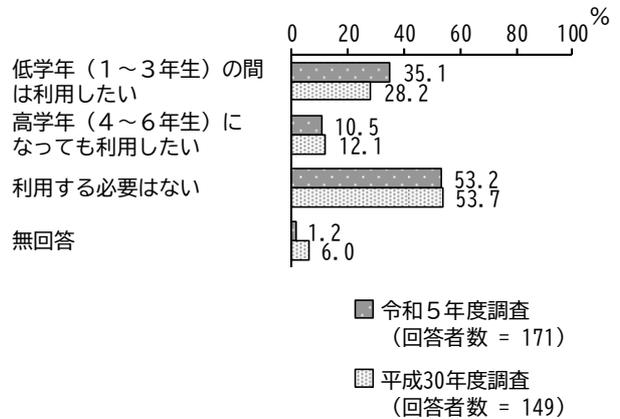


問29 問27または問28で「3. 留守家庭児童会室」を選ばれた方にお伺いします。土曜日、日曜日・祝日に、留守家庭児童会室の利用希望はありますか。
 (それぞれについて○は1つ) ※利用したい時間帯を、カッコ内に(9時台~17時台)のように24時間制に入れてください。

(1) 土曜日

「利用する必要はない」の割合が53.2%と最も高く、次いで「低学年(1~3年生)の間は利用したい」の割合が35.1%、「高学年(4~6年生)になっても利用したい」の割合が10.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「低学年(1~3年生)の間は利用したい」の割合が増加しています。

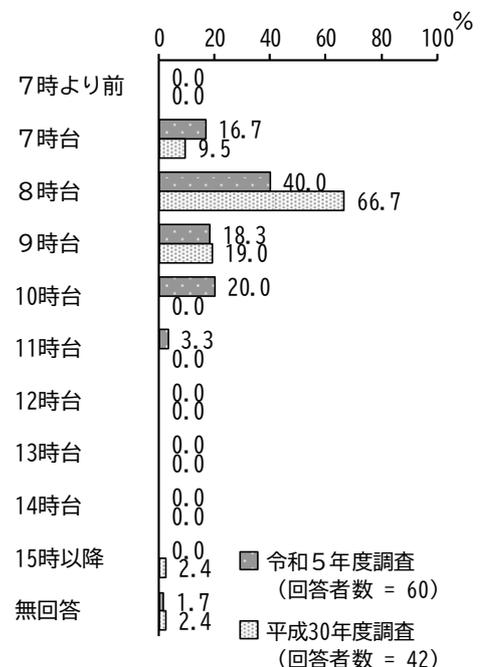


留守家庭児童会室

希望開始時間(低学年)

「8時台」の割合が40.0%と最も高く、次いで「10時台」の割合が20.0%、「9時台」の割合が18.3%となっています。

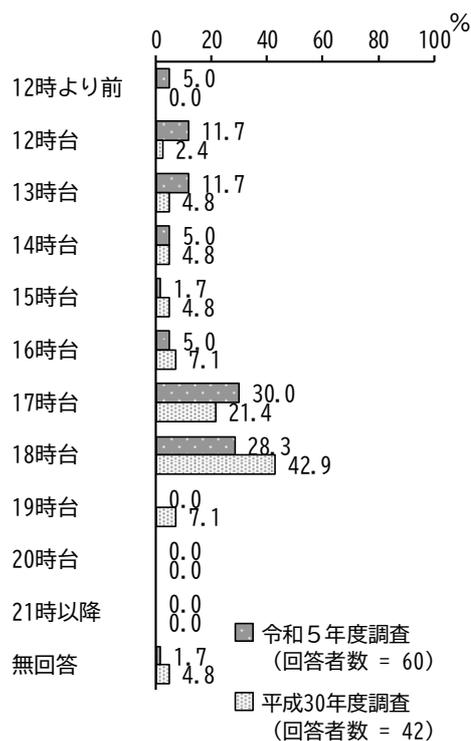
平成30年度調査と比較すると、「7時台」「10時台」の割合が増加しています。一方、「8時台」の割合が減少しています。



希望終了時間（低学年）

「17 時台」の割合が 30.0%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 28.3%、「12 時台」、「13 時台」の割合が 11.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「12 時台」「13 時台」「17 時台」の割合が増加しています。一方、「18 時台」「19 時台」の割合が減少しています。

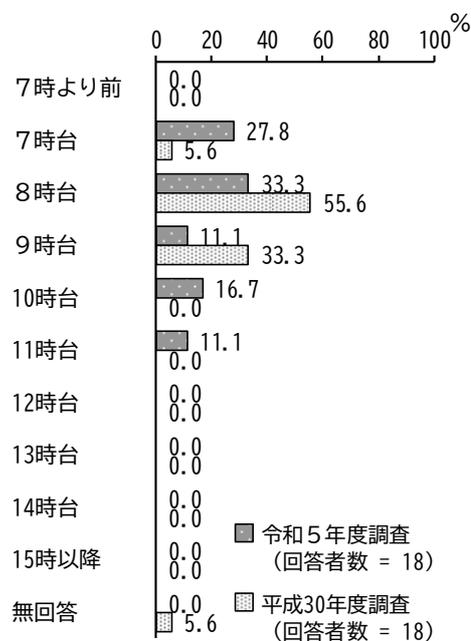


留守家庭児童会室

希望開始時間（高学年）

「8 時台」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「7 時台」の割合が 27.8%、「10 時台」の割合が 16.7%となっています。

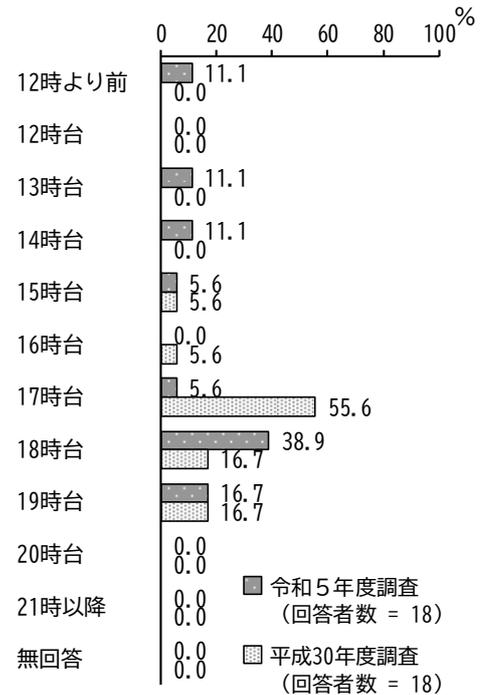
平成 30 年度調査と比較すると、「7 時台」「10 時台」「11 時台」の割合が増加しています。一方、「8 時台」「9 時台」の割合が減少しています。



希望終了時間（高学年）

「18 時台」の割合が 38.9%と最も高く、次いで「19 時台」の割合が 16.7%、「12 時より前」、「13 時台」の割合が 11.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「12 時より前」「13 時台」「14 時台」「18 時台」の割合が増加しています。一方、「16 時台」「17 時台」の割合が減少しています。

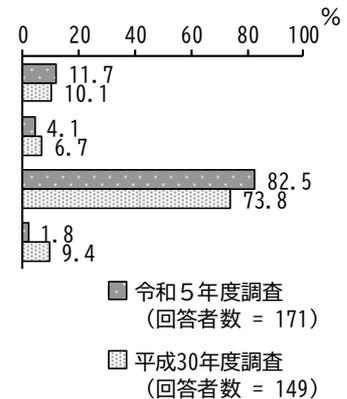


(2) 日曜日・祝日

「利用する必要はない」の割合が 82.5%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が 11.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。

低学年（1～3年生）の間は利用したい
高学年（4～6年生）になっても利用したい
利用する必要はない
無回答

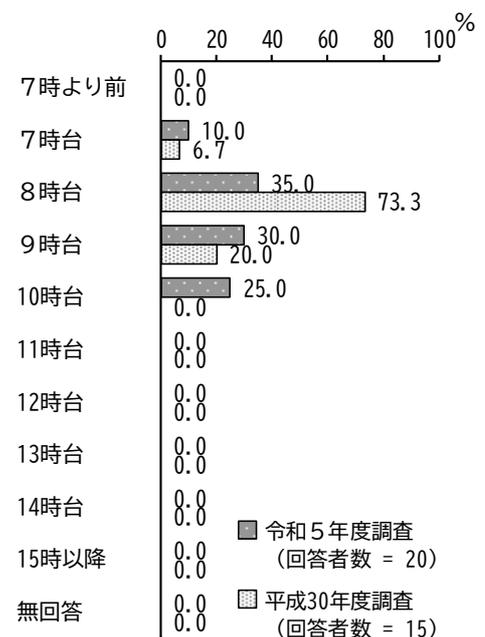


留守家庭児童会室

希望開始時間（低学年）

「8 時台」の割合が 35.0%と最も高く、次いで「9 時台」の割合が 30.0%、「10 時台」の割合が 25.0%となっています。

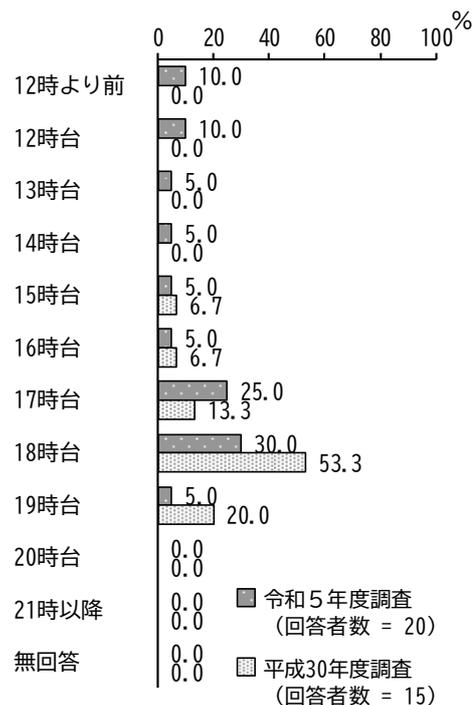
平成 30 年度調査と比較すると、「9 時台」「10 時台」の割合が増加しています。一方、「8 時台」の割合が減少しています。



希望終了時間（低学年）

「18 時台」の割合が 30.0%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 25.0%、「12 時より前」、「12 時台」の割合が 10.0%となっています。

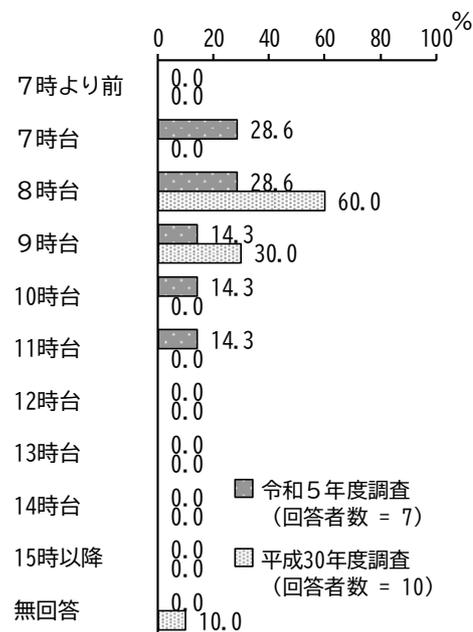
平成 30 年度調査と比較すると、「12 時より前」「12 時台」「17 時台」の割合が増加しています。一方、「18 時台」「19 時台」の割合が減少しています。



留守家庭児童会室

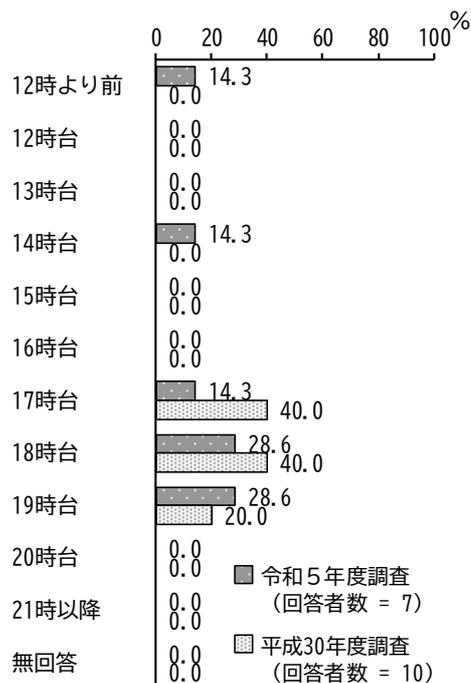
希望開始時間（高学年）

「7 時台」、「8 時台」が 2 件となっています。「9 時台」、「10 時台」が 1 件となっています。



希望終了時間（高学年）

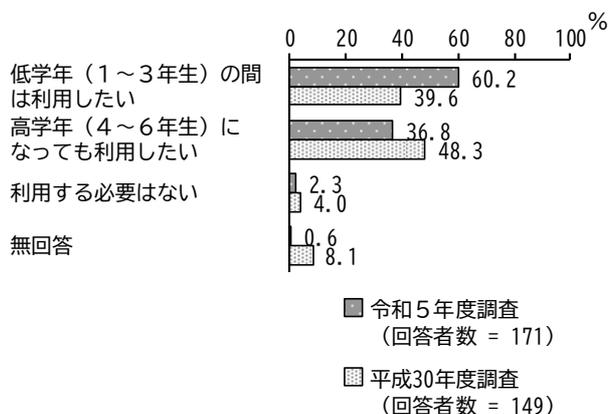
「18 時台」、「19 時台」が 2 件となっています。
 「12 時より前」、「14 時台」が 1 件となっています。



問 30 問 27 または問 28 で「3. 留守家庭児童会室」を選ばれた方にお伺いします。お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休業期間中の留守家庭児童会室の利用希望はありますか。(○は1つ)

「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が 60.2% と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が 36.8% となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が増加しています。一方、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が減少しています。

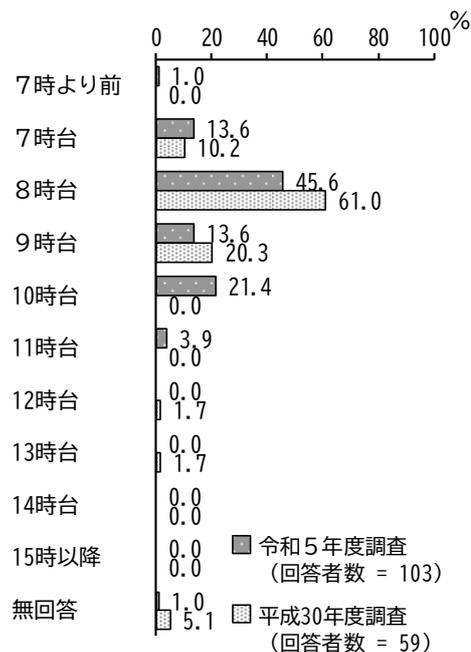


長期期間中の留守家庭児童会室

希望開始時間（低学年）

「8時台」の割合が45.6%と最も高く、次いで「10時台」の割合が21.4%、「7時台」、「9時台」の割合が13.6%となっています。

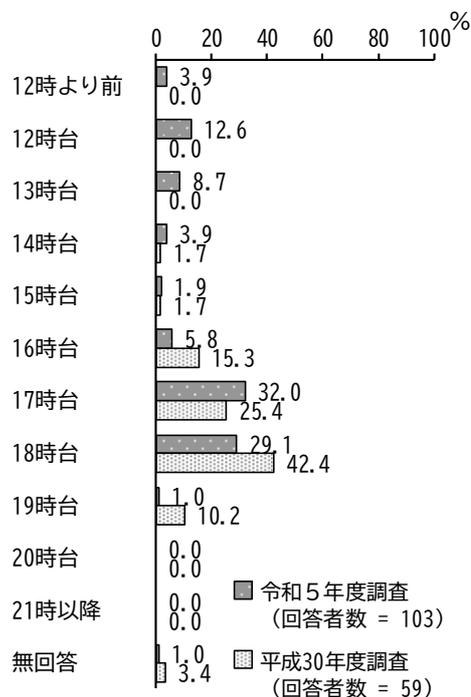
平成30年度調査と比較すると、「10時台」の割合が増加しています。一方、「8時台」「9時台」の割合が減少しています。



希望終了時間（低学年）

「17時台」の割合が32.0%と最も高く、次いで「18時台」の割合が29.1%、「12時台」の割合が12.6%となっています。

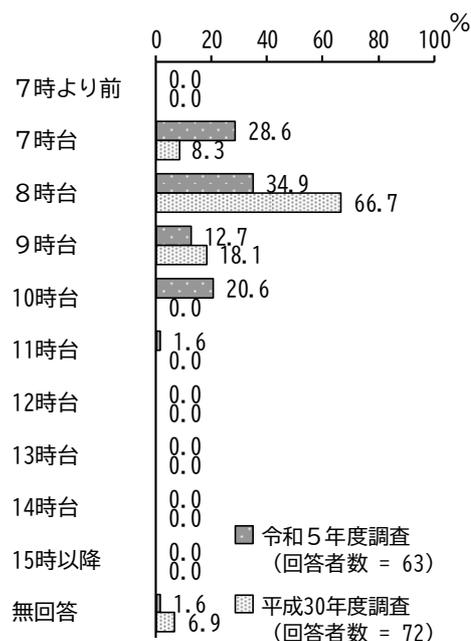
平成30年度調査と比較すると、「12時台」「13時台」「17時台」の割合が増加しています。一方、「16時台」「18時台」「19時台」の割合が減少しています。



希望開始時間（高学年）

「8時台」の割合が34.9%と最も高く、次いで「7時台」の割合が28.6%、「10時台」の割合が20.6%となっています。

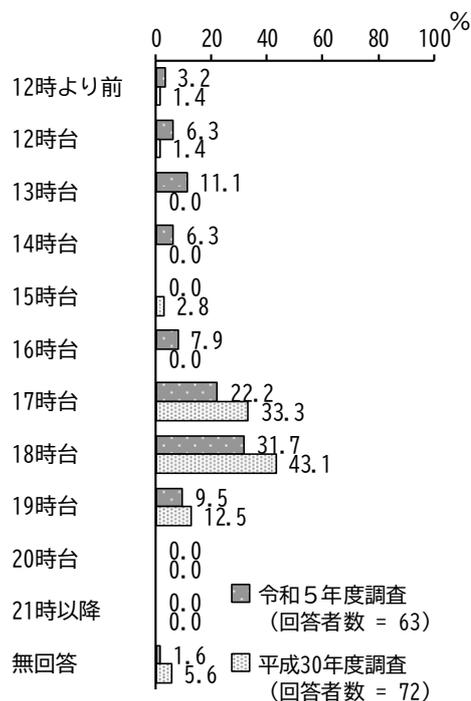
平成30年度調査と比較すると、「7時台」「10時台」の割合が増加しています。一方、「8時台」「9時台」の割合が減少しています。



希望終了時間（高学年）

「18時台」の割合が31.7%と最も高く、次いで「17時台」の割合が22.2%、「13時台」の割合が11.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「13時台」「14時台」「16時台」の割合が増加しています。一方、「17時台」「18時台」の割合が減少しています。

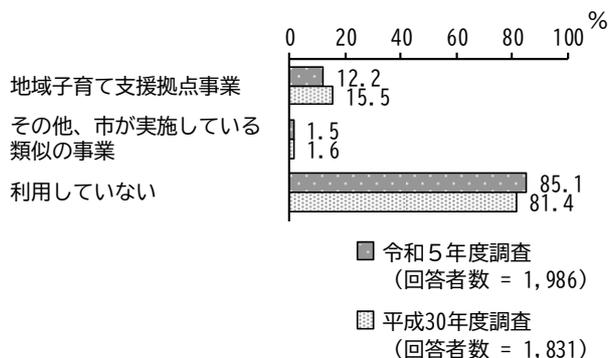


(10) 地域子育て支援拠点事業の利用について

問 31 地域子育て支援拠点事業についてお伺いします。現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。(〇はいくつでも) また、おおよその利用回数について、カッコ内に数字を入れてください。

「利用していない」の割合が 85.1%と最も高く、次いで「地域子育て支援拠点事業」の割合が 12.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

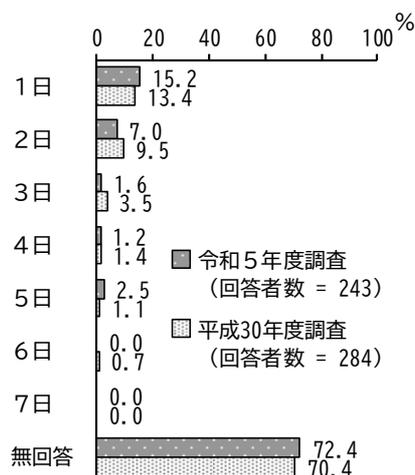


1. 地域子育て支援拠点事業

1 週間あたりの利用回数

「1日」の割合が 15.2%と最も高くなっています。

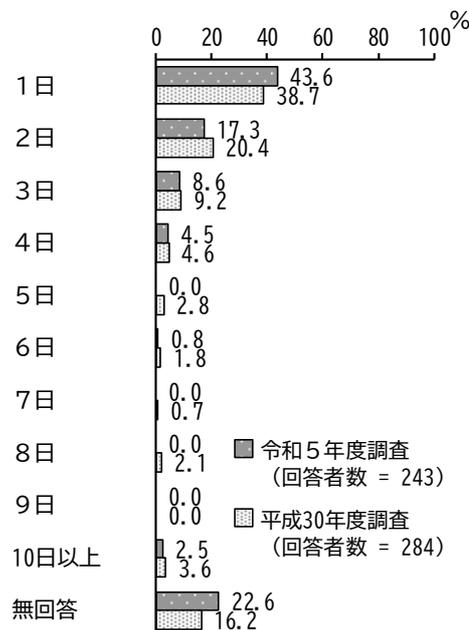
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1 ヶ月あたりの利用回数

「1日」の割合が 43.6%と最も高く、次いで「2日」の割合が 17.3%となっています。

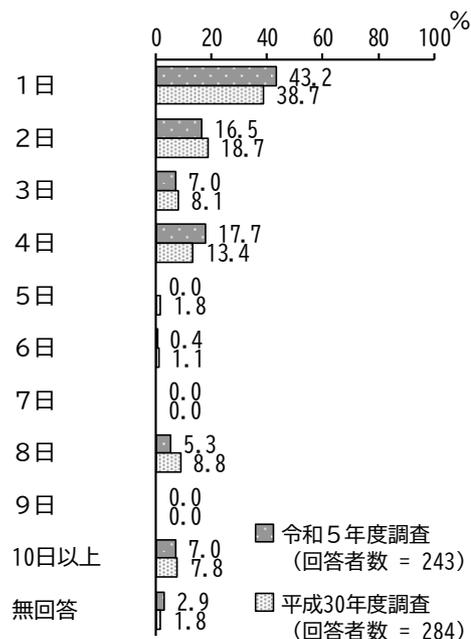
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用回数（統合）

「1日」の割合が43.2%と最も高く、次いで「4日」の割合が17.7%、「2日」の割合が16.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

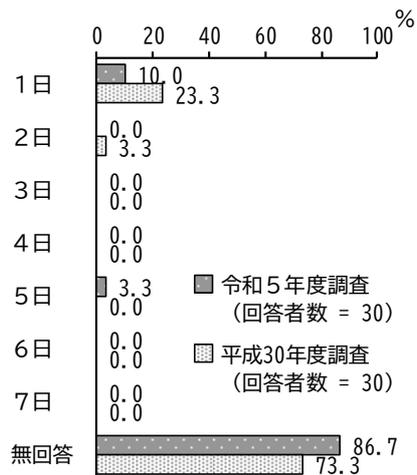


2. その他、市が実施している類似事業

1週間あたりの利用回数

「1日」の割合が10.0%と最も高くなっています。

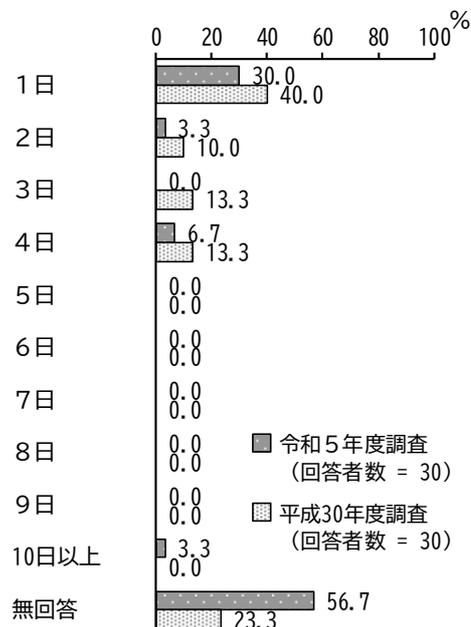
平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が減少しています。



1ヶ月あたりの利用回数

「1日」の割合が30.0%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」「2日」「3日」「4日」の割合が減少しています。



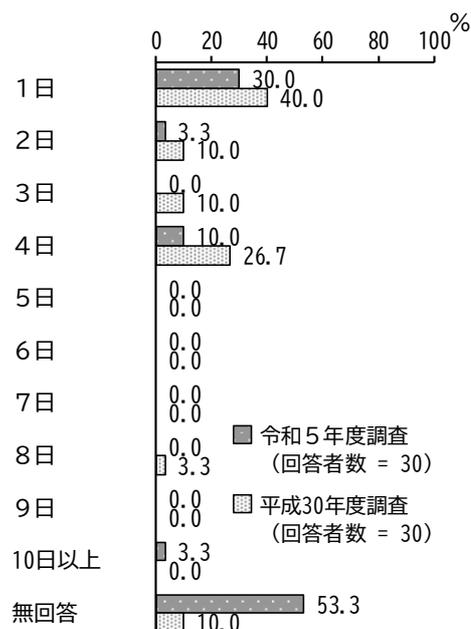
利用回数（統合）

「1日」の割合が30.0%と最も高く、次いで

「4日」の割合が10.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」「2日」

「3日」「4日」の割合が減少しています。



問 32 地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。（○は1つ）希望がある方はカッコ内に数字を入れてください。

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいと思わない」の割合が68.2%と最も高く、次いで

「利用していないが、今後利用したい」の割合が

20.2%となっています。

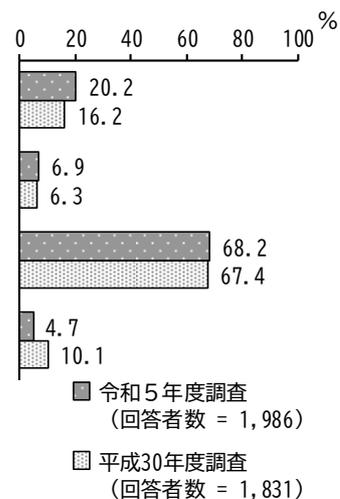
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

利用していないが、今後利用したい

すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

新たに利用したり、利用日数を増やしたいと思わない

無回答

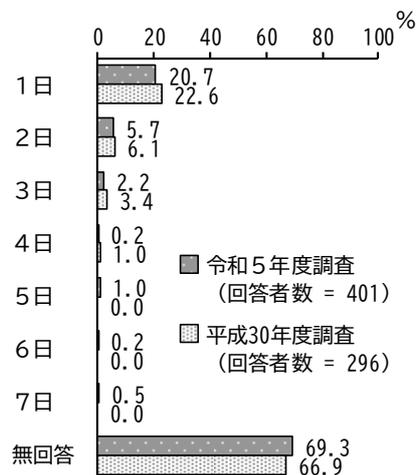


1. 利用していないが、今後利用したい

1週間あたりの希望回数

「1日」の割合が20.7%と最も高くなっています。

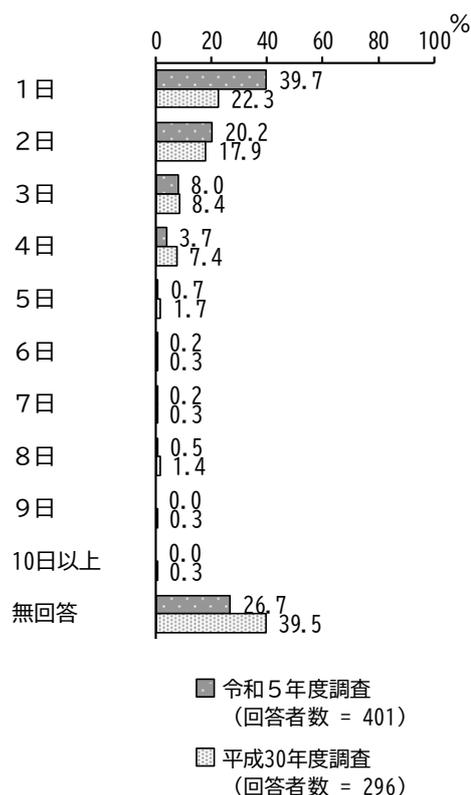
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1ヶ月あたりの希望回数

「1日」の割合が39.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が20.2%となっています。

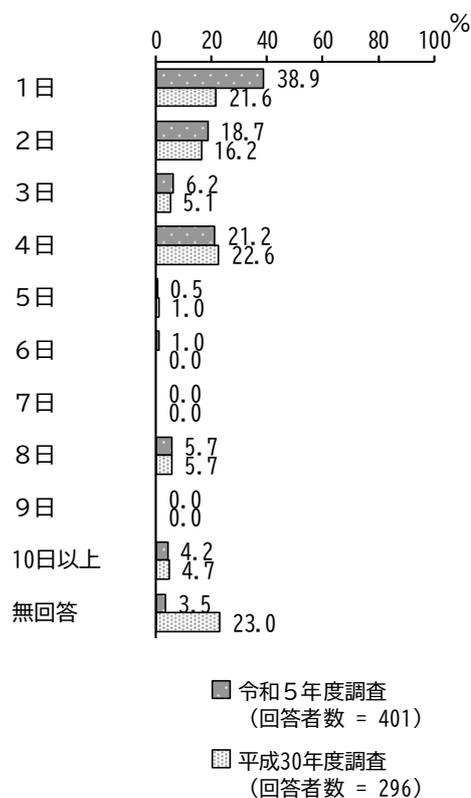
平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。



希望回数（統合）

「1日」の割合が38.9%と最も高く、次いで「4日」の割合が21.2%、「2日」の割合が18.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。

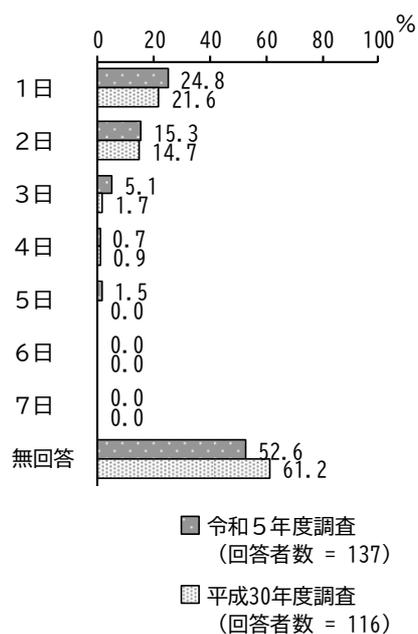


2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

1週間あたりの利用回数

「1日」の割合が24.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が15.3%となっています。

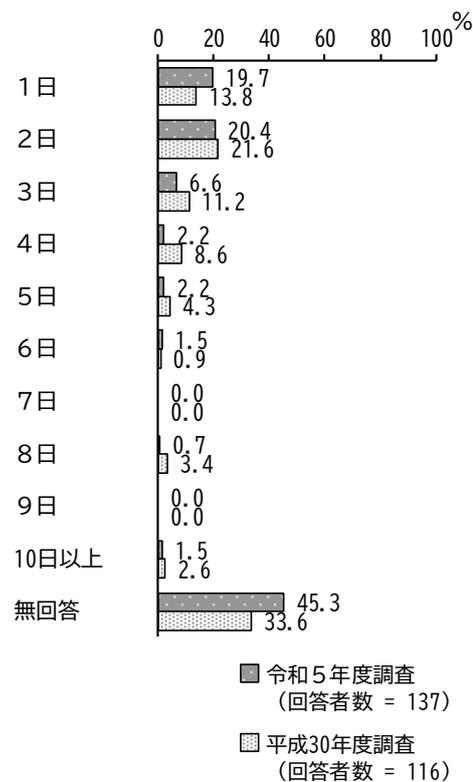
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1ヶ月あたりの利用回数

「2日」の割合が20.4%と最も高く、次いで「1日」の割合が19.7%となっています。

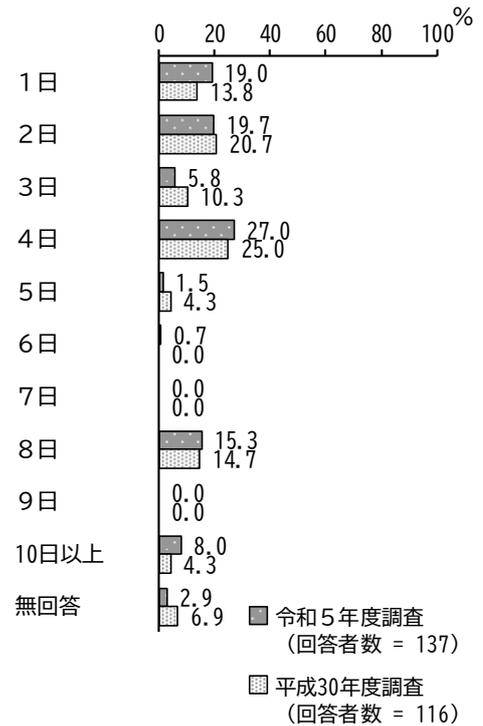
平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。一方、「4日」の割合が減少しています。



利用回数（統合）

「4日」の割合が 27.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が 19.7%、「1日」の割合が 19.0%となっています。

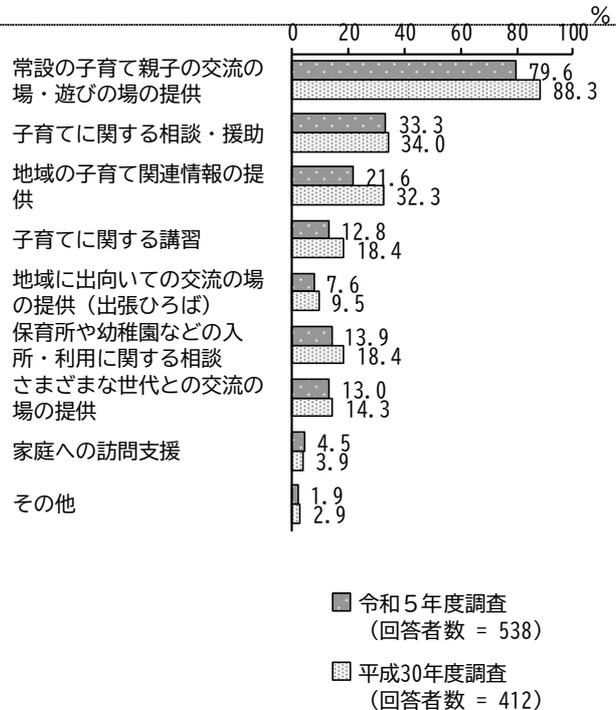
平成 30 年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。



問 32-1 問 32 で「1. 利用していないが、今後利用したい」、「2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」を選ばれた方にお伺いします。地域子育て支援拠点事業を利用するにあたって、どのようなサービスを利用したいですか。（〇は3つまで）

「常設の子育て親子の交流の場・遊びの場の提供」の割合が 79.6%と最も高く、次いで「子育てに関する相談・援助」の割合が 33.3%、「地域の子育て関連情報の提供」の割合が 21.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「常設の子育て親子の交流の場・遊びの場の提供」「地域の子育て関連情報の提供」「子育てに関する講習」の割合が減少しています。



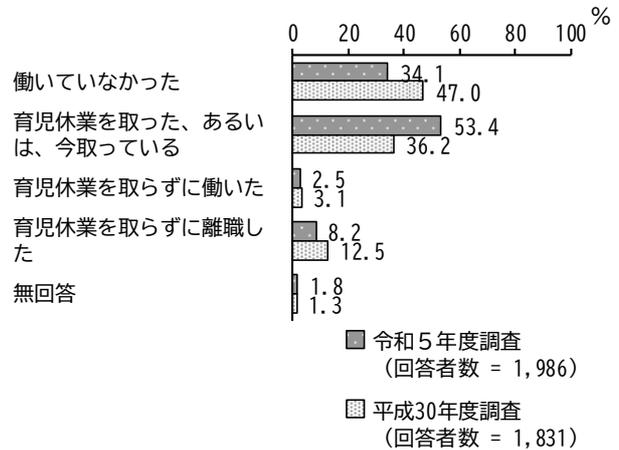
(11) 育児休業制度の利用について

問 33 封筒のあて名のお子さんが生まれたときに、母親、父親は育児休業をとられたかをお伺いします。また、取らなかった（「3. 育児休業を取らずに働いた」「4. 育児休業を取らずに離職した」を選択）場合、その理由について下の【表】から選び、記号を記入してください。

(1) 母親（〇は1つ）

「育児休業を取った、あるいは、今取っている」の割合が 53.4%と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が 34.1%となっています。

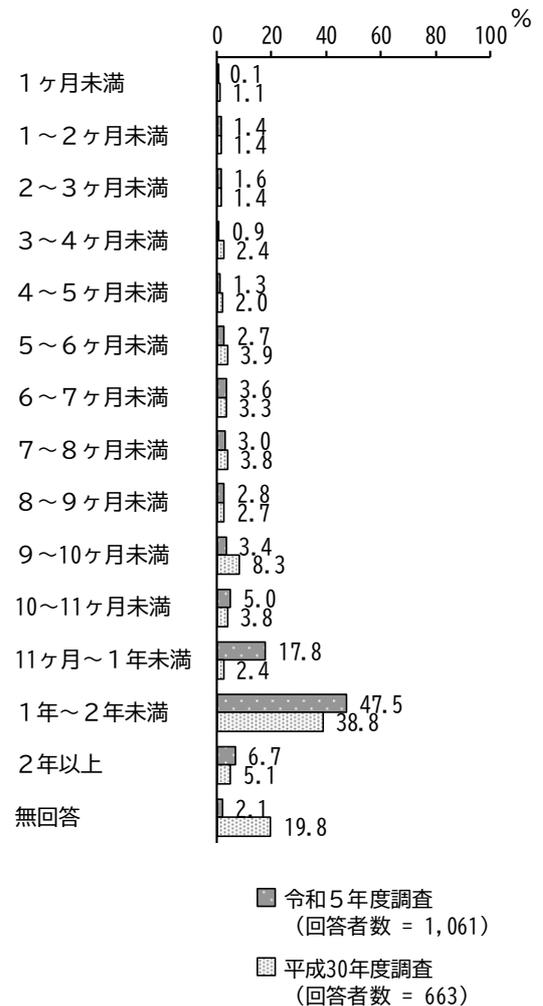
平成 30 年度調査と比較すると、「育児休業を取った、あるいは、今取っている」の割合が増加しています。一方、「働いていなかった」の割合が減少しています。



取得（予定）日数

「1年～2年未満」の割合が 47.5%と最も高く、次いで「11ヶ月～1年未満」の割合が 17.8%となっています。

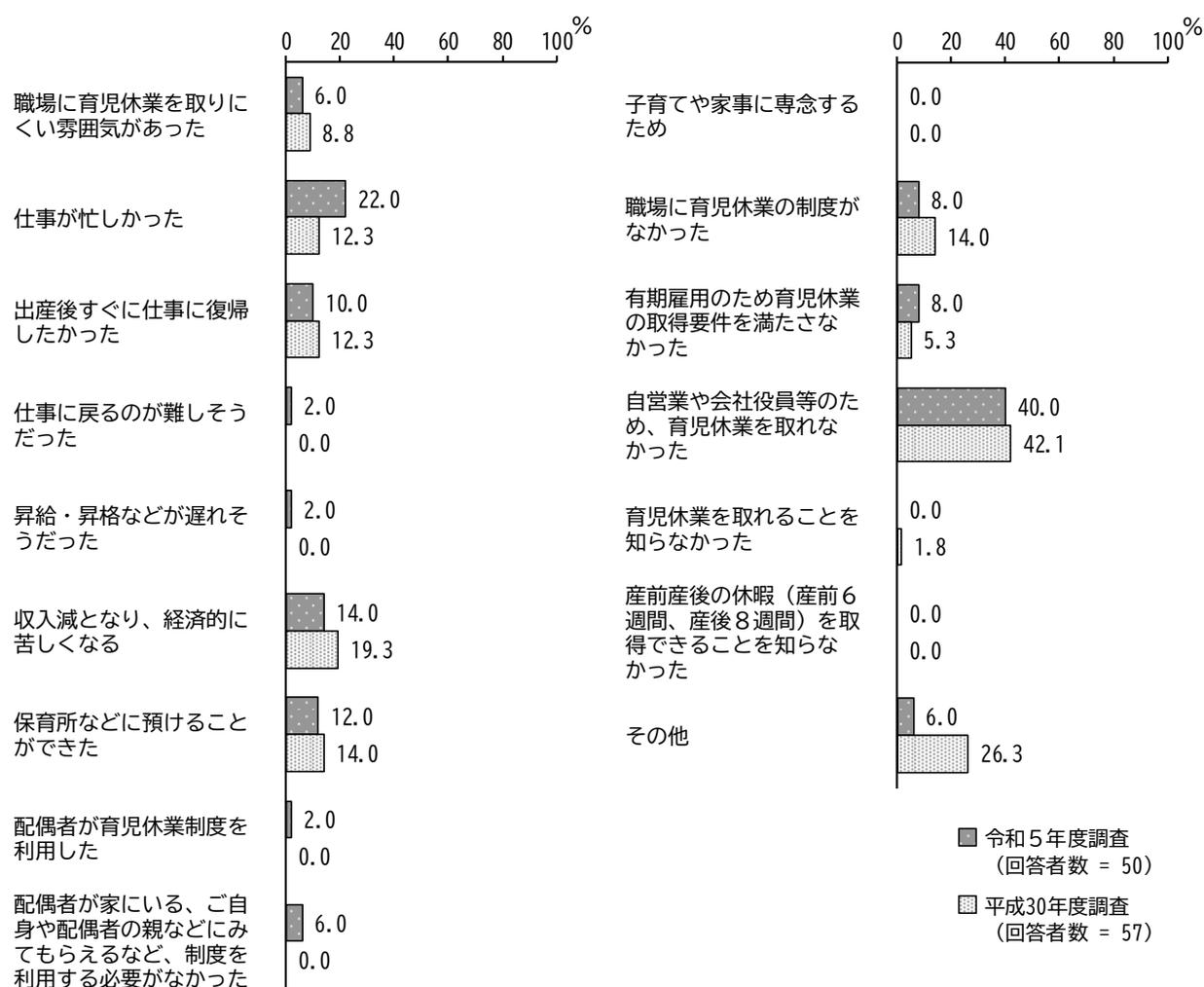
平成 30 年度調査と比較すると、「11ヶ月～1年未満」「1年～2年未満」の割合が増加しています。



働いた理由

「自営業や会社役員等のため、育児休業を取れなかった」の割合が40.0%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」の割合が22.0%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が14.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「仕事が忙しかった」「配偶者が家にいる、ご自身や配偶者の親などにみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が増加しています。一方、「収入減となり、経済的に苦しくなる」「職場に育児休業の制度がなかった」の割合が減少しています。

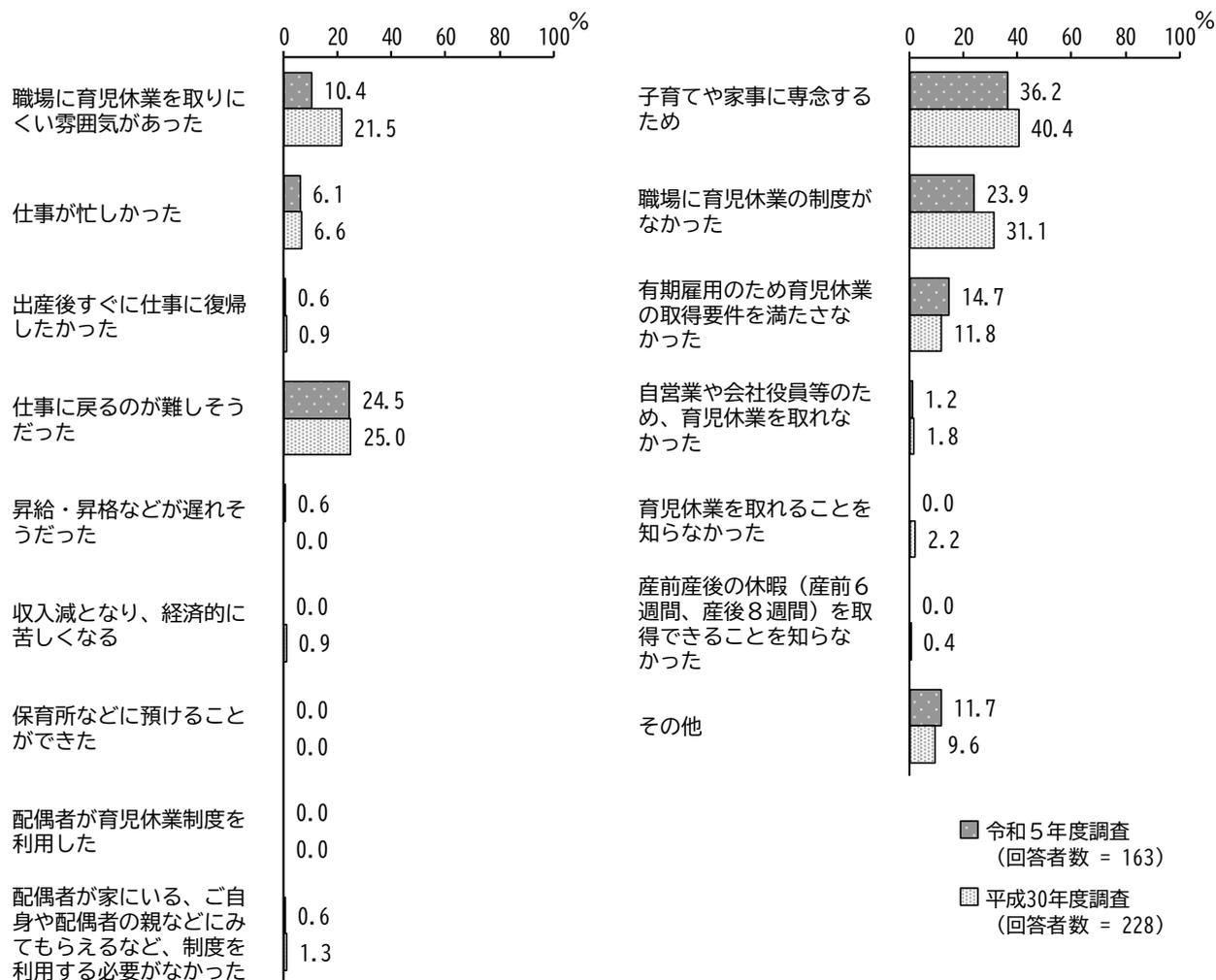


※前回調査では、「配偶者が家にいる、ご自身や配偶者の親などにみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の選択肢は「配偶者が無職である、ご自身や配偶者の親などにみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」でした。

離職した理由

「子育てや家事に専念するため」の割合が36.2%と最も高く、次いで「仕事に戻るのが難しかった」の割合が24.5%、「職場に育児休業の制度がなかった」の割合が23.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「職場に育児休業の制度がなかった」の割合が減少しています。

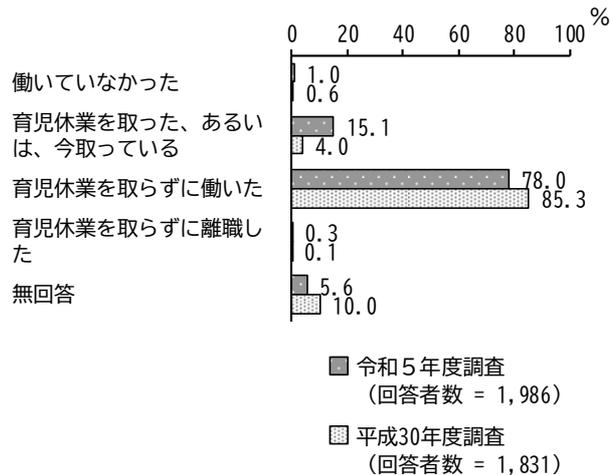


※前回調査では、「配偶者が家にいる、ご自身や配偶者の親などにみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の選択肢は「配偶者が無職である、ご自身や配偶者の親などにみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」でした。

(2) 父親 (〇は1つ)

「育児休業を取らずに働いた」の割合が78.0%と最も高く、次いで「育児休業を取った、あるいは、今取っている」の割合が15.1%となっています。

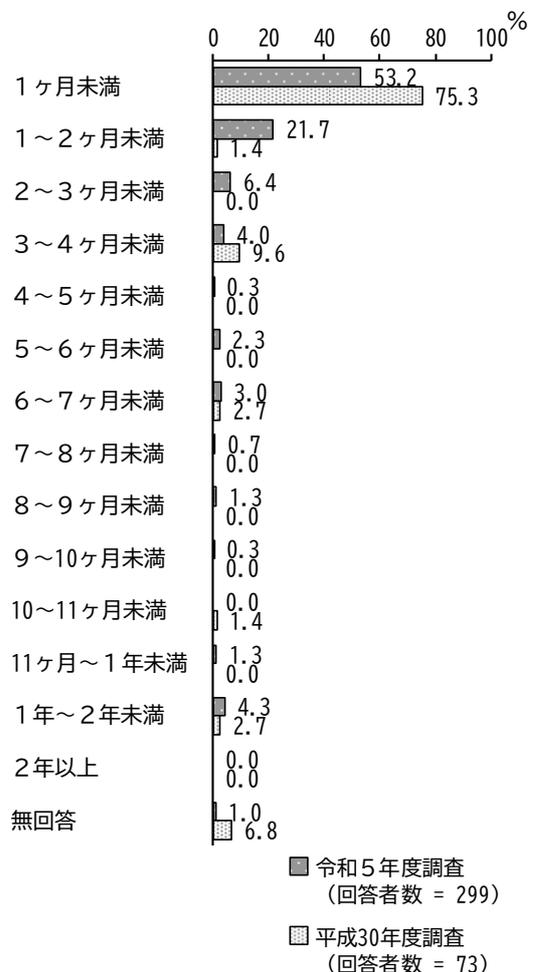
平成30年度調査と比較すると、「育児休業を取った、あるいは、今取っている」の割合が増加しています。一方、「育児休業を取らずに働いた」の割合が減少しています。



取得 (予定) 日数

「1ヶ月未満」の割合が53.2%と最も高く、次いで「1～2ヶ月未満」の割合が21.7%となっています。

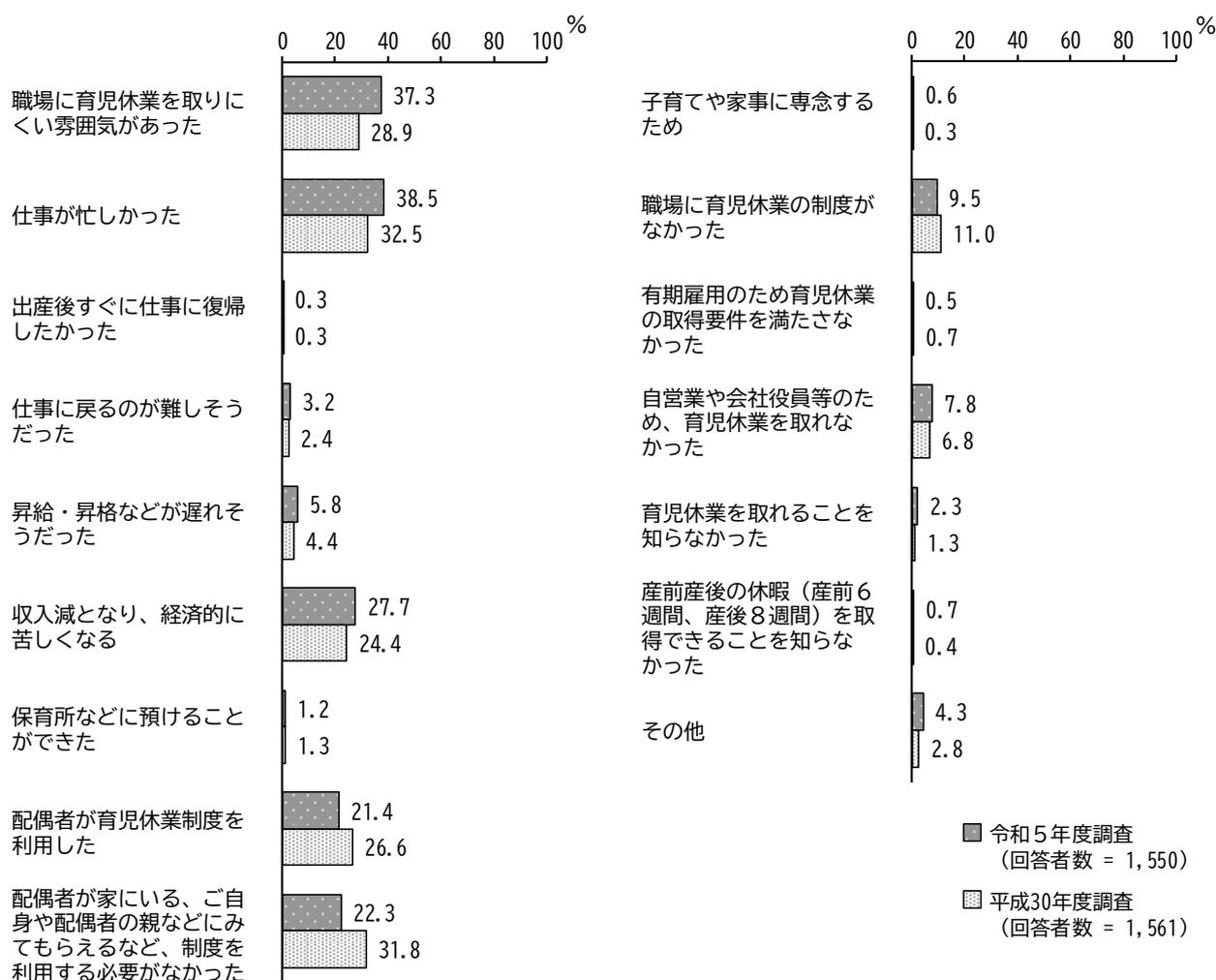
平成30年度調査と比較すると、「1～2ヶ月未満」「2～3ヶ月未満」の割合が増加しています。一方、「1ヶ月未満」「3～4ヶ月未満」の割合が減少しています。



働いた理由

「仕事が忙しかった」の割合が38.5%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が37.3%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が27.7%となっています。

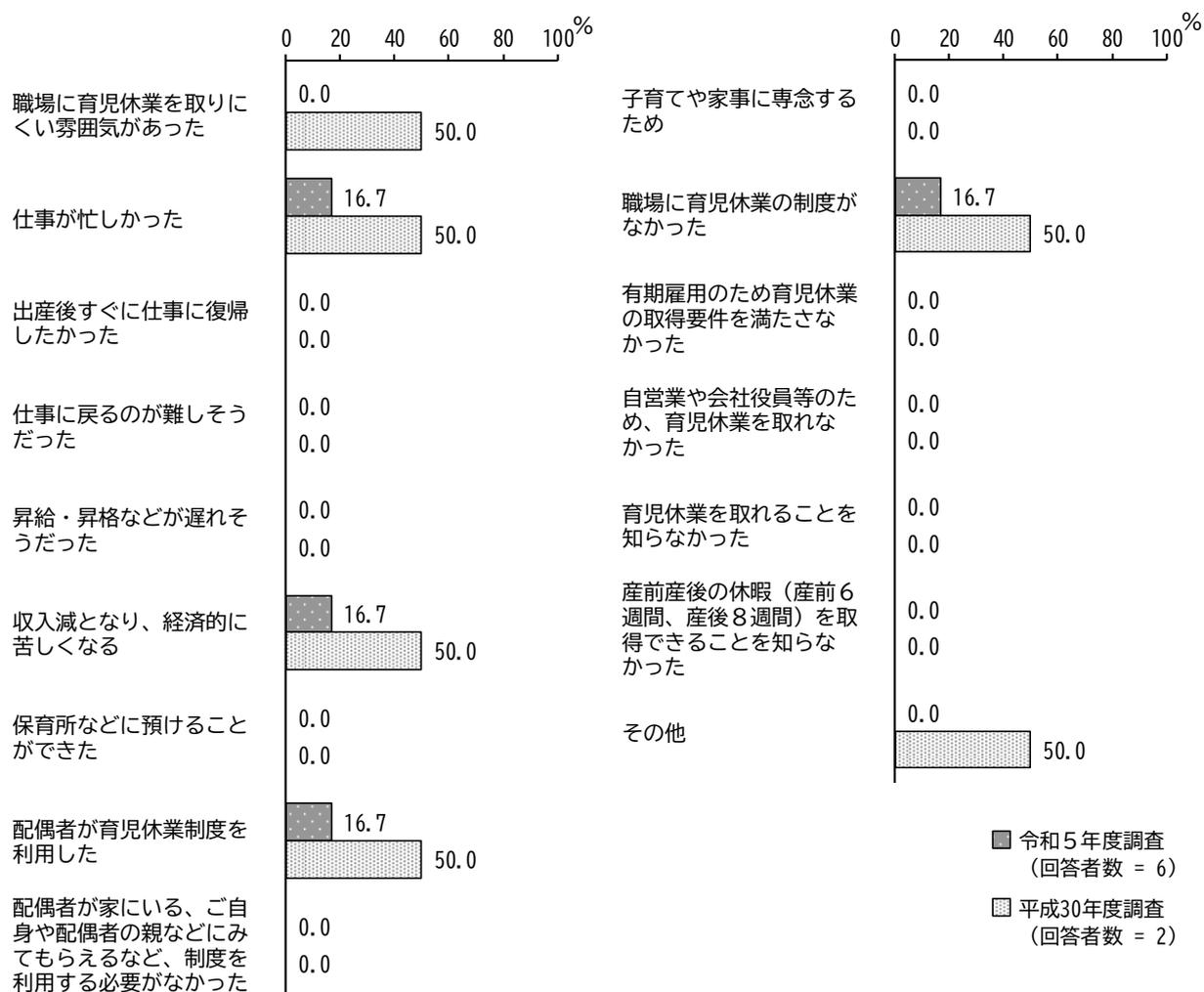
平成30年度調査と比較すると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」の割合が増加しています。一方、「配偶者が育児休業制度を利用した」「配偶者が家にいる、ご自身や配偶者の親などにみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が減少しています。



※前回調査では、「配偶者が家にいる、ご自身や配偶者の親などにみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の選択肢は「配偶者が無職である、ご自身や配偶者の親などにみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」でした。

離職した理由

「仕事が忙しかった」、「収入減となり、経済的に苦しくなる」、「配偶者が育児休業制度を利用した」、「職場に育児休業の制度がなかった」が1件となっています。



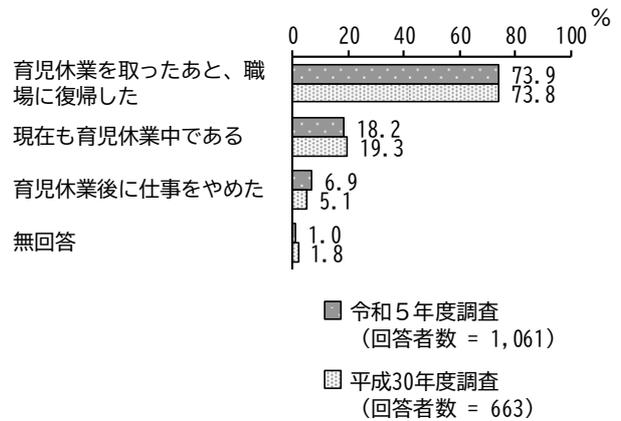
※前回調査では、「配偶者が家にいる、ご自身や配偶者の親などにみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の選択肢が「配偶者が無職である、ご自身や配偶者の親などにみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」でした。

問 33-1 問 33 で「2. 育児休業を取った、あるいは、今取っている」を選ばれた、育児休業を取られた方にお伺いします。育児休業後に、職場に復帰しましたか。

(1) 母親が育児休業を取られた場合 (〇は1つ)

「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」の割合が 73.9%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が 18.2%となっています。

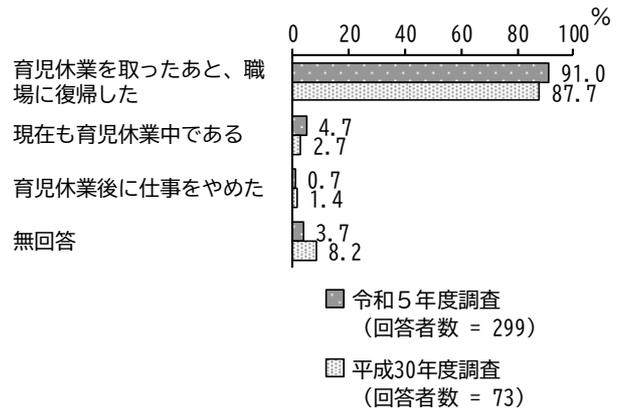
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 父親が育児休業を取られた場合 (〇は1つ)

「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」の割合が 91.0%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



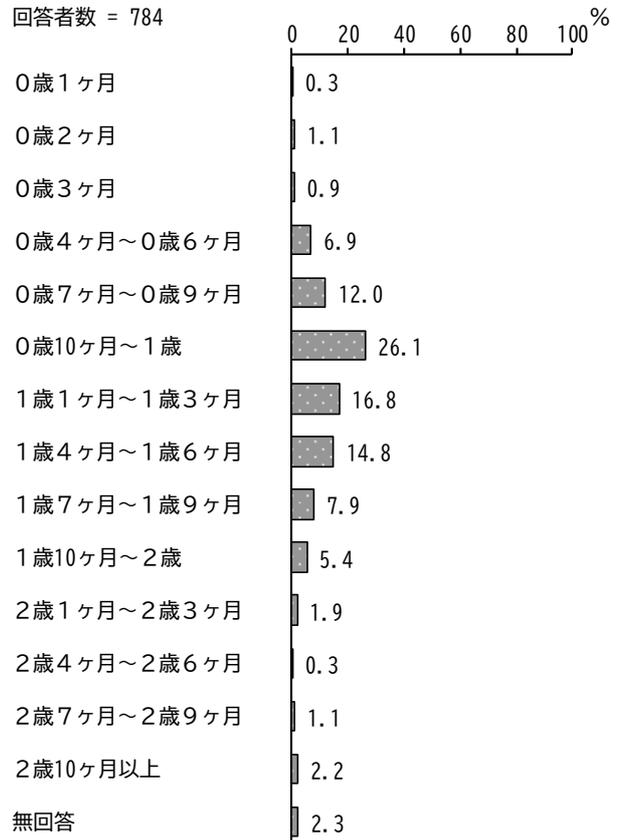
問 33-2 問 33-1 で「1. 育児休業を取ったあと、職場に復帰した」を選ばれた、育児休業後に、職場復帰された方にお伺いします。「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで育児休業を取りたかったですか。右の【表】から選び、カッコ内に記号を記入してください。

(1) 母親

「実際」の取得期間

「0歳10ヶ月～1歳」の割合が26.1%と最も高く、次いで「1歳1ヶ月～1歳3ヶ月」の割合が16.8%、「1歳4ヶ月～1歳6ヶ月」の割合が14.8%となっています。

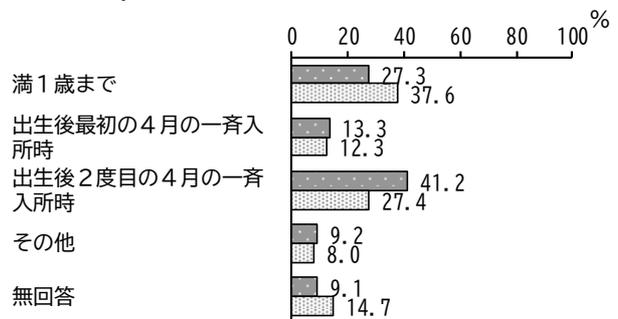
回答者数 = 784



「希望」の取得期間<職場の育休制度の期間内> (○は1つ)

「出生後2度目の4月の一斉入所時」の割合が41.2%と最も高く、次いで「満1歳まで」の割合が27.3%、「出生後最初の4月の一斉入所時」の割合が13.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「出生後2度目の4月の一斉入所時」の割合が増加しています。一方、「満1歳まで」の割合が減少しています。



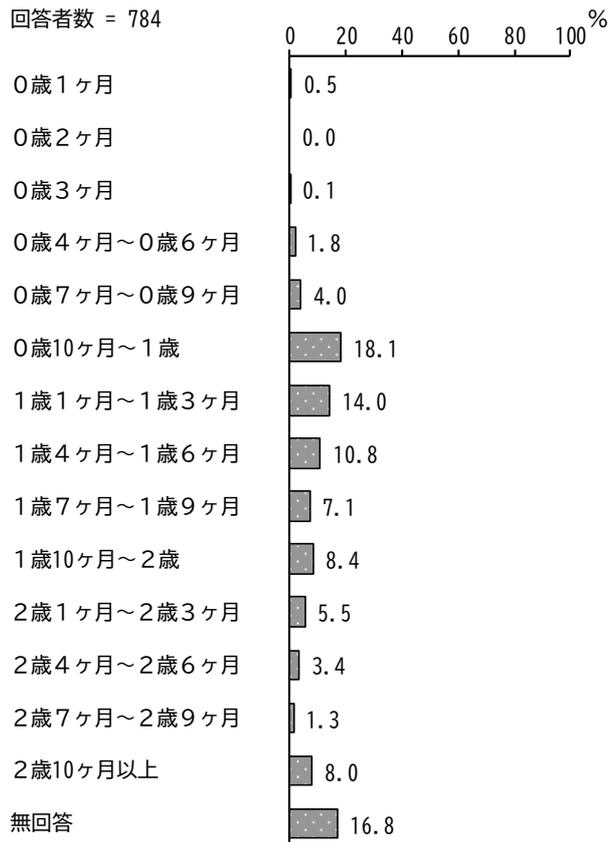
■ 令和5年度調査
(回答者数 = 784)

▨ 平成30年度調査
(回答者数 = 489)

期間

「0歳10ヶ月～1歳」の割合が18.1%と最も高く、次いで「1歳1ヶ月～1歳3ヶ月」の割合が14.0%、「1歳4ヶ月～1歳6ヶ月」の割合が10.8%となっています。

回答者数 = 784

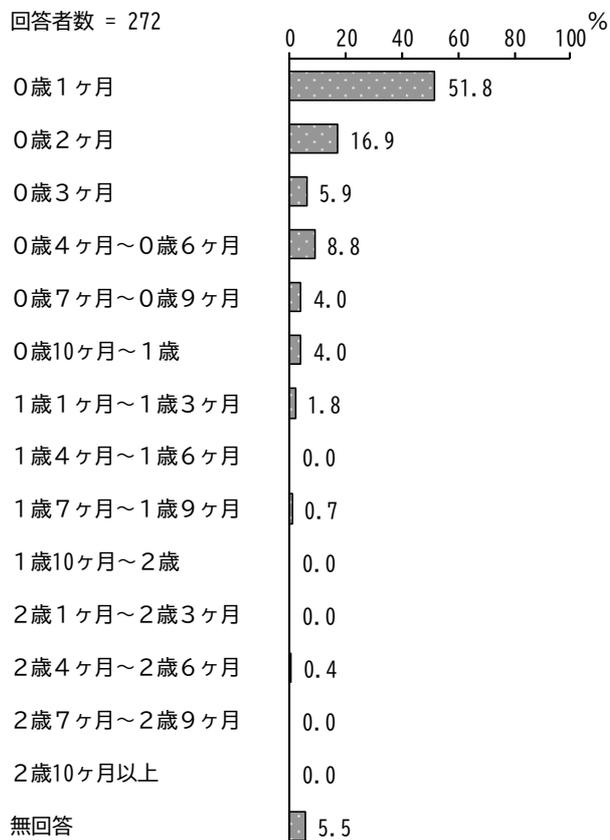


(2) 父親

「実際」の取得期間

「0歳1ヶ月」の割合が51.8%と最も高く、次いで「0歳2ヶ月」の割合が16.9%となっています。

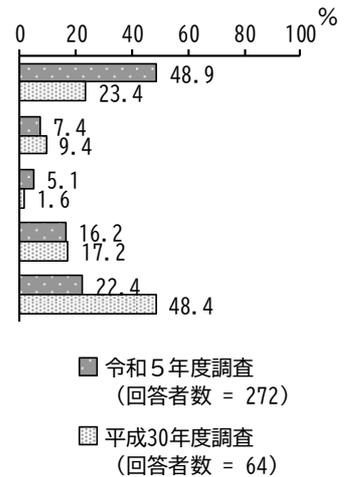
回答者数 = 272



「希望」の取得期間<職場の育休制度の期間内> (○は1つ)

「満1歳まで」の割合が48.9%と最も高くなっています。
 平成30年度調査と比較すると、「満1歳まで」の割合が増加しています。

満1歳まで
 出生後最初の4月の一斉入所時
 出生後2度目の4月の一斉入所時
 その他
 無回答

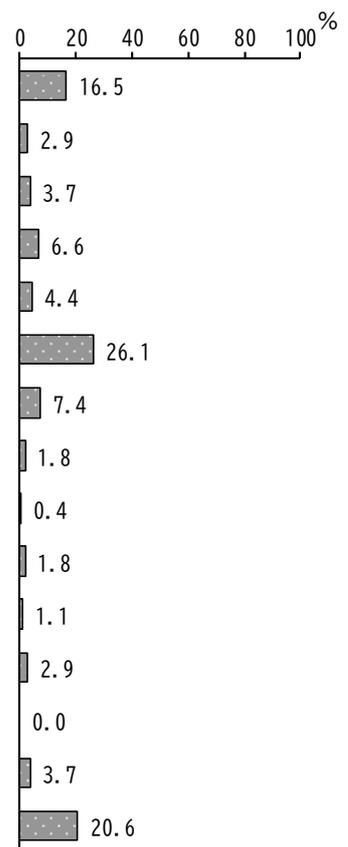


期間

「0歳10ヶ月～1歳」の割合が26.1%と最も高く、次いで「0歳1ヶ月」の割合が16.5%となっています。

回答者数 = 272

0歳1ヶ月
 0歳2ヶ月
 0歳3ヶ月
 0歳4ヶ月～0歳6ヶ月
 0歳7ヶ月～0歳9ヶ月
 0歳10ヶ月～1歳
 1歳1ヶ月～1歳3ヶ月
 1歳4ヶ月～1歳6ヶ月
 1歳7ヶ月～1歳9ヶ月
 1歳10ヶ月～2歳
 2歳1ヶ月～2歳3ヶ月
 2歳4ヶ月～2歳6ヶ月
 2歳7ヶ月～2歳9ヶ月
 2歳10ヶ月以上
 無回答

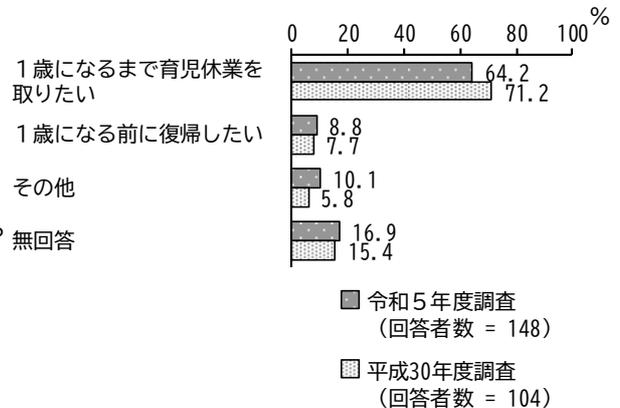


問 33-3 問 33-1 で「2. 現在も育児休業中である」を選ばれた、現在も育児休業中の方で、お子さんが1歳未満の方にお伺いします。お子さんが1歳になった時点で、必ず保育所等に預けることができれば、1歳になるまで育児休業を取りますか。または、保育所等に預けられたとしても、1歳になる前に復帰しますか。

(1) 母親が育児休業中の場合 (○は1つ)

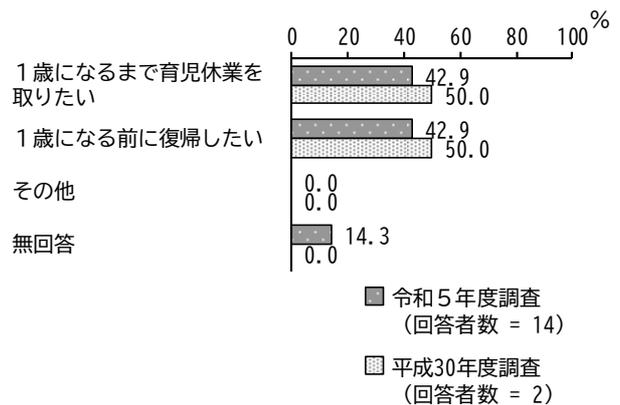
「1歳になるまで育児休業を取りたい」の割合が64.2%、「1歳になる前に復帰したい」の割合が8.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1歳になるまで育児休業を取りたい」の割合が減少しています。



(2) 父親が育児休業中の場合 (○は1つ)

「1歳になるまで育児休業を取りたい」、「1歳になる前に復帰したい」の割合が42.9%となっています。

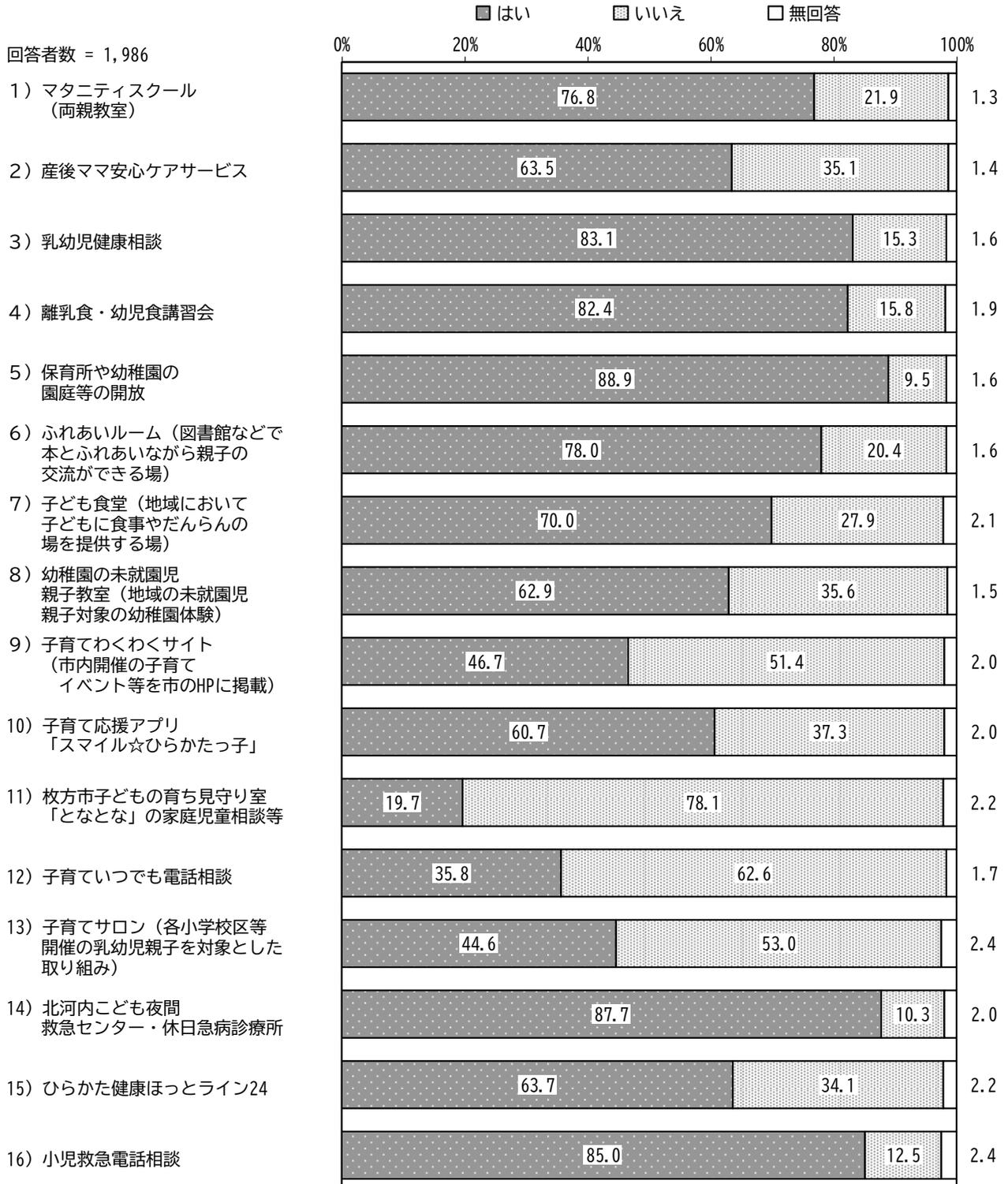


(12) 子育て支援サービスについて

問 34 子育て支援サービスについて認知度、利用希望についてお伺いします。下記の1～16のサービスごとにA・Bの両方について「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

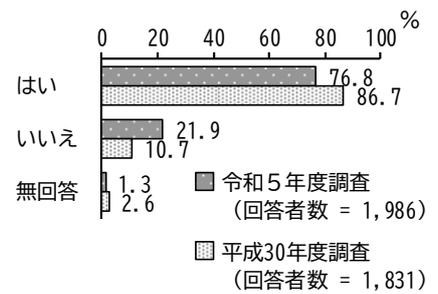
A 知っている

『5) 保育所や幼稚園の園庭等の開放』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『11) 枚方市子どもの育ち見守り室「となとな」の家庭児童相談等』で「いいえ」の割合が高くなっています。



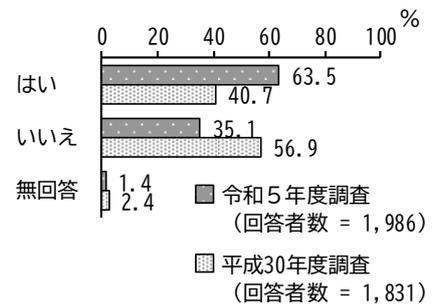
1) マタニティスクール (両親教室)

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



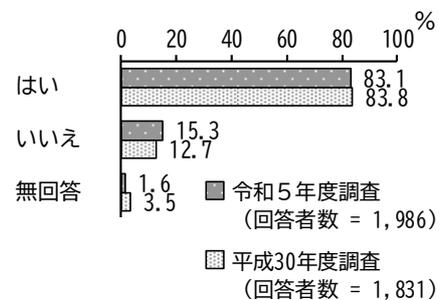
2) 産後ママ安心ケアサービス

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



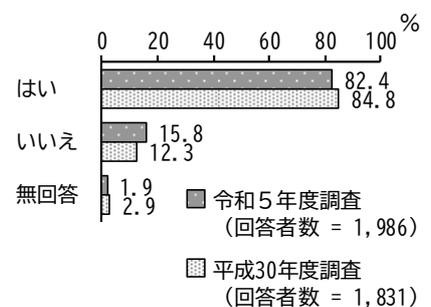
3) 乳幼児健康相談

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



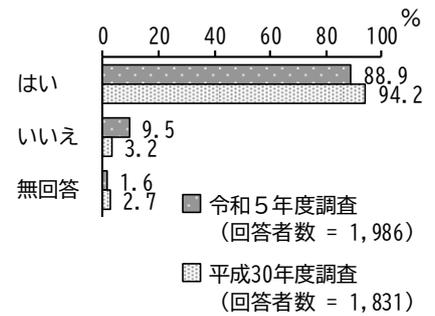
4) 離乳食・幼児食講習会

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



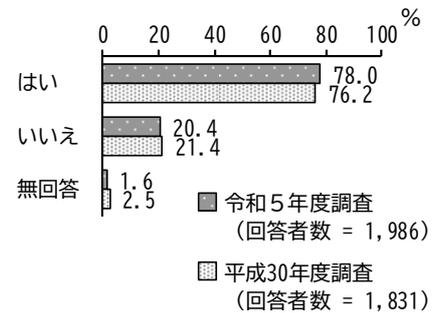
5) 保育所や幼稚園の園庭等の開放

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



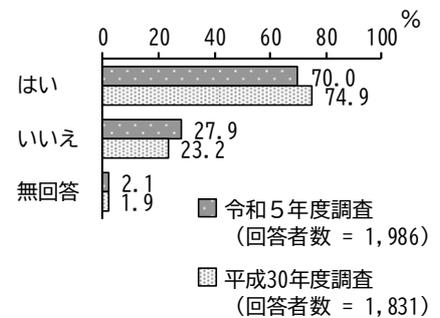
6) ふれあいルーム（図書館などで本とふれあいながら親子の交流ができる場）

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



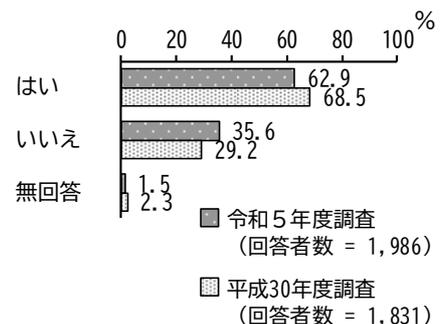
7) 子ども食堂（地域において子どもに食事やだんらんの場を提供する場）

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



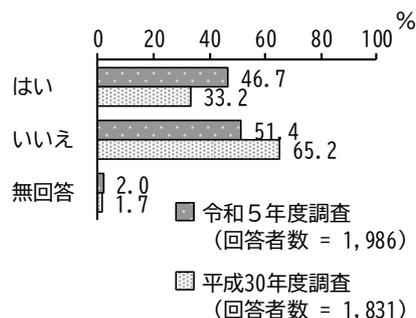
8) 幼稚園の未就園児親子教室（地域の未就園児親子対象の幼稚園体験）

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



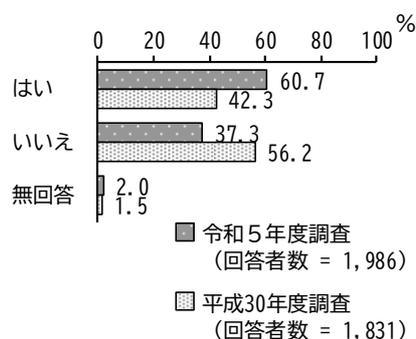
9) 子育てわくわくサイト（市内開催の子育てイベント等を市のHPに掲載）

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



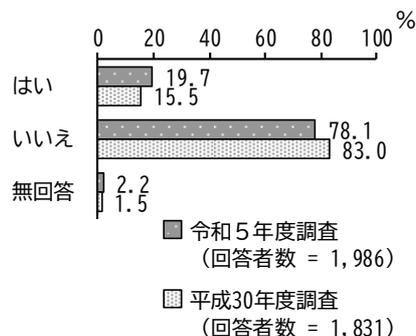
10) 子育て応援アプリ「スマイル☆ひらかたっ子」

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



11) 枚方市子どもの育ち見守り室「となとな」の家庭児童相談等

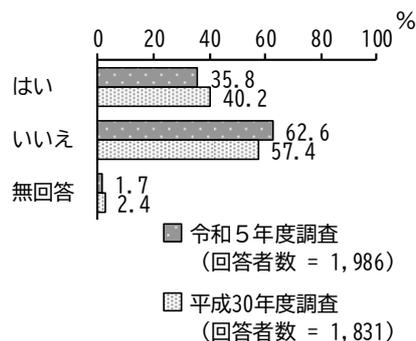
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※前回調査では、「枚方市子どもの育ち見守り室「となとな」の家庭児童相談等」の設問が「枚方市子ども総合相談センター「となとな」の相談サービスの認知度」でした。

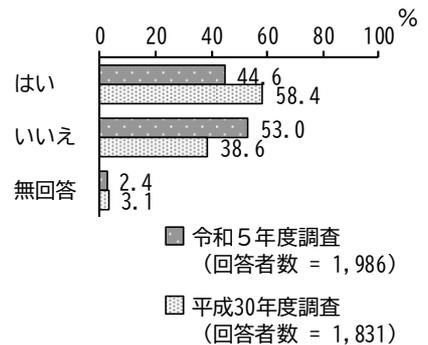
12) 子育ていつでも電話相談

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



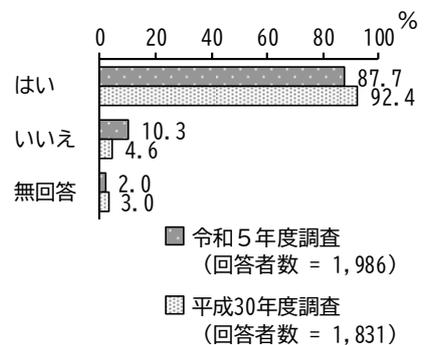
13) 子育てサロン（各小学校区等開催の乳幼児親子を対象とした取り組み）

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



14) 北河内こども夜間救急センター・休日急病診療所

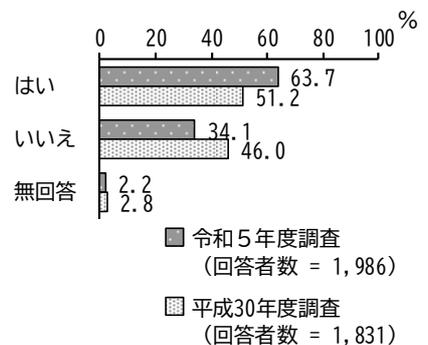
平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



※前回調査では、「北河内こども夜間救急センター・休日急病診療所」の設問が「北河内夜間救急センター・休日急病診療所の認知度」でした。

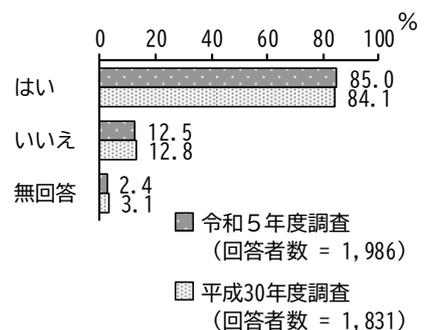
15) ひらかた健康ほっとライン 24

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



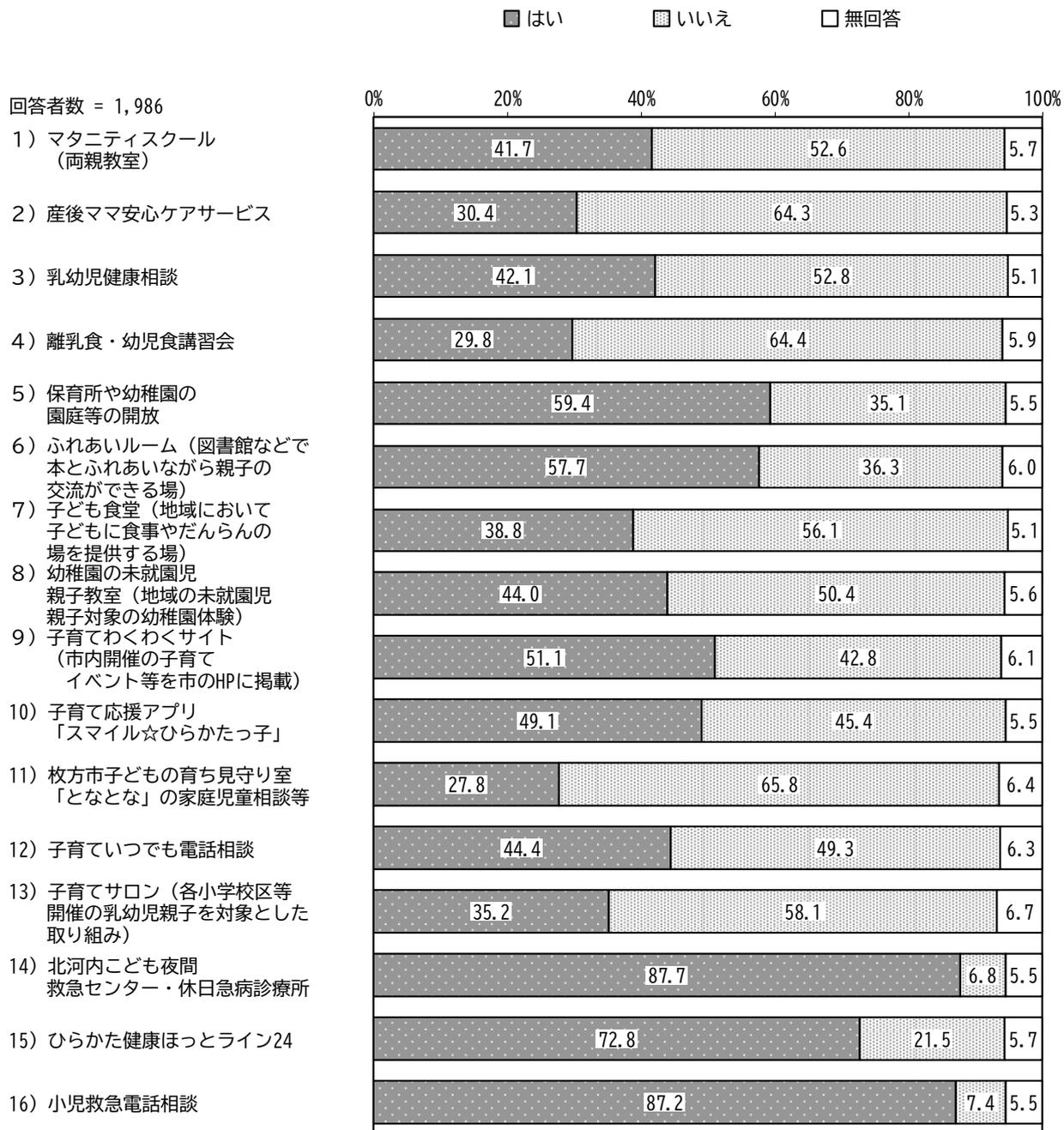
16) 小児救急電話相談

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



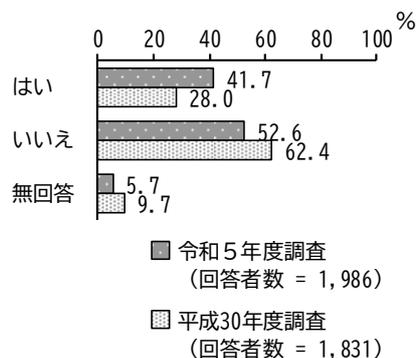
B 今後利用したい

『14) 北河内こども夜間救急センター・休日急病診療所』『16) 小児救急電話相談』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『11) 枚方市子どもの育ち見守り室「となとな」の家庭児童相談等』で「いいえ」の割合が高くなっています。



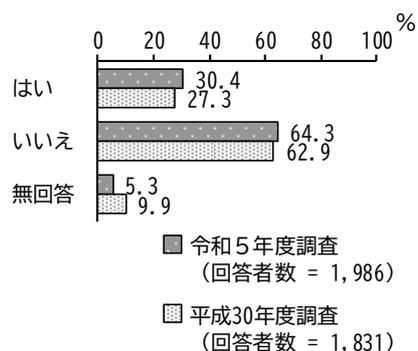
1) マタニティスクール (両親教室)

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



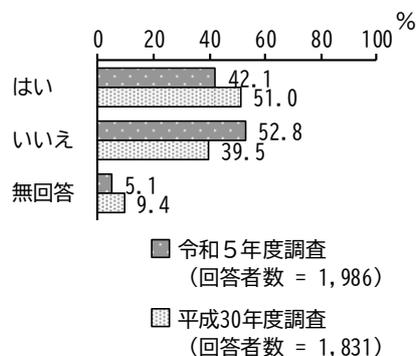
2) 産後ママ安心ケアサービス

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



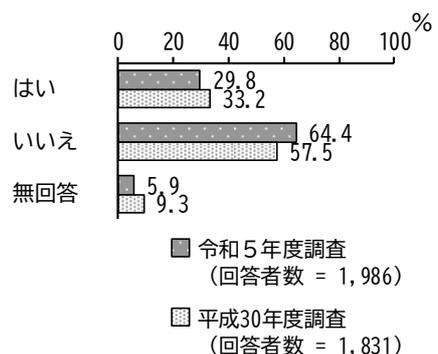
3) 乳幼児健康相談

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



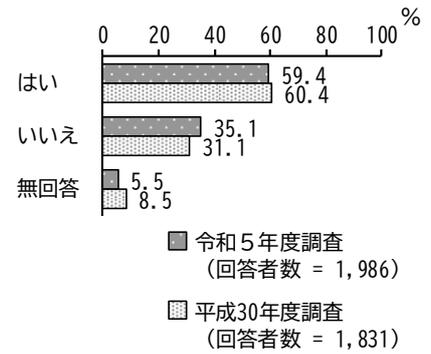
4) 離乳食・幼児食講習会

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



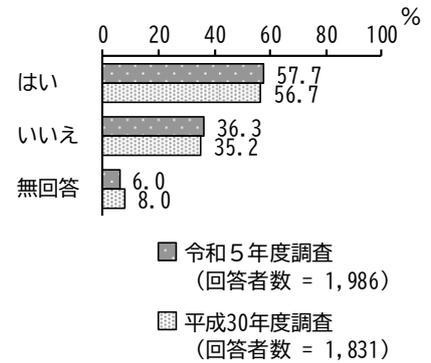
5) 保育所や幼稚園の園庭等の開放

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



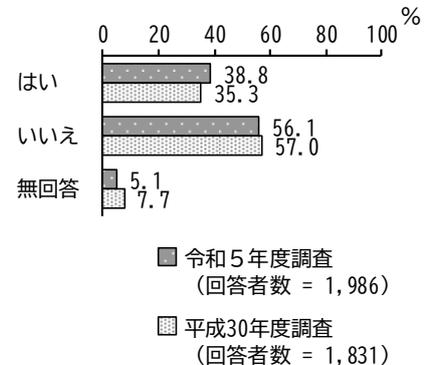
6) ふれあいルーム（図書館などで本とふれあいながら親子の交流ができる場）

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



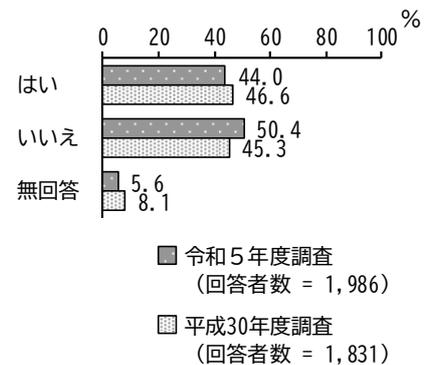
7) 子ども食堂（地域において子どもに食事やだんらんの場を提供する場）

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



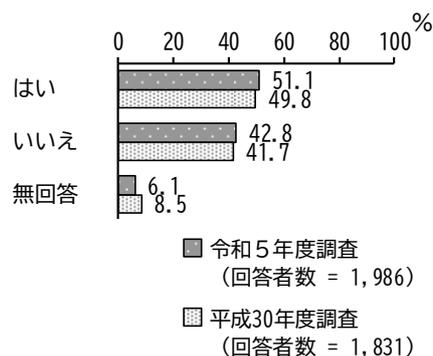
8) 幼稚園の未就園児親子教室（地域の未就園児親子対象の幼稚園体験）

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



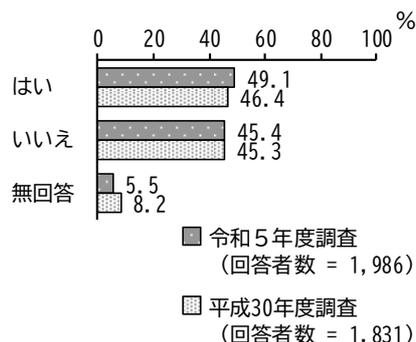
9) 子育てわくわくサイト（市内開催の子育てイベント等を市のHPに掲載）

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



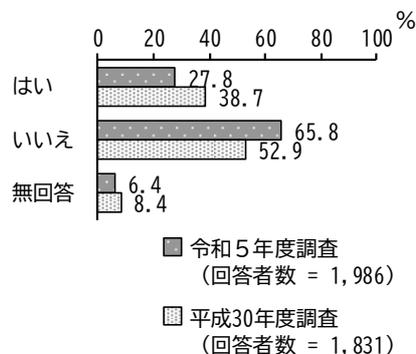
10) 子育て応援アプリ「スマイル☆ひらかたっ子」

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



11) 枚方市子どもの育ち見守り室「となとな」の家庭児童相談等

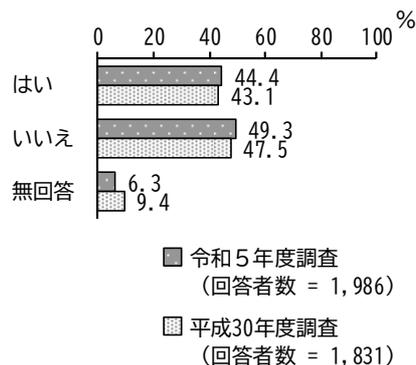
平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



※前回調査では、「枚方市子どもの育ち見守り室「となとな」の家庭児童相談等」の設問が「枚方市子ども総合相談センター「となとな」の相談サービスの認知度」でした。

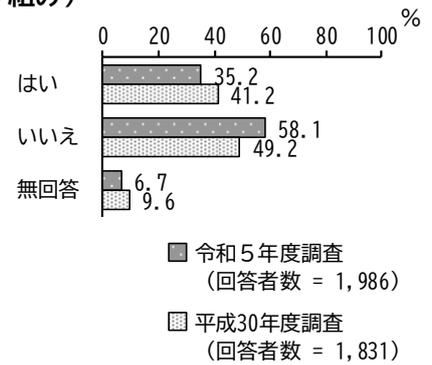
12) 子育ていつでも電話相談

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



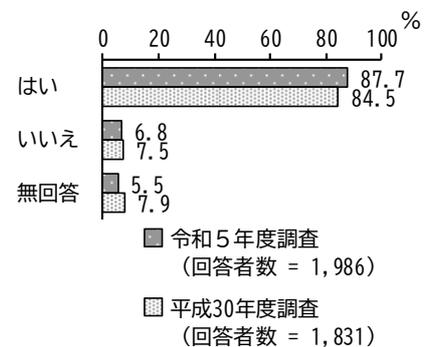
13) 子育てサロン（各小学校区等開催の乳幼児親子を対象とした取り組み）

平成 30 年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



14) 北河内こども夜間救急センター・休日急病診療所

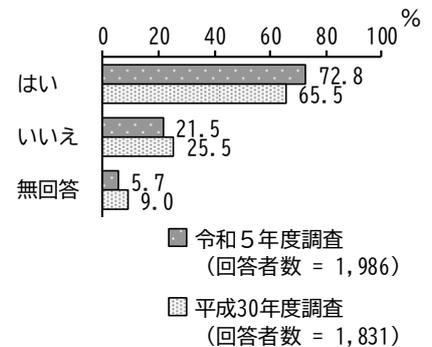
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※前回調査では、「北河内こども夜間救急センター・休日急病診療所」の設問が「北河内夜間救急センター・休日急病診療所の認知度」でした。

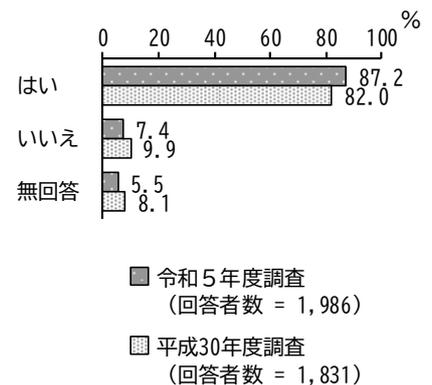
15) ひらかた健康ほっとライン 24

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



16) 小児救急電話相談

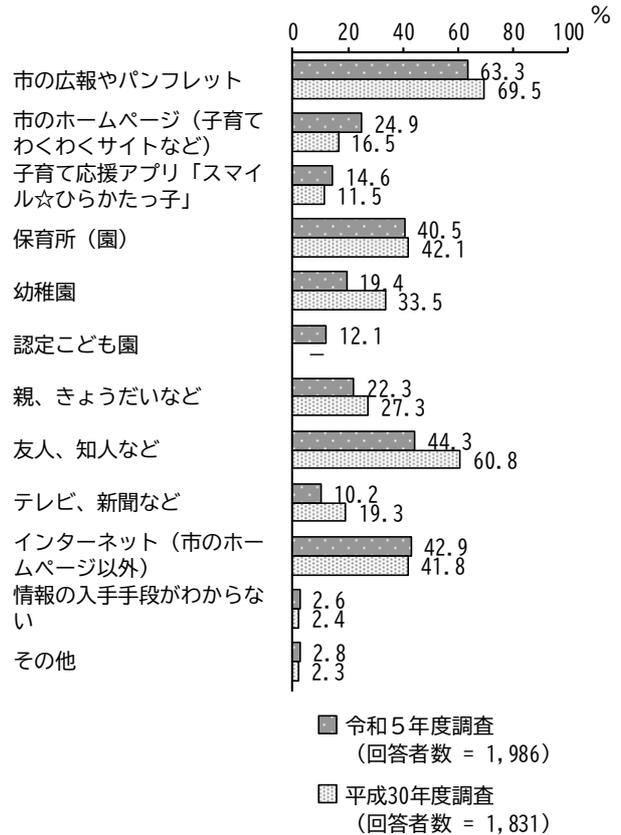
平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



問 35 子育てに関する情報をどのような方法で入手していますか。(〇はいくつでも)

「市の広報やパンフレット」の割合が63.3%と最も高く、次いで「友人、知人など」の割合が44.3%、「インターネット（市のホームページ以外）」の割合が42.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「市のホームページ（子育てわくわくサイトなど）」の割合が増加しています。一方、「市の広報やパンフレット」「幼稚園」「友人、知人など」「テレビ、新聞など」の割合が減少しています。



※前回調査では、「認定こども園」の選択肢はありませんでした。

(13) 仕事と子育ての両立、仕事と生活の調和（ワークライフバランス）について

問 36 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。平日と休日それぞれについてカッコ内に時間をご記入ください。また、その時間は十分だと思いますか。（○は1つ）

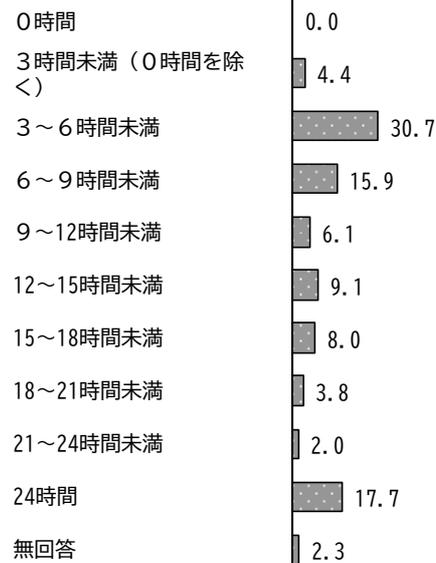
(1) 母親

ア. 平日

1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間

「3～6時間未満」の割合が30.7%と最も高く、次いで「24時間」の割合が17.7%、「6～9時間未満」の割合が15.9%となっています。

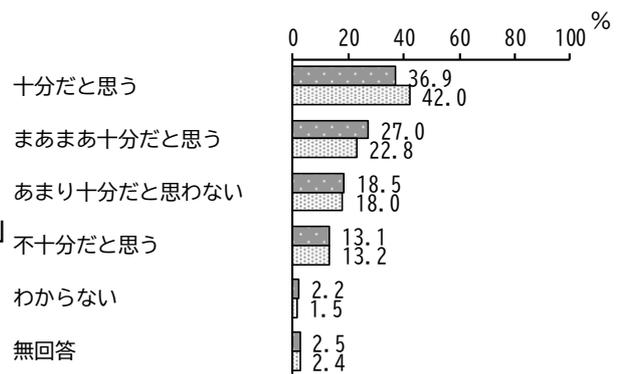
回答者数 = 1,981



子どもと一緒に過ごす時間

「十分だと思う」の割合が36.9%と最も高く、次いで「まあまあ十分だと思う」の割合が27.0%、「あまり十分だと思わない」の割合が18.5%となっています。

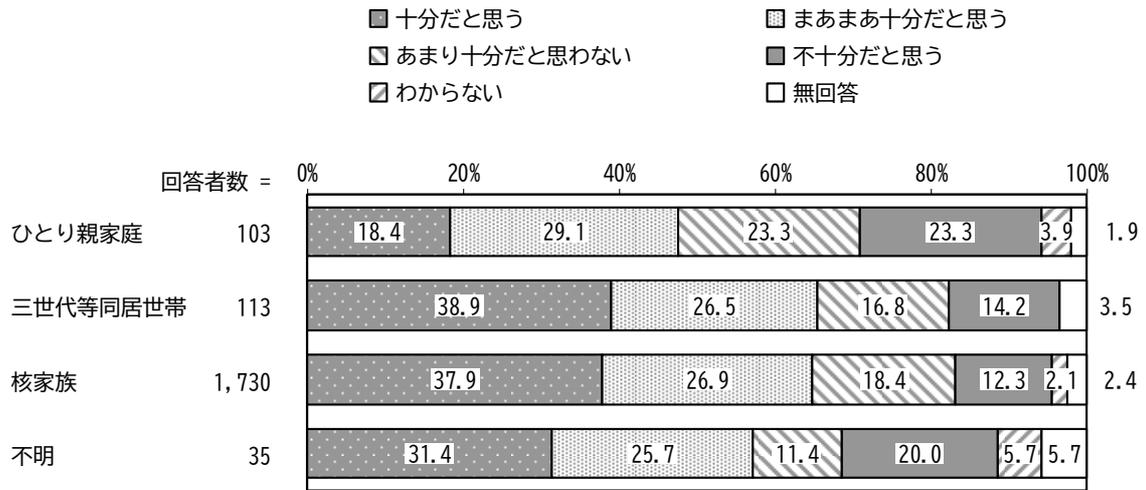
平成30年度調査と比較すると、「十分だと思う」の割合が減少しています。



■ 令和5年度調査
(回答者数 = 1,981)
▨ 平成30年度調査
(回答者数 = 1,830)

【世帯類型別】

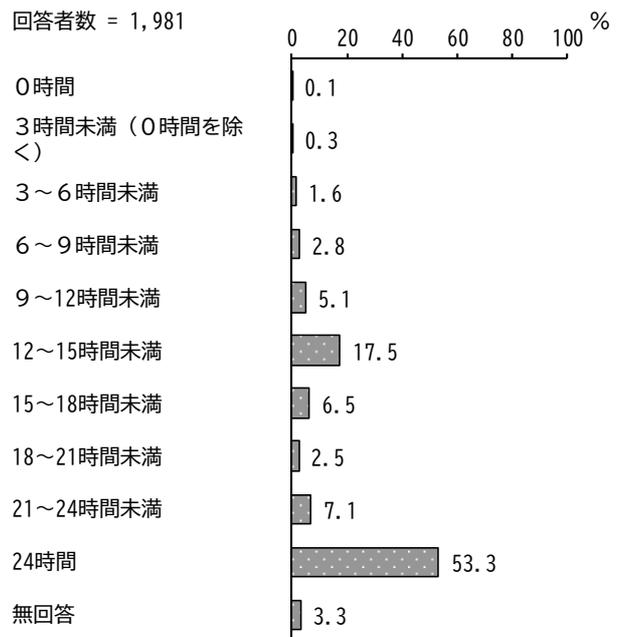
世帯類型別にみると、ひとり親家庭で「不十分だと思う」の割合が高くなっています。



イ. 休日

1日当たり子どもと一緒に過ごす時間

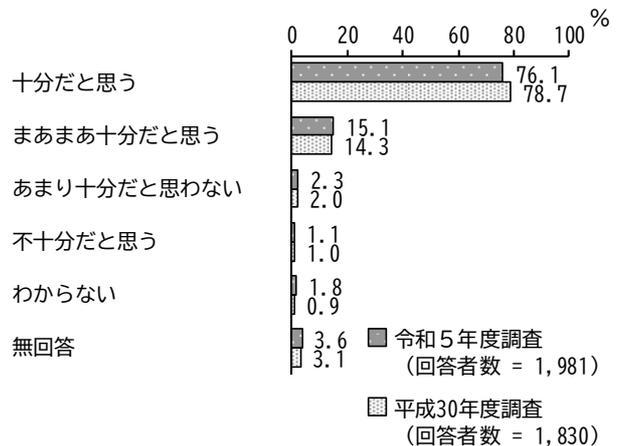
「24時間」の割合が53.3%と最も高く、次いで「12～15時間未満」の割合が17.5%となっています。



子どもと一緒に過ごす時間

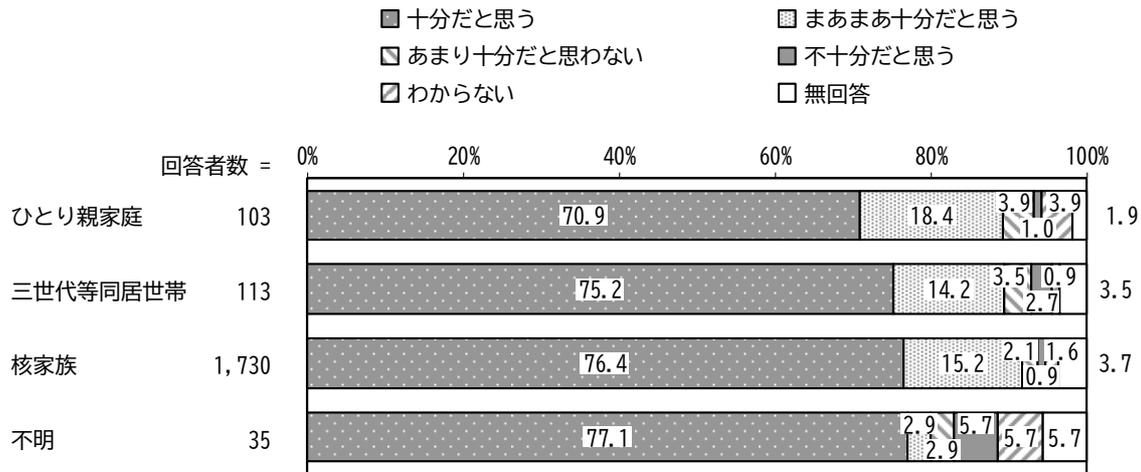
「十分だと思う」の割合が76.1%と最も高く、次いで「まあまあ十分だと思う」の割合が15.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【世帯類型別】

世帯類型別にみると、大きな差はみられません。

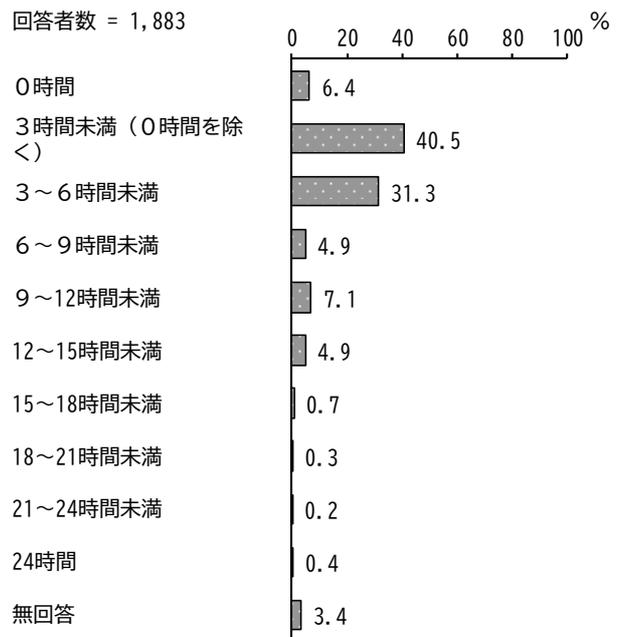


(2) 父親

ア. 平日

1日当たり子どもと一緒に過ごす時間

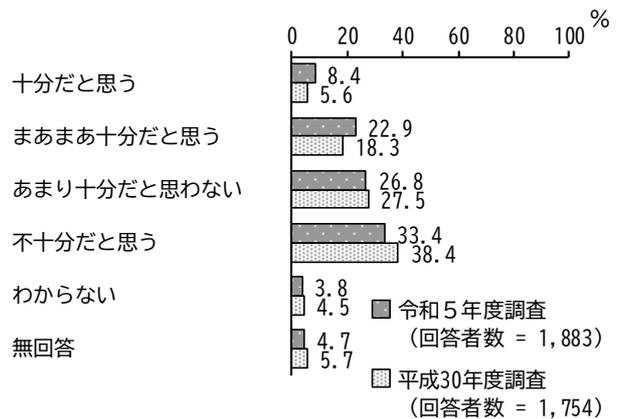
「3時間未満(0時間を除く)」の割合が40.5%と最も高く、次いで「3～6時間未満」の割合が31.3%となっています。



子どもと一緒に過ごす時間

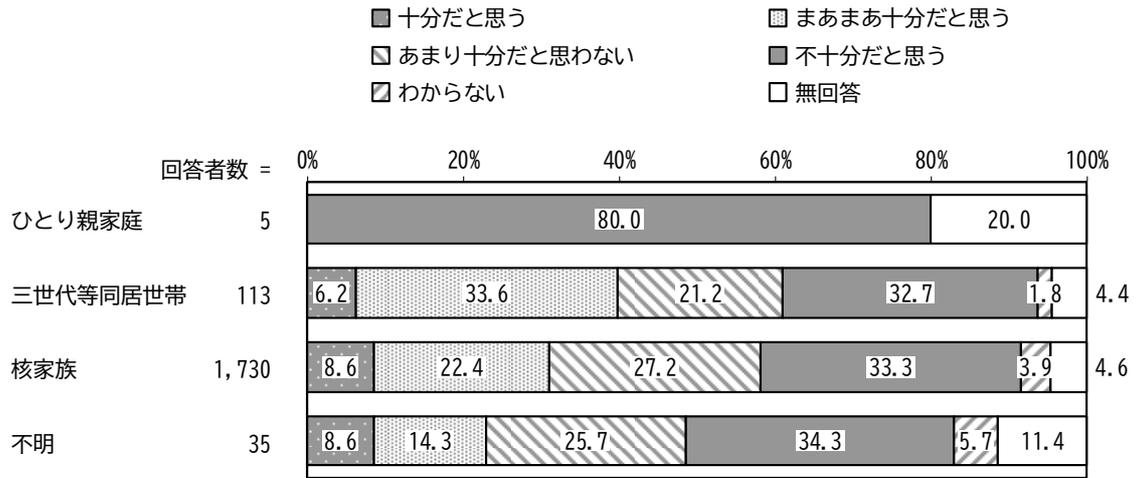
「不十分だと思う」の割合が33.4%と最も高く、次いで「あまり十分だと思わない」の割合が26.8%、「まあまあ十分だと思う」の割合が22.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【世帯類型別】

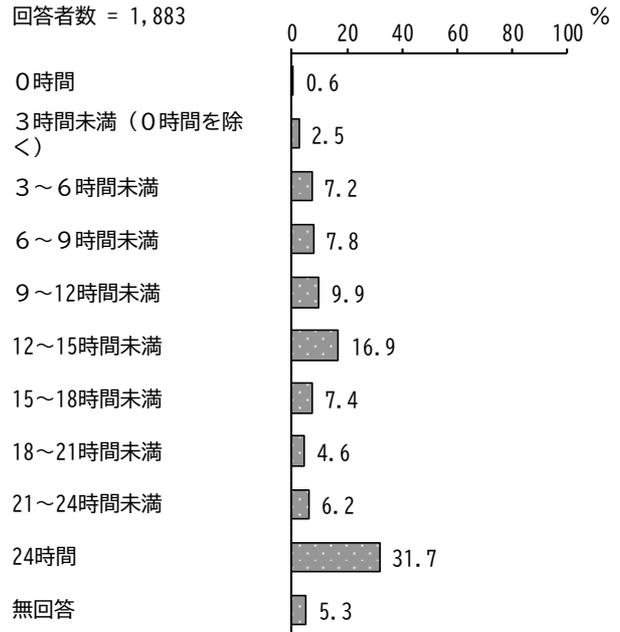
世帯類型別にみると、三世帯等同居世帯で「まあまあ十分だと思う」の割合が高くなっています。



イ. 休日

1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間

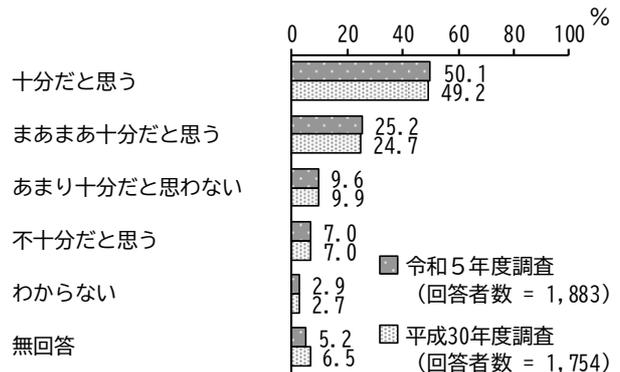
「24 時間」の割合が 31.7%と最も高く、次いで「12～15 時間未満」の割合が 16.9%となっています。



子どもと一緒に過ごす時間

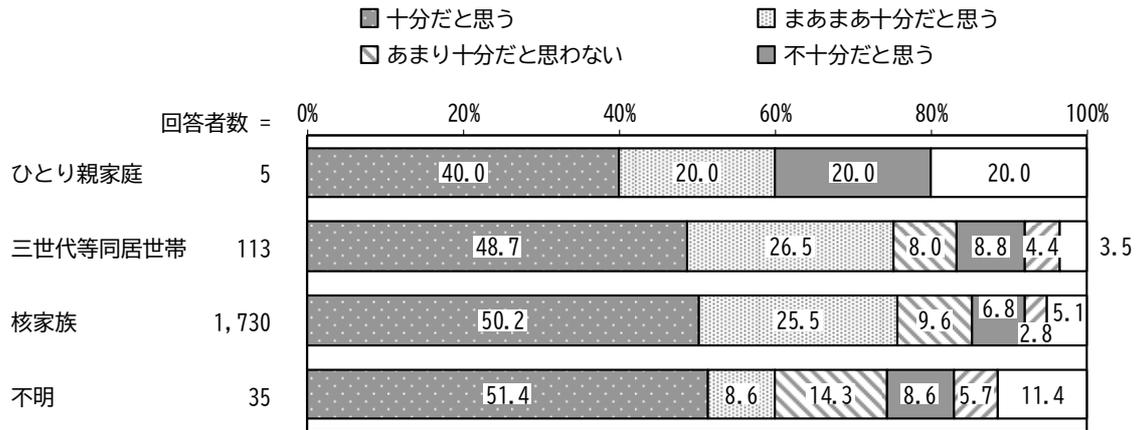
「十分だと思う」の割合が 50.1%と最も高く、次いで「まあまあ十分だと思う」の割合が 25.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【世帯類型別】

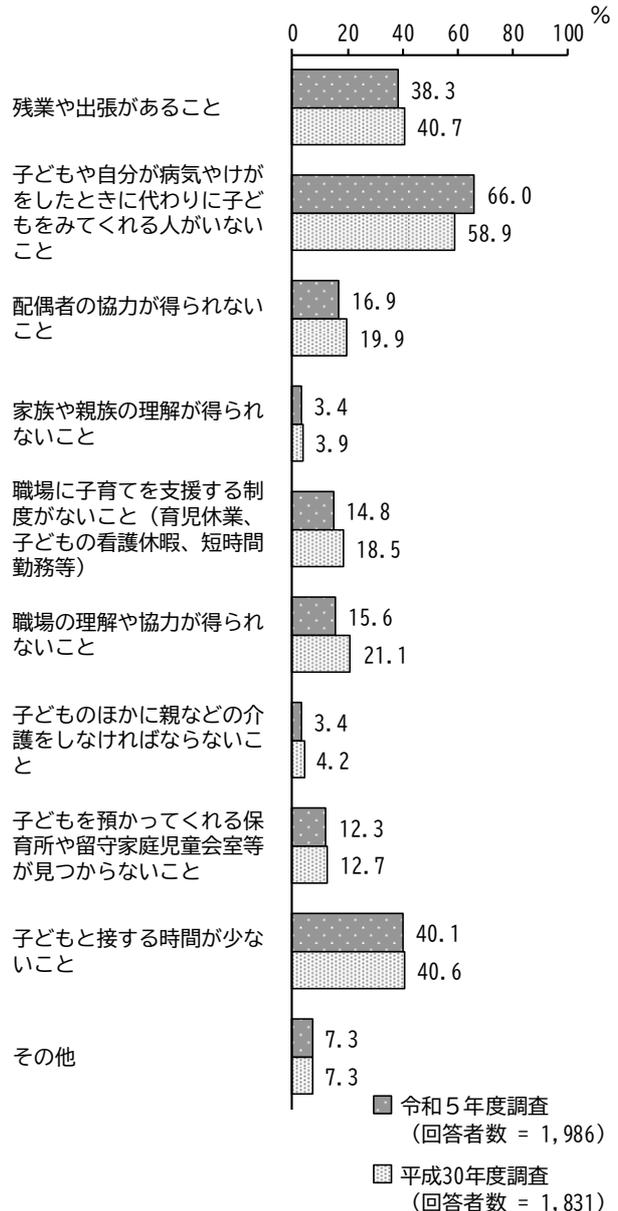
世帯類型別にみると、大きな差はみられません。



問 37 仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみってくれる人がいないこと」の割合が66.0%と最も高く、次いで「子どもと接する時間が少ないこと」の割合が40.1%、「残業や出張があること」の割合が38.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみってくれる人がいないこと」の割合が増加しています。一方、「職場の理解や協力が得られないこと」の割合が減少しています。



【就労状況別】

就労状況別にみると、夫婦フルタイムで「子どもと接する時間が少ないこと」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	残業や出張がある こと	子どもや自分が病 気やけがをしたと きに代わりに子ど もをみてくれる人 がいないこと	配偶者の協力が得 られないこと	家族や親族の理解 が得られないこと	職場に子育てを支 援する制度がない こと 育児休業、子 どもの看護休暇、短 時間勤務等)
全 体	1,986	38.3	66.0	16.9	3.4	14.8
夫婦フルタイム	789	47.7	66.3	13.8	2.2	9.6
どちらかがパート	557	28.4	66.1	18.3	4.1	15.1
どちらかが未就労	519	36.6	68.0	20.6	4.6	22.0
ひとり親	108	32.4	53.7	13.9	2.8	15.7
不明	13	15.4	61.5	15.4	7.7	15.4

区分	職場の理解や協力 が得られないこと	子どものほかに親 などの介護をしな ければならないこ と	子どもを預かって くれる保育所や留 守家庭児童会室等 が見つからないこ と	子どもと接する時 間が少ないこと	その他	無回答
全 体	15.6	3.4	12.3	40.1	7.3	6.1
夫婦フルタイム	15.3	2.5	10.8	54.5	9.1	3.3
どちらかがパート	8.4	3.1	8.1	29.4	9.0	7.9
どちらかが未就労	24.3	5.0	20.0	27.9	3.3	7.5
ひとり親	13.0	3.7	9.3	50.9	3.7	8.3
不明	7.7	7.7	7.7	15.4	15.4	30.8

【現在の暮らし向き別】

現在の暮らし向き別にみると、大変苦しいで「職場に子育てを支援する制度がないこと（育児休業、子どもの看護休暇、短時間勤務等）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	残業や出張がある こと	子どもや自分が病 気やけがをしたと きに代わりに子ど もをみてくれる人 がいないこと	配偶者の協力が得 られないこと	家族や親族の理解 が得られないこと	職場に子育てを支 援する制度がない こと 育児休業、子 どもの看護休暇、短 時間勤務等)
全 体	1,986	38.3	66.0	16.9	3.4	14.8
大変苦しい	124	28.2	69.4	23.4	8.9	25.8
やや苦しい	584	36.5	67.3	19.5	3.8	18.7
普通	1,072	40.2	65.2	15.0	2.7	12.1
ややゆとりがある	178	42.1	67.4	15.2	2.8	11.8
大変ゆとりがある	20	25.0	45.0	15.0	-	-

区分	職場の理解や協 力が得られないこと	子どもをほかに親 などの介護をしな ければならないこ と	子どもを預かって くれる保育所や留 守家庭児童会室等 が見つかからないこ と	子どもと接する時 間が少ないこと	その他	無回 答
全 体	15.6	3.4	12.3	40.1	7.3	6.1
大変苦しい	17.7	4.0	17.7	46.8	9.7	4.8
やや苦しい	16.6	4.5	14.9	38.2	7.0	5.1
普通	14.7	2.9	10.3	39.7	6.9	6.9
ややゆとりがある	15.7	3.4	12.4	44.9	8.4	4.5
大変ゆとりがある	15.0	-	15.0	30.0	15.0	10.0

【子どもの人数別】

子どもの人数別にみると、5人で「残業や出張があること」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	残業や出張がある こと	子どもや自分が病 気やけがをしたと きに代わりに子ど もをみてくれる人 がいないこと	配偶者の協力が得 られないこと	家族や親族の理解 が得られないこと	職場に子育てを支 援する制度がない こと 育児休業、子 どもの看護休暇、短 時間勤務等)
全 体	1,986	38.3	66.0	16.9	3.4	14.8
1人	538	41.8	62.5	14.3	3.7	15.2
2人	984	39.1	66.7	17.8	3.6	14.3
3人	361	31.9	72.6	18.8	2.8	15.2
4人	60	30.0	56.7	13.3	3.3	13.3
5人	17	52.9	35.3	17.6	5.9	11.8
6人	2	50.0	100.0	50.0	-	50.0

区分	職場の理解や協力 が得られないこと	子どもをほかに親 などの介護をしな ければならないこ と	子どもを預かって くれる保育所や留 守家庭児童会室等 が見つかからないこ と	子どもと接する時 間が少ないこと	その他	無回答
全 体	15.6	3.4	12.3	40.1	7.3	6.1
1人	14.5	3.0	14.7	40.0	8.9	4.6
2人	16.3	3.9	12.0	41.3	6.8	6.3
3人	16.3	2.8	11.4	38.8	6.9	6.6
4人	10.0	3.3	5.0	35.0	3.3	10.0
5人	11.8	5.9	17.6	29.4	5.9	5.9
6人	50.0	-	-	50.0	-	-

【世帯類型別】

世帯類型別にみると、ひとり親家庭で「子どもと接する時間が少ないこと」の割合が高くなっています。

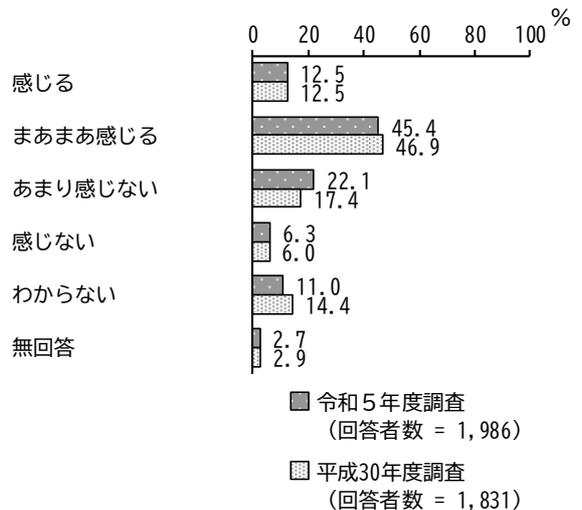
単位：％

区分	回答者数 (件)	残業や出張がある こと	子どもや自分が病 気やけがをしたと きに代わりに子ど もをみてくれる人 がいないこと	配偶者の協力が得 られないこと	家族や親族の理解 が得られないこと	職場に子育てを支 援する制度がない こと、育児休業、子 どもの看護休暇、短 時間勤務等)
全 体	1,986	38.3	66.0	16.9	3.4	14.8
ひとり親家庭	108	32.4	53.7	13.9	2.8	15.7
三世代等同居世帯	113	38.1	54.0	15.0	7.1	15.0
核家族	1,730	38.7	67.6	17.2	3.1	14.6
不明	35	37.1	62.9	14.3	8.6	17.1

区分	職場の理解や協力 が得られないこと	子どものほかに親 などの介護をしない とすればならないこ と	子どもを預かって 守家庭児童会室等 が見つかからないこ と	子どもと接する時 間が少ないこと	その他	無回答
全 体	15.6	3.4	12.3	40.1	7.3	6.1
ひとり親家庭	13.0	3.7	9.3	50.9	3.7	8.3
三世代等同居世帯	10.6	8.8	8.8	36.3	12.4	7.1
核家族	16.0	3.0	12.6	39.8	7.2	5.8
不明	17.1	5.7	20.0	31.4	8.6	11.4

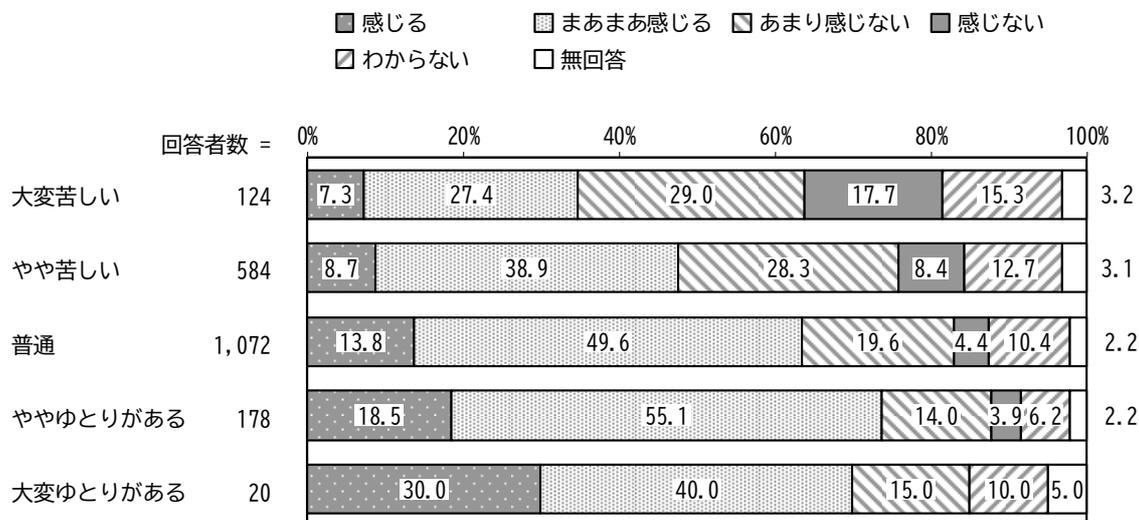
問 38 あなたの家庭では、仕事と生活の調和が図られていると感じますか。
(○は1つ)

「まあまあ感じる」の割合が 45.4%と最も高く、次いで「あまり感じない」の割合が 22.1%、「感じる」の割合が 12.5%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



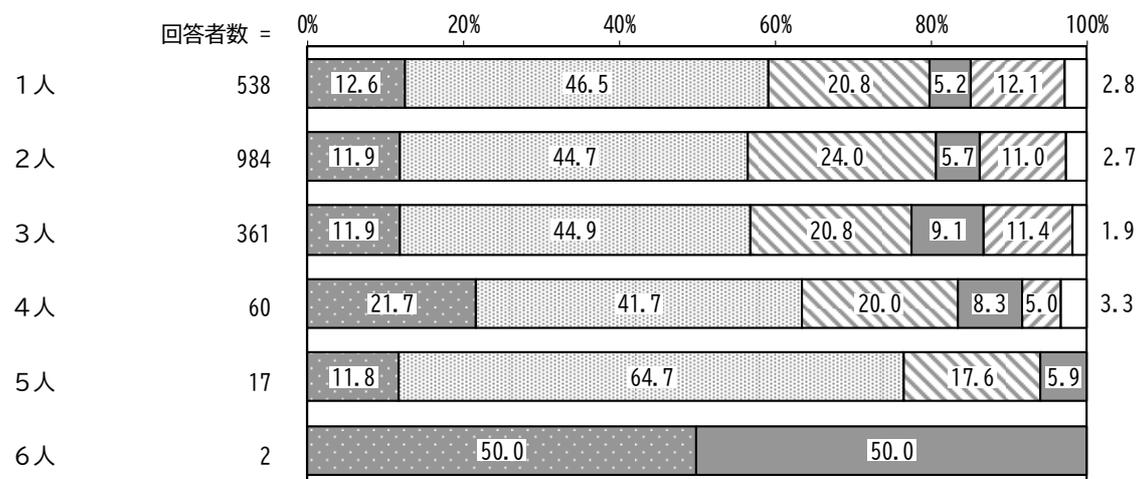
【現在の暮らし向き別】

現在の暮らし向き別にみると、大変ゆとりがあるで「感じる」の割合が高くなっています。



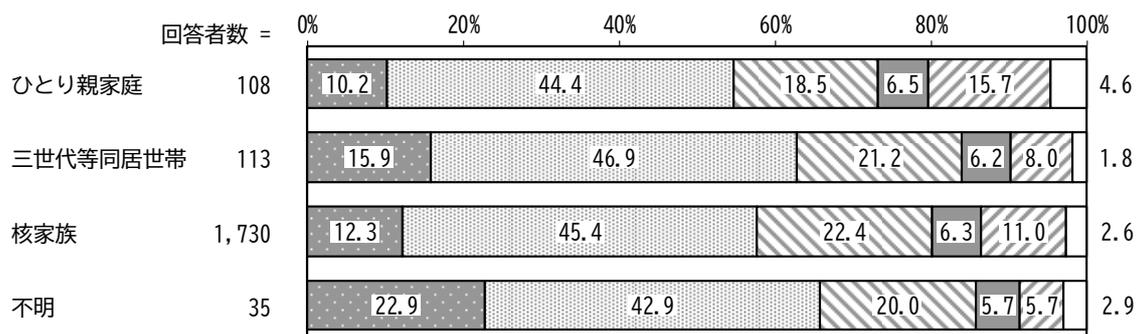
【子どもの人数別】

子どもの人数別にみると、5人で「まあまあ感じる」の割合が高くなっています。



【世帯類型別】

世帯類型別にみると、不明で「感じる」の割合が高くなっています。

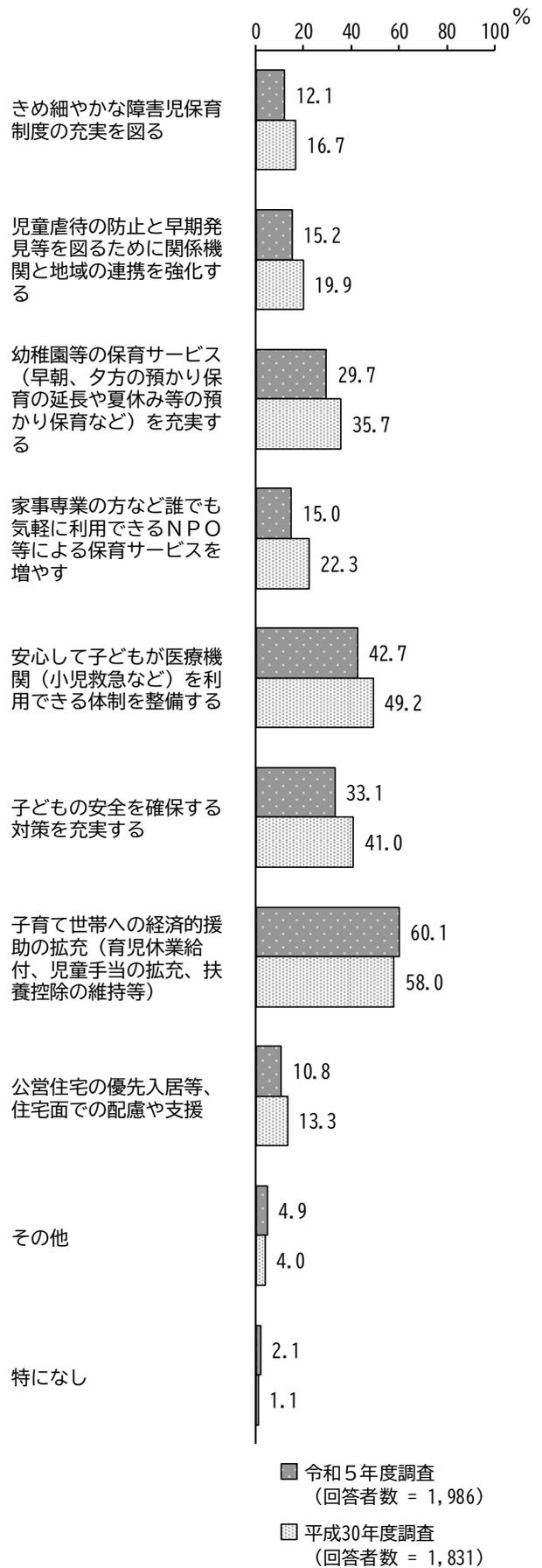
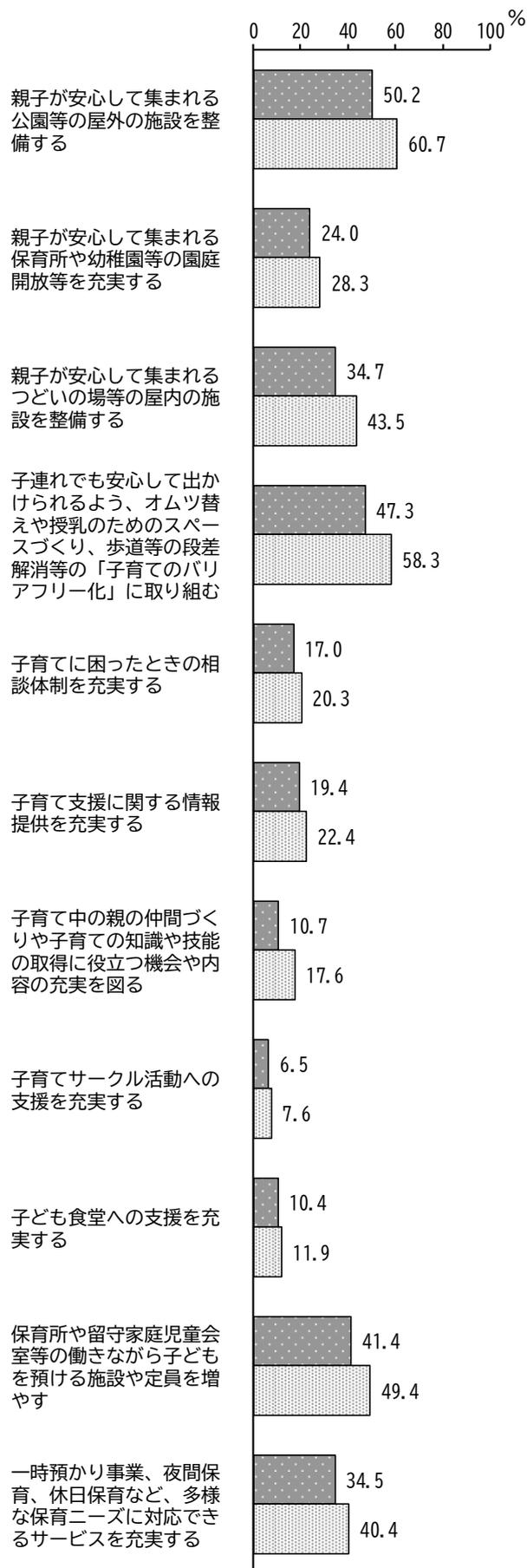


(14) 行政サービスへの要望について

問 39 行政（市、府、国）に対して、子育てサービスの現状やあなたの子育て経験などから、どのような支援策の充実を図ってほしいですか。（〇はいくつでも）

「子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持等）」の割合が 60.1%と最も高く、次いで「親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する」の割合が 50.2%、「子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくり、歩道等の段差解消等の「子育てのバリアフリー化」に取り組む」の割合が 47.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する」「親子が安心して集まれるつどいの場等の屋内の施設を整備する」「子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくり、歩道等の段差解消等の「子育てのバリアフリー化」に取り組む」「子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識や技能の取得に役立つ機会や内容の充実を図る」「保育所や留守家庭児童会室等の働きながら子どもを預ける施設や定員を増やす」「一時預かり事業、夜間保育、休日保育など、多様な保育ニーズに対応できるサービスを充実する」「幼稚園等の保育サービス（早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休み等の預かり保育など）を充実する」「家事専業の方など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスを増やす」「安心して子どもが医療機関（小児救急など）を利用できる体制を整備する」「子どもの安全を確保する対策を充実する」の割合が減少しています。



【現在の暮らし向き別】

現在の暮らし向き別にみると、大変苦しいで「子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持等）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する	親子が安心して集まれる保育所や幼稚園等の園庭開放等を充実する	親子が安心して集まれるつごいの場等の屋内の施設を整備する	親子が安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくり、歩道等の段差解消等の「子育てのバリアフリー化」に取り組み	子育てに困ったときの相談体制を充実する	子育て支援に関する情報提供を充実する	子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識や技能の取得に役立つ機会や内容の充実を図る	子育てサークル活動への支援を充実する	子ども食堂への支援を充実する	保育所や留守家庭児童会室等の働きながら子どもを預ける施設や定員を増やす	一時預かり事業、夜間保育、休日保育など、多様な保育ニーズに対応できるサービスを充実する
全体	1,986	50.2	24.0	34.7	47.3	17.0	19.4	10.7	6.5	10.4	41.4	34.5
大変苦しい	124	36.3	23.4	33.9	49.2	21.0	23.4	9.7	7.3	22.6	41.9	34.7
やや苦しい	584	47.8	26.7	33.4	45.2	18.3	22.6	10.1	7.2	11.8	38.5	34.8
普通	1,072	53.5	22.9	35.5	48.6	16.5	18.5	11.5	6.1	9.0	42.4	33.8
ややゆとりがある	178	51.1	23.0	37.1	47.8	14.0	13.5	10.1	6.7	6.7	46.1	40.4
大変ゆとりがある	20	25.0	15.0	15.0	25.0	10.0	5.0	-	-	5.0	30.0	20.0

区分	きめ細やかな障害児保育制度の充実を図る	児童虐待の防止と早期発見等を図るために関係機関と地域の連携を強化する	幼稚園等の保育サービス 早期、夕方の預かり保育の延長や夏休み等の預かり保育などを充実する	家事専業の方など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスを増やす	安心して子どもが医療機関 小児救急など）を利用できる体制を整備する	子どもの安全を確保する対策を充実する	子育て世帯への経済的援助の拡充 育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持等	公営住宅の優先入居等、住宅面での配慮や支援	その他	特になし	無回答
全体	12.1	15.2	29.7	15.0	42.7	33.1	60.1	10.8	4.9	2.1	1.9
大変苦しい	12.9	19.4	35.5	16.9	47.6	35.5	76.6	25.0	6.5	2.4	2.4
やや苦しい	12.8	15.9	27.9	16.6	41.4	32.0	66.3	15.2	5.1	2.2	2.4
普通	11.7	14.6	29.7	14.0	43.8	33.9	58.1	7.6	3.6	2.1	1.8
ややゆとりがある	11.8	14.6	33.1	13.5	38.8	32.0	44.4	6.2	10.7	1.1	-
大変ゆとりがある	10.0	5.0	20.0	20.0	35.0	25.0	35.0	5.0	5.0	5.0	-

【子どもの人数別】

子どもの人数別にみると、4人で「子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する	親子が安心して集まれる保育所や幼稚園等の園庭開放等を充実する	親子が安心して集まれるつごいの場等の屋内の施設を整備する	親子が安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくり、歩道等の段差解消等の「子育てのバリアフリー化」に取り組み	子育てに困ったときの相談体制を充実する	子育て支援に関する情報提供を充実する	子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識や技能の取得に役立つ機会や内容の充実を図る	子育てサークル活動への支援を充実する	子ども食堂への支援を充実する	保育所や留守家庭児童会室等の働きながら子どもを預ける施設や定員を増やす	一時預かり事業、夜間保育、休日保育など、多様な保育ニーズに対応できるサービスを充実する
全体	1,986	50.2	24.0	34.7	47.3	17.0	19.4	10.7	6.5	10.4	41.4	34.5
1人	538	52.6	28.1	41.3	53.3	19.3	22.5	12.3	7.6	8.6	44.4	38.8
2人	984	51.5	25.2	34.3	47.1	17.1	18.4	11.3	6.4	9.7	41.3	34.8
3人	361	45.4	17.2	29.6	43.2	14.4	17.5	7.8	4.7	13.9	37.7	31.3
4人	60	55.0	13.3	25.0	36.7	11.7	25.0	8.3	8.3	21.7	43.3	25.0
5人	17	23.5	23.5	17.6	23.5	17.6	11.8	—	—	11.8	35.3	11.8
6人	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

区分	きめ細やかな障害児保育制度の充実を図る	児童虐待の防止と早期発見等を図るために関係機関と地域の連携を強化する	幼稚園等の保育サービス 早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休み等の預かり保育などを充実する	家事専門の方など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスを増やす	安心して子どもが医療機関 小児救急などを利用できる体制を整備する	子どもの安全を確保する対策を充実する	子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持等）	公営住宅の優先入居等、住宅面での配慮や支援	その他	特になし	無回答
全体	12.1	15.2	29.7	15.0	42.7	33.1	60.1	10.8	4.9	2.1	1.9
1人	13.2	17.7	35.7	16.5	45.0	36.2	59.5	15.4	4.5	1.3	1.3
2人	11.7	14.1	28.2	14.9	42.9	33.0	58.4	9.6	4.9	2.3	2.0
3人	12.2	15.2	26.3	14.1	39.6	29.6	64.8	7.2	6.4	1.9	2.5
4人	13.3	15.0	21.7	10.0	46.7	36.7	71.7	15.0	1.7	1.7	1.7
5人	5.9	5.9	29.4	5.9	35.3	11.8	64.7	5.9	5.9	5.9	—
6人	—	—	—	—	—	—	50.0	—	—	50.0	—

【世帯類型別】

世帯類型別にみると、ひとり親家庭で「公営住宅の優先入居等、住宅面での配慮や支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する	親子が安心して集まれる保育所や幼稚園等の園庭開放等を充実する	親子が安心して集まれるつごいの場等の屋内の施設を整備する	親子が安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくり、歩道等の段差解消等の「子育てのバリアフリー化」に取り組む	子育てに困ったときの相談体制を充実する	子育て支援に関する情報提供を充実する	子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識や技能の取得に役立つ機会や内容の充実を図る	子育てサークル活動への支援を充実する	子ども食堂への支援を充実する	保育所や留守家庭児童会室等の働きながら子どもを預ける施設や定員を増やす	一時預かり事業、夜間保育、休日保育など、多様な保育ニーズに対応できるサービスを充実する
全体	1,986	50.2	24.0	34.7	47.3	17.0	19.4	10.7	6.5	10.4	41.4	34.5
ひとり親家庭	108	41.7	19.4	27.8	36.1	13.9	20.4	10.2	6.5	12.0	38.0	24.1
三世帯等同居世帯	113	51.3	23.0	29.2	46.9	16.8	14.2	11.5	8.0	9.7	40.7	31.9
核家族	1,730	50.8	24.3	35.7	48.4	17.2	19.9	10.8	6.5	10.5	41.7	35.5
不明	35	42.9	25.7	25.7	31.4	17.1	11.4	5.7	2.9	5.7	40.0	28.6

区分	きめ細やかな障害児保育制度の充実を図る	児童虐待の防止と早期発見等を図るために関係機関と地域の連携を強化する	幼稚園等の保育サービス 早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休み等の預かり保育などを充実する	家事専業の方など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスを増やす	安心して子どもが医療機関 小児救急などを利用できる体制を整備する	子どもの安全を確保する対策を充実する	子育て世帯への経済的援助の拡充 育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持等	公営住宅の優先入居等、住宅面での配慮や支援	その他	特になし	無回答
全体	12.1	15.2	29.7	15.0	42.7	33.1	60.1	10.8	4.9	2.1	1.9
ひとり親家庭	10.2	14.8	22.2	12.0	42.6	26.9	54.6	28.7	3.7	3.7	2.8
三世帯等同居世帯	11.5	15.0	17.7	15.0	47.8	29.2	54.9	9.7	2.7	3.5	1.8
核家族	12.2	15.1	30.9	15.2	42.8	33.8	61.0	9.8	5.1	2.0	1.8
不明	14.3	17.1	31.4	11.4	25.7	31.4	48.6	11.4	5.7	—	2.9

【子どもに関する悩み別】

子どもに関する悩み別にみると、育児のことがよくわからないことで「親子が安心して集まれる保育所や幼稚園等の園庭開放等を充実する」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する	親子が安心して集まれる保育所や幼稚園等の園庭開放等を充実する	親子が安心して集まれるつごいの場等の屋内の施設を整備する	子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくり、歩道等の段差解消等の「子育てのバリアフリー化」に取り組む	子育てに困ったときの相談体制を充実する	子育て支援に関する情報提供を充実する	子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識や技能の取得に役立つ機会や内容の充実を図る	子育てサークル活動への支援を充実する	子ども食堂への支援を充実する	一時預かり事業、夜間保育、休日保育など、多様な保育ニーズに対応できるサービスを充実する	保育所や留守家庭児童会室等の働きながら子どもを預ける施設や定員を増やす
全体	1,986	50.2	24.0	34.7	47.3	17.0	19.4	10.7	6.5	10.4	41.4	34.5
病気や健康に関すること	594	51.2	26.9	36.0	50.3	20.0	22.1	11.8	8.2	11.8	42.3	35.5
発育発達に関すること	448	51.3	27.2	38.2	52.0	26.3	25.9	15.0	8.0	12.5	41.7	39.3
食事や栄養に関すること	568	54.0	30.8	42.6	54.0	20.1	24.5	14.8	9.0	11.6	45.2	39.6
育児のことがよくわからないこと	117	57.3	47.9	50.4	66.7	37.6	41.9	24.8	15.4	18.8	43.6	48.7
子どもとの接し方に自信が持てないこと	293	46.4	28.0	41.6	51.5	24.6	27.0	14.3	5.1	13.7	50.5	46.8
子どもと過ごす時間が十分取れないこと	452	45.6	20.4	31.9	47.6	15.5	18.6	11.5	4.9	12.6	52.0	39.4
子どもの教育に関すること	655	51.8	24.0	37.9	48.5	20.3	23.7	15.3	7.8	10.5	47.3	37.7
子どもの友達づきあいに関すること	314	48.7	27.1	37.3	43.3	21.3	22.0	15.0	9.2	14.3	43.9	36.6
子どもの登園拒否などに関すること	64	57.8	32.8	45.3	45.3	37.5	37.5	18.8	10.9	21.9	48.4	40.6
その他	56	57.1	37.5	48.2	57.1	30.4	26.8	28.6	25.0	21.4	44.6	51.8
特になし	311	49.2	19.6	29.9	41.2	9.0	12.2	5.8	4.2	7.7	37.0	30.9

単位：%

区分	きめ細やかな障害児保育制度の充実を図る	児童虐待の防止と早期発見等を図るために関係機関と地域の連携を強化する	幼稚園等の保育サービス 早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休み等の預かり保育などを充実する	家事専業の方など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスを増やす	安心して子どもが医療機関（小児救急など）を利用できる体制を整備する	子どもの安全を確保する対策を充実する	子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持等）	公営住宅の優先入居等、住宅面での配慮や支援	その他	特になし	無回答
全体	12.1	15.2	29.7	15.0	42.7	33.1	60.1	10.8	4.9	2.1	1.9
病気や健康に関すること	13.1	16.3	29.6	14.1	50.0	39.2	61.6	12.0	6.6	2.2	1.2
発育発達に関すること	22.5	16.1	35.5	17.9	45.5	35.5	62.7	12.3	6.7	2.0	1.8
食事や栄養に関すること	12.9	16.9	35.6	17.4	46.8	37.7	62.0	11.8	4.9	1.6	1.4
育児のことがよくわからないこと	18.8	15.4	36.8	24.8	53.0	41.9	61.5	26.5	6.0	—	1.7
子どもとの接し方に自信が持てないこと	15.0	16.4	35.2	20.5	47.4	36.2	68.9	14.0	5.8	1.0	1.0
子どもと過ごす時間が十分取れないこと	12.6	17.9	29.4	13.5	46.0	37.6	64.6	13.3	7.3	2.2	1.3
子どもの教育に関すること	13.7	16.2	32.2	16.9	46.6	37.9	64.6	11.0	5.8	1.1	1.5
子どもの友達づきあいに関すること	11.8	16.9	28.7	17.5	47.8	42.0	59.9	10.8	3.8	3.2	1.6
子どもの登園拒否などに関すること	26.6	29.7	34.4	20.3	54.7	46.9	56.3	12.5	10.9	—	1.6
その他	25.0	33.9	44.6	17.9	50.0	41.1	78.6	12.5	23.2	—	1.8
特になし	8.4	14.8	28.6	13.5	37.6	27.0	57.6	8.7	2.6	2.3	3.2

(前ページの表 続き)

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、0歳（R5.4月以降）で「子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくり、歩道等の段差解消等の「子育てのバリアフリー化」に取り組む」の割合が高くなっています。

単位：％

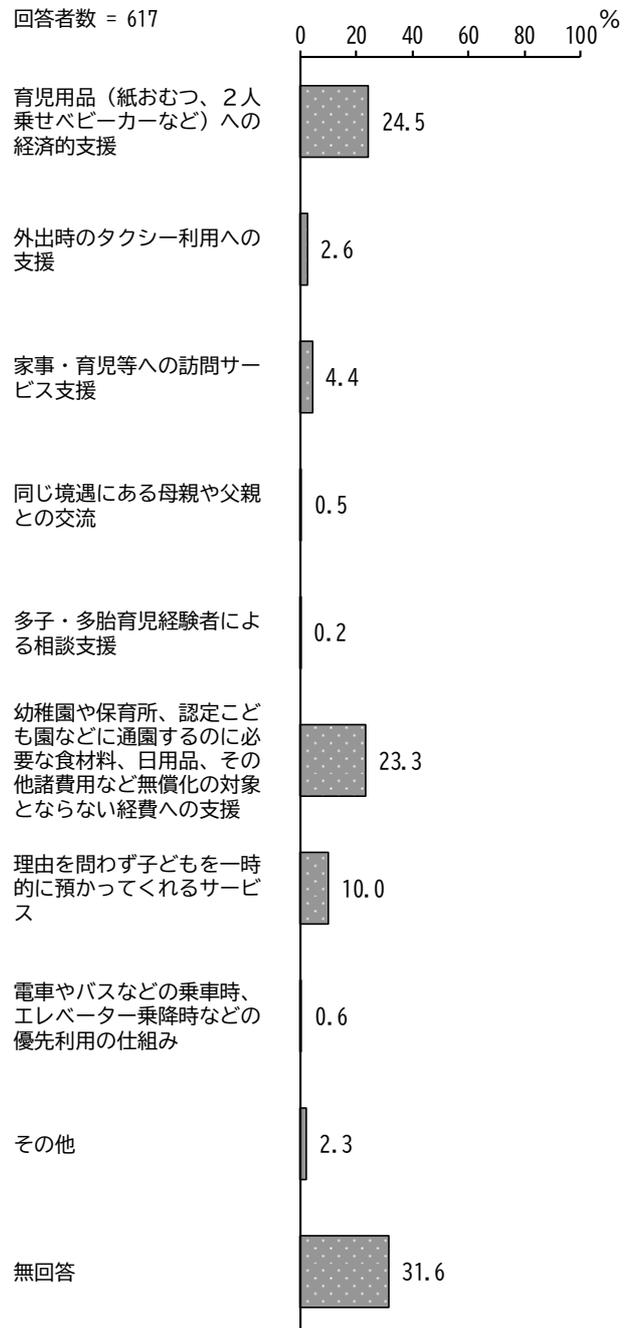
区分	回答者数 (件)	親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する	親子が安心して集まれる保育所や幼稚園等の園庭開放等を充実する	親子が安心して集まれるつごいの場等の屋内の施設を整備する	子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくり、歩道等の段差解消等の「子育てのバリアフリー化」に取り組む	子育てに困ったときの相談体制を充実する	子育て支援に関する情報提供を充実する	子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識や技能の取得に役立つ機会や内容の充実を図る	子育てサークル活動への支援を充実する	子ども食堂への支援を充実する	保育所や留守家庭児童会室等の働きながら子どもを預ける施設や定員を増やす	一時預かり事業、夜間保育、休日保育など、多様な保育ニーズに対応できるサービスを充実する
全体	1,986	50.2	24.0	34.7	47.3	17.0	19.4	10.7	6.5	10.4	41.4	34.5
0歳(R5.4月以降)	188	52.1	31.9	37.8	70.2	16.5	18.1	13.8	8.0	6.9	47.9	36.7
0歳	141	49.6	27.0	46.1	56.0	14.2	18.4	12.8	9.9	10.6	40.4	39.7
1歳	333	49.5	26.7	40.2	51.1	13.2	21.3	12.0	6.3	10.5	41.1	39.6
2歳	316	53.8	27.5	35.4	53.5	20.3	20.9	11.7	7.3	7.0	41.5	37.3
3歳	315	49.5	19.7	31.1	44.8	16.2	18.1	7.9	4.8	9.5	42.9	30.5
4歳	342	50.0	21.1	33.9	37.7	17.5	18.7	10.8	5.6	12.0	38.6	31.0
5歳	330	46.7	18.2	26.1	33.9	19.4	18.5	7.3	5.8	14.2	40.9	30.3

区分	きめ細やかな障害児保育制度の充実を図る	児童虐待の防止と早期発見等を図るために関係機関と地域の連携を強化する	幼稚園等の保育サービス 早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休み等の預かり保育などを充実する	家事専門の方など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスを増やす	安心して子どもが医療機関 小児救急などを利用できる体制を整備する	子どもの安全を確保する対策を充実する	子育て世帯への経済的援助の拡充 育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持等	公営住宅の優先入居等、住宅面での配慮や支援	その他	特になし	無回答
全体	12.1	15.2	29.7	15.0	42.7	33.1	60.1	10.8	4.9	2.1	1.9
0歳(R5.4月以降)	10.6	12.8	31.9	10.1	35.6	28.7	64.9	10.6	4.8	1.1	2.1
0歳	12.8	12.8	31.2	21.3	41.8	24.8	60.3	12.8	5.7	2.1	—
1歳	9.6	14.7	32.7	14.1	44.7	37.5	63.4	12.0	6.0	1.8	0.9
2歳	13.9	18.7	34.2	17.7	42.1	36.1	61.4	9.2	4.7	1.3	2.5
3歳	10.8	15.6	28.6	14.9	43.8	33.7	59.4	12.1	4.4	3.8	2.5
4歳	14.0	16.4	28.1	15.2	47.1	33.0	59.4	11.4	5.6	2.0	1.5
5歳	11.8	12.7	23.0	11.8	40.6	32.1	54.8	8.5	3.9	2.4	2.7

問 40 子どもが3人以上いる、もしくは多胎（双子や三つ子）の子どもがいる方にお伺いします。⇒該当しない方は【問 41】へどのような支援やサービスがあれば、子育ての負担を軽減するのに有効だと思われますか。もっとも有効だと思われる番号に○をつけてください。（○は1つ）

「育児用品（紙おむつ、2人乗せベビーカーなど）への経済的支援」の割合が24.5%と最も高く、次いで「幼稚園や保育所、認定こども園などに通園するのに必要な食材料、日用品、その他諸費用など無償化の対象とならない経費への支援」の割合が23.3%、「理由を問わず子どもを一時的に預かってくれるサービス」の割合が10.0%となっています。

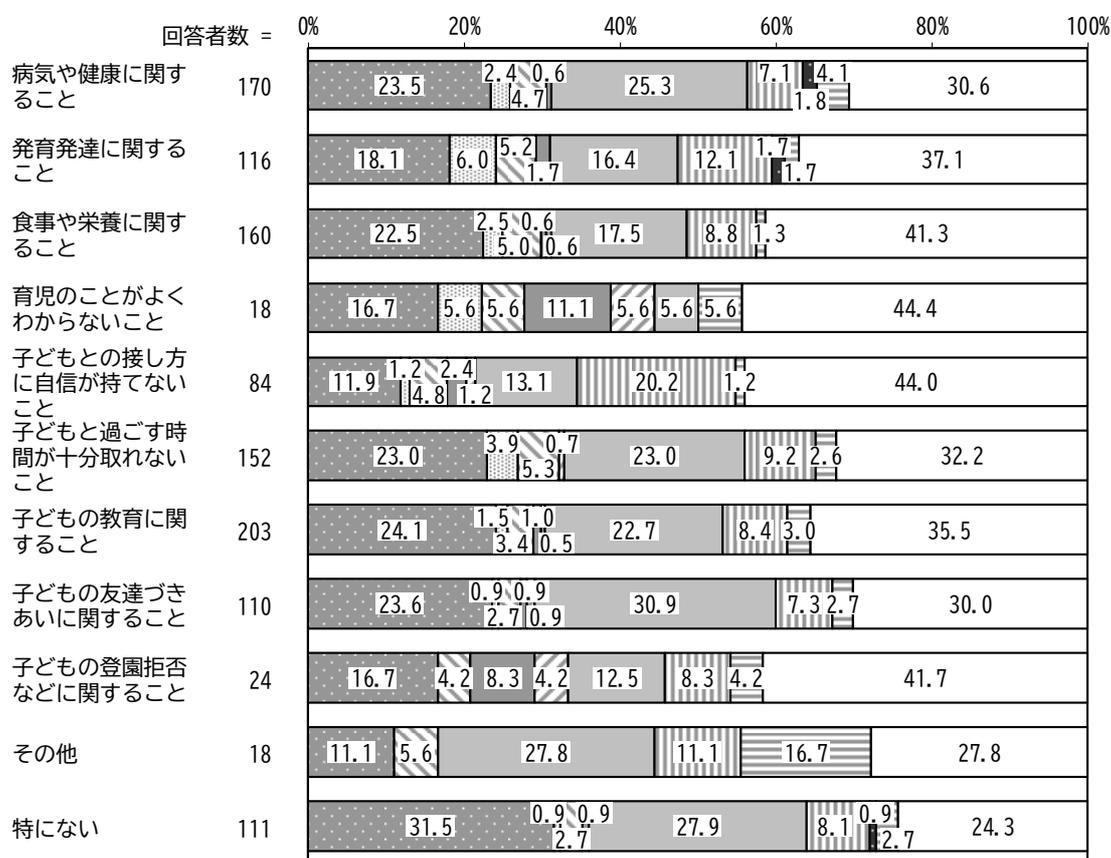
回答者数 = 617



【子どもに関する悩み別】

子どもに関する悩み別にみると、子どもとの接し方に自信が持てないことで「理由を問わず子どもを一時的に預かってくれるサービス」の割合が高くなっています。

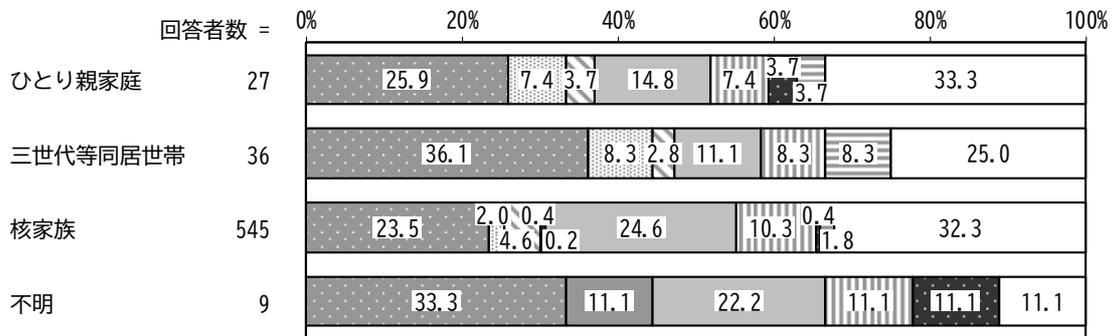
- 育児用品（紙おむつ、2人乗せベビーカーなど）への経済的支援
- 外出時のタクシー利用への支援
- 家事・育児等への訪問サービス支援
- 同じ境遇にある母親や父親との交流
- 多子・多胎育児経験者による相談支援
- 幼稚園や保育所、認定こども園などに通園するのに必要な食材料、日用品、その他諸費用など無償化の対象とならない経費への支援
- 理由を問わず子どもを一時的に預かってくれるサービス
- 電車やバスなどの乗車時、エレベーター乗降時などの優先利用の仕組み
- その他
- 無回答



【世帯類型別】

世帯類型別にみると、三世帯等同居世帯で「育児用品（紙おむつ、2人乗せベビーカーなど）への経済的支援」の割合が高くなっています。

- 育児用品（紙おむつ、2人乗せベビーカーなど）への経済的支援
- ▨ 外出時のタクシー利用への支援
- ▩ 家事・育児等への訪問サービス支援
- 同じ境遇にある母親や父親との交流
- ▨ 多子・多胎育児経験者による相談支援
- ▩ 幼稚園や保育所、認定こども園などに通園するのに必要な食材料、日用品、その他諸費用など無償化の対象とならない経費への支援
- 理由を問わず子どもを一時的に預かってくれるサービス
- 電車やバスなどの乗車時、エレベーター乗降時などの優先利用の仕組み
- ▩ その他
- 無回答



問 40-1 子どもが3人以上いる、もしくは多胎（双子や三つ子）の子どもがいる方にお伺いします。2番目に有効だと思われる番号に○をつけてください。（○は1つ）

「育児用品（紙おむつ、2人乗せベビーカーなど）への経済的支援」、「幼稚園や保育所、認定子ども園などに通園するのに必要な食材料、日用品、その他諸費用など無償化の対象とならない経費への支援」の割合が22.9%と最も高くなっています。

回答者数 = 617

育児用品（紙おむつ、2人乗せベビーカーなど）への経済的支援

外出時のタクシー利用への支援

家事・育児等への訪問サービス支援

同じ境遇にある母親や父親との交流

多子・多胎育児経験者による相談支援

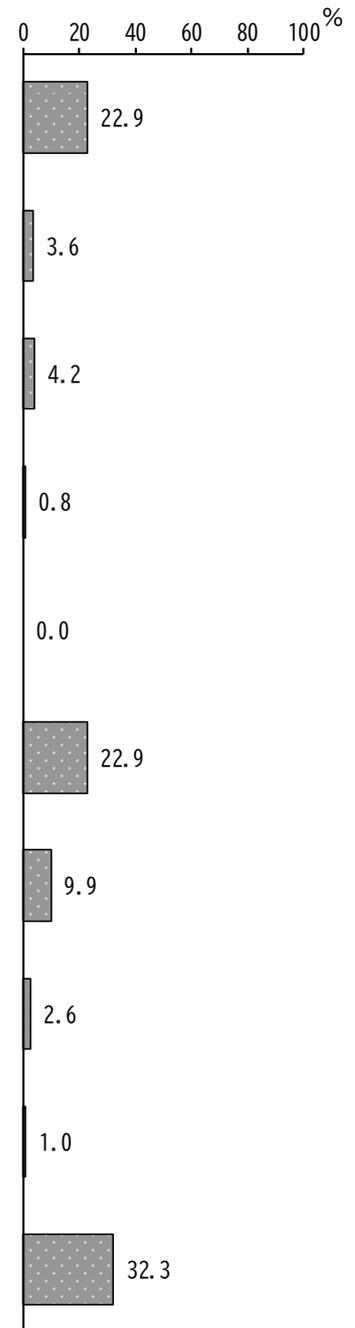
幼稚園や保育所、認定子ども園などに通園するのに必要な食材料、日用品、その他諸費用など無償化の対象とならない経費への支援

理由を問わず子どもを一時的に預かってくれるサービス

電車やバスなどの乗車時、エレベーター乗降時などの優先利用の仕組み

その他

無回答



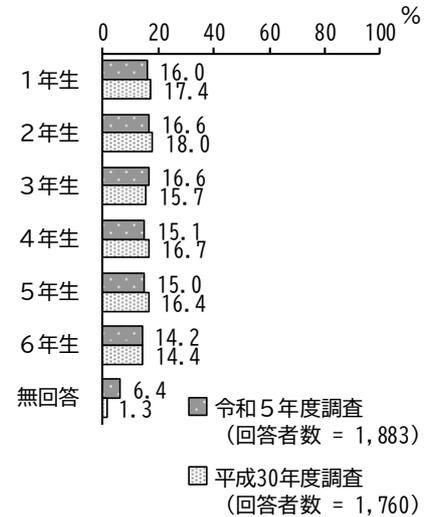
2 小学生児童の保護者

(1) 封筒のあて名のお子さんご家族の状況について

問1 封筒のあて名のお子さん（今後は「お子さん」と表記します。）の生年月をお伺いします。

「2年生」の割合が16.6%と最も高く、次いで「3年生」の割合が16.6%、「1年生」の割合が16.0%となっています。

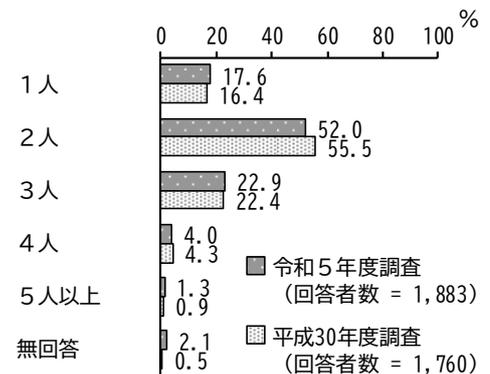
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問2 お子さんを含め、子どもは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（令和5年4月1日現在の年齢）をご記入ください。（令和5年4月2日以降にお生まれの場合は「0」（歳）と記入してください。）

「2人」の割合が52.0%と最も高く、次いで「3人」の割合が22.9%、「1人」の割合が17.6%となっています。

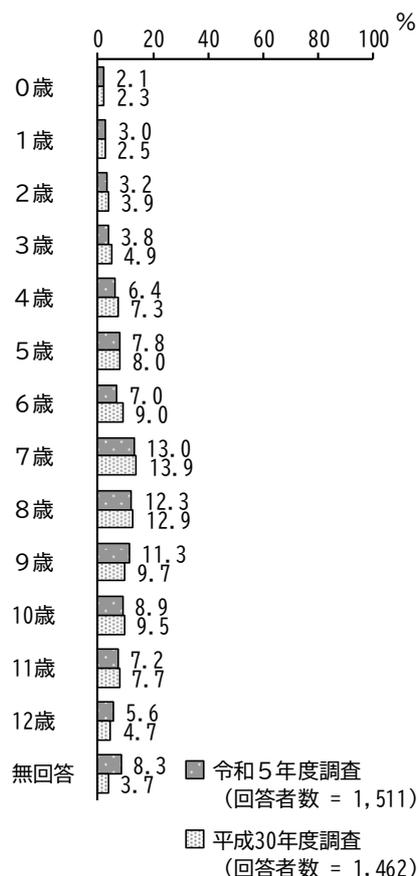
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



未子の年齢

「7歳」の割合が13.0%と最も高く、次いで「8歳」の割合が12.3%、「9歳」の割合が11.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問3 お子さんとの同居・近居（概ね30分以内に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。

(1) お子さんと同居している方（大人）に○をつけてください（○はいくつでも）

「父母（単身赴任や長期出張中の父母を含む）」

の割合が89.9%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「その他の大人」

の割合が減少しています。

父母（単身赴任や長期出張中の父母を含む）

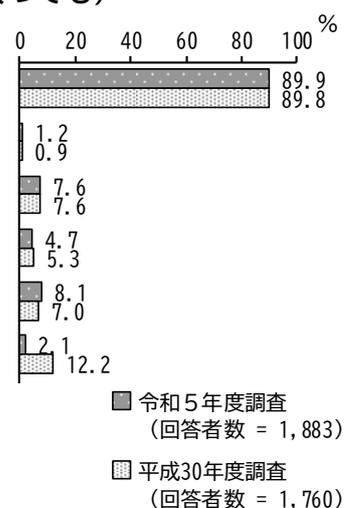
父（ひとり親家庭）

母（ひとり親家庭）

祖父

祖母

その他の大人

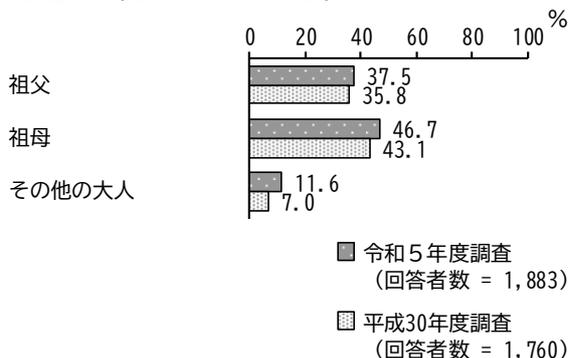


※前回調査では、「その他の大人」の選択肢が「その他」でした。

(2) お子さんと近居している方(大人)に○をつけてください(○はいくつでも)

「祖母」の割合が46.7%と最も高く、次いで「祖父」の割合が37.5%、「その他の大人」の割合が11.6%となっています。

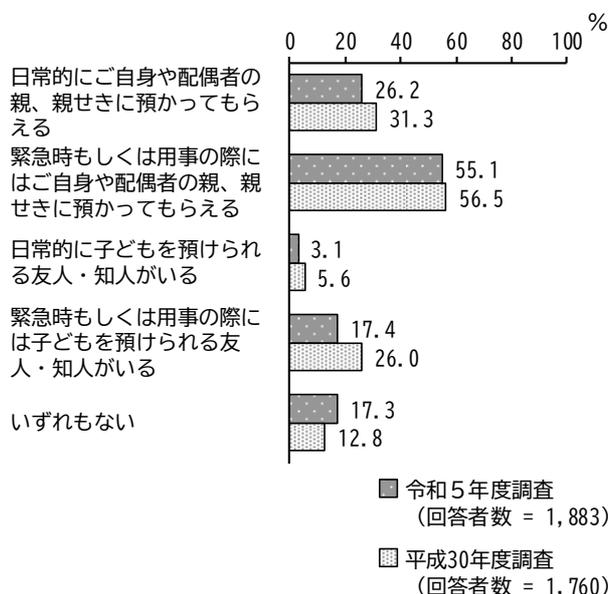
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問4 日頃、お子さんを預かってもらえる方はいますか。(○はいくつでも)

「緊急時もしくは用事の際にはご自身や配偶者の親、親せきに預かってもらえる」の割合が55.1%と最も高く、次いで「日常にご自身や配偶者の親、親せきに預かってもらえる」の割合が26.2%、「緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」の割合が17.4%となっています。

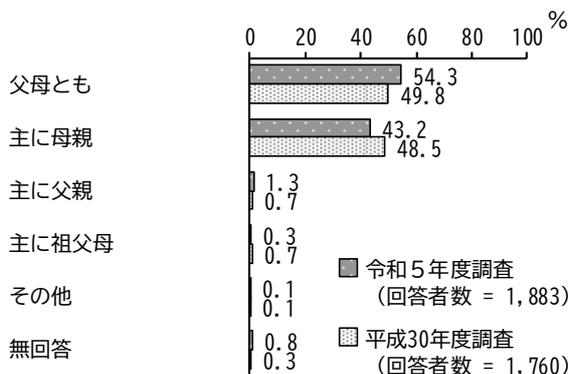
平成30年度調査と比較すると、「日常にご自身や配偶者の親、親せきに預かってもらえる」「緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」の割合が減少しています。



問5 お子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。(○は1つ)

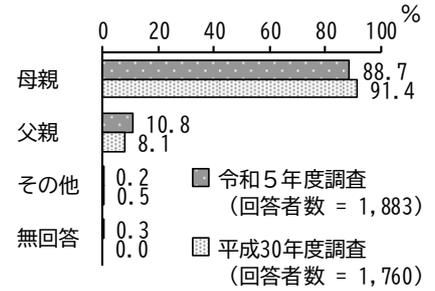
「父母とも」の割合が54.3%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が43.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「主に母親」の割合が減少しています。



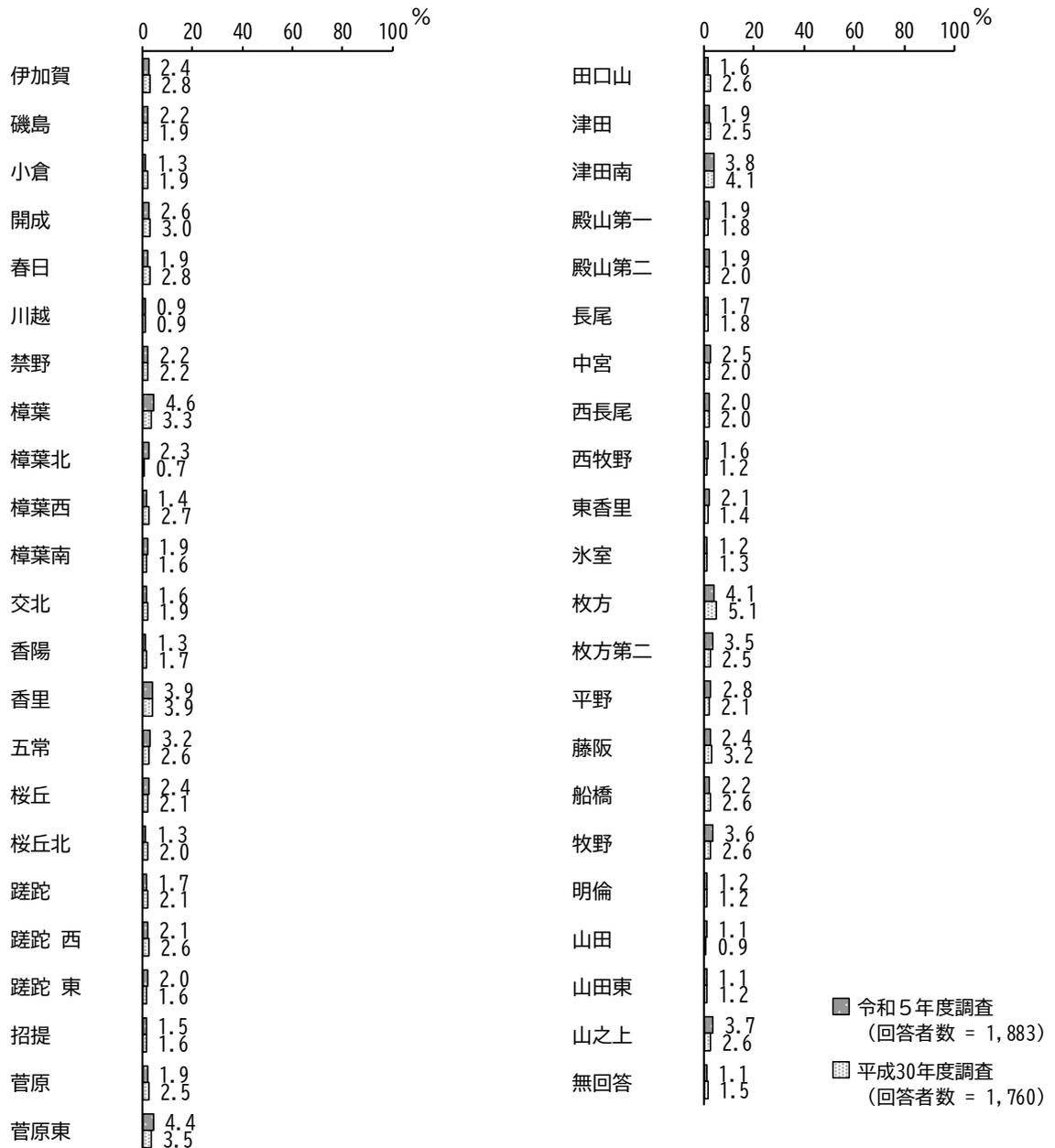
問6 このアンケートをご記入いただいた方はどなたですか。(○は1つ)

「母親」の割合が 88.7%、「父親」の割合が 10.8%となっています。
 平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問7 お住まいの地域の小学校区名(市立)をご記入ください。

「樟葉」の割合が 4.6%と最も高くなっています。
 平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

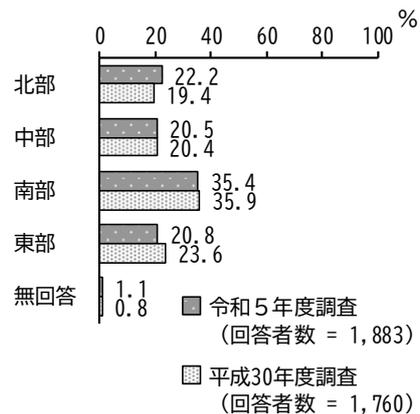


※2022年4月1日に「中宮北」「高陵」が統合し「禁野」となったため、「禁野」前回の数値は「中宮北」と「高陵」を合算した数値となっています。

エリア区分

「南部」の割合が 35.4%と最も高く、次いで「北部」の割合が 22.2%、「東部」の割合が 20.8%となっています。

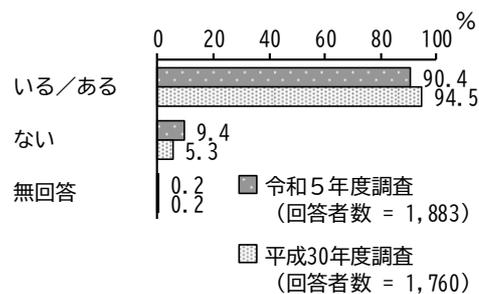
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問8 お子さんの健康や教育など子育てについて、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(○は1つ)

「いる／ある」の割合が 90.4%、「ない」の割合が 9.4%となっています。

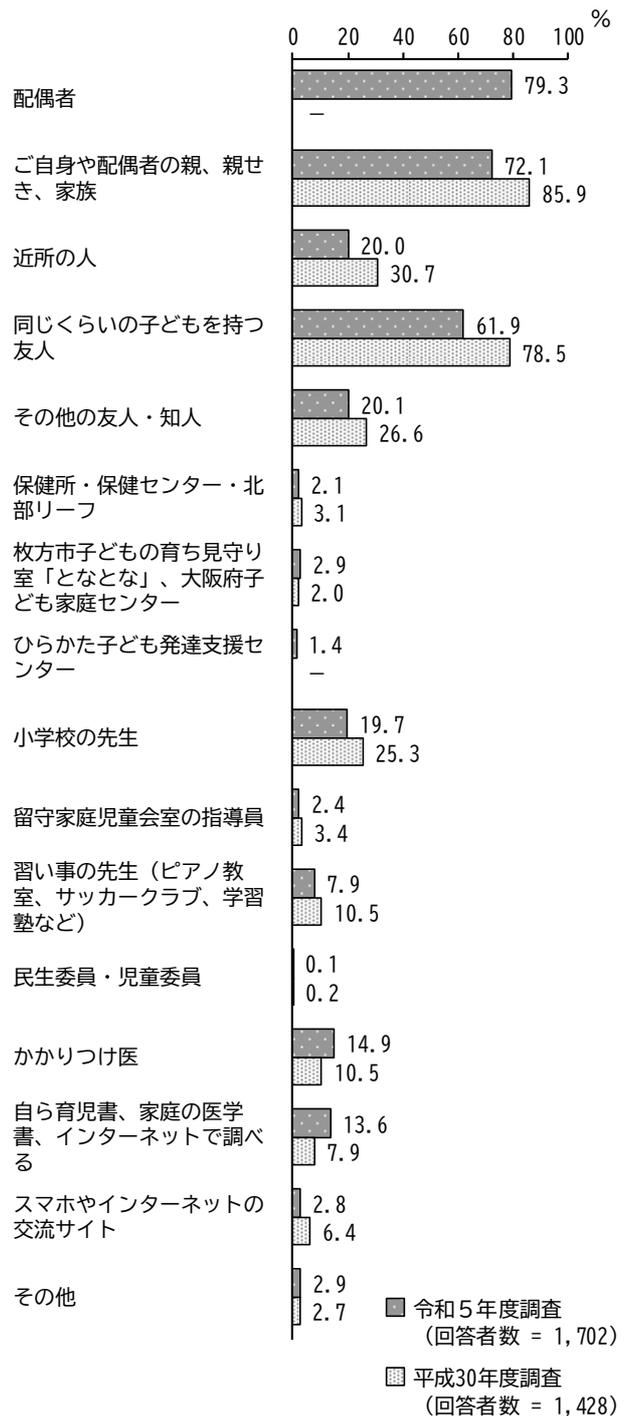
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問8-1 問8で「1. いる／ある」を選ばれた方にお伺いします。気軽に相談できるのは、どのような人や場所などですか。(〇はいくつでも)

「配偶者」の割合が79.3%と最も高く、次いで「ご自身や配偶者の親、親せき、家族」の割合が72.1%、「同じくらいの子どもを持つ友人」の割合が61.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「自ら育児書、家庭の医学書、インターネットで調べる」の割合が増加しています。一方、「ご自身や配偶者の親、親せき、家族」「近所の人」「同じくらいの子どもを持つ友人」「その他の友人・知人」「小学校の先生」の割合が減少しています。



※前回調査では、「配偶者」「ひらかた子ども発達支援センター」の選択肢はありませんでした。

※前回調査では、「枚方市子どもの育ち見守り室「ととな」、大阪府子ども家庭センター」の選択肢が「枚方市子ども総合相談センター「ととな」、大阪府子ども家庭センター」、「かかりつけ医」の選択肢が「医師、看護師」、「スマホやインターネットの交流サイト」の選択肢が「携帯電話やインターネットの交流サイト」でした。

【現在の暮らし向き別】

現在の暮らし向き別にみると、大変ゆとりがあるで「自ら育児書、家庭の医学書、インターネットで調べる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	配偶者	ご自身や配偶者の 親、親せき、家族	近所の人	同じくらいの子 も持つ友人	その他の友人・知人	保健所・保健センタ ー・北部リーフ	家庭センター なな、大阪府子ども 見守り室」などの育 ち方市子どもの育	ひらかた子ども発 達支援センター
全 体	1,702	79.3	72.1	20.0	61.9	20.1	2.1	2.9	1.4
大変苦しい	133	54.9	63.9	16.5	48.1	18.8	3.0	6.0	2.3
やや苦しい	468	72.4	72.2	17.1	59.6	22.2	2.1	4.1	1.3
普通	905	84.2	73.3	20.9	64.8	19.1	2.1	1.9	1.5
ややゆとりが ある	162	91.4	71.6	24.7	62.3	21.6	1.9	2.5	0.6
大変ゆとりが ある	20	90.0	80.0	30.0	70.0	10.0	—	5.0	—

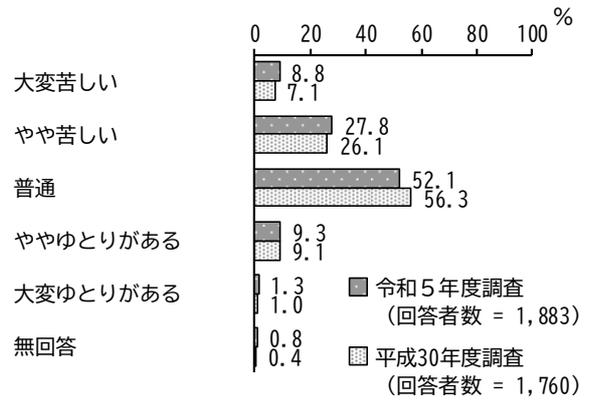
区分	小学校の先生	留守家庭児童会室 の指導員	習い事の先生、ピア ノ教室、サッカーク ラブ、学習塾など	民生委員 児童委員	かかりつけ医	自ら育児書、家庭の 医学書、インターネ ットで調べる	スマホやインター ネットの交流サイ ト	その他	無回答
全 体	19.7	2.4	7.9	0.1	14.9	13.6	2.8	2.9	0.2
大変苦しい	21.1	1.5	2.3	—	15.0	11.3	4.5	3.8	—
やや苦しい	21.8	2.6	6.4	0.2	15.8	13.7	3.2	3.4	—
普通	18.3	2.4	8.5	0.1	13.9	13.3	2.0	2.7	0.2
ややゆとりが ある	21.0	2.5	14.8	—	17.9	16.7	3.1	1.9	—
大変ゆとりが ある	20.0	—	5.0	—	20.0	30.0	15.0	—	—

(2) 保護者の就労状況について

問9 世帯の現在の経済的な暮らし向きについて、どう感じていますか。(○は1つ)

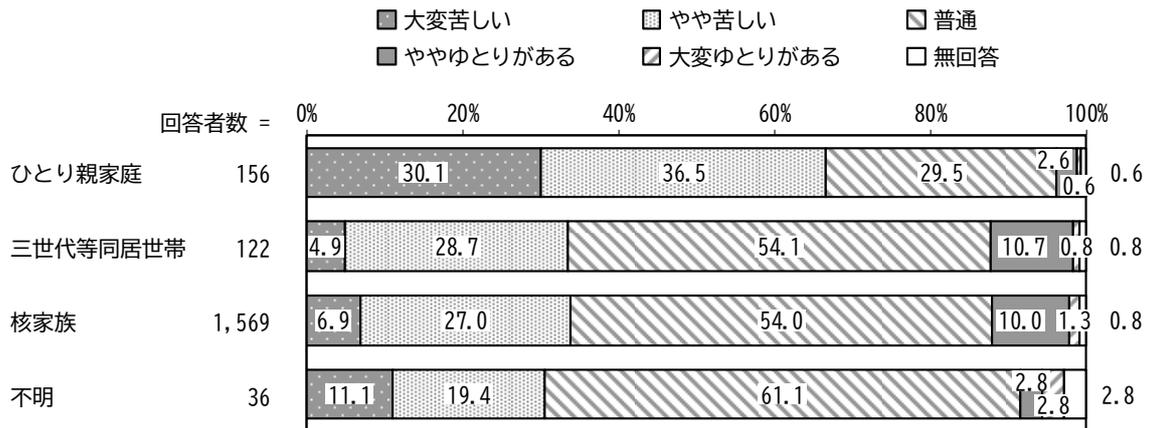
「やや苦しい」の割合が27.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「大変苦しい」「やや苦しい」「普通」の割合が増加しています。一方、「ややゆとりがある」「大変ゆとりがある」の割合が減少しています。



【世帯類型別】

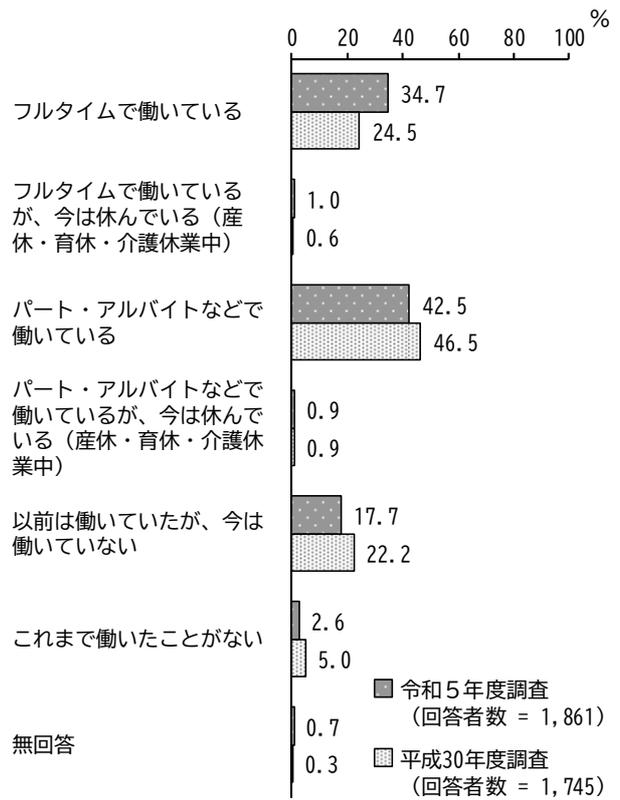
世帯類型別にみると、不明で「普通」の割合が高くなっています。



問10 「母親」の働いている状況についてお伺いします。自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。(〇は1つ)

「パート・アルバイトなどで働いている」の割合が42.5%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」の割合が34.7%、「以前は働いていたが、今は働いていない」の割合が17.7%となっています。

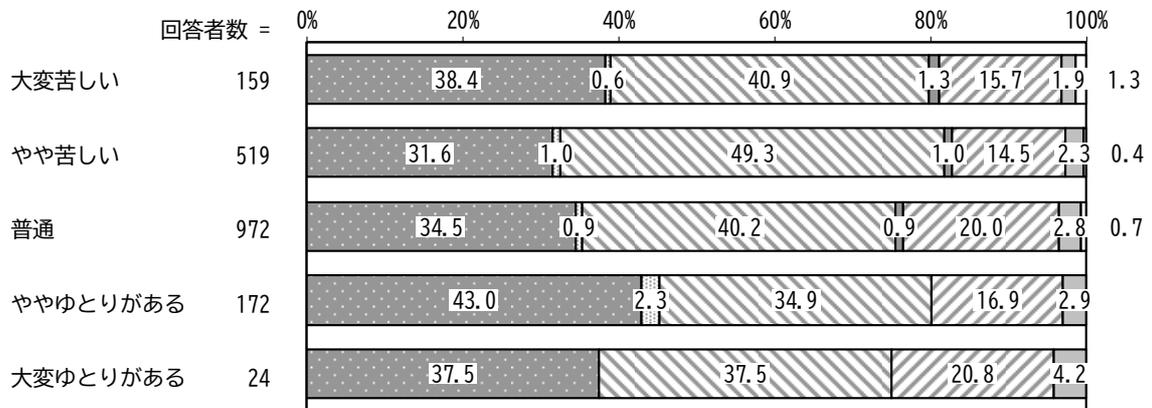
平成30年度調査と比較すると、「フルタイムで働いている」の割合が増加しています。



【現在の暮らし向き別】

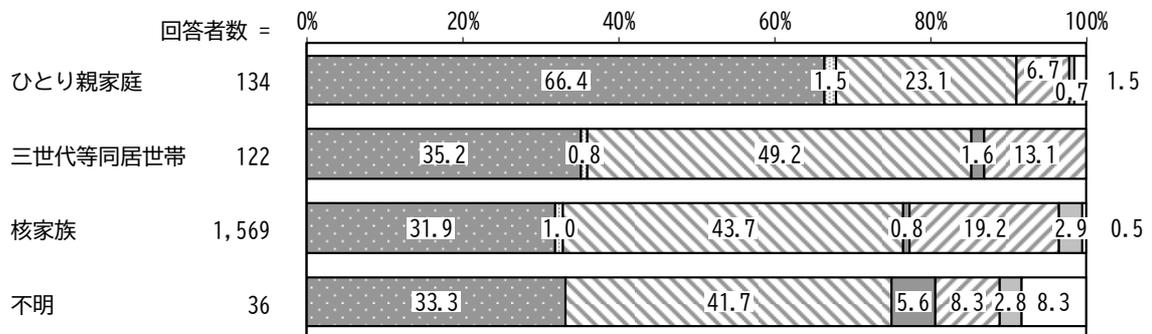
現在の暮らし向き別にみると、ややゆとりがあるで「フルタイムで働いている」の割合が高くなっています。

- フルタイムで働いている
- ▨ フルタイムで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中）
- ▩ パート・アルバイトなどで働いている
- ▧ パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中）
- ▦ 以前は働いていたが、今は働いていない
- これまで働いたことがない
- 無回答



【世帯類型別】

世帯類型別にみると、ひとり親家庭で「フルタイムで働いている」の割合が高くなっています。

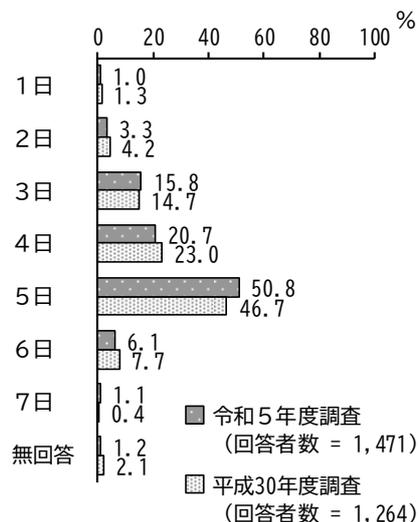


問10-1 問10で「1. フルタイムで働いている」～「4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中）」を選ばれた方にお伺いします。1週間・1日当たりどのくらい働きますか。家を出る時間と帰宅時間についてもお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

就労日数／週

「5日」の割合が50.8%と最も高く、次いで「4日」の割合が20.7%、「3日」の割合が15.8%となっています。

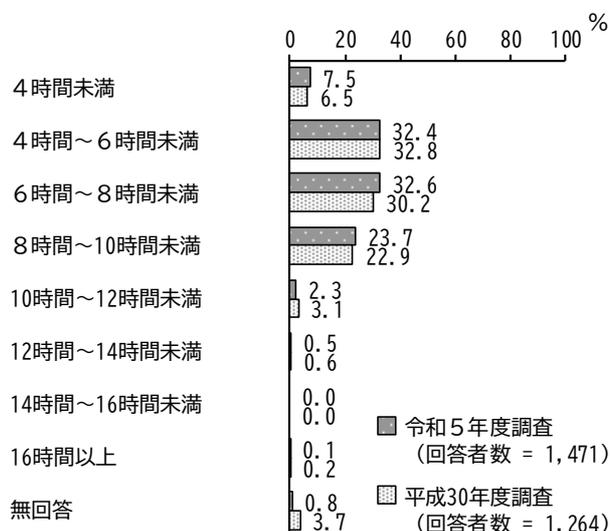
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



就労時間／日

「6時間～8時間未満」の割合が32.6%と最も高く、次いで「4時間～6時間未満」の割合が32.4%、「8時間～10時間未満」の割合が23.7%となっています。

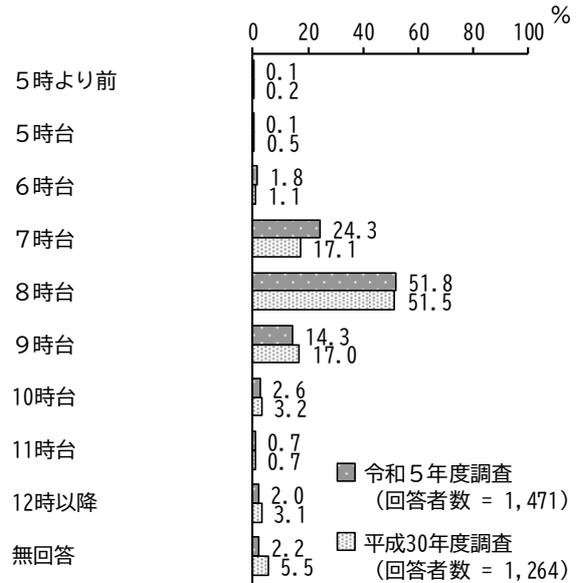
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



家を出る時間

「8時台」の割合が51.8%と最も高く、次いで「7時台」の割合が24.3%、「9時台」の割合が14.3%となっています。

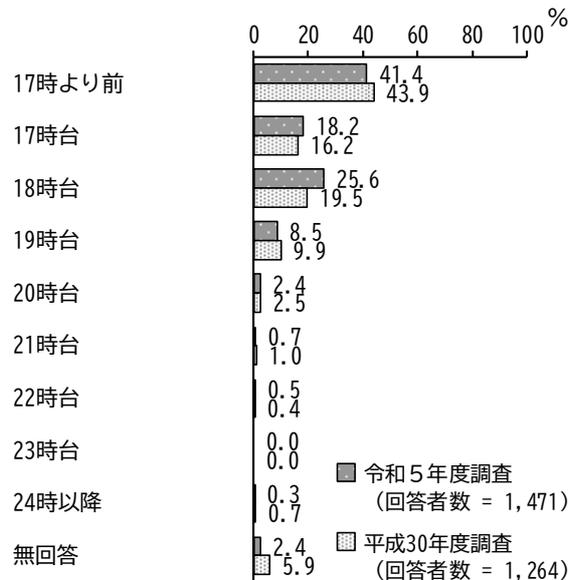
平成30年度調査と比較すると、「7時台」の割合が増加しています。



帰宅時間

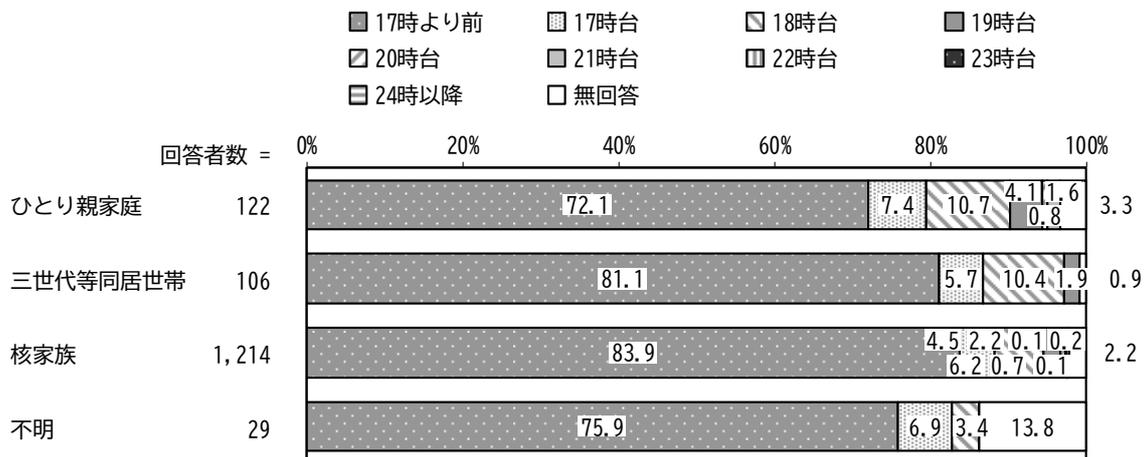
「17時より前」の割合が41.4%と最も高く、次いで「18時台」の割合が25.6%、「17時台」の割合が18.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「18時台」の割合が増加しています。



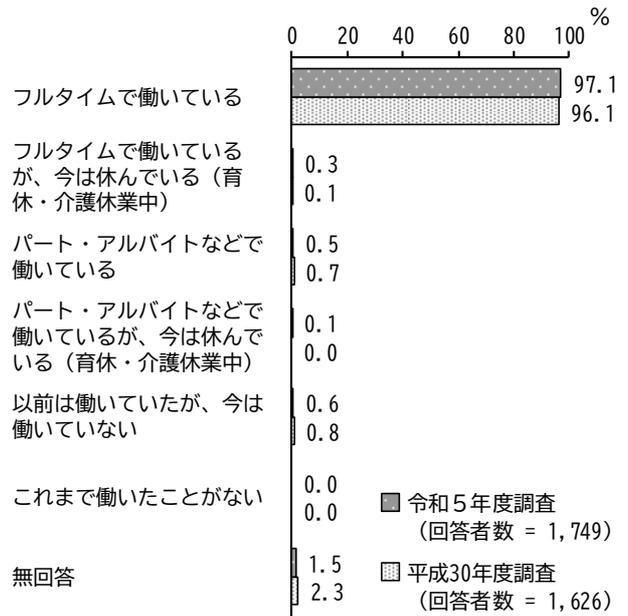
【世帯類型別】

世帯類型別にみると、大きな差はみられません。



問11 「父親」の働いている状況についてお伺いします。自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。(〇は1つ)

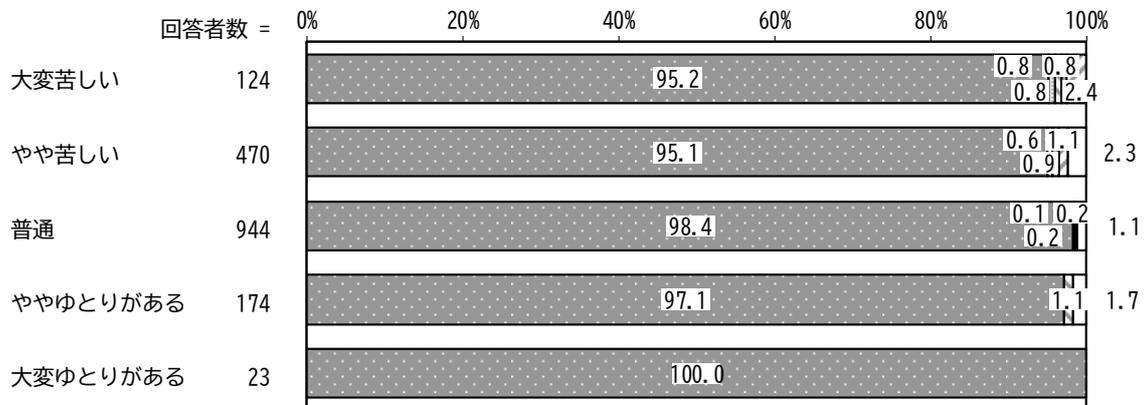
「フルタイムで働いている」の割合が97.1%と最も高くなっています。
 平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【現在の暮らし向き別】

現在の暮らし向き別にみると、大きな差はみられません。

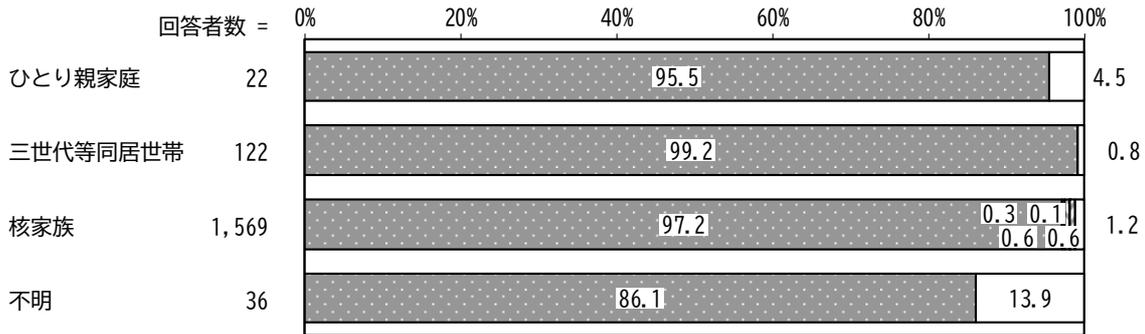
- フルタイムで働いている
- フルタイムで働いているが、今は休んでいる (育休・介護休業中)
- パート・アルバイトなどで働いている
- パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる (育休・介護休業中)
- 以前は働いていたが、今は働いていない
- これまで働いたことがない
- 無回答



【世帯類型別】

世帯類型別にみると、大きな差はみられません。

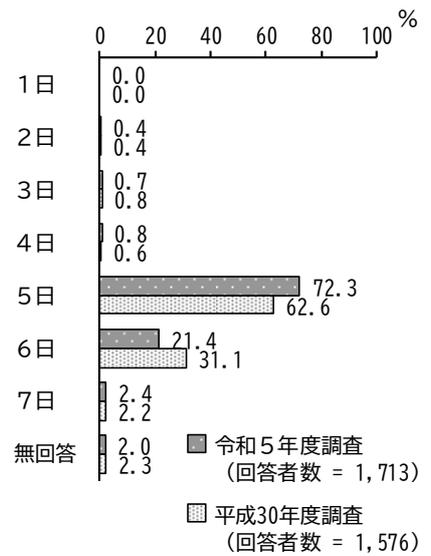
- フルタイムで働いている
- ▨ フルタイムで働いているが、今は休んでいる（育休・介護休業中）
- ▩ パート・アルバイトなどで働いている
- パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（育休・介護休業中）
- ▨ 以前は働いていたが、今は働いていない
- これまで働いたことがない
- 無回答



問11-1 問11で「1. フルタイムで働いている」～「4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（育休・介護休業中）」を選ばれた方にお伺いします。1週間・1日当たりどのくらい働きますか。家を出る時間と帰宅時間についてもお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

就労日数/週

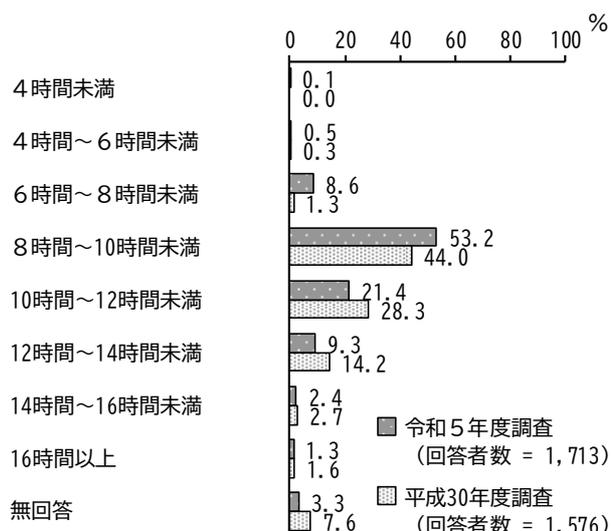
「5日」の割合が72.3%と最も高く、次いで「6日」の割合が21.4%となっています。平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。一方、「6日」の割合が減少しています。



就労時間／日

「8時間～10時間未満」の割合が53.2%と最も高く、次いで「10時間～12時間未満」の割合が21.4%となっています。

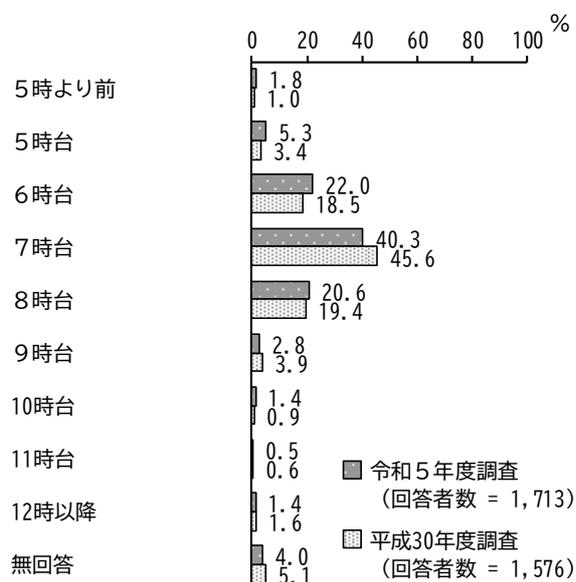
平成30年度調査と比較すると、「6時間～8時間未満」「8時間～10時間未満」の割合が増加しています。一方、「10時間～12時間未満」の割合が減少しています。



家を出る時間

「7時台」の割合が40.3%と最も高く、次いで「6時台」の割合が22.0%、「8時台」の割合が20.6%となっています。

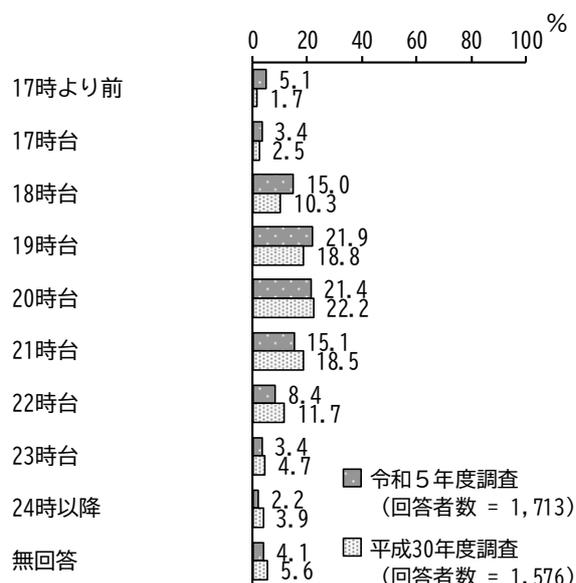
平成30年度調査と比較すると、「7時台」の割合が減少しています。



帰宅時間

「19時台」の割合が21.9%と最も高く、次いで「20時台」の割合が21.4%、「21時台」の割合が15.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

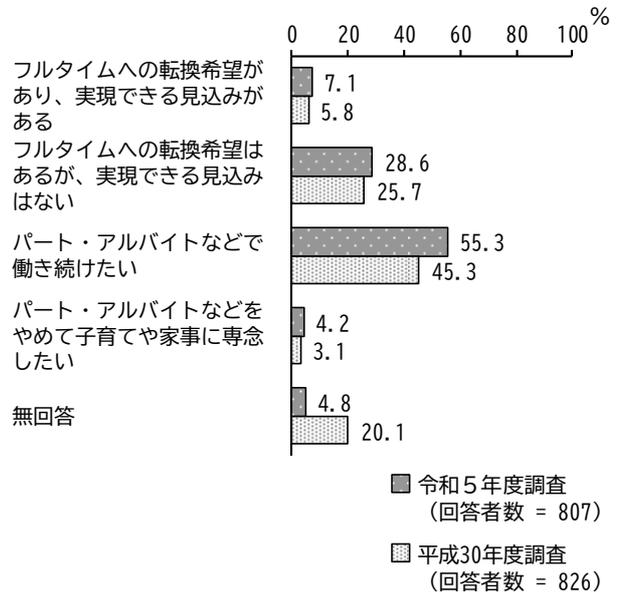


問12 問10または問11で、「3. パート・アルバイトなどで働いている」または「4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（育休・介護休業中）」を選ばれた、パート・アルバイトなどで働いている方（休業中の方も含む）にお伺いします。フルタイムへの転換希望はありますか。（○は1つ）

(1) 母親（○は1つ）

「パート・アルバイトなどで働き続けたい」の割合が55.3%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が28.6%となっています。

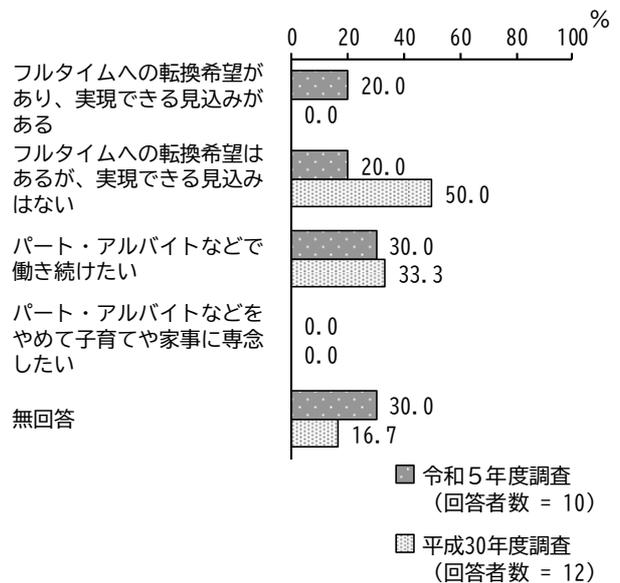
平成30年度調査と比較すると、「パート・アルバイトなどで働き続けたい」の割合が増加しています。



(2) 父親（○は1つ）

「パート・アルバイトなどで働き続けたい」の割合が30.0%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が20.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が増加しています。一方、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が減少しています。

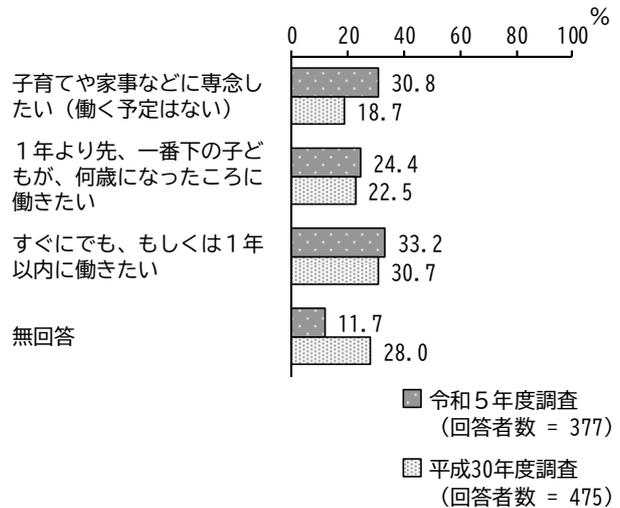


問13 問10または問11で「5. 以前は働いていたが、今は働いていない」または「6. これまで働いたことがない」を選ばれた、仕事をお持ちでない方にお伺いします。働きたい希望はありますか。カッコ内には具体的な数字を入れてください。

(1) 母親 (〇は1つ)

「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」の割合が33.2%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)」の割合が30.8%、「1年より先、一番下の子どもが、何歳になったころに働きたい」の割合が24.4%となっています。

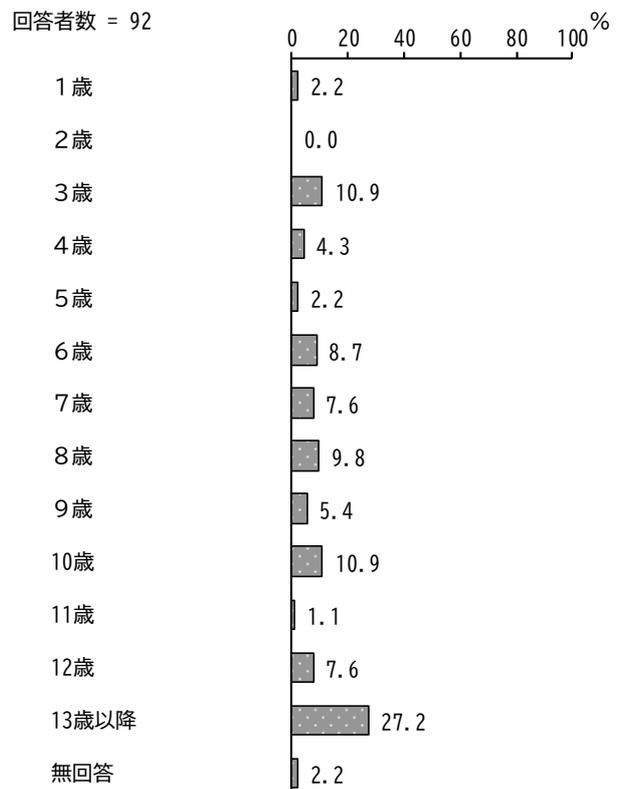
平成30年度調査と比較すると、「子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)」の割合が増加しています。



※前回調査では、「1年より先、一番下の子どもが、何歳になったころに働きたい」の選択肢が「1年より先、一番下の子どもが大きくなったら働きたい」でした。

就労を希望する末子の年齢

「13歳以降」の割合が27.2%と最も高く、次いで「3歳」、「10歳」の割合が10.9%となっています。

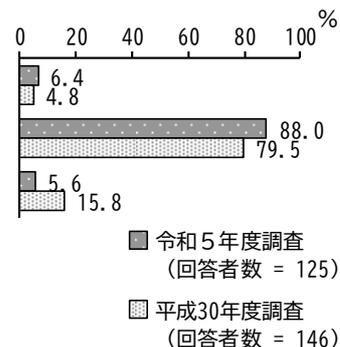


希望する働き方（いずれかに○）

「フルタイム」の割合が6.4%、「パートタイム、アルバイトなど」の割合が88.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「パートタイム、アルバイトなど」の割合が増加しています。

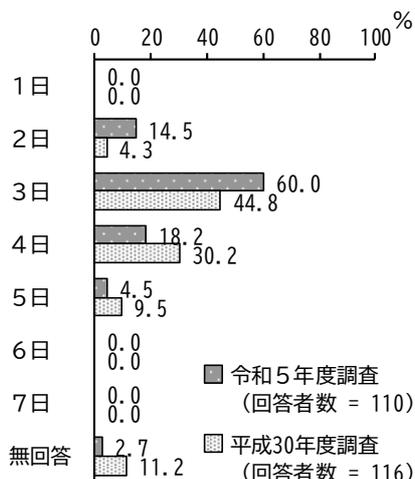
フルタイム
パートタイム、アルバイトなど
無回答



就労希望日数／週

「3日」の割合が60.0%と最も高く、次いで「4日」の割合が18.2%、「2日」の割合が14.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2日」「3日」の割合が増加しています。一方、「4日」の割合が減少しています。

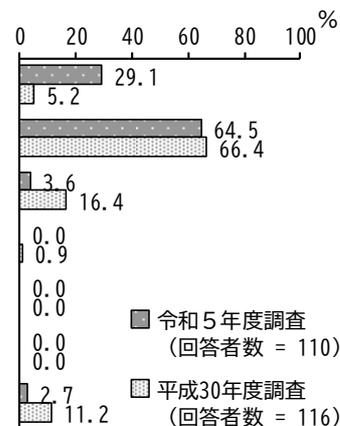


就労希望時間／日

「4時間～6時間未満」の割合が64.5%と最も高く、次いで「4時間未満」の割合が29.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4時間未満」の割合が増加しています。一方、「6時間～8時間未満」の割合が減少しています。

4時間未満
4時間～6時間未満
6時間～8時間未満
8時間～10時間未満
10時間～12時間未満
12時間以上
無回答



(2) 父親 (〇は1つ)

「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」の割合が60.0%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)」の割合が30.0%となっています。

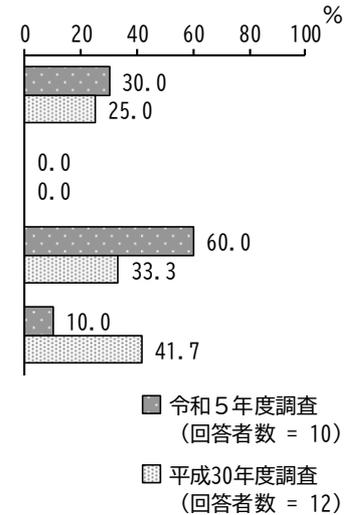
平成30年度調査と比較すると、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」の割合が増加しています。

子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)

1年より先、一番下の子どもが、何歳になったころに働きたい

すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい

無回答



※前回調査では、「1年より先、一番下の子どもが、何歳になったころに働きたい」の選択肢が「1年より先、一番下の子どもが大きくなったら働きたい」でした。

就労を希望する末子の年齢

有効回答がありませんでした。

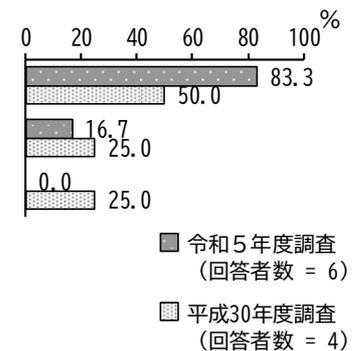
希望する働き方 (いずれかに〇)

「フルタイム」が5件、「パートタイム、アルバイトなど」が1件となっています。

フルタイム

パートタイム、アルバイトなど

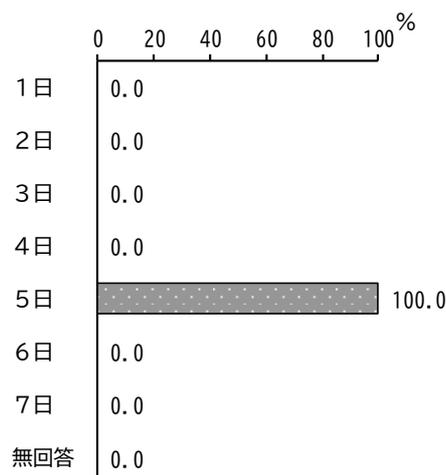
無回答



就労希望日数／週

「5日」が1件となっています。

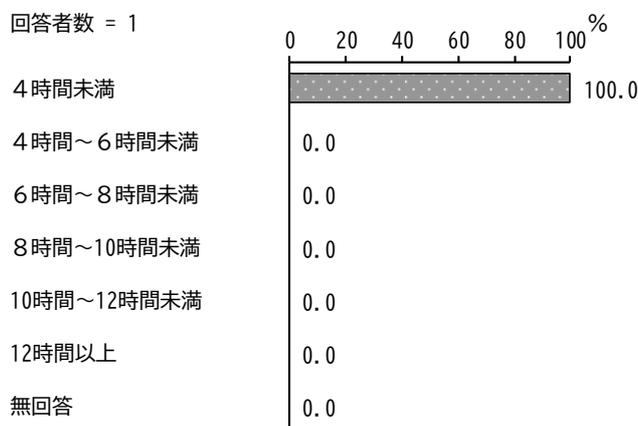
回答者数 = 1



就労希望時間／日

「4時間未満」が1件となっています。

回答者数 = 1

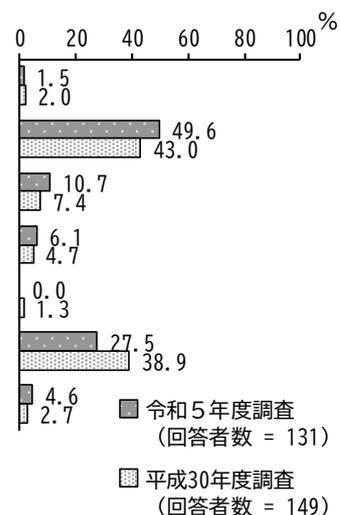


問13-1 問13で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」を選ばれた、すぐにでも、もしくは1年以内に働きたいと考えておられる方にお伺いします。就労希望がありながら、現在働いていない主な理由は何ですか。(○は1つ)

「働きながら子育てできる適当な仕事がない」の割合が49.6%と最も高く、次いで「自分の知識・能力にあう仕事がない」の割合が10.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」の割合が増加しています。

留守家庭児童会室などのサービスが利用できない
働きながら子育てできる適当な仕事がない
自分の知識・能力にあう仕事がない
配偶者の育児・家事への協力が得られない
働くことに家族や親族の理解が得られない
その他
無回答

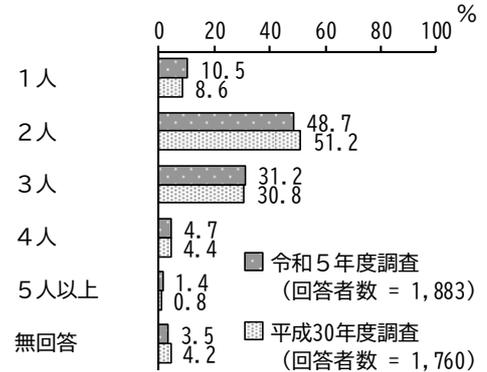


(3) 子育てについて

問 14 希望する子どもの数は何人ですか。

「2人」の割合が 48.7%と最も高く、次いで「3人」の割合が 31.2%、「1人」の割合が 10.5%となっています。

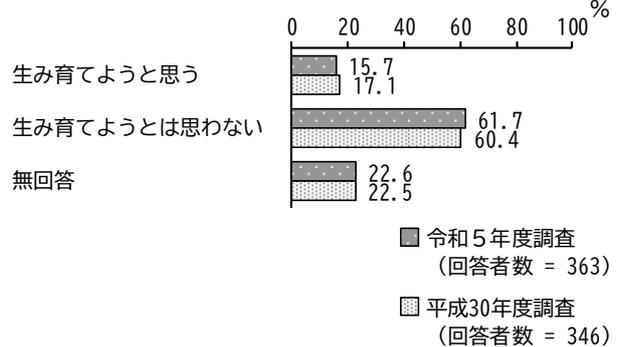
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 15 希望する子どもの数が現在の子ども数より多い方にお伺いします。現在の家庭・教育環境等においても、もう一人子どもを生ま育てようと思いませんか。(〇は1つ)

「生ま育てようと思う」の割合が 15.7%、「生ま育てようとは思わない」の割合が 61.7%となっています。

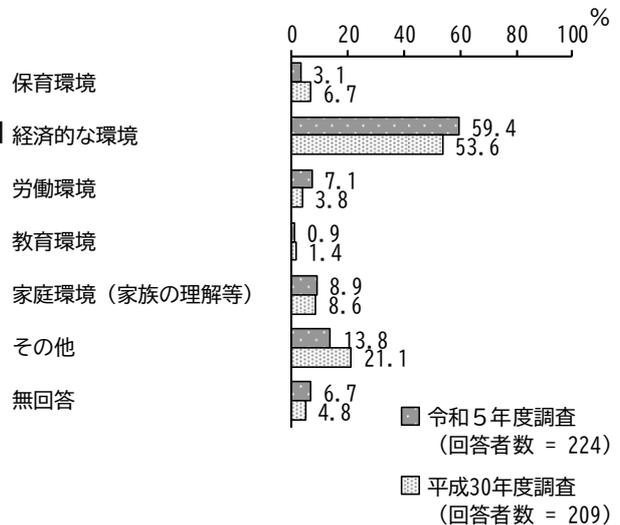
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 15-1 問 15 で「2. 生ま育てようとは思わない」を選ばれた方にお伺いします。どのような環境を整えればもう一人子どもを生ま育てようと思いませんか。もっともあてはまる答えの番号に〇をつけてください。(〇は1つ)

「経済的な環境」の割合が 59.4%と最も高くなっています。

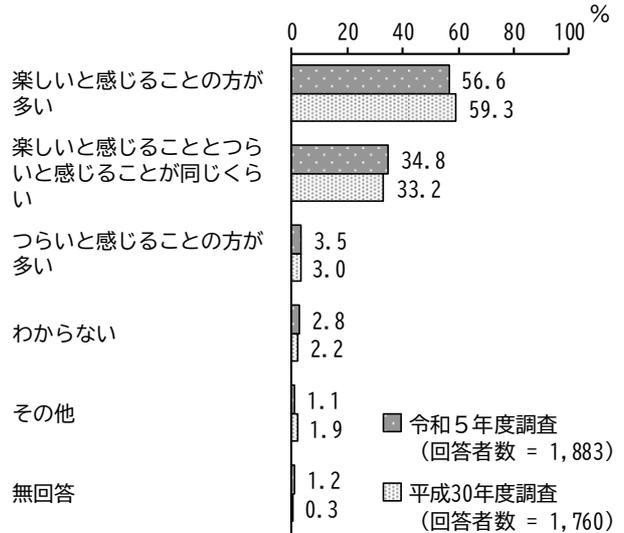
平成 30 年度調査と比較すると、「経済的な環境」の割合が増加しています。



問 16 子育てについて、どのように感じていますか。(〇は1つ)

「楽しいと感じることの方が多し」の割合が56.6%と最も高く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」の割合が34.8%となっています。

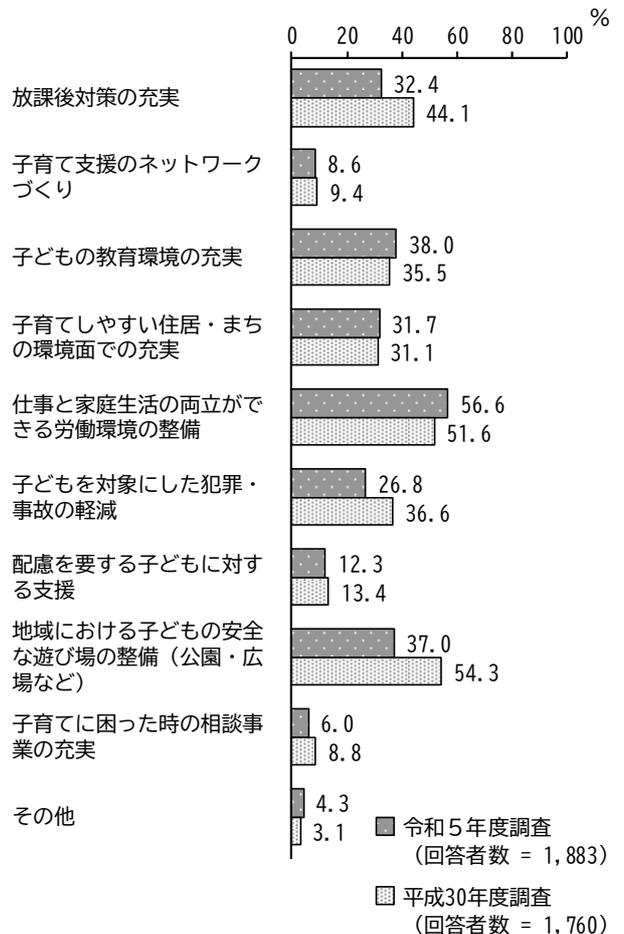
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 17 子育てをする中で、どのような支援・対策が重要だと感じますか。(〇は3つまで)

「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」の割合が56.6%と最も高く、次いで「子どもの教育環境の充実」の割合が38.0%、「地域における子どもの安全な遊び場の整備(公園・広場など)」の割合が37.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「放課後対策の充実」「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」「地域における子どもの安全な遊び場の整備(公園・広場など)」の割合が減少しています。



【現在の暮らし向き別】

現在の暮らし向き別にみると、大変ゆとりがあるで「地域における子どもの安全な遊び場の整備（公園・広場など）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	放課後対策の充実	子育て支援のネットワークづくり	子どもの教育環境の充実	子育てしやすい住居まちな環境での充実	仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備	子どもを対象にした犯罪事故の軽減	配慮を要する子どもに対する支援	地域における子どもの安全な遊び場の整備（公園・広場など）	子育てに困った時の相談事業の充実	その他	無回答
全体	1,883	32.4	8.6	38.0	31.7	56.6	26.8	12.3	37.0	6.0	4.3	2.9
大変苦しい	165	22.4	6.1	27.3	31.5	55.8	27.9	18.8	29.1	6.1	9.7	4.8
やや苦しい	523	31.9	8.8	37.5	30.4	62.9	24.9	10.7	33.3	5.9	5.2	1.9
普通	981	34.4	8.4	41.0	32.5	53.9	28.2	13.1	40.2	6.5	3.1	2.3
ややゆとりがある	175	33.7	10.3	34.3	30.3	57.7	24.6	7.4	38.3	2.9	3.4	5.1
大変ゆとりがある	24	33.3	8.3	37.5	37.5	33.3	20.8	—	45.8	8.3	4.2	—

【子どもに関する悩み別】

子どもに関する悩み別にみると、子どもの不登校などに関する事で「配慮を要する子どもに対する支援」の割合が高くなっています。

単位：%

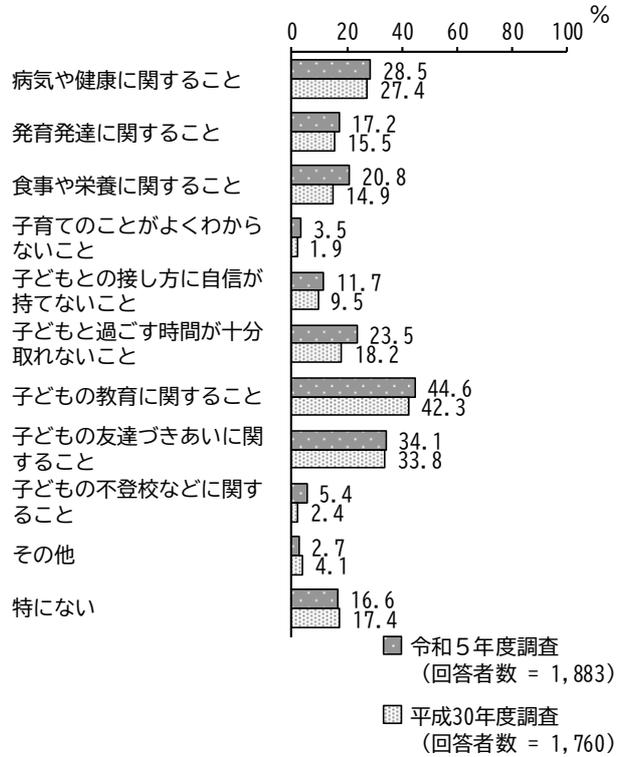
区分	回答者数 (件)	放課後対策の充実	子育て支援のネットワークづくり	子どもの教育環境の充実	子育てしやすい住居まちなぎ環境での充実	仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備	子どもを対象にした犯罪事故の軽減	配慮を要する子どもに対する支援	地域における子どもの安全な遊び場の整備(公園広場など)	子育てに困った時の相談事業の充実	その他	無回答
全体	1,883	32.4	8.6	38.0	31.7	56.6	26.8	12.3	37.0	6.0	4.3	2.9
病気や健康に関すること	536	31.2	9.3	37.7	33.0	60.1	33.4	13.2	34.3	7.1	3.0	2.4
発育発達に関すること	324	31.8	9.3	31.2	27.2	62.3	24.4	34.3	25.6	11.4	4.0	2.2
食事や栄養に関すること	391	35.0	10.5	37.9	32.5	60.6	28.6	13.6	39.6	6.4	3.6	2.8
子育てのことがよくわからないこと	65	26.2	9.2	29.2	36.9	56.9	36.9	16.9	29.2	12.3	9.2	1.5
子どもとの接し方に自信が持てないこと	221	34.4	10.9	32.6	33.9	62.0	28.5	14.9	34.4	9.5	3.2	1.4
子どもと過ごす時間が十分取れないこと	443	37.7	8.8	39.5	31.2	70.2	25.3	9.9	30.0	5.6	5.9	0.5
子どもの教育に関すること	840	35.4	10.1	46.8	30.8	58.2	25.4	10.5	36.2	5.4	4.5	2.4
子どもの友達づきあいに関すること	642	36.3	9.2	41.3	33.0	58.6	28.0	14.0	38.2	7.0	3.7	1.7
子どもの不登校などに関すること	101	15.8	8.9	35.6	30.7	47.5	22.8	35.6	36.6	14.9	3.0	5.9
その他	50	28.0	22.0	38.0	36.0	54.0	26.0	8.0	38.0	4.0	12.0	—
特になし	312	29.5	6.1	36.2	32.1	50.0	30.4	6.7	40.4	3.5	4.5	3.2

問 18 子育てに関して、あなたが日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。また、「2. 発育発達に関すること」を選ばれた場合は、具体的な内容に○をつけてください。

(1) 子供に関すること (○はいくつでも)

「子どもの教育に関すること」の割合が 44.6% と最も高く、次いで「子どもの友達づきあいに関すること」の割合が 34.1%、「病気や健康に関すること」の割合が 28.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「食事や栄養に関すること」「子どもと過ごす時間が十分取れないこと」の割合が増加しています。



【子どもの人数別】

子どもの人数別にみると、5人以上で「発育発達に関すること」の割合が高くなっています。

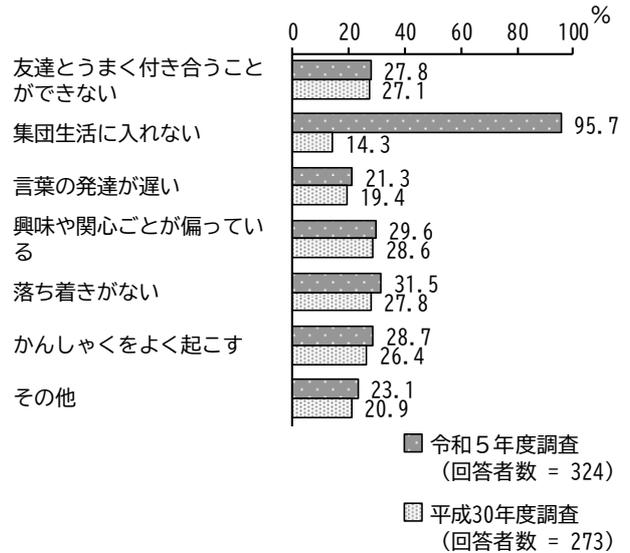
単位：%

区分	回答者数 (件)	病気や健康に関すること	発育発達に関すること	食事や栄養に関すること	子育てのことがよくわからないこと	子どもとの接し方に自信が持てないこと	子どもと過ごす時間が十分取れないこと	子どもの教育に関すること	子どもの友達づきあいに関すること	子どもの不登校などに関すること	その他	特にない	無回答
全 体	1,883	28.5	17.2	20.8	3.5	11.7	23.5	44.6	34.1	5.4	2.7	16.6	1.7
1人	332	26.8	13.0	23.2	4.2	11.1	24.1	48.8	38.3	4.2	3.0	17.5	2.7
2人	980	29.0	19.1	20.4	3.8	13.4	22.3	45.4	36.9	5.2	2.2	14.5	1.7
3人	431	26.5	15.1	20.6	2.3	10.4	24.6	41.5	25.1	6.0	3.5	19.7	1.2
4人	76	32.9	18.4	14.5	2.6	5.3	27.6	34.2	34.2	6.6	1.3	19.7	—
5人以上	24	45.8	37.5	25.0	4.2	4.2	25.0	37.5	25.0	8.3	4.2	12.5	—

2. 発育発達に関することについて以下もお選びください。(○はいくつでも)

「集団生活に入れない」の割合が 95.7%と最も高く、次いで「落ち着きがない」の割合が 31.5%、「興味や関心ごとが偏っている」の割合が 29.6%となっています。

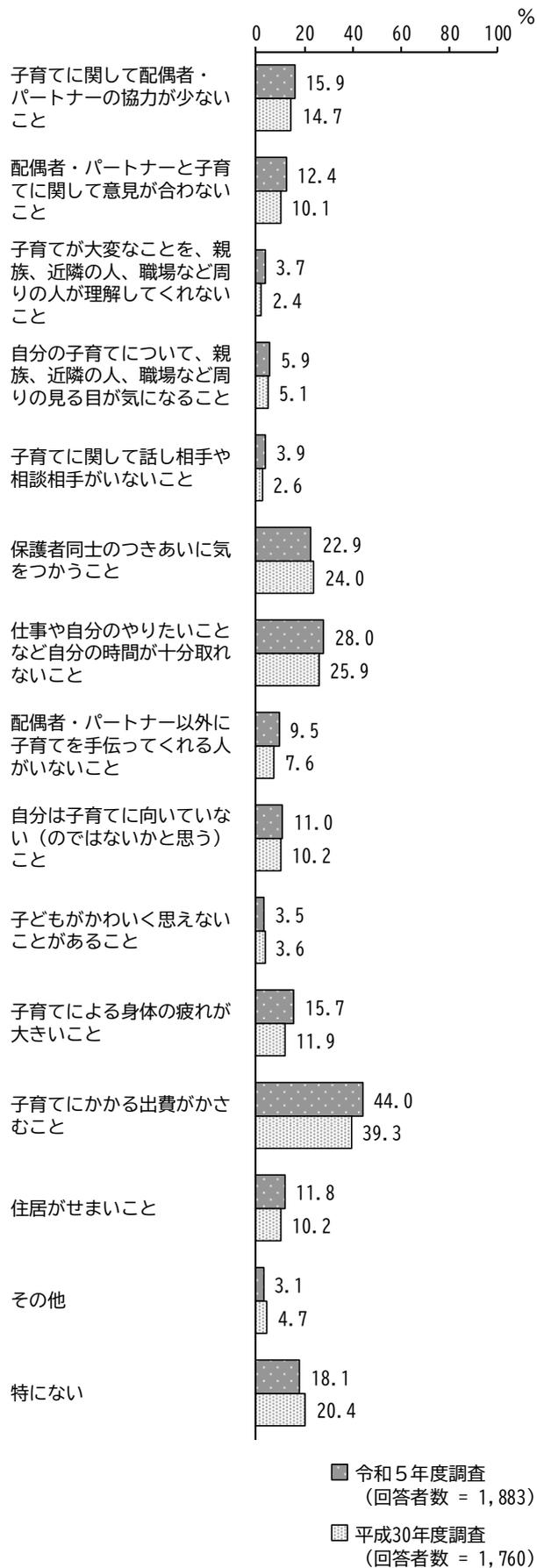
平成 30 年度調査と比較すると、「集団生活に入れない」の割合が増加しています。



(2) あなたに関すること (〇はいくつでも)

「子育てにかかる出費がかさむこと」の割合が44.0%と最も高く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が28.0%、「保護者同士のつきあいに気をつかうこと」の割合が22.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【現在の暮らし向き別】

現在の暮らし向き別にみると、大変苦しいで「子育てにかかる出費がかさむこと」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと	配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと	子育てが大変なことを、親族、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと	自分の子育てについて、親族、近隣の人、職場など周りの見る目が気になること	子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと	保護者同士のつきあいに気がつかうこと	仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
全体	1,883	15.9	12.4	3.7	5.9	3.9	22.9	28.0	9.5
大変苦しい	165	22.4	15.2	7.3	10.9	9.1	28.5	35.2	14.5
やや苦しい	523	19.7	13.4	5.7	8.4	5.7	29.1	33.3	9.9
普通	981	13.9	11.7	2.3	4.1	2.3	19.5	24.8	8.8
ややゆとりがある	175	11.4	11.4	1.1	5.1	2.3	21.1	25.1	8.6
大変ゆとりがある	24	4.2	4.2	—	—	—	4.2	16.7	—

区分	自分では子育てに向いていないのではないかと思うこと	子どもがかわいく思えないことがあること	子育てによる身体の疲れが大きいこと	子育てにかかる出費がかさむこと	住居がせまいこと	その他	特にない	無回答
全体	11.0	3.5	15.7	44.0	11.8	3.1	18.1	2.3
大変苦しい	15.8	5.5	25.5	77.0	20.6	2.4	3.0	1.2
やや苦しい	14.3	5.2	17.6	65.8	18.7	3.1	7.5	1.5
普通	9.7	2.7	14.3	33.1	8.1	3.1	23.8	2.5
ややゆとりがある	6.3	1.7	9.7	16.6	4.6	4.0	29.1	2.3
大変ゆとりがある	—	4.2	8.3	8.3	12.5	—	37.5	8.3

【子どもの人数別】

子どもの人数別にみると、5人以上で「住居がせまいこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと	配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと	子育てが大変なことを、親族、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと	自分の子育てについて、親族、近隣の人、職場など周りの見る目が気になること	子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと	保護者同士のつきあいに気をつかうこと	仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
全 体	1,883	15.9	12.4	3.7	5.9	3.9	22.9	28.0	9.5
1人	332	14.5	10.2	3.9	4.2	6.0	22.9	24.4	9.0
2人	980	16.9	12.7	3.6	7.0	3.9	24.5	26.8	10.4
3人	431	13.9	12.5	3.2	5.1	2.8	18.8	31.8	9.0
4人	76	17.1	15.8	2.6	6.6	1.3	23.7	35.5	7.9
5人以上	24	29.2	20.8	8.3	4.2	—	33.3	20.8	—

区分	自分には子育てに向いていないのではないかと思うこと	子どもがかわいく思えないことがあること	子育てによる身体の疲れが大きいこと	子育てにかかる出費がかさむこと	住居がせまいこと	その他	特にない	無回答
全 体	11.0	3.5	15.7	44.0	11.8	3.1	18.1	2.3
1人	11.1	2.4	16.6	33.1	10.5	2.7	21.4	2.7
2人	12.3	3.9	15.3	41.6	10.0	3.1	17.3	2.6
3人	8.8	3.7	16.5	55.2	13.7	3.5	17.9	1.6
4人	6.6	2.6	15.8	55.3	25.0	2.6	17.1	—
5人以上	4.2	4.2	12.5	58.3	41.7	4.2	4.2	—

【子どもに関する悩み別】

子どもに関する悩み別にみると、子育てのことがよくわからないことで「自分は子育てに向いていない（のではないかと思う）こと」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと	子育てに関して意見が合わないこと	子育てが大変なことを親族・近隣の職場など周りの人が理解してくれないこと	子育てが親族・近隣の職場など周りの見る目が気になること	自分の子育てについて、親族・近隣の職場など周りの見る目が気になること	子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと	保護者同士のつきあいに気をつかうこと	仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
全体	1,883	15.9	12.4	3.7	5.9	3.9	22.9	28.0	9.5	
病気や健康に関すること	536	21.5	15.7	6.3	9.9	5.0	31.2	35.3	12.9	
発育発達に関すること	324	24.1	17.6	8.6	10.8	8.3	29.0	32.1	16.4	
食事や栄養に関すること	391	21.7	16.9	6.6	8.4	6.6	28.9	36.8	13.3	
子育てのことがよくわからないこと	65	27.7	33.8	13.8	21.5	7.7	36.9	47.7	24.6	
子どもとの接し方に自信が持てないこと	221	25.3	24.0	8.1	21.3	11.3	34.4	40.3	18.1	
子どもと過ごす時間が十分取れないこと	443	20.1	18.1	7.0	9.9	6.3	30.0	48.8	13.8	
子どもの教育に関すること	840	17.7	14.4	4.8	7.9	4.3	25.6	35.1	12.5	
子どもの友達づきあいに関すること	642	19.0	16.5	5.0	9.7	4.4	36.3	34.7	12.8	
子どもの不登校などに関すること	101	23.8	20.8	7.9	12.9	6.9	28.7	38.6	17.8	
その他	50	18.0	16.0	4.0	6.0	2.0	20.0	38.0	8.0	
特になし	312	7.7	5.1	0.6	1.0	1.0	9.0	11.2	3.2	

単位：%

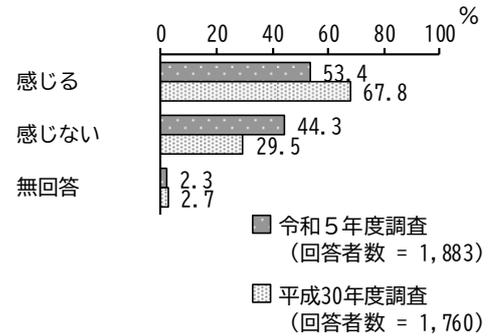
区分	自分には子育てに向いていない(と思う)こと	子どもがかわいがること 思えないことがあ	子育てによる身体 の疲れが大きいこ	子育てにかかる出 費がかさむこと	住居がせまいこと	その他	特 に ない	無 回 答
全 体	11.0	3.5	15.7	44.0	11.8	3.1	18.1	2.3
病気や健康に 関すること	12.7	3.4	21.3	50.9	14.4	2.4	10.3	1.1
発育発達に関 すること	17.9	7.7	26.5	43.5	15.7	5.2	9.0	1.5
食事や栄養に 関すること	15.1	3.3	22.0	50.1	14.3	3.1	12.8	1.0
子育てのこ とがよくわから ないこと	58.5	27.7	46.2	50.8	16.9	7.7	3.1	1.5
子どもとの接 し方に自信が 持てないこと	46.6	19.5	38.5	50.7	13.1	3.2	2.3	2.3
子どもと過 ぎす時間が十分 取れないこと	16.0	5.0	21.9	53.0	15.8	3.2	6.3	1.6
子どもの教育 に關すること	13.2	4.0	18.7	52.5	14.2	3.5	10.7	1.0
子どもの友達 づきあいに関 すること	16.7	5.5	22.1	50.8	14.2	3.4	8.6	0.8
子どもの不登 校などに関す ること	20.8	5.0	28.7	53.5	15.8	5.0	6.9	3.0
その他	12.0	4.0	22.0	42.0	14.0	20.0	4.0	—
特 に ない	1.9	0.3	3.5	29.8	6.7	2.2	49.7	1.3

(前ページの表 続き)

問19 子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。(○は1つ)
 感じる場合は、特に誰に支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰に
 支えてほしいと感じますか。下の【表】から選んでください。(複数選択可)

「感じる」の割合が53.4%、「感じない」の割合が44.3%となっています。

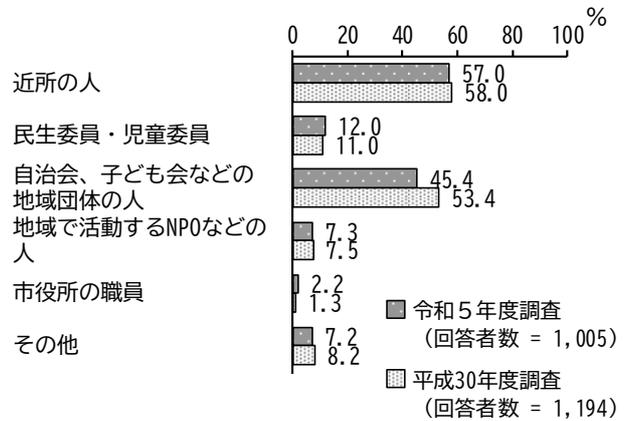
平成30年度調査と比較すると、「感じない」の割合が増加しています。一方、「感じる」の割合が減少しています。



支えられている人

「近所の人」の割合が57.0%と最も高く、次いで「自治会、子ども会などの地域団体の人」の割合が45.4%、「民生委員・児童委員」の割合が12.0%となっています。

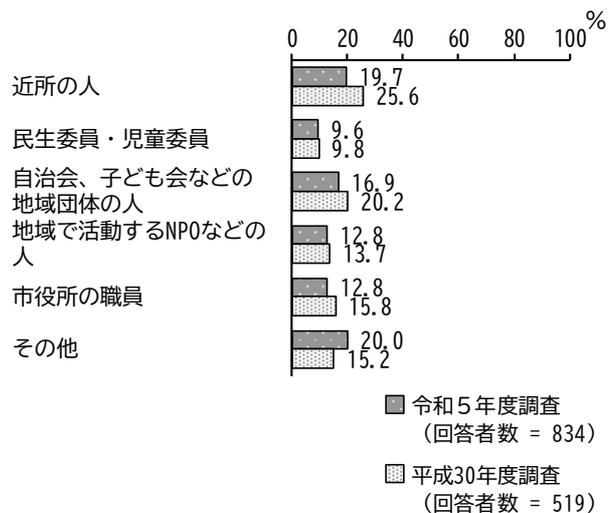
平成30年度調査と比較すると、「自治会、子ども会などの地域団体の人」の割合が減少しています。



支えてほしい人

「近所の人」の割合が19.7%と最も高く、次いで「自治会、子ども会などの地域団体の人」の割合が16.9%、「地域で活動するNPOなどの人」、「市役所の職員」の割合が12.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「近所の人」の割合が減少しています。

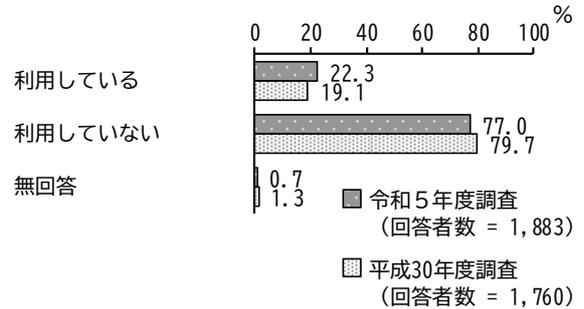


(4) 留守家庭児童会室の利用について

問 20 平日（月曜日～金曜日）に、現在、留守家庭児童会室を利用されていますか。
（○は1つ）

「利用している」の割合が 22.3%、「利用していない」の割合が 77.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



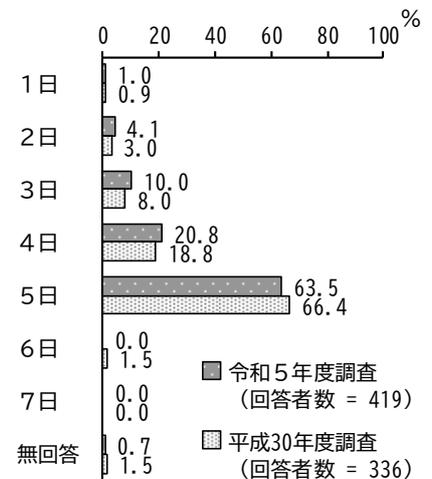
問 21 問 20 で「1. 利用している」を選ばれた方にお伺いします。現在利用している留守家庭児童会室について、もっとも多いパターンとして、1週間当たり何日くらい、時間は何時頃まで利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。カッコ内に数字を入れてください。

(1) 現在

留守家庭児童会室の利用日数/週

「5日」の割合が 63.5%と最も高く、次いで「4日」の割合が 20.8%、「3日」の割合が 10.0%となっています。

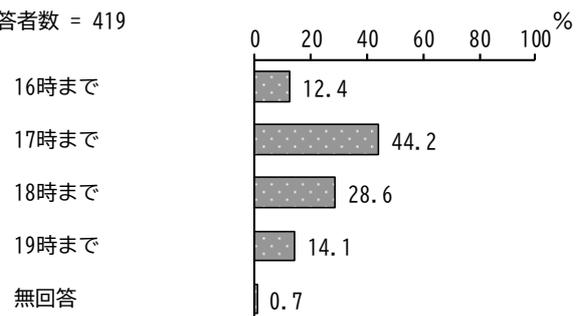
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



留守家庭児童会室の利用時間

「17時まで」の割合が 44.2%と最も高く、次いで「18時まで」の割合が 28.6%、「19時まで」の割合が 14.1%となっています。

回答者数 = 419

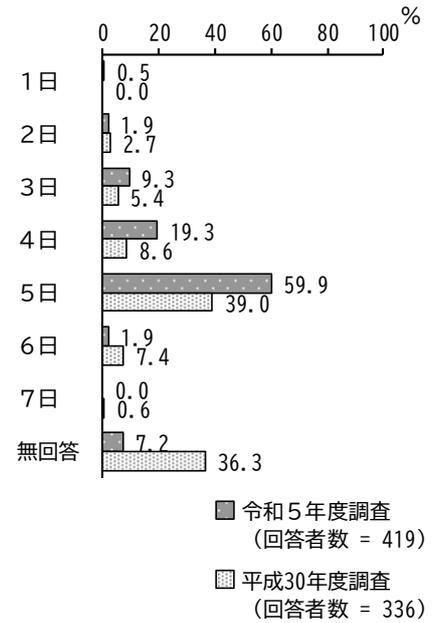


(2) 希望

留守家庭児童会室の利用日数/週

「5日」の割合が59.9%と最も高く、次いで「4日」の割合が19.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4日」「5日」の割合が増加しています。一方、「6日」の割合が減少しています。

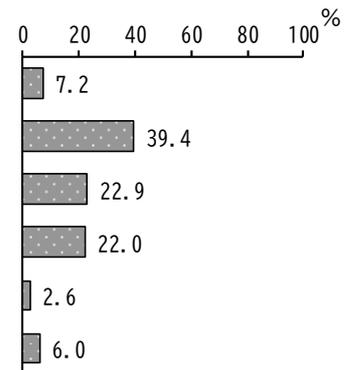


留守家庭児童会室の利用時間

「17時まで」の割合が39.4%と最も高く、次いで「18時まで」の割合が22.9%、「19時まで」の割合が22.0%となっています。

回答者数 = 419

16時まで
17時まで
18時まで
19時まで
その他
無回答

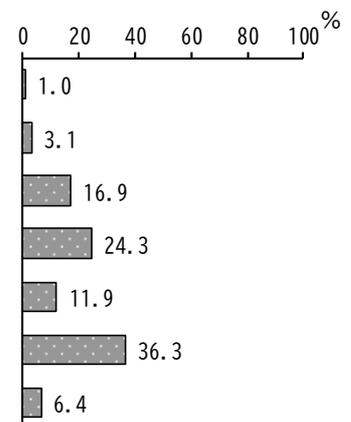


留守家庭児童会室を利用したい学年

「6年生まで」の割合が36.3%と最も高く、次いで「4年生まで」の割合が24.3%、「3年生まで」の割合が16.9%となっています。

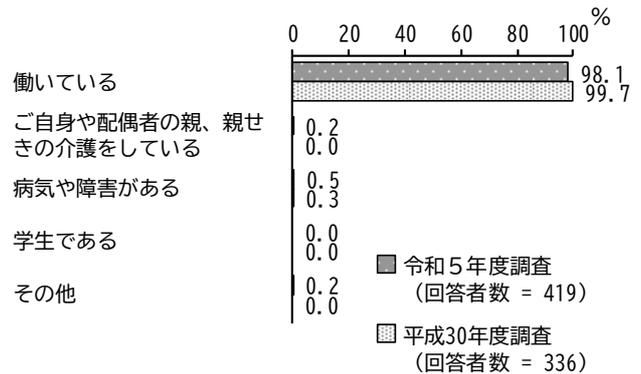
回答者数 = 419

1年生まで
2年生まで
3年生まで
4年生まで
5年生まで
6年生まで
無回答



問 21-1 問 20 で「1. 利用している」を選ばれた方に引き続きお伺いします。留守家庭児童会室を利用されている主な理由は何ですか。(○は1つ)

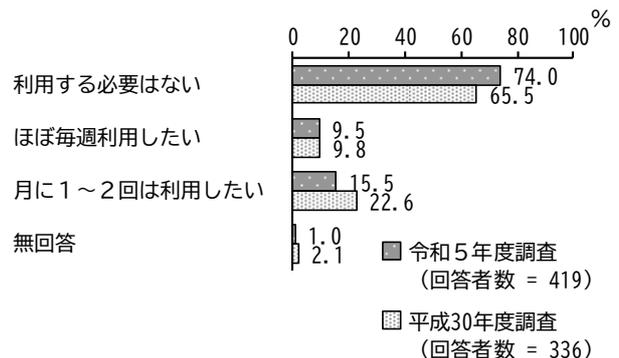
「働いている」の割合が 98.1%と最も高くなっています。
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 21-2 問 20 で「1. 利用している」を選ばれた方に引き続きお伺いします。土曜日、日曜日・祝日に、留守家庭児童会室の利用希望はありますか。(一時的な利用は除きます)
(○は1つ) 希望がある場合は、カッコ内に具体的な数字を入れてください。

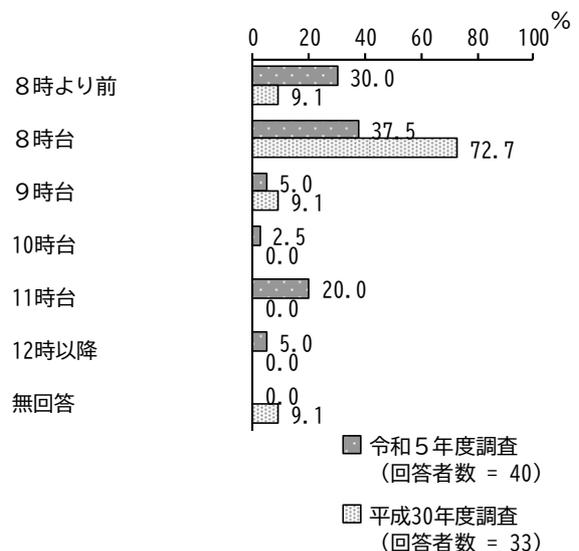
(1) 土曜日

「利用する必要はない」の割合が 74.0%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が 15.5%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「月に1～2回は利用したい」の割合が減少しています。



毎週利用したい人の開始時間

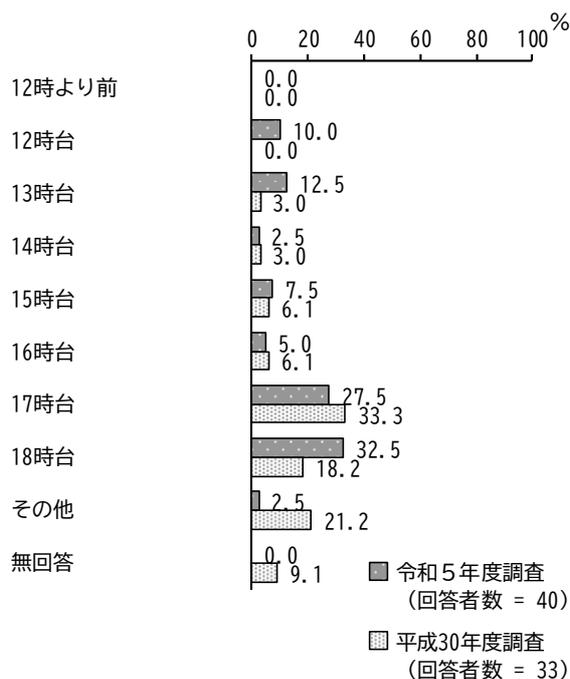
「8時台」の割合が 37.5%と最も高く、次いで「8時より前」の割合が 30.0%、「11時台」の割合が 20.0%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、「8時より前」「11時台」の割合が増加しています。一方、「8時台」の割合が減少しています。



毎週利用したい人の終了時間

「18 時台」の割合が 32.5%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 27.5%、「13 時台」の割合が 12.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「12 時台」「13 時台」「18 時台」の割合が増加しています。一方、「17 時台」の割合が減少しています。

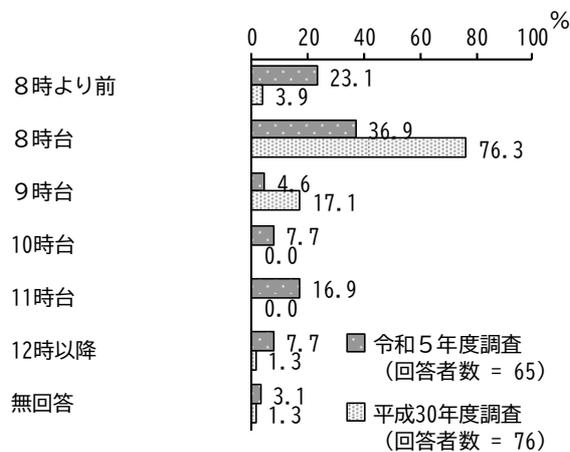


※前回調査では、「その他」の選択肢が「19 時台」でした。

月1～2回利用したい人の開始時間

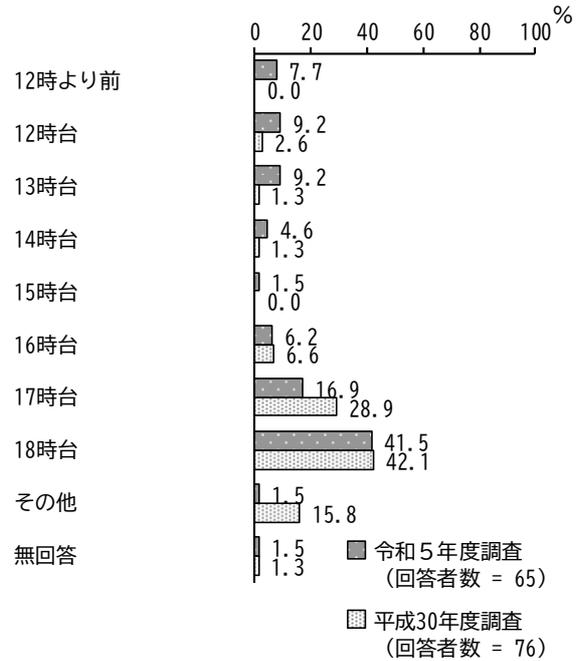
「8 時台」の割合が 36.9%と最も高く、次いで「8 時より前」の割合が 23.1%、「11 時台」の割合が 16.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「8 時より前」「10 時台」「11 時台」「12 時以降」の割合が増加しています。一方、「8 時台」「9 時台」の割合が減少しています。



月1～2回利用したい人の終了時間

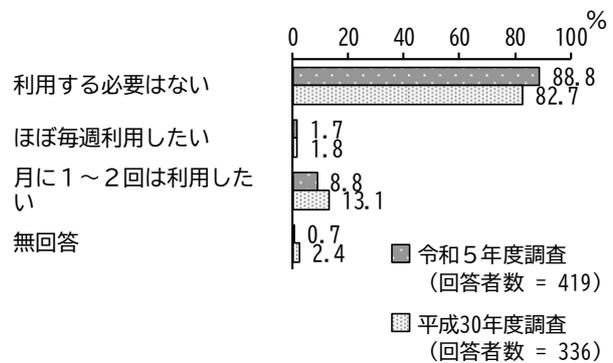
「18 時台」の割合が 41.5%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 16.9%となっています。
 平成 30 年度調査と比較すると、「12 時より前」「12 時台」「13 時台」の割合が増加しています。一方、「17 時台」の割合が減少しています。



※前回調査では、「その他」の選択肢が「19 時台」でした。

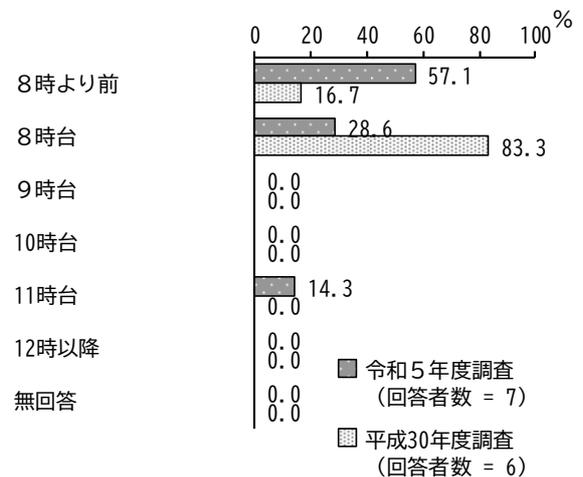
(2) 日曜日・祝日

「利用する必要はない」の割合が 88.8%と最も高くなっています。
 平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。



毎週利用したい人の開始時間

「8時より前」が4件となっています。「8時台」が2件、「11 時台」が1件となっています。

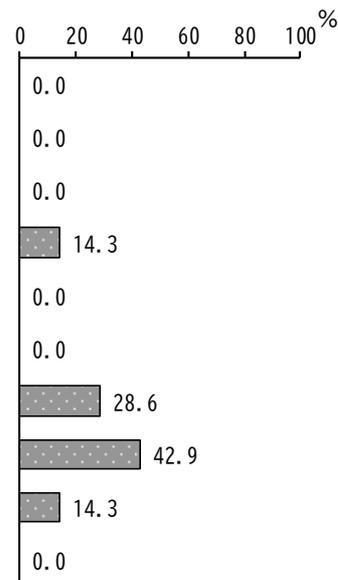


毎週利用したい人の終了時間

「18 時台」が3件となっています。「17 時台」が2件、「14 時台」が1件となっています。

回答者数 = 7

12時より前
12時台
13時台
14時台
15時台
16時台
17時台
18時台
その他
無回答

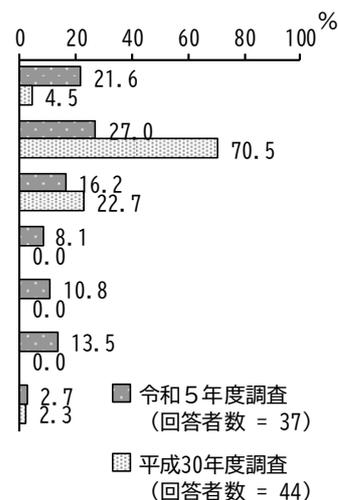


月1～2回利用したい人の開始時間

「8 時台」の割合が 27.0%と最も高く、次いで「8 時より前」の割合が 21.6%、「9 時台」の割合が 16.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「8 時より前」「10 時台」「11 時台」「12 時以降」の割合が増加しています。一方、「8 時台」「9 時台」の割合が減少しています。

8時より前
8時台
9時台
10時台
11時台
12時以降
無回答

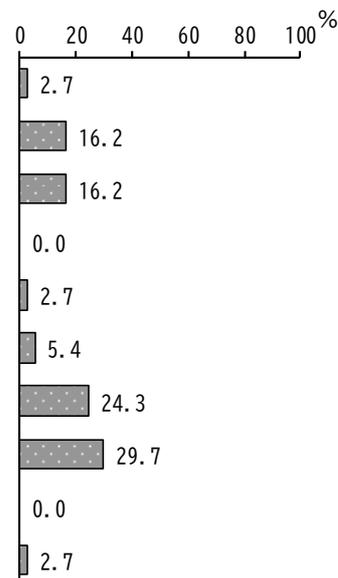


月1～2回利用したい人の終了時間

「18 時台」の割合が 29.7%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 24.3%、「12 時台」、「13 時台」の割合が 16.2%となっています。

回答者数 = 37

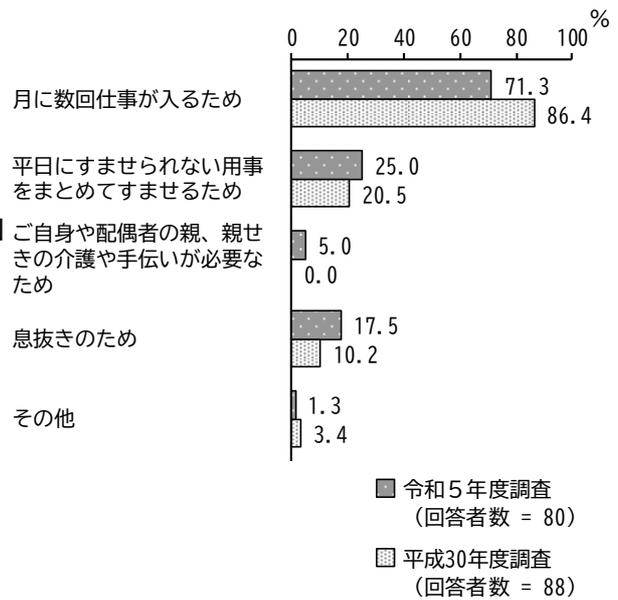
12時より前
12時台
13時台
14時台
15時台
16時台
17時台
18時台
その他
無回答



問 21-3 問 21-2で、「3. 月に1～2回は利用したい」を選ばれた方にお伺いします。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「月に数回仕事が入るため」の割合が71.3%と最も高く、次いで「平日にすませられない用事をまとめてすませるため」の割合が25.0%、「息抜きのため」の割合が17.5%となっています。

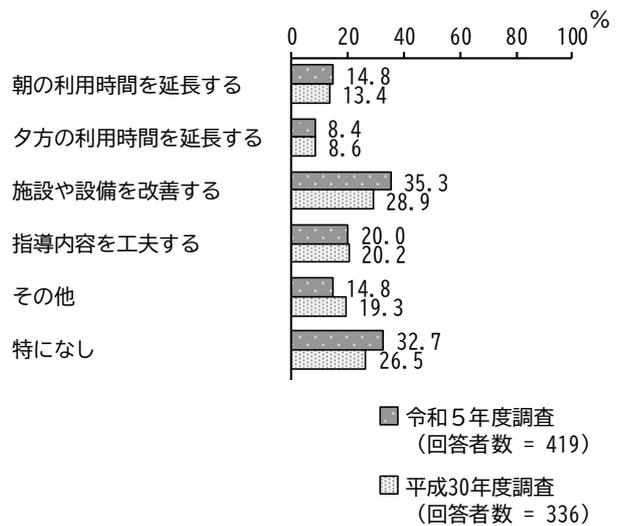
平成30年度調査と比較すると、「息抜きのため」の割合が増加しています。一方、「月に数回仕事が入るため」の割合が減少しています。



問 21-4 問 20で「1. 利用している」を選ばれた方にお伺いします。現在通っている留守家庭児童会室にどのようなことを希望しますか。(〇はいくつでも)

「施設や設備を改善する」の割合が35.3%と最も高く、次いで「特になし」の割合が32.7%、「指導内容を工夫する」の割合が20.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「施設や設備を改善する」「特になし」の割合が増加しています。

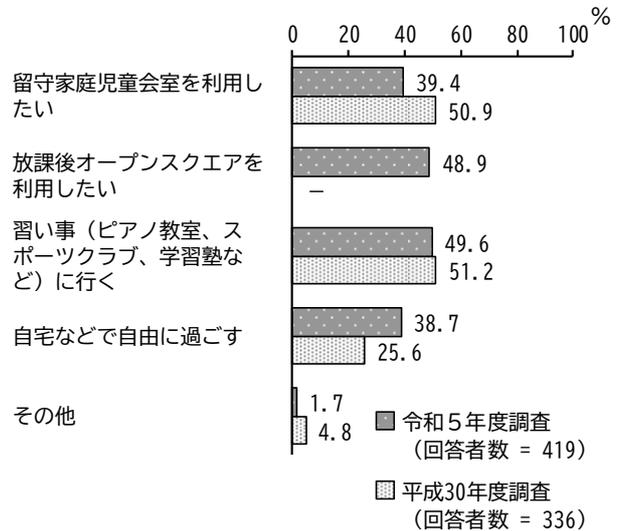


問 21-5 問 20 で「1. 利用している」を選ばれた方に引き続きお伺いします。小学5年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。(〇はいくつでも)

「1. 留守家庭児童会室を利用したい」を選択した場合は、カッコ内に具体的な数字を入れてください。小学5・6年生のお子さんの保護者の方も、現状を踏まえてご回答ください。

「習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)に行く」の割合が49.6%と最も高く、次いで「放課後オープンスクエアを利用したい」の割合が48.9%、「留守家庭児童会室を利用したい」の割合が39.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「自宅などで自由に過ごす」の割合が増加しています。一方、「留守家庭児童会室を利用したい」の割合が減少しています。

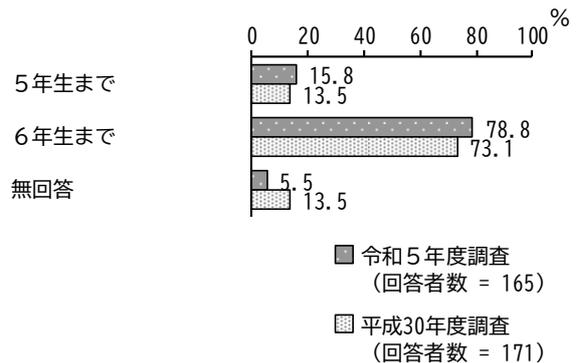


※前回調査では、「放課後オープンスクエアを利用したい」の選択肢が「放課後自習教室を利用したい」「放課後子ども教室を利用したい」と分かれていました。

留守家庭児童会室を利用したい学年

「5年生まで」の割合が15.8%、「6年生まで」の割合が78.8%となっています。

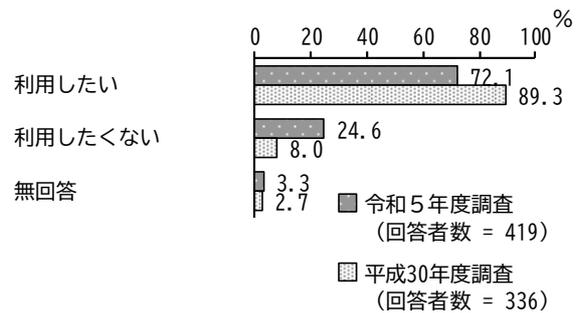
平成30年度調査と比較すると、「6年生まで」の割合が増加しています。



問 21-6 問 20 で「1. 利用している」を選ばれた方に引き続きお伺いします。今後、「放課後オープンスクエア」を利用したいですか。(○は1つ)

「利用したい」の割合が72.1%、「利用したくない」の割合が24.6%となっています。

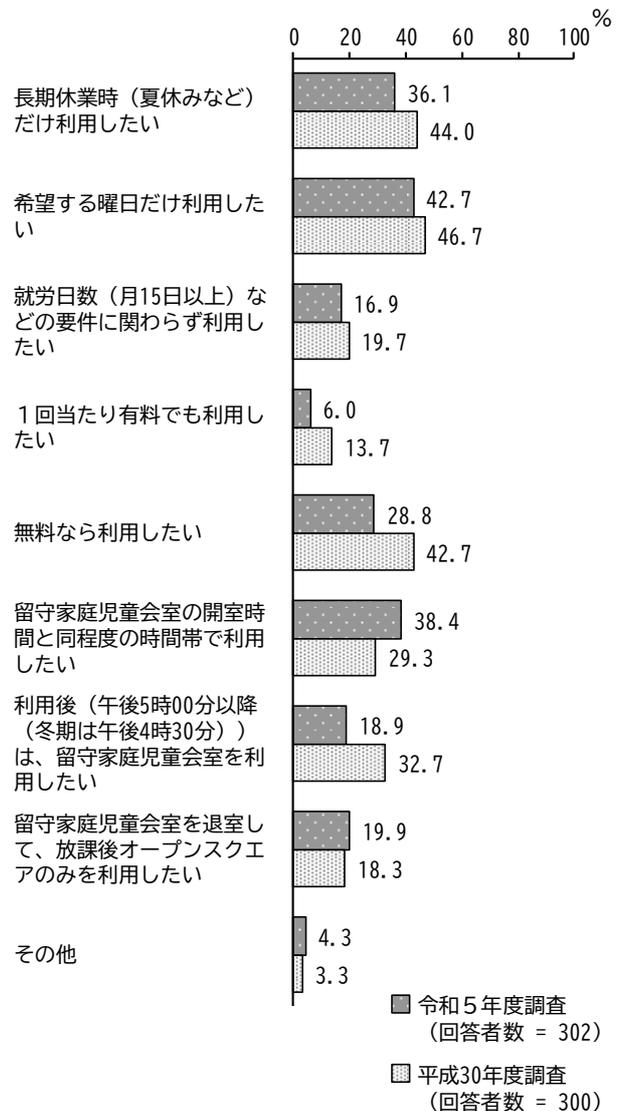
平成30年度調査と比較すると、「利用したくない」の割合が増加しています。一方、「利用したい」の割合が減少しています。



問 21-7 問 21-6 で「1. 利用したい」を選ばれた方にお伺いします。どのような利用を希望しますか。(○はいくつでも)

「希望する曜日だけ利用したい」の割合が42.7%と最も高く、次いで「留守家庭児童会室の開室時間と同程度の時間帯で利用したい」の割合が38.4%、「長期休業時(夏休みなど)だけ利用したい」の割合が36.1%となっています。

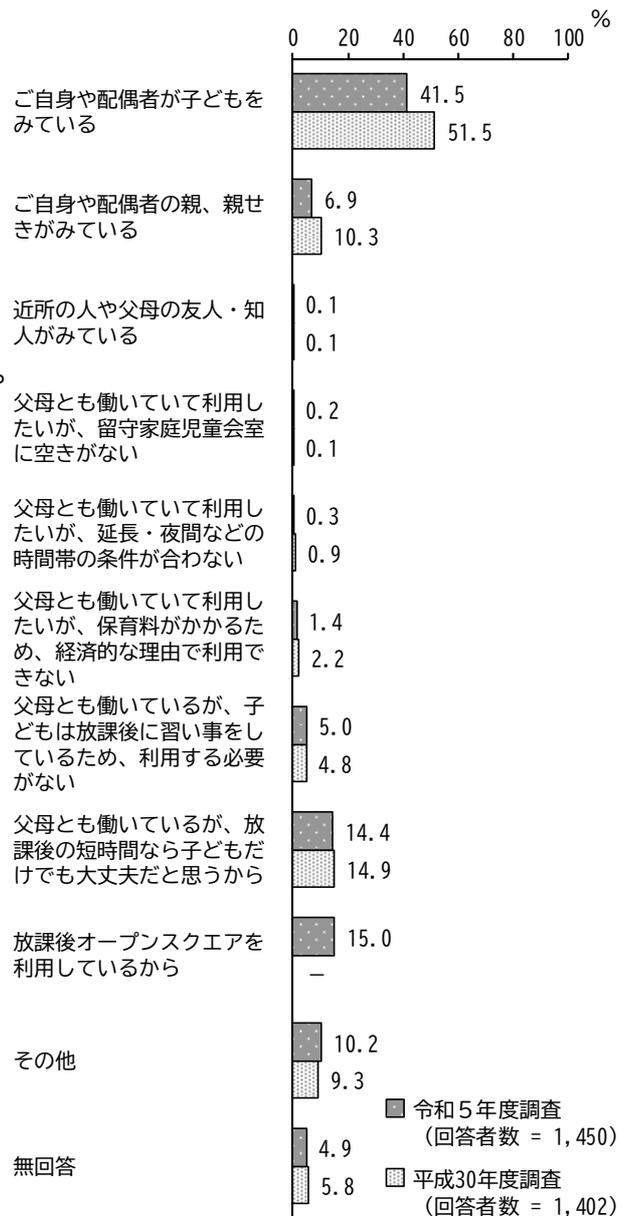
平成30年度調査と比較すると、「留守家庭児童会室の開室時間と同程度の時間帯で利用したい」の割合が増加しています。一方、「長期休業時(夏休みなど)だけ利用したい」「1回当たり有料でも利用したい」「無料なら利用したい」「利用後(午後5時00分以降(冬期は午後4時30分))は、留守家庭児童会室を利用したい」の割合が減少しています。



問22 問20で「2. 利用していない」を選ばれた方にお伺いします。留守家庭児童会室を利用していない理由は何ですか。(○は1つ)

「ご自身や配偶者が子どもをみている」の割合が41.5%と最も高く、次いで「放課後オープンスクエアを利用しているから」の割合が15.0%、「父母とも働いているが、放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思うから」の割合が14.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「ご自身や配偶者が子どもをみている」の割合が減少しています。

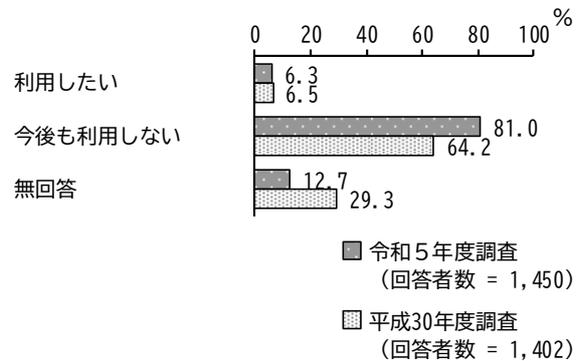


※前回調査では、「放課後オープンスクエアを利用しているから」の選択肢はありませんでした。

問 22-1 問 20 で「2. 利用していない」を選ばれた方に引き続きお伺いします。封筒のあて名のお子さんについて、今後、父母とも働く予定があるなどの理由で、留守家庭児童会室を利用したいとお考えですか。(○は1つ)
希望がある場合は、カッコ内に具体的な数字を入れてください。

「利用したい」の割合が 6.3%、「今後も利用しない」の割合が 81.0%となっています。

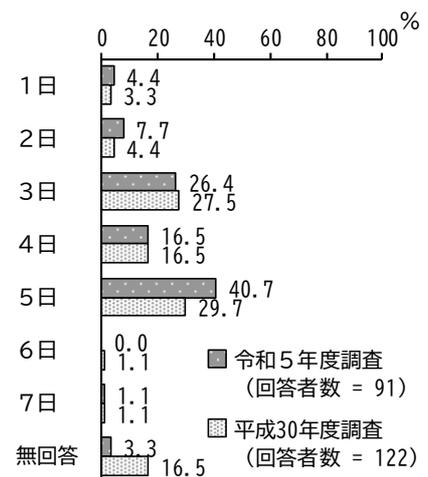
平成 30 年度調査と比較すると、「今後も利用しない」の割合が増加しています。



希望利用日数/週

「5日」の割合が 40.7%と最も高く、次いで「3日」の割合が 26.4%、「4日」の割合が 16.5%となっています。

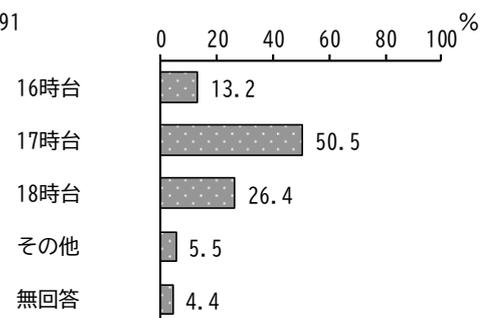
平成 30 年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。



希望利用終了時間

「17 時台」の割合が 50.5%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 26.4%、「16 時台」の割合が 13.2%となっています。

回答者数 = 91

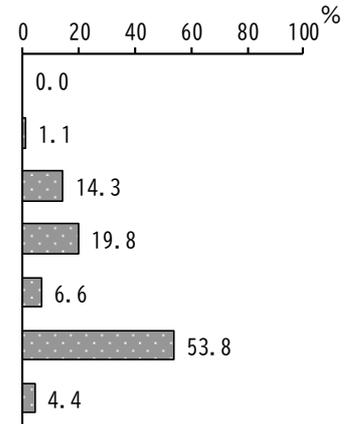


希望利用学年

「6年生まで」の割合が53.8%と最も高く、次いで「4年生まで」の割合が19.8%、「3年生まで」の割合が14.3%となっています。

回答者数 = 91

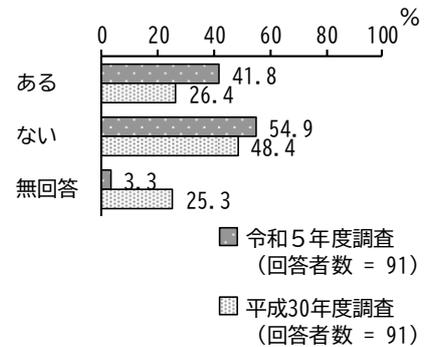
1年生まで
2年生まで
3年生まで
4年生まで
5年生まで
6年生まで
無回答



土曜日の利用希望

「ある」の割合が41.8%、「ない」の割合が54.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「ある」「ない」の割合が増加しています。

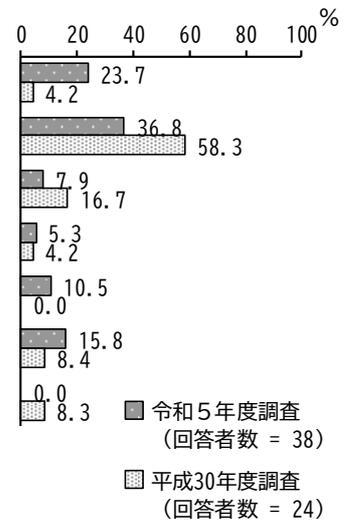


利用希望開始時間

「8時台」の割合が36.8%と最も高く、次いで「8時より前」の割合が23.7%、「12時以降」の割合が15.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時より前」「11時台」「12時以降」の割合が増加しています。一方、「8時台」「9時台」の割合が減少しています。

8時より前
8時台
9時台
10時台
11時台
12時以降
無回答

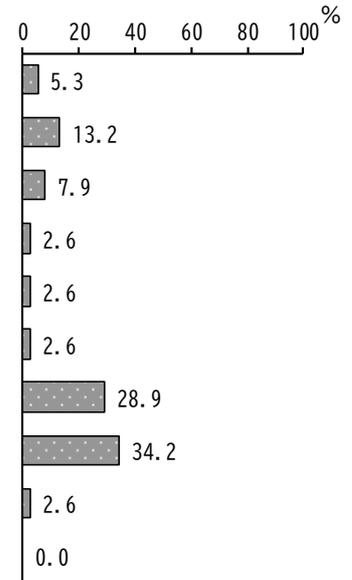


利用希望終了時間

「18 時台」の割合が 34.2%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 28.9%、「12 時台」の割合が 13.2%となっています。

回答者数 = 38

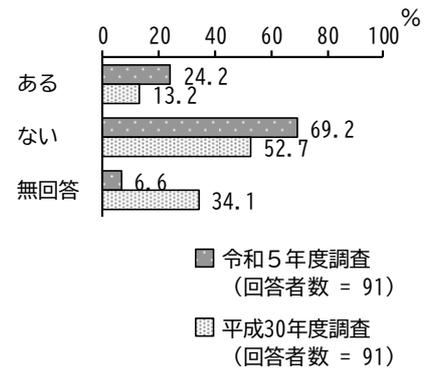
12時より前
12時台
13時台
14時台
15時台
16時台
17時台
18時台
その他
無回答



日曜日・祝日の利用希望

「ある」の割合が 24.2%、「ない」の割合が 69.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「ある」「ない」の割合が増加しています。

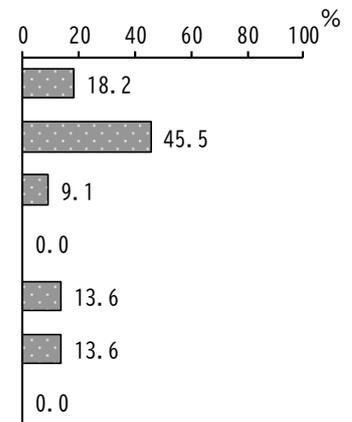


利用希望開始時間

「12 時台」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「12 時より前」の割合が 18.2%、「15 時台」、「16 時台」の割合が 13.6%となっています。

回答者数 = 22

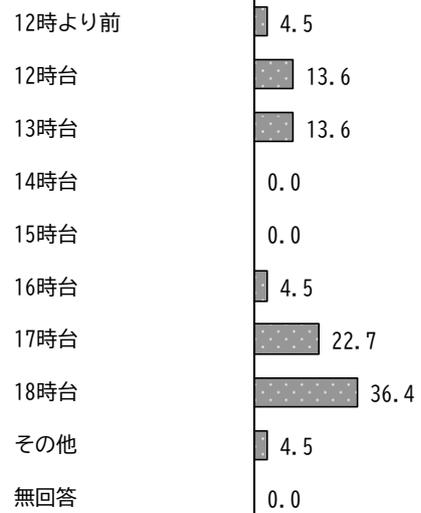
12時より前
12時台
13時台
14時台
15時台
16時台
無回答



利用希望終了時間

「18 時台」の割合が 36.4%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 22.7%、「12 時台」、「13 時台」の割合が 13.6%となっています。

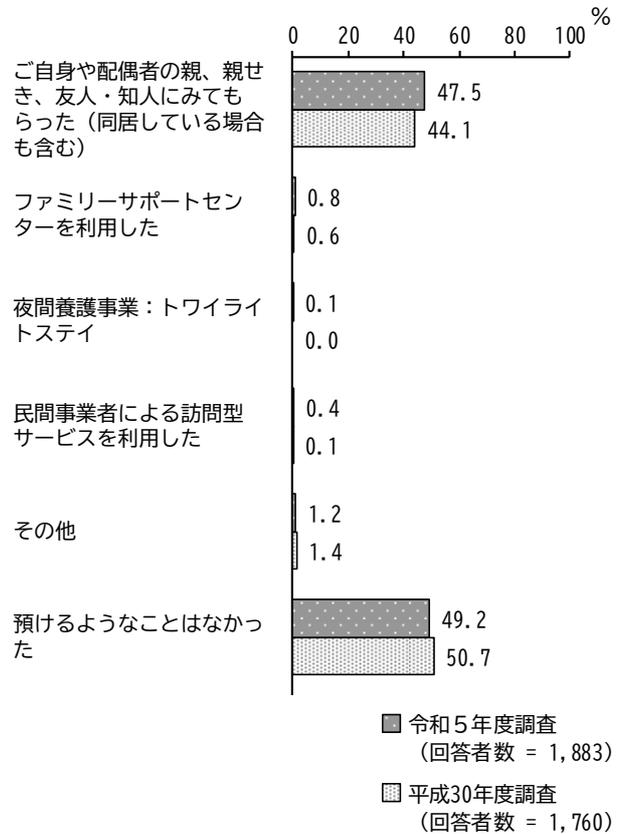
回答者数 = 22



(5) 一時預かりの利用について

問 23 この1年間に、私用、ご自身やご家族の通院、不定期的な仕事などを理由として、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。(○はいくつでも) この1年間のおおよその利用日数についてカッコ内に数字を入れてください。

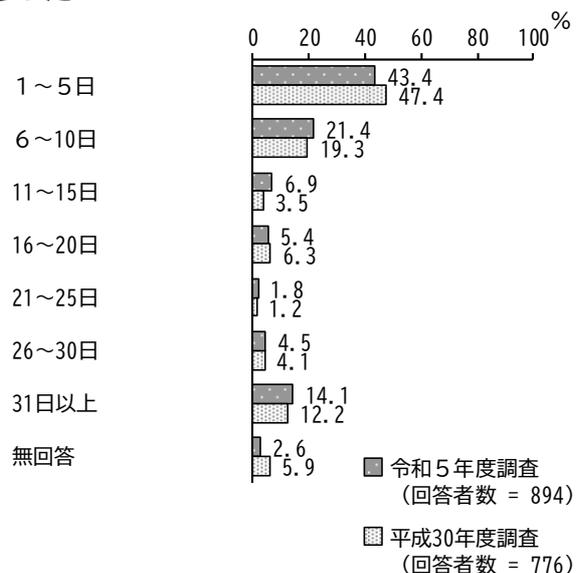
「預けるようなことはなかった」の割合が49.2%と最も高く、次いで「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった(同居している場合も含む)」の割合が47.5%となっています。
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1. ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった

「1～5日」の割合が43.4%と最も高く、次いで「6～10日」の割合が21.4%、「31日以上」の割合が14.1%となっています。

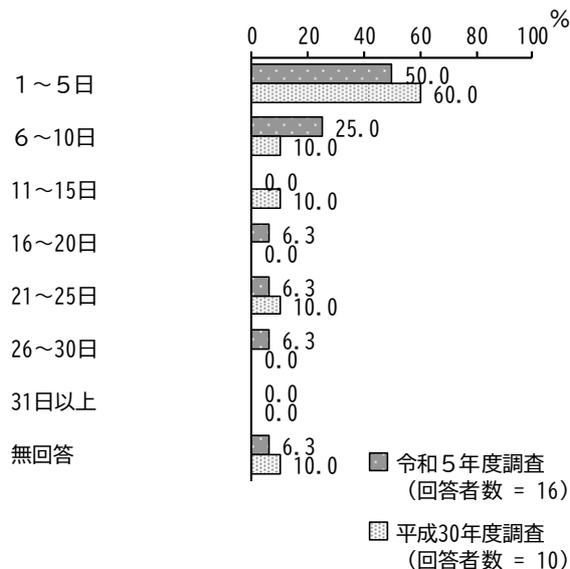
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



2. ファミリーサポートセンターを利用した

「1～5日」の割合が50.0%と最も高く、次いで「6～10日」の割合が25.0%となっています。

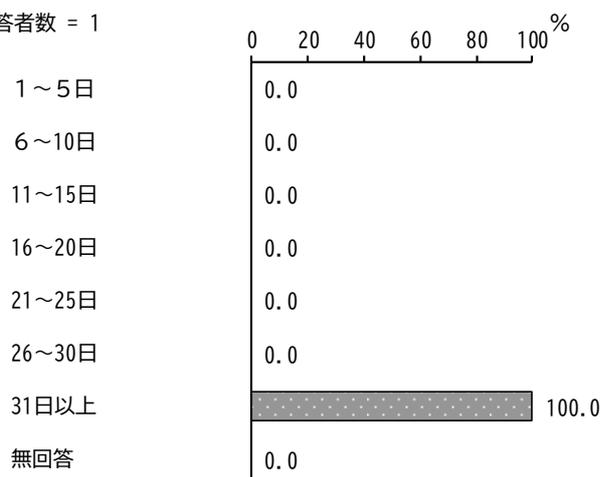
平成30年度調査と比較すると、「6～10日」「16～20日」「26～30日」の割合が増加しています。一方、「1～5日」「11～15日」の割合が減少しています。



3. 夜間養護事業：トワイライトステイ

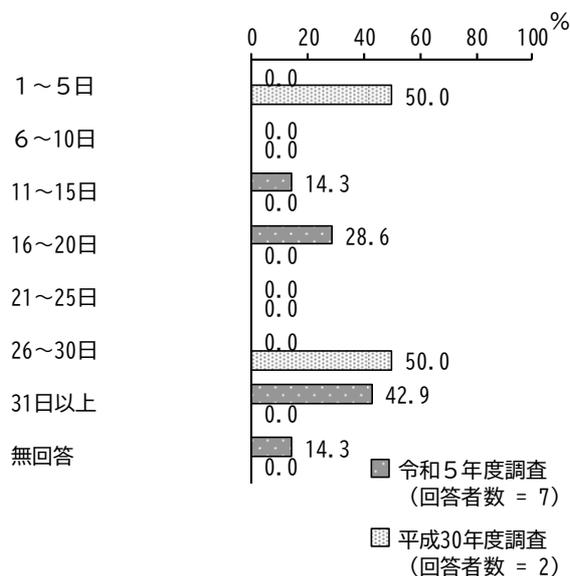
「31日以上」が1件となっています。

回答者数 = 1



4. 民間事業者による訪問型サービスを利用した

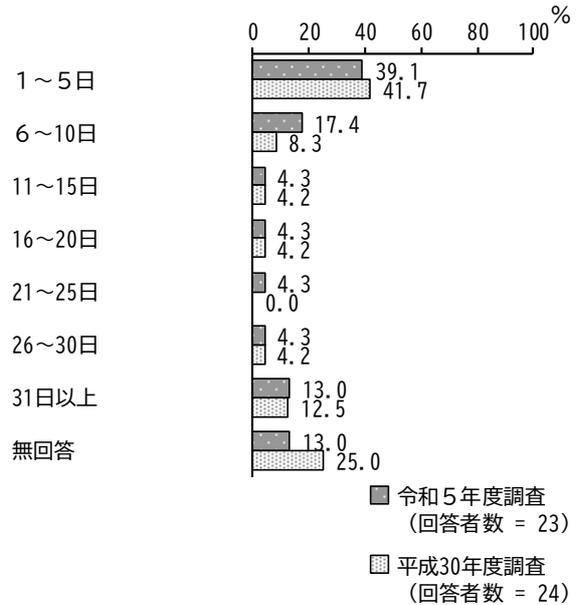
「31日以上」が3件となっています。「16～20日」が2件、「11～15日」が1件となっています。



5. その他

「1～5日」の割合が39.1%と最も高く、次いで「6～10日」の割合が17.4%、「31日以上」の割合が13.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「6～10日」の割合が増加しています。



問24 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

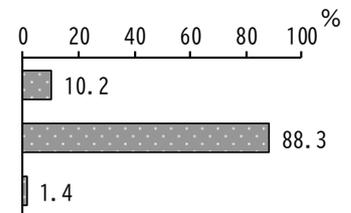
短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください。（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳泊数を枠内に具体的な数字を入れてください。）

なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が10.2%、「利用する必要はない」の割合が88.3%となっています。

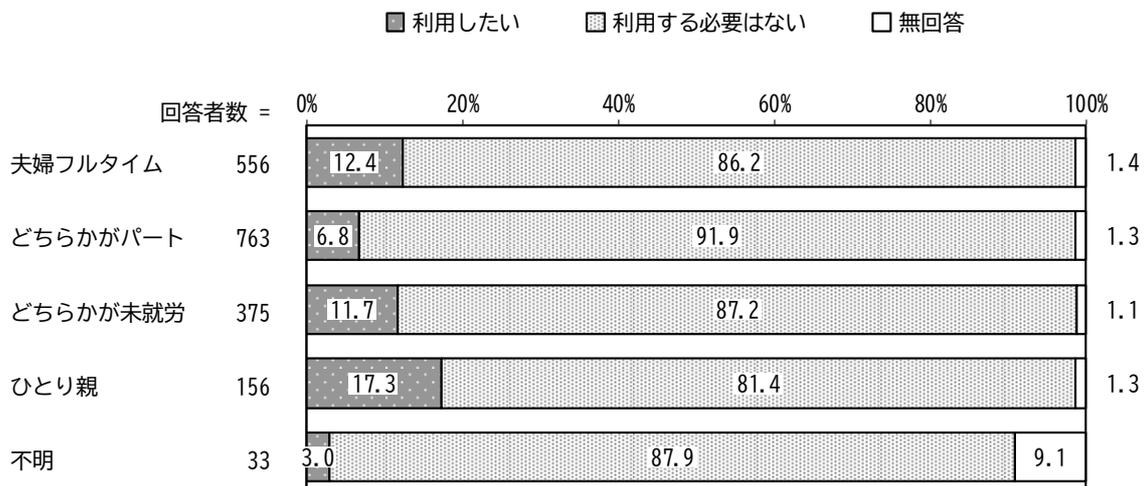
回答者数 = 1,883

利用したい
利用する必要はない
無回答



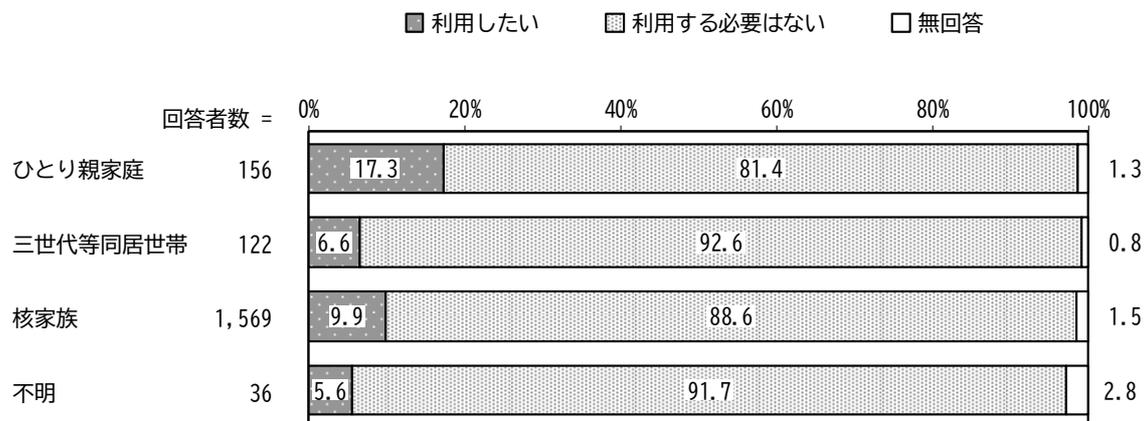
【就労状況別】

就労状況別にみると、ひとり親で「利用したい」の割合が高くなっています。



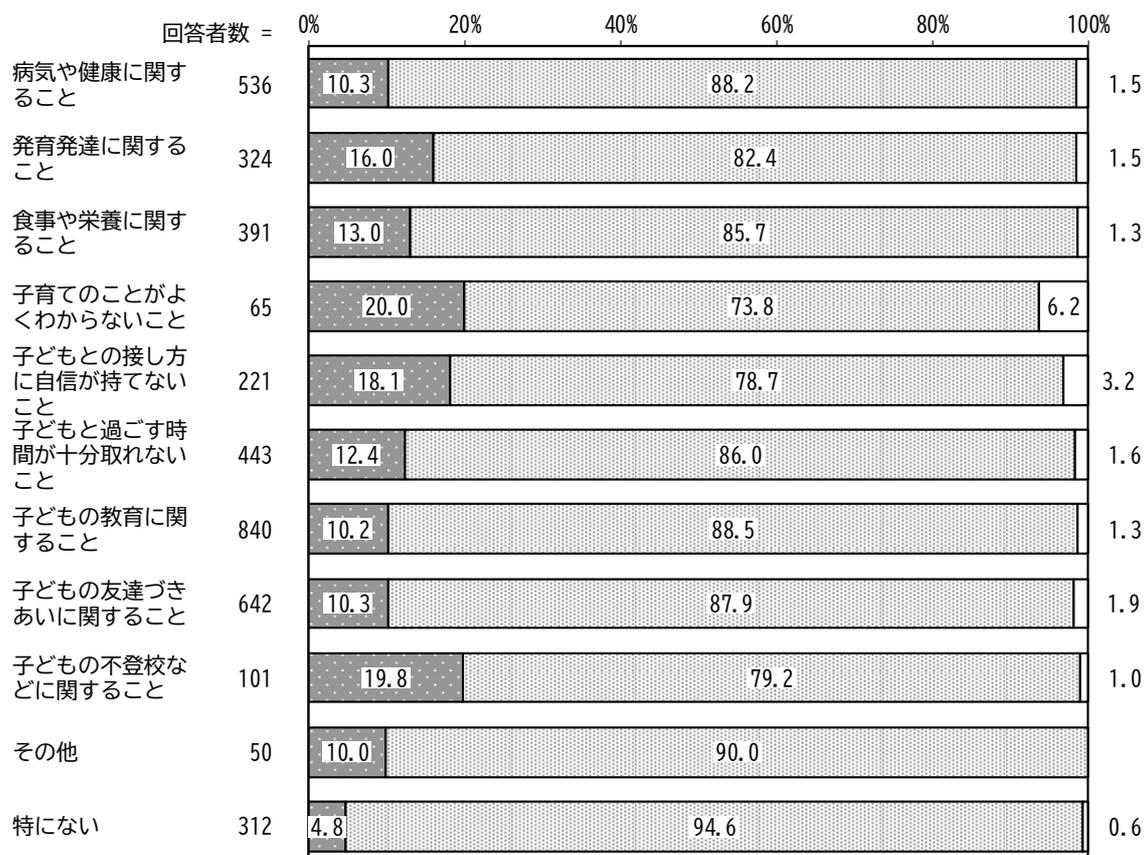
【世帯類型別】

世帯類型別にみると、ひとり親家庭で「利用したい」の割合が高くなっています。



【子どもに関する悩み別】

子どもに関する悩み別にみると、子育てのことがよくわからないことで「利用したい」の割合が高くなっています。



利用目的

「保護者や家族の病気」の割合が66.3%と最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が47.7%、「冠婚葬祭」の割合が27.5%となっています。

回答者数 = 193

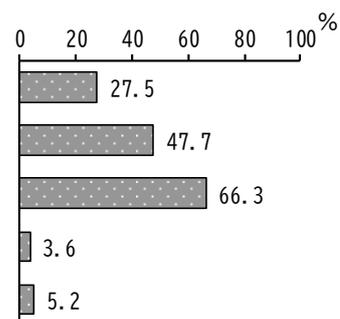
冠婚葬祭

保護者や家族の育児疲れ・不安

保護者や家族の病気

その他

無回答



【就労状況別】

就労状況別にみると、どちらかが未就労で「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	冠婚葬祭	保護者や家族の育児 疲れ・不安	保護者や家族の病気	その他	無回答
全体	193	27.5	47.7	66.3	3.6	5.2
夫婦フルタイム	69	27.5	43.5	63.8	2.9	4.3
どちらかがパート	52	25.0	38.5	65.4	7.7	5.8
どちらかが未就労	44	38.6	63.6	70.5	—	2.3
ひとり親	27	14.8	51.9	66.7	3.7	11.1
不明	1	—	—	100.0	—	—

【世帯類型別】

世帯類型別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

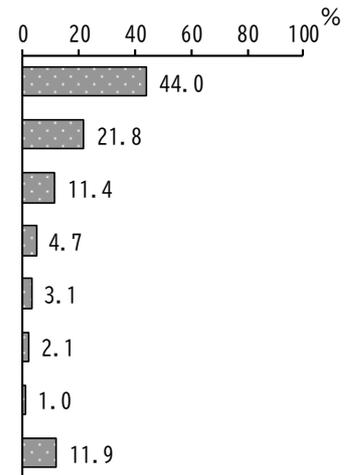
区分	回答者数 (件)	冠婚葬祭	保護者や家族の育児 疲れ・不安	保護者や家族の病気	その他	無回答
全体	193	27.5	47.7	66.3	3.6	5.2
ひとり親家庭	27	14.8	51.9	66.7	3.7	11.1
三世代等同居世帯	8	25.0	62.5	100.0	—	—
核家族	156	30.1	46.8	64.7	3.2	4.5
不明	2	—	—	50.0	50.0	—

利用したい泊数の合計

「1～5泊」の割合が44.0%と最も高く、次いで「6～10泊」の割合が21.8%、「11～20泊」の割合が11.4%となっています。

回答者数 = 193

1～5泊	44.0
6～10泊	21.8
11～20泊	11.4
21～30泊	4.7
31～40泊	3.1
41～50泊	2.1
51泊以上	1.0
無回答	11.9

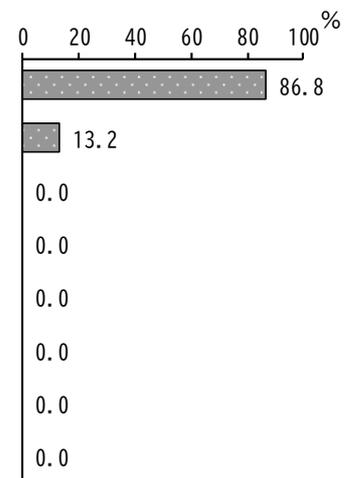


ア. 冠婚葬祭

「1～5泊」の割合が86.8%と最も高く、次いで「6～10泊」の割合が13.2%となっています。

回答者数 = 53

1～5泊	86.8
6～10泊	13.2
11～15泊	0.0
16～20泊	0.0
21～25泊	0.0
26～30泊	0.0
31泊以上	0.0
無回答	0.0

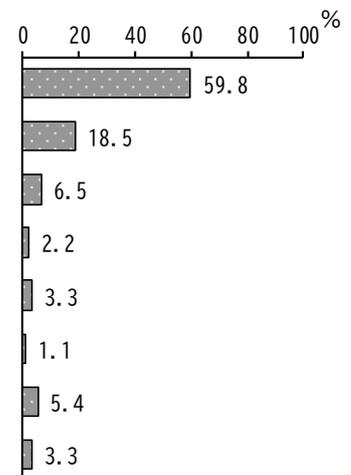


イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安

「1～5泊」の割合が59.8%と最も高く、次いで「6～10泊」の割合が18.5%となっています。

回答者数 = 92

1～5泊	59.8
6～10泊	18.5
11～15泊	6.5
16～20泊	2.2
21～25泊	3.3
26～30泊	1.1
31泊以上	5.4
無回答	3.3

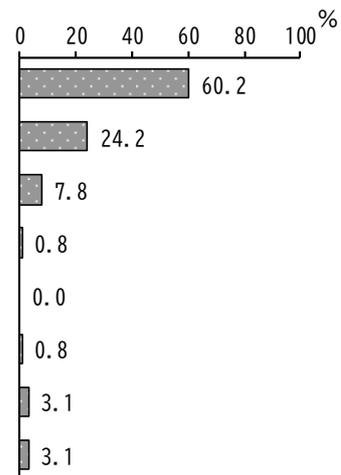


ウ. 保護者や家族の病気

「1～5泊」の割合が60.2%と最も高く、次いで「6～10泊」の割合が24.2%となっています。

回答者数 = 128

1～5泊	60.2
6～10泊	24.2
11～15泊	7.8
16～20泊	0.8
21～25泊	0.0
26～30泊	0.8
31泊以上	3.1
無回答	3.1

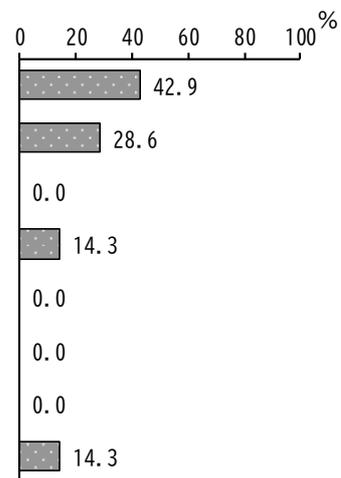


エ. その他

「1～5泊」が3件となっています。「6～10泊」が2件、「16～20泊」が1件となっています。

回答者数 = 7

1～5泊	42.9
6～10泊	28.6
11～15泊	0.0
16～20泊	14.3
21～25泊	0.0
26～30泊	0.0
31泊以上	0.0
無回答	14.3

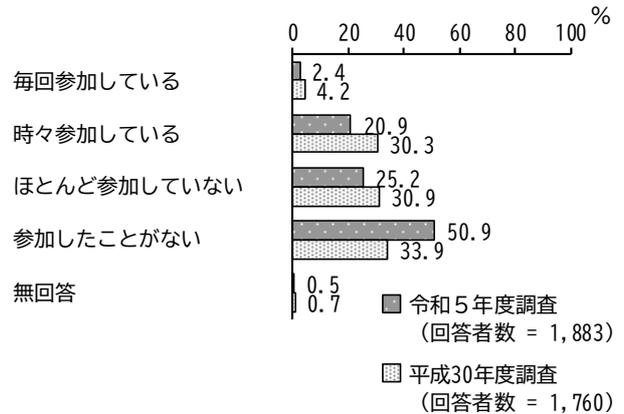


(6) 枚方子どもいきいき広場について

問 25 お子さんは、「枚方子どもいきいき広場」に参加していますか。(○は1つ)

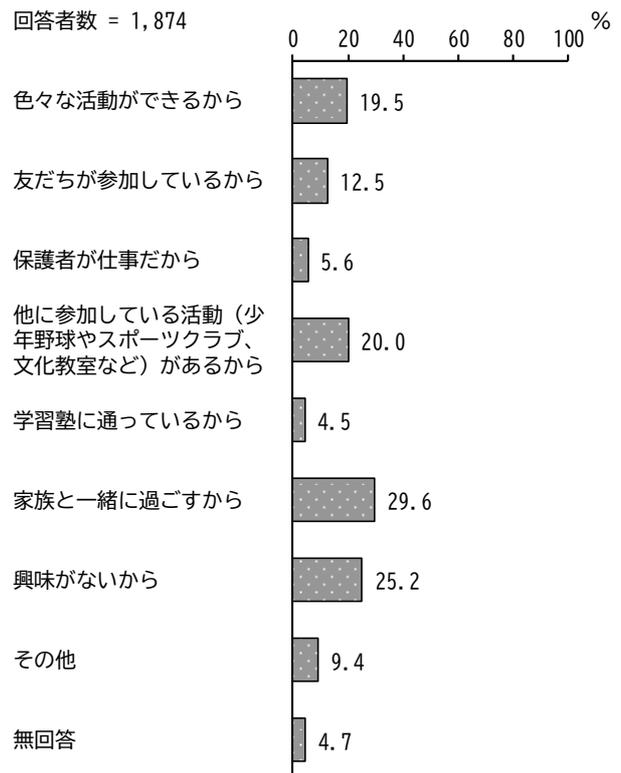
「参加したことがない」の割合が50.9%と最も高く、次いで「ほとんど参加していない」の割合が25.2%、「時々参加している」の割合が20.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「参加したことがない」の割合が増加しています。一方、「時々参加している」「ほとんど参加していない」の割合が減少しています。



問 25-1 問 25 で選ばれた理由をお伺いします。(○はいくつでも)

「家族と一緒に過ごすから」の割合が29.6%と最も高く、次いで「興味がないから」の割合が25.2%、「他に参加している活動（少年野球やスポーツクラブ、文化教室など）があるから」の割合が20.0%となっています。

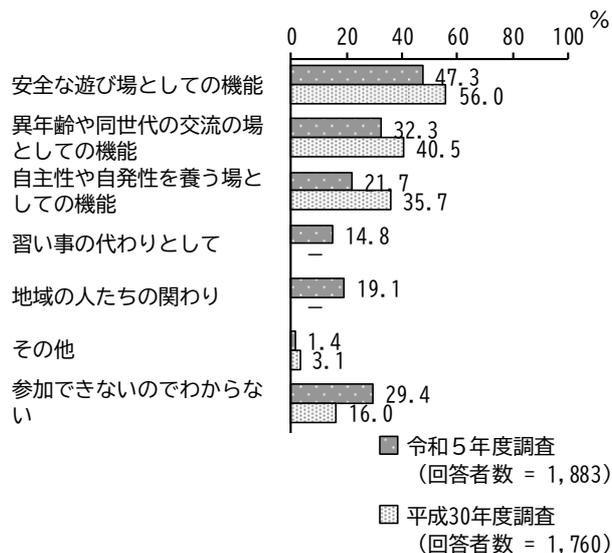


問 26 「枚方子どもいきいき広場」にどのようなことを期待しますか。
(〇はいくつでも)

(1) 機能について

「安全な遊び場としての機能」の割合が 47.3%と最も高く、次いで「異年齢や同世代の交流の場としての機能」の割合が 32.3%、「参加できないのでわからない」の割合が 29.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「参加できないのでわからない」の割合が増加しています。一方、「安全な遊び場としての機能」「異年齢や同世代の交流の場としての機能」「自主性や自発性を養う場としての機能」の割合が減少しています。

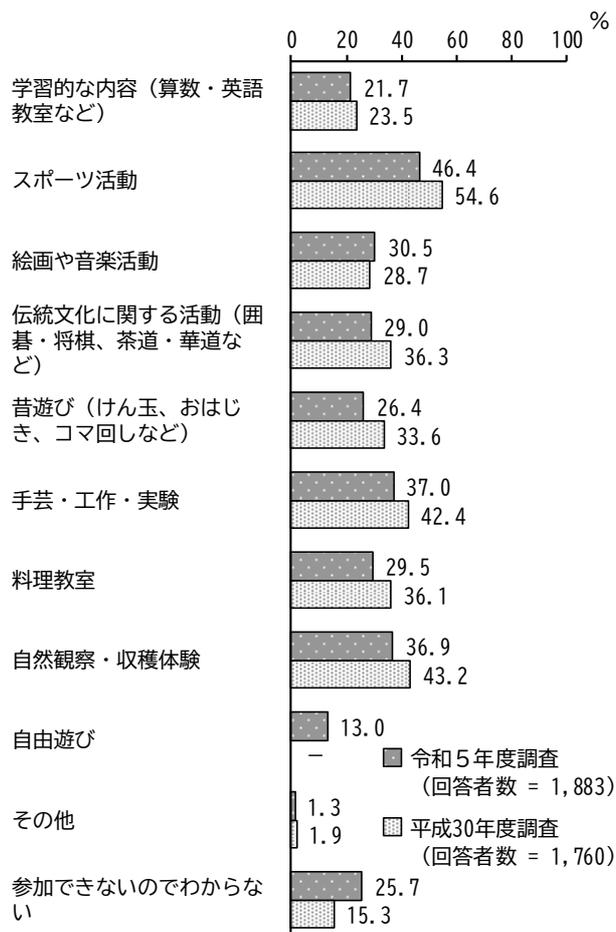


※前回調査では、「習い事の代わりとして」「地域の人たちの関わり」の選択肢はありませんでした。

(2) 内容について

「スポーツ活動」の割合が 46.4%と最も高く、次いで「手芸・工作・実験」の割合が 37.0%、「自然観察・収穫体験」の割合が 36.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「参加できないのでわからない」の割合が増加しています。一方、「スポーツ活動」「伝統文化に関する活動(囲碁・将棋、茶道・華道など)」「昔遊び(けん玉、おはじき、コマ回しなど)」「手芸・工作・実験」「料理教室」「自然観察・収穫体験」の割合が減少しています。



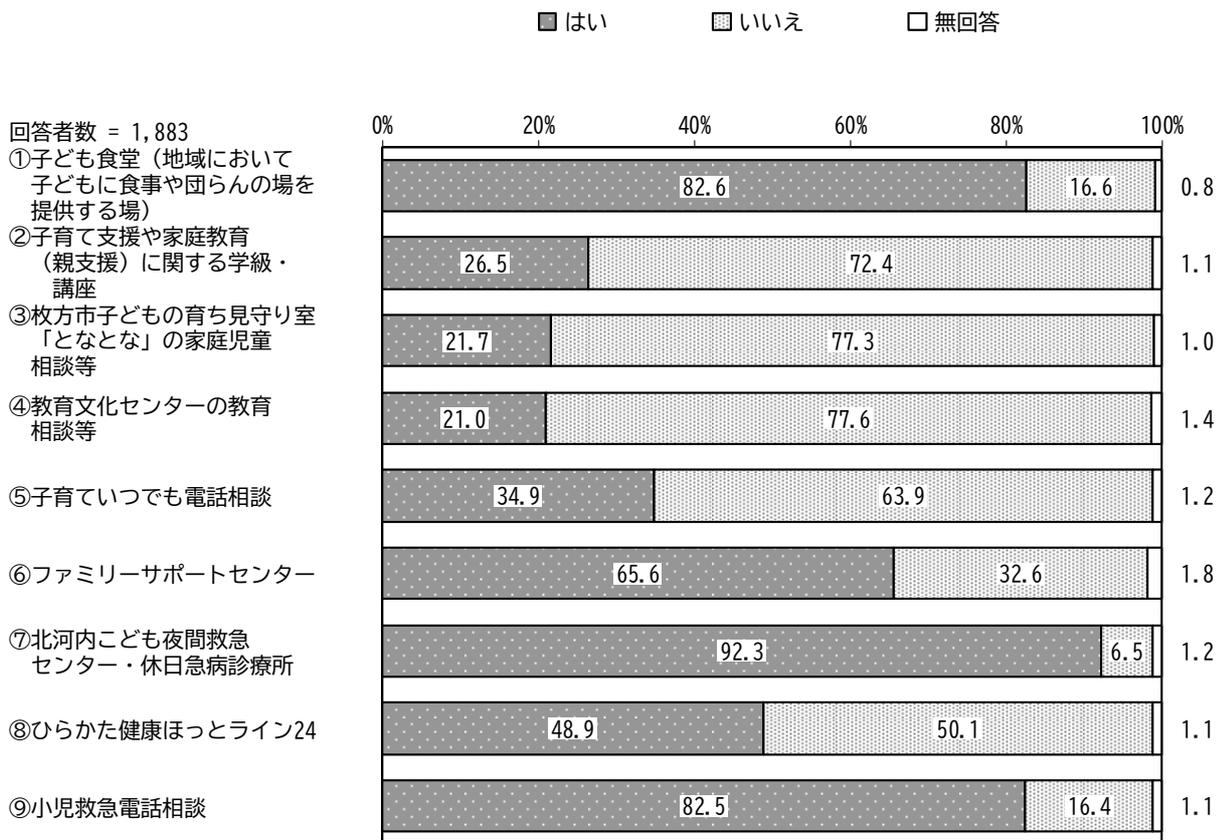
※前回調査では、「自由遊び」の選択肢はありませんでした。

(7) 子育て支援サービスについて

問 27 子育て支援サービスの認知度、利用希望についてお伺いします。下表の①～⑨のサービスごとにA・Bの両方について「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

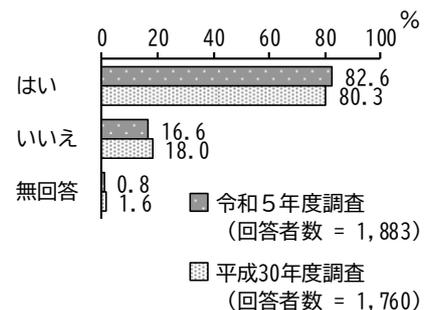
A知っている

『③枚方市子どもの育ち見守り室「となとな」の家庭児童相談等』、『④教育文化センターの教育相談等』で「いいえ」の割合が高くなっています。一方、『⑦北河内こども夜間救急センター・休日急病診療所』で「はい」の割合が高くなっています。



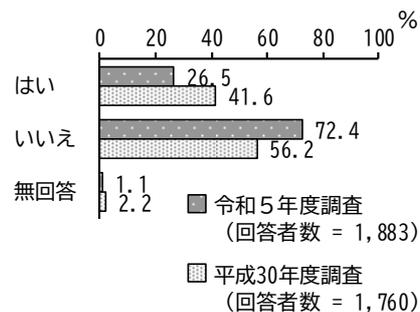
①子ども食堂（地域において子どもに食事や団らんの場を提供する場）

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



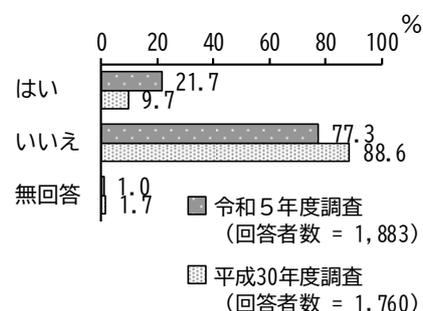
②子育て支援や家庭教育（親支援）に関する学級・講座

平成30年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



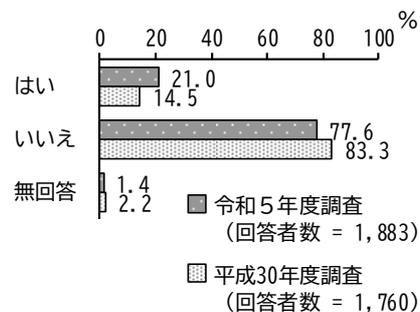
③枚方市子どもの育ち見守り室「ととな」の家庭児童相談等

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



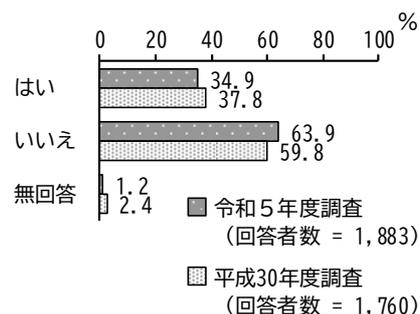
④教育文化センターの教育相談等

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



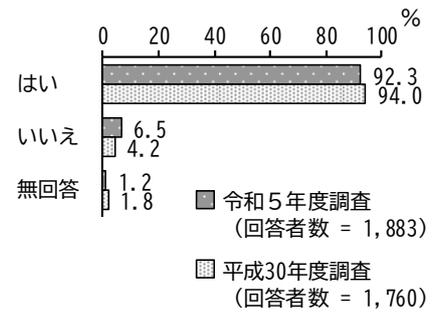
⑤子育ていつでも電話相談

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



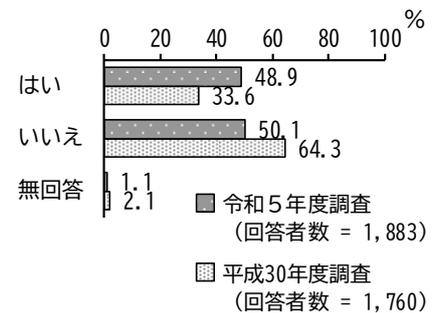
⑦北河内こども夜間救急センター・休日急病診療所

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



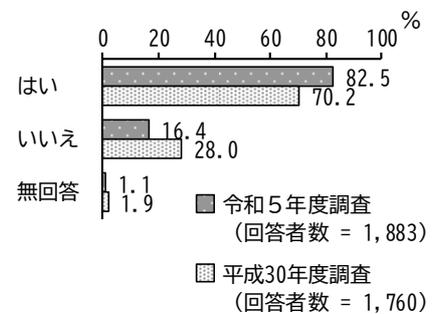
⑧ひらかた健康ほっとライン 24

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



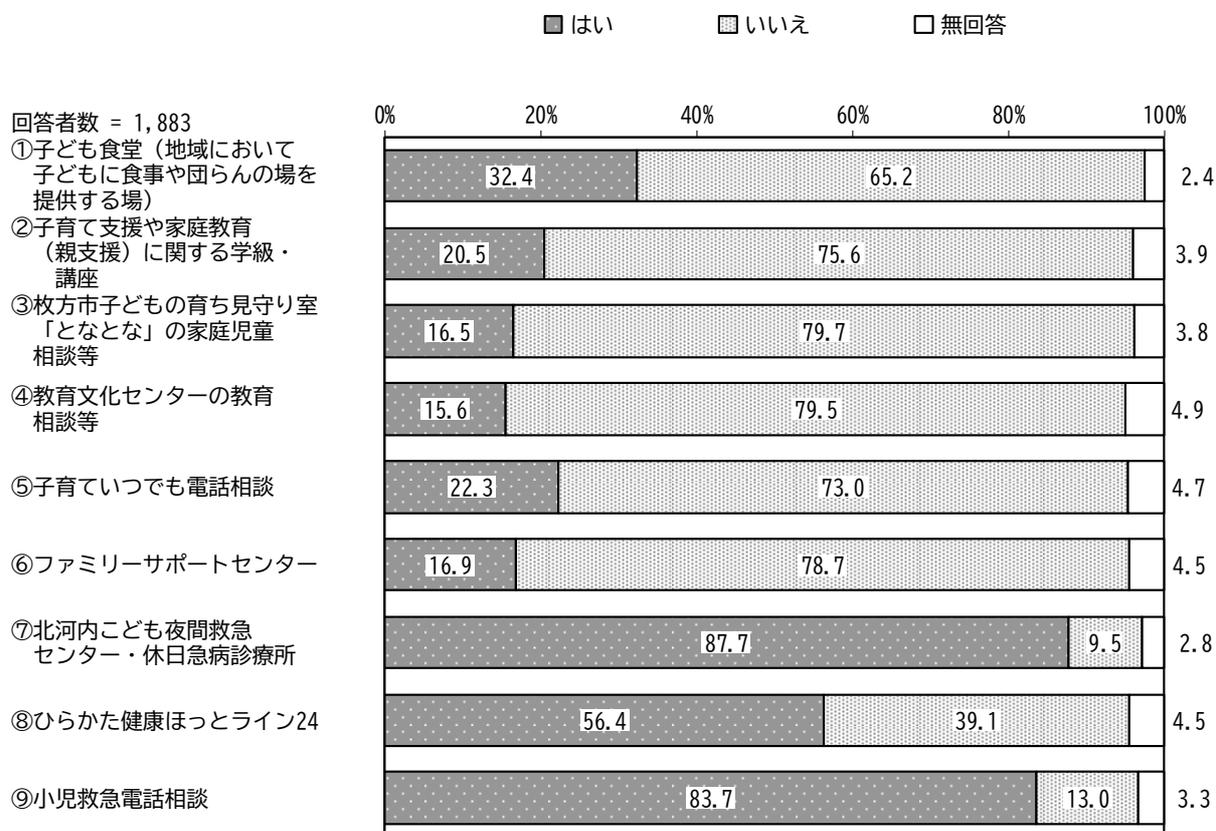
⑨小児救急電話相談

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



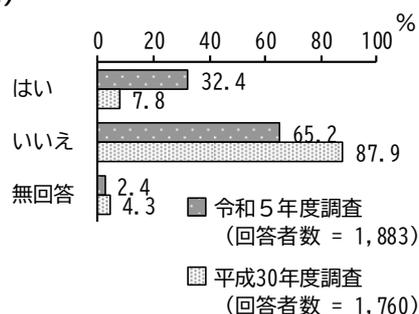
B 今後利用したい

『③枚方市子どもの育ち見守り室「となとな」の家庭児童相談等』、『④教育文化センターの教育相談等』で「いいえ」の割合が高くなっています。一方、『⑦北河内こども夜間救急センター・休日急病診療所』で「はい」の割合が高くなっています。



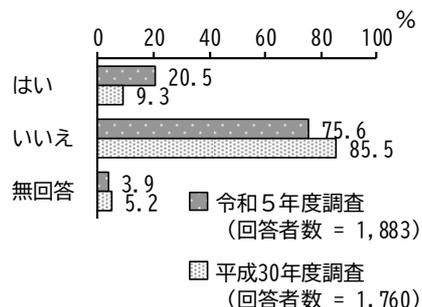
①子ども食堂（地域において子どもに食事や団らんの場を提供する場）

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



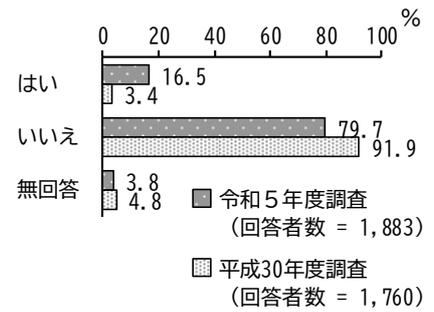
②子育て支援や家庭教育（親支援）に関する学級・講座

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



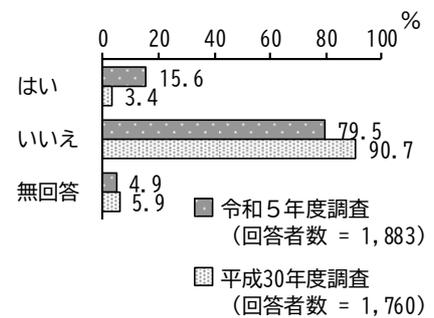
③枚方市子どもの育ち見守り室「となとな」の家庭児童相談等

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



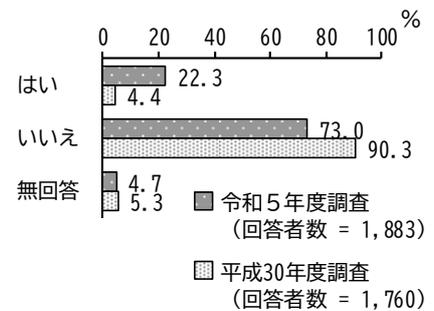
④教育文化センターの教育相談等

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



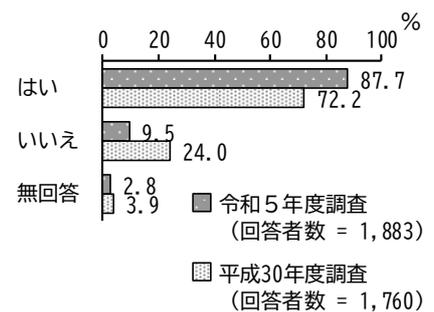
⑤子育ていつでも電話相談

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



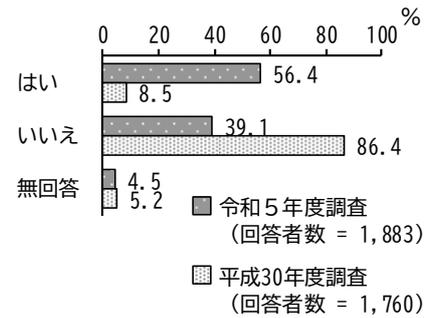
⑦北河内こども夜間救急センター・休日急病診療所

平成30年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



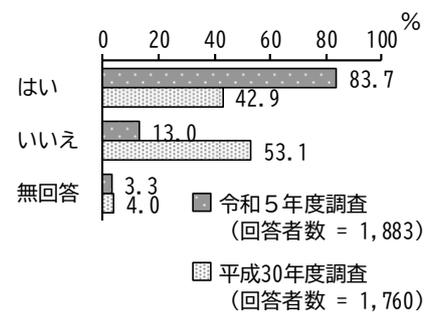
⑧ひらかた健康ほっとライン 24

平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



⑨小児救急電話相談

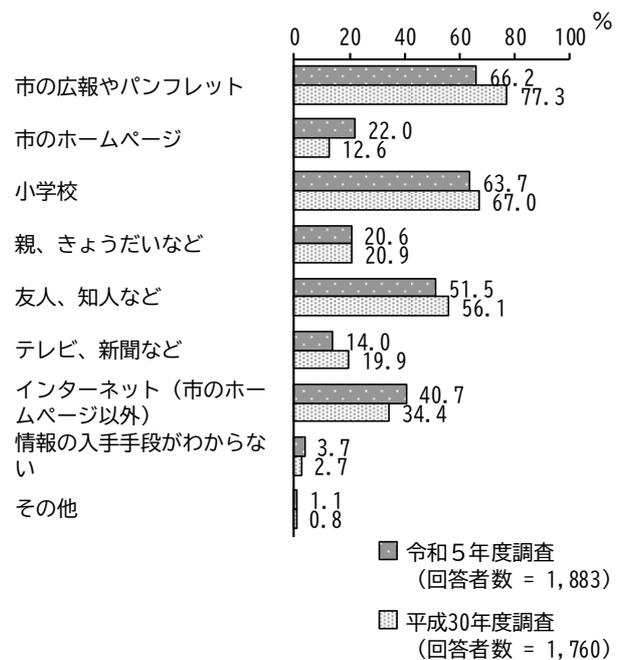
平成 30 年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。一方、「いいえ」の割合が減少しています。



問 28 子育てに関する情報をどのような方法で入手していますか。(〇はいくつでも)

「市の広報やパンフレット」の割合が 66.2%と最も高く、次いで「小学校」の割合が 63.7%、「友人、知人など」の割合が 51.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「市のホームページ」「インターネット(市のホームページ以外)」の割合が増加しています。一方、「市の広報やパンフレット」「テレビ、新聞など」の割合が減少しています。



(8) 子どもが心身ともに健やかに成長するための取り組みについて

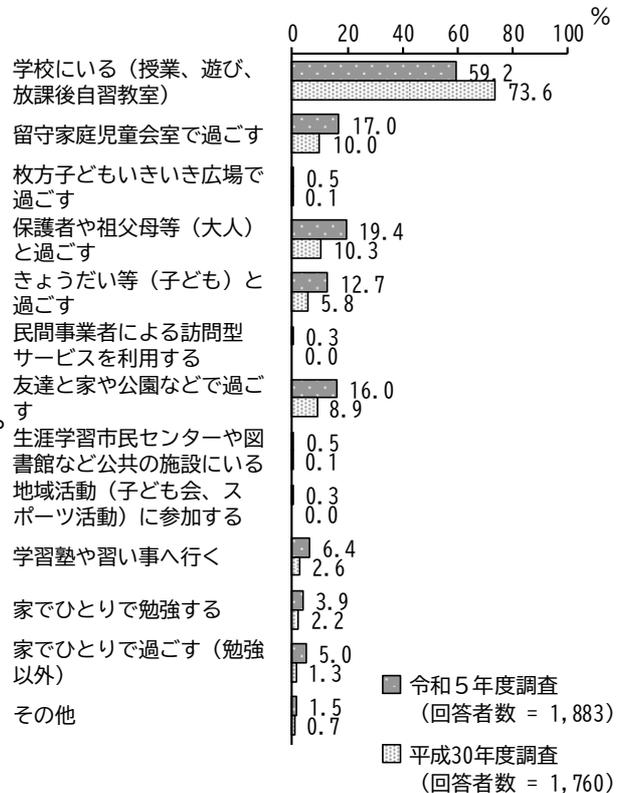
問 29 平日の放課後および休日の日常なお子さんの過ごし方で多いものについて、下の【表】の中からあてはまる答えの番号を選んでご記入ください。(複数選択可)

(お子さんの過ごす時間帯)

(1) 平日 14 時～16 時

「学校にいる(授業、遊び、放課後自習教室)」の割合が 59.2%と最も高く、次いで「保護者や祖父母等(大人)と過ごす」の割合が 19.4%、「留守家庭児童会室で過ごす」の割合が 17.0%となっています。

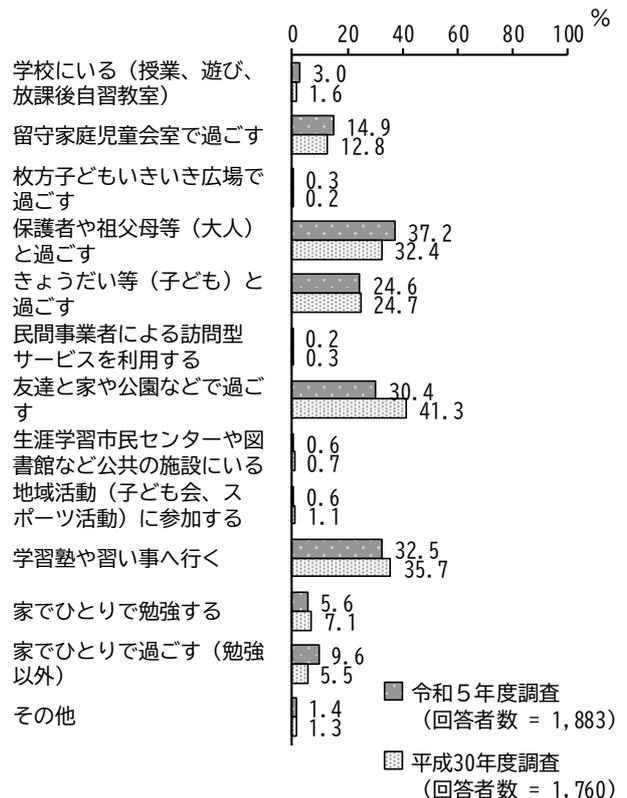
平成 30 年度調査と比較すると、「留守家庭児童会室で過ごす」「保護者や祖父母等(大人)と過ごす」「きょうだい等(子ども)と過ごす」「友達と家や公園などで過ごす」の割合が増加しています。一方、「学校にいる(授業、遊び、放課後自習教室)」の割合が減少しています。



(2) 平日 16 時～18 時

「保護者や祖父母等(大人)と過ごす」の割合が 37.2%と最も高く、次いで「学習塾や習い事へ行く」の割合が 32.5%、「友達と家や公園などで過ごす」の割合が 30.4%となっています。

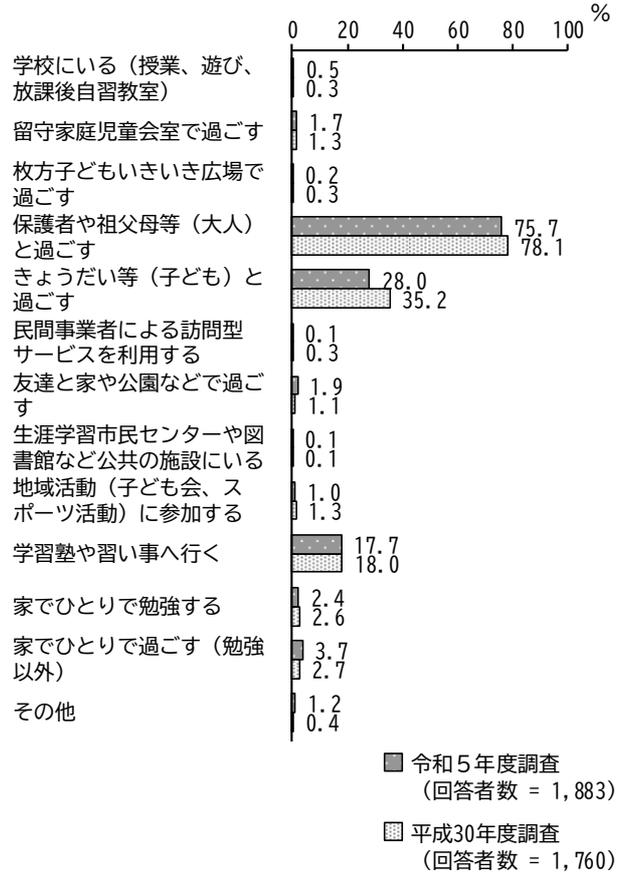
平成 30 年度調査と比較すると、「友達と家や公園などで過ごす」の割合が減少しています。



(3) 平日 18 時～20 時

「保護者や祖父母等（大人）と過ごす」の割合が 75.7%と最も高く、次いで「きょうだい等（子ども）と過ごす」の割合が 28.0%、「学習塾や習い事へ行く」の割合が 17.7%となっています。

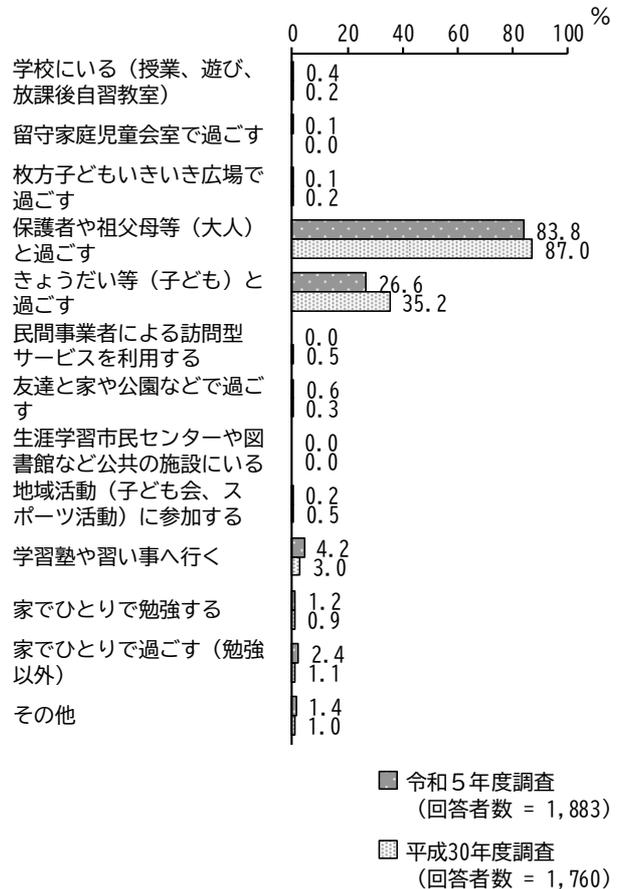
平成 30 年度調査と比較すると、「きょうだい等（子ども）と過ごす」の割合が減少しています。



(4) 平日 20 時以降

「保護者や祖父母等（大人）と過ごす」の割合が 83.8%と最も高く、次いで「きょうだい等（子ども）と過ごす」の割合が 26.6%となっています。

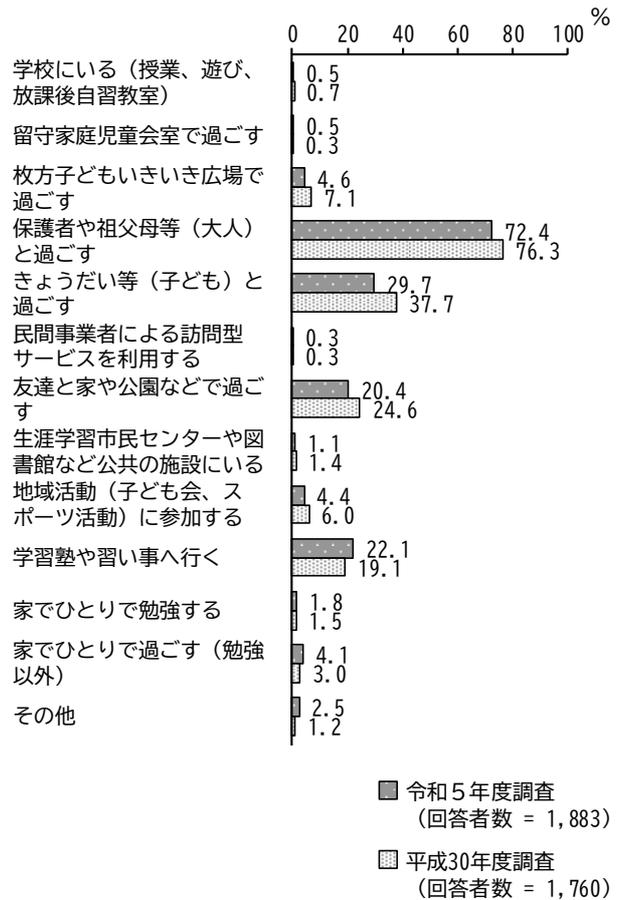
平成 30 年度調査と比較すると、「きょうだい等（子ども）と過ごす」の割合が減少しています。



(5) 土曜日

「保護者や祖父母等（大人）と過ごす」の割合が72.4%と最も高く、次いで「きょうだい等（子ども）と過ごす」の割合が29.7%、「学習塾や習い事へ行く」の割合が22.1%となっています。

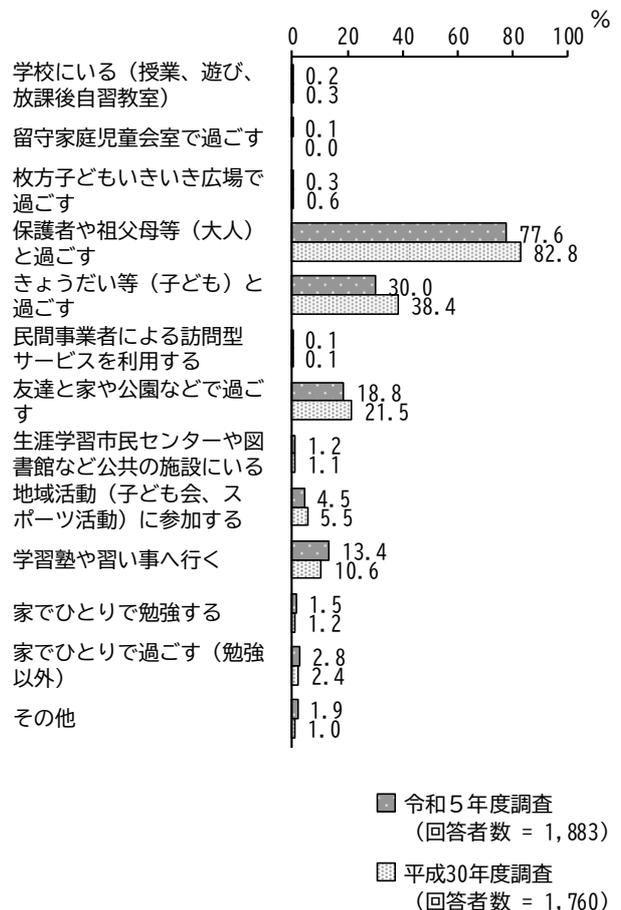
平成30年度調査と比較すると、「きょうだい等（子ども）と過ごす」の割合が減少しています。



(6) 日曜日・祝日

「保護者や祖父母等（大人）と過ごす」の割合が77.6%と最も高く、次いで「きょうだい等（子ども）と過ごす」の割合が30.0%、「友達と家や公園などで過ごす」の割合が18.8%となっています。

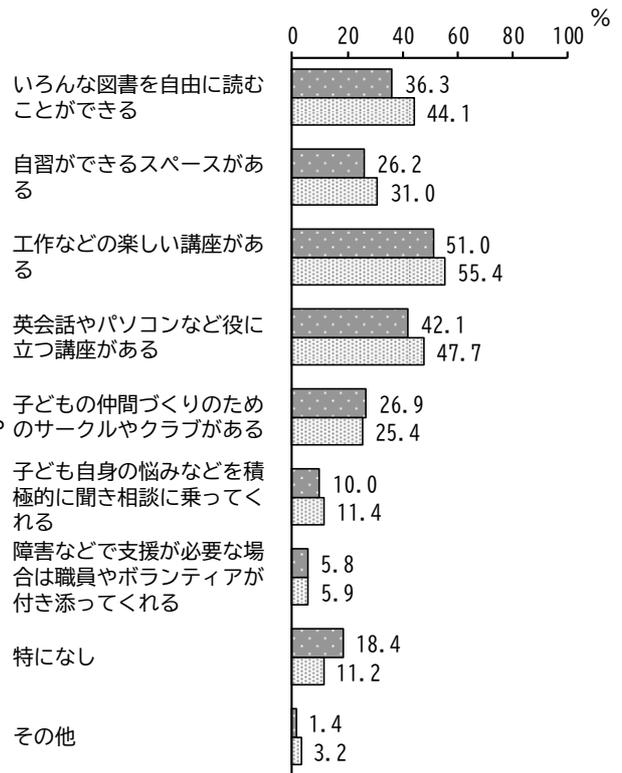
平成30年度調査と比較すると、「保護者や祖父母等（大人）と過ごす」「きょうだい等（子ども）と過ごす」の割合が減少しています。



問 30 生涯学習市民センターや青少年センターなどの公共施設でどのような企画やサービスがあれば利用してみたいと思いますか。(〇はいくつでも)

「工作などの楽しい講座がある」の割合が51.0%と最も高く、次いで「英会話やパソコンなど役に立つ講座がある」の割合が42.1%、「いろいろな図書を自由に読むことができる」の割合が36.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「特になし」の割合が増加しています。一方、「いろいろな図書を自由に読むことができる」「英会話やパソコンなど役に立つ講座がある」の割合が減少しています。

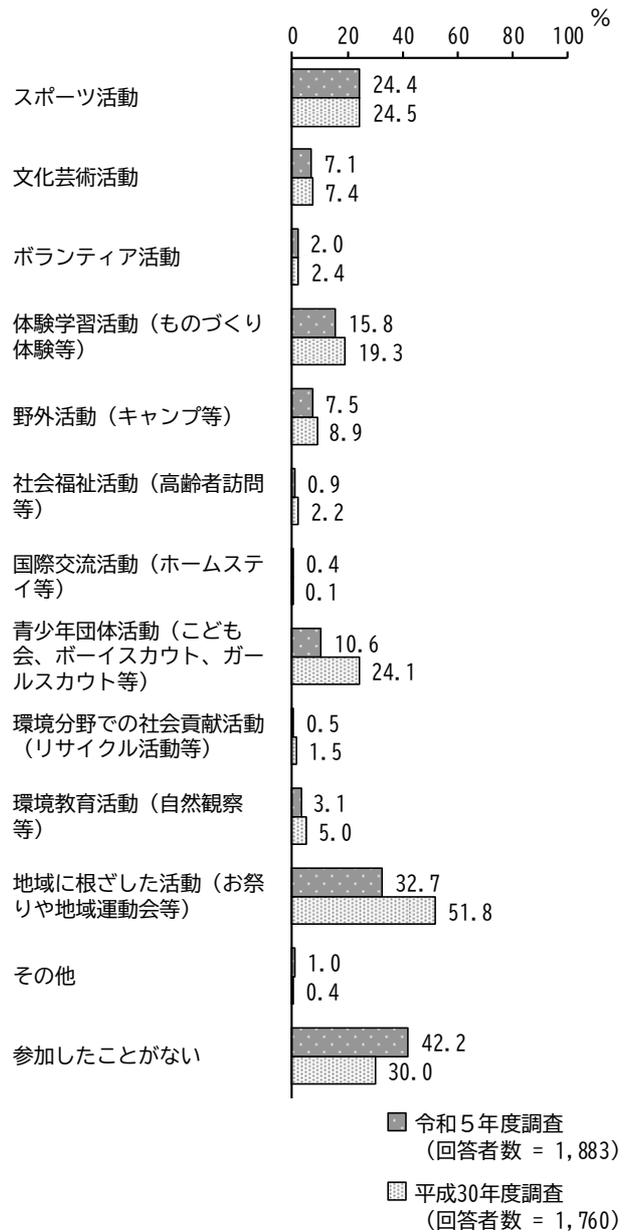


■ 令和5年度調査
(回答者数 = 1,883)
 □ 平成30年度調査
(回答者数 = 1,760)

問 31 お子さんが参加したことがある地域での自然体験、社会参加、文化活動はどれですか。(〇はいくつでも)

「参加したことがない」の割合が42.2%と最も高く、次いで「地域に根ざした活動（お祭りや地域運動会等）」の割合が32.7%、「スポーツ活動」の割合が24.4%となっています。

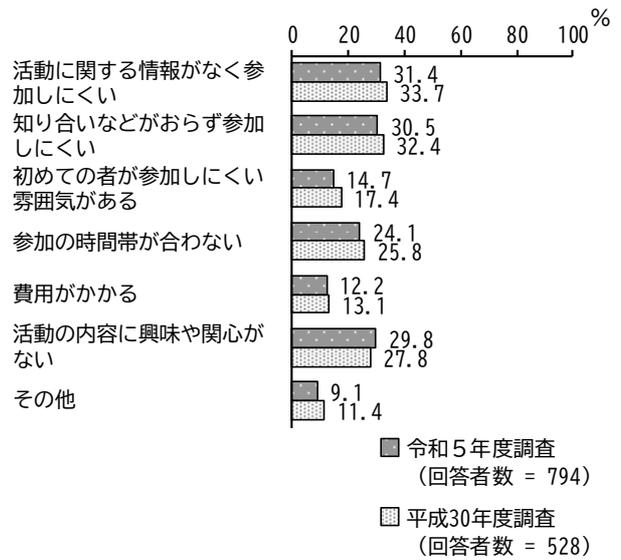
平成30年度調査と比較すると、「参加したことがない」の割合が増加しています。一方、「青少年団体活動（こども会、ボーイスカウト、ガールスカウト等）」「地域に根ざした活動（お祭りや地域運動会等）」の割合が減少しています。



問 31-1 問 31 で「13. 参加したことがない」を選ばれた方にお伺いします。お子さんがこれまで参加していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「活動に関する情報がなく参加しにくい」の割合が 31.4%と最も高く、次いで「知り合いなどがおらず参加しにくい」の割合が 30.5%、「活動の内容に興味や関心がない」の割合が 29.8%となっています。

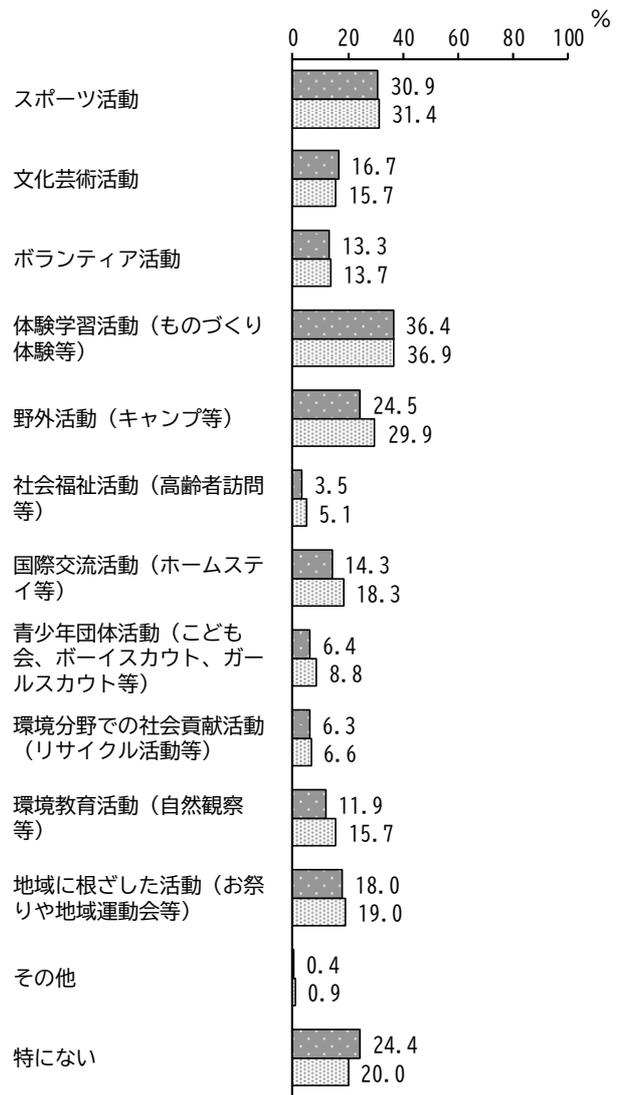
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 32 お子さんが参加したことはないが、今後参加したいと思っている地域での活動は何ですか。(〇はいくつでも)

「体験学習活動（ものづくり体験等）」の割合が36.4%と最も高く、次いで「スポーツ活動」の割合が30.9%、「野外活動（キャンプ等）」の割合が24.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「野外活動（キャンプ等）」の割合が減少しています。



■ 令和5年度調査
(回答者数 = 1,883)

▨ 平成30年度調査
(回答者数 = 1,760)

(9) 仕事と子育ての両立、仕事と生活の調和（ワークライフバランス）について

問 33 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。平日と休日それぞれについてカッコ内に時間をご記入ください。また、その時間は十分だと思いますか。（○は1つ）

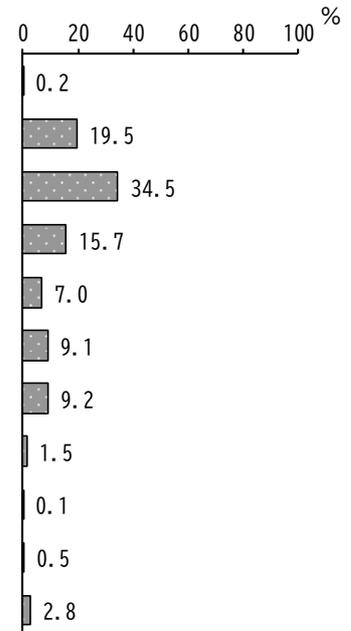
(1) 母親

ア. 平日に子どもと一緒に過ごす時間

「3～6時間未満」の割合が34.5%と最も高く、次いで「3時間未満（0時間を除く）」の割合が19.5%、「6～9時間未満」の割合が15.7%となっています。

回答者数 = 1,861

0時間	0.2
3時間未満（0時間を除く）	19.5
3～6時間未満	34.5
6～9時間未満	15.7
9～12時間未満	7.0
12～15時間未満	9.1
15～18時間未満	9.2
18～21時間未満	1.5
21～24時間未満	0.1
24時間	0.5
無回答	2.8

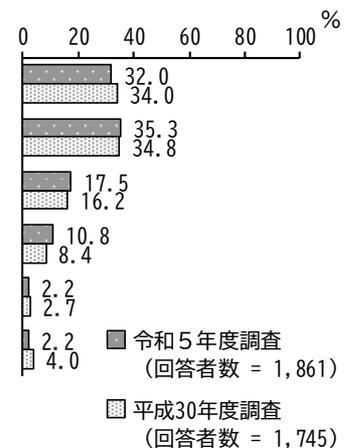


子どもと一緒に過ごす時間が十分か

「まあまあ十分だと思う」の割合が35.3%と最も高く、次いで「十分だと思う」の割合が32.0%、「あまり十分だと思わない」の割合が17.5%となっています。

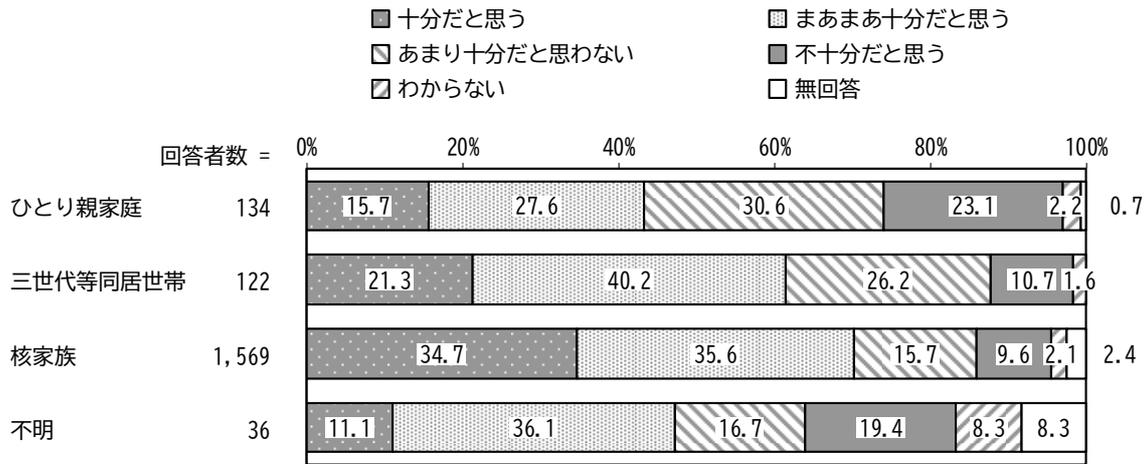
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

十分だと思う	32.0
まあまあ十分だと思う	35.3
あまり十分だと思わない	17.5
不十分だと思う	10.8
わからない	2.2
無回答	2.2



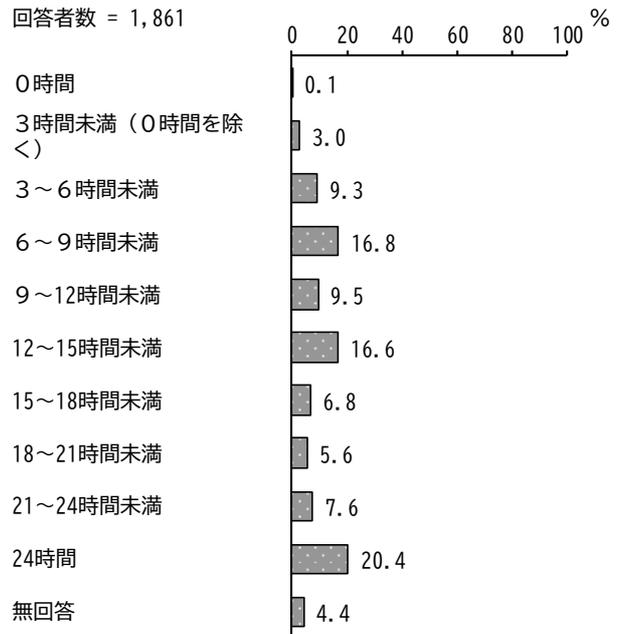
【世帯類型別】

世帯類型別にみると、ひとり親家庭で「あまり十分だと思わない」の割合が高くなっています。



イ. 休日に子どもと一緒に過ごす時間

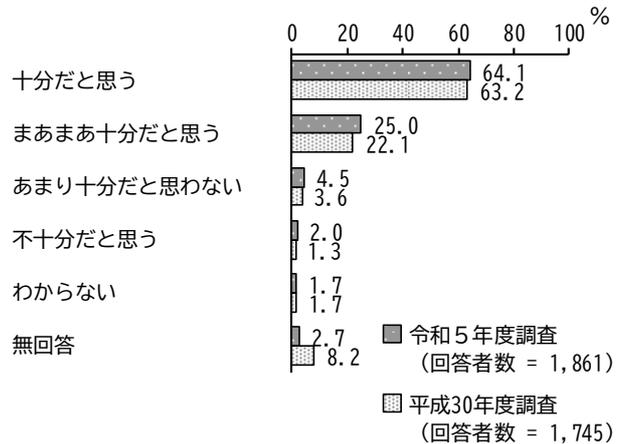
「24 時間」の割合が 20.4%と最も高く、次いで「6～9 時間未満」の割合が 16.8%、「12～15 時間未満」の割合が 16.6%となっています。



子どもと一緒に過ごす時間が十分か

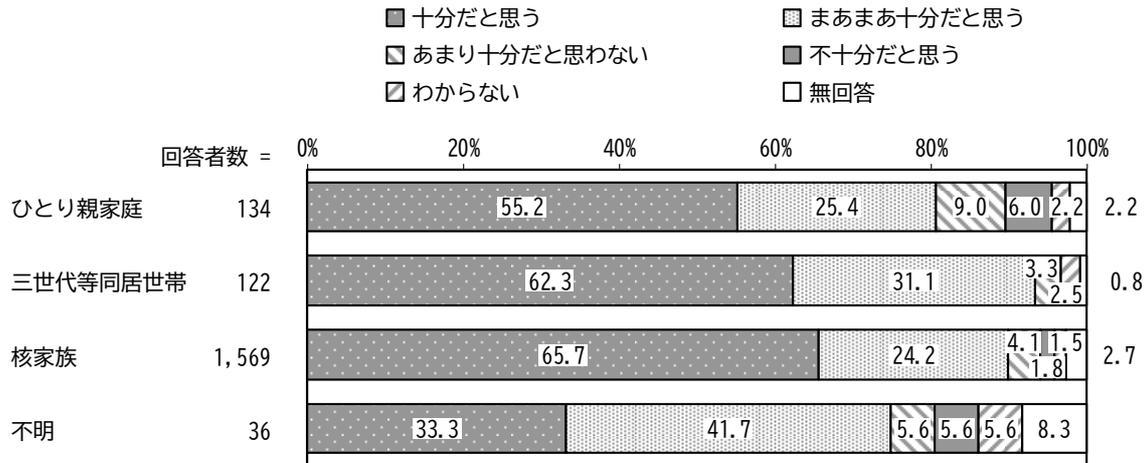
「十分だと思う」の割合が 64.1%と最も高く、次いで「まあまあ十分だと思う」の割合が 25.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【世帯類型別】

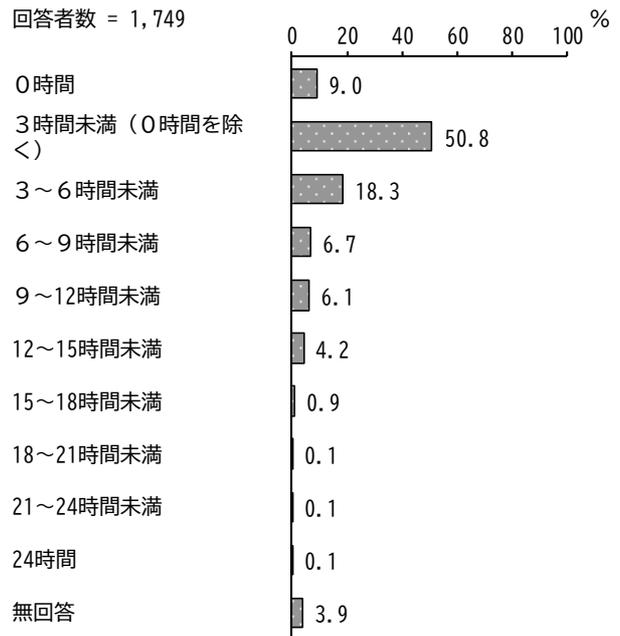
世帯類型別にみると、不明で「まあまあ十分だと思う」の割合が高くなっています。



(2) 父親

ア. 平日に子どもと一緒に過ごす時間

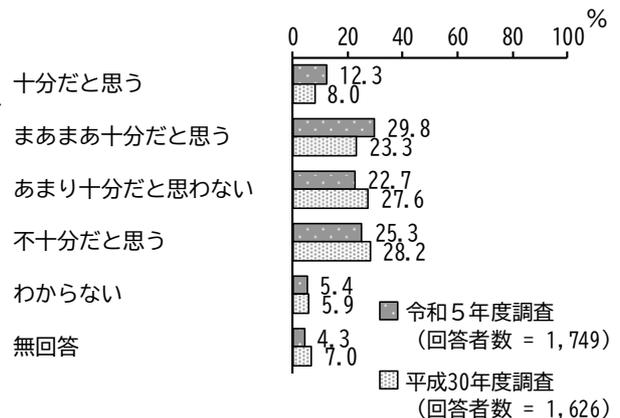
「3時間未満(0時間を除く)」の割合が50.8%と最も高く、次いで「3～6時間未満」の割合が18.3%となっています。



子どもと一緒に過ごす時間が十分か

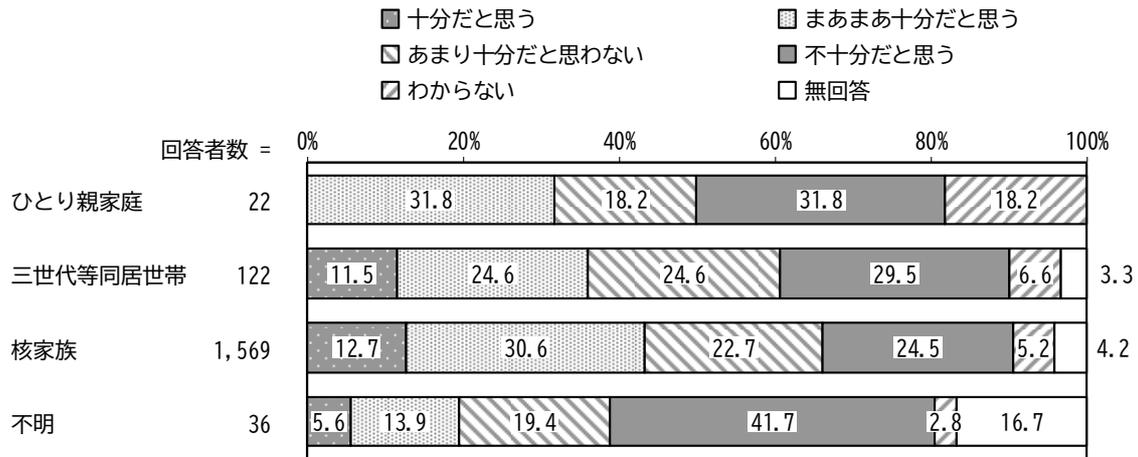
「まあまあ十分だと思う」の割合が29.8%と最も高く、次いで「不十分だと思う」の割合が25.3%、「あまり十分だと思わない」の割合が22.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「まあまあ十分だと思う」の割合が増加しています。



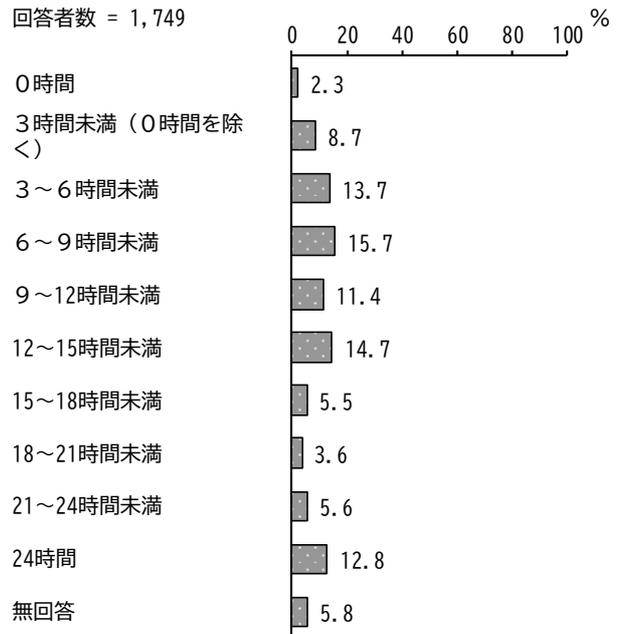
【世帯類型別】

世帯類型別にみると、不明で「不十分だと思う」の割合が高くなっています。



イ. 休日に子どもと一緒に過ごす時間

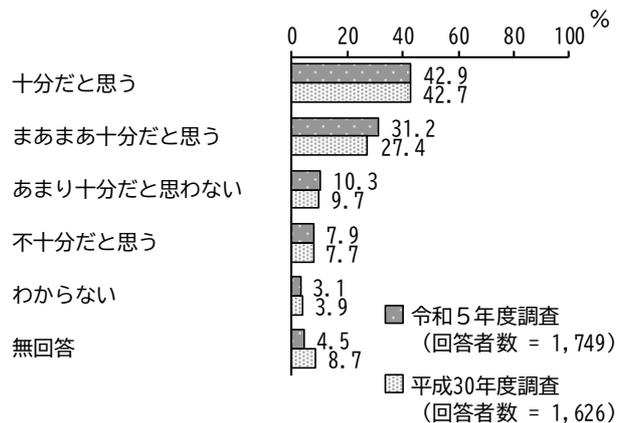
「6～9時間未満」の割合が15.7%と最も高く、次いで「12～15時間未満」の割合が14.7%、「3～6時間未満」の割合が13.7%となっています。



子どもと一緒に過ごす時間が十分か

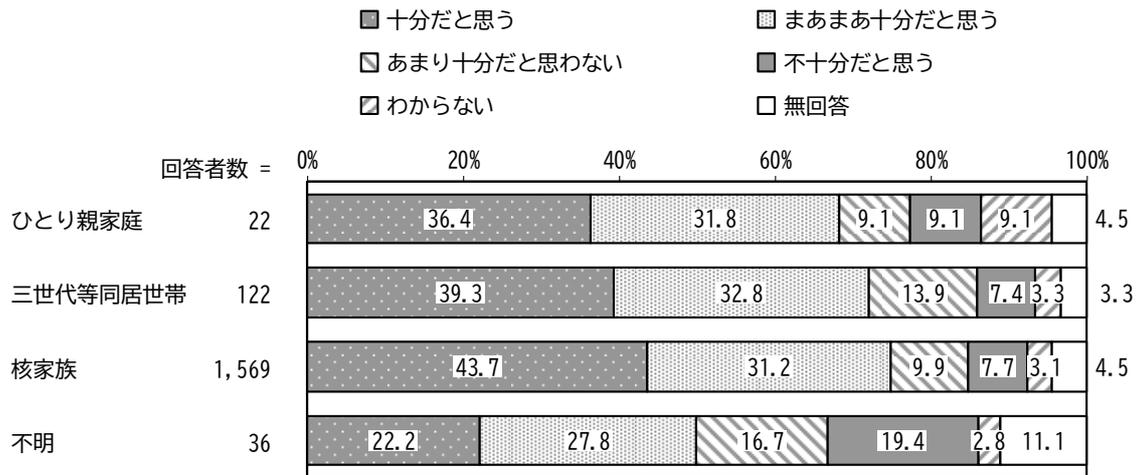
「十分だと思う」の割合が42.9%と最も高く、次いで「まあまあ十分だと思う」の割合が31.2%、「あまり十分だと思わない」の割合が10.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【世帯類型別】

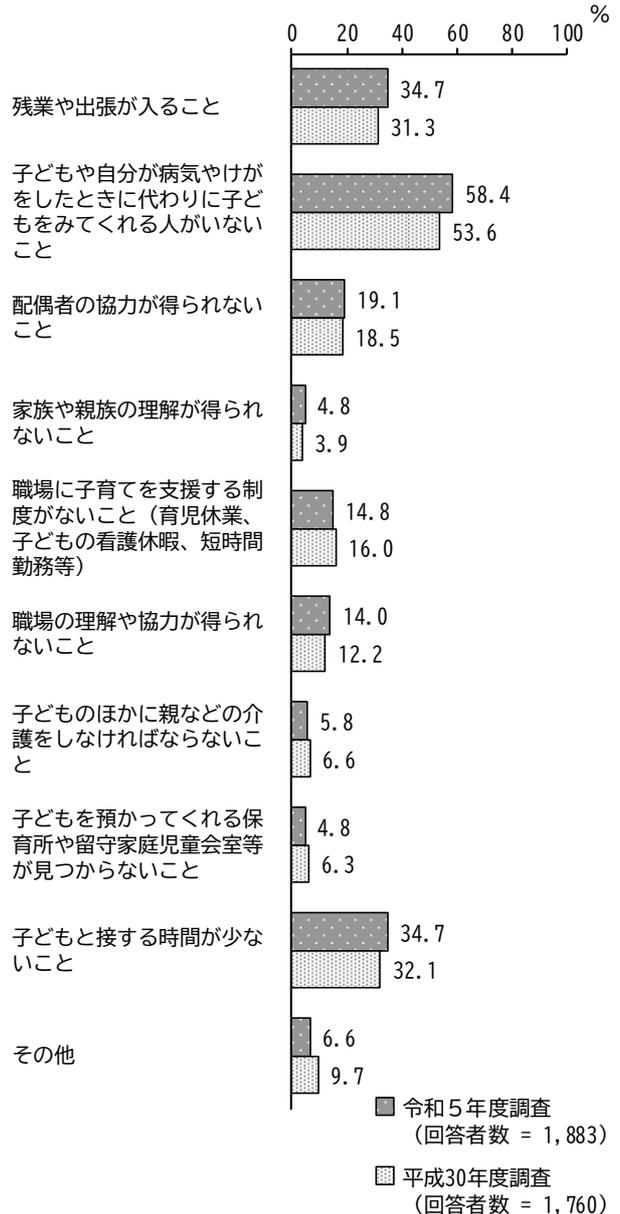
世帯類型別にみると、不明で「あまり十分だと思わない」の割合が高くなっています。



問 34 仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」の割合が58.4%と最も高く、次いで「残業や出張が入ること」、「子どもと接する時間が少ないこと」の割合が34.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【就労状況別】

就労状況別にみると、夫婦フルタイムで「残業や出張が入ること」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	残業や出張が入ること	子どもや自分が病気やけがをしたときに代わり子どもをみてくれる人がいないこと	配偶者の協力が得られないこと	家族や親族の理解が得られないこと	職場に子育てを支援する制度がないこと 育児休業、子どもの看護休暇、短時間勤務等	職場の理解や協力が得られないこと	子どものほかに親などの介護をしなければならぬこと	子どもを預かってくれる保育所や留守家庭児童会室等が見つからないこと	子どもと接する時間が少ないこと	その他	無回答
全体	1,883	34.7	58.4	19.1	4.8	14.8	14.0	5.8	4.8	34.7	6.6	7.1
夫婦フルタイム	556	50.9	56.5	16.7	3.1	10.1	12.2	4.5	3.1	50.4	6.7	3.1
どちらかがパート	763	25.2	60.8	20.1	5.2	16.0	11.8	5.1	4.3	22.7	7.3	8.3
どちらかが未就労	375	34.7	59.5	20.0	5.9	17.1	20.8	8.8	8.0	33.9	4.8	8.3
ひとり親	156	27.6	53.8	20.5	7.1	22.4	16.7	5.8	6.4	41.0	7.1	10.3
不明	33	15.2	45.5	18.2	3.0	6.1	3.0	9.1	3.0	27.3	6.1	18.2

【現在の暮らし向き別】

現在の暮らし向き別にみると、ややゆとりがあるで「残業や出張が入ること」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	残業や出張が入ること	子どもや自分が病気やけがをしたときに代わり子どもをみてくれる人がいないこと	配偶者の協力が得られないこと	家族や親族の理解が得られないこと	職場に子育てを支援する制度がないこと (育児休業、子どもの看護休暇、短時間勤務等)	職場の理解や協力が得られないこと	子どものほかに親などの介護をしなければならぬこと	子どもを預かってくれる保育所や留守家庭児童会室等が見つかからないこと	子どもと接する時間が少ないこと	その他	無回答
全 体	1,883	34.7	58.4	19.1	4.8	14.8	14.0	5.8	4.8	34.7	6.6	7.1
大変苦しい	165	30.3	60.0	20.6	4.2	18.2	12.1	4.8	3.0	40.6	6.7	5.5
やや苦しい	523	30.8	65.2	22.4	7.6	19.5	16.8	5.9	5.0	37.9	6.9	5.2
普通	981	35.8	54.8	17.9	3.9	12.7	13.5	5.8	4.8	31.3	6.0	8.6
ややゆとりがある	175	44.6	58.9	16.0	3.4	11.4	12.0	6.3	6.3	40.6	9.1	4.6
大変ゆとりがある	24	41.7	45.8	4.2	—	4.2	—	4.2	8.3	37.5	8.3	4.2

【子どもの人数別】

子どもの人数別にみると、5人以上で「職場の理解や協力が得られないこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	残業や出張が入ること	子どもや自分が病気やけがをしたときに代わり子どもをみてくれる人がいないこと	配偶者の協力が得られないこと	家族や親族の理解が得られないこと	職場に子育てを支援する制度がないこと (育児休業、子どもの看護休暇、短時間勤務等)	職場の理解や協力が得られないこと	子どものほかに親などの介護をしなければならぬこと	子どもを預かってくれる保育所や留守家庭児童会室等が見つからないこと	子どもと接する時間が少ないこと	その他	無回答
全体	1,883	34.7	58.4	19.1	4.8	14.8	14.0	5.8	4.8	34.7	6.6	7.1
1人	332	38.0	51.8	14.8	3.3	16.3	15.4	8.7	4.5	38.3	6.6	8.7
2人	980	35.0	60.0	19.8	5.2	14.4	12.9	4.3	3.8	32.0	6.1	6.7
3人	431	33.9	60.3	20.6	5.6	14.2	14.6	6.7	6.7	36.0	8.1	6.3
4人	76	27.6	67.1	19.7	2.6	14.5	11.8	5.3	5.3	40.8	5.3	6.6
5人以上	24	20.8	41.7	25.0	12.5	29.2	29.2	8.3	12.5	41.7	—	12.5

【世帯類型別】

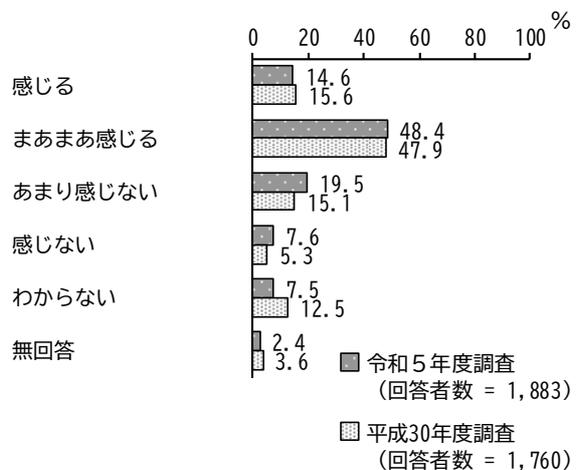
世帯類型別にみると、ひとり親家庭で「職場に子育てを支援する制度がないこと（育児休業、子どもの看護休暇、短時間勤務等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	残業や出張が入ること	子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと	配偶者の協力が得られないこと	家族や親族の理解が得られないこと	職場に子育てを支援する制度がないこと (育児休業、子どもの看護休暇、短時間勤務等)	職場の理解や協力が得られないこと	子どものほかに親などの介護をしなければならないこと	子どもを預かってくれる保育所や留守家庭児童会室等が見つからないこと	子どもと接する時間が少ないこと	その他	無回答
全体	1,883	34.7	58.4	19.1	4.8	14.8	14.0	5.8	4.8	34.7	6.6	7.1
ひとり親家庭	156	27.6	53.8	20.5	7.1	22.4	16.7	5.8	6.4	41.0	7.1	10.3
三世代等同居世帯	122	31.1	39.3	19.7	4.1	13.9	13.1	11.5	4.9	41.8	6.6	8.2
核家族	1,569	35.9	60.5	18.9	4.7	14.1	14.0	5.5	4.7	33.8	6.6	6.6
不明	36	22.2	52.8	19.4	5.6	13.9	5.6	—	2.8	22.2	2.8	11.1

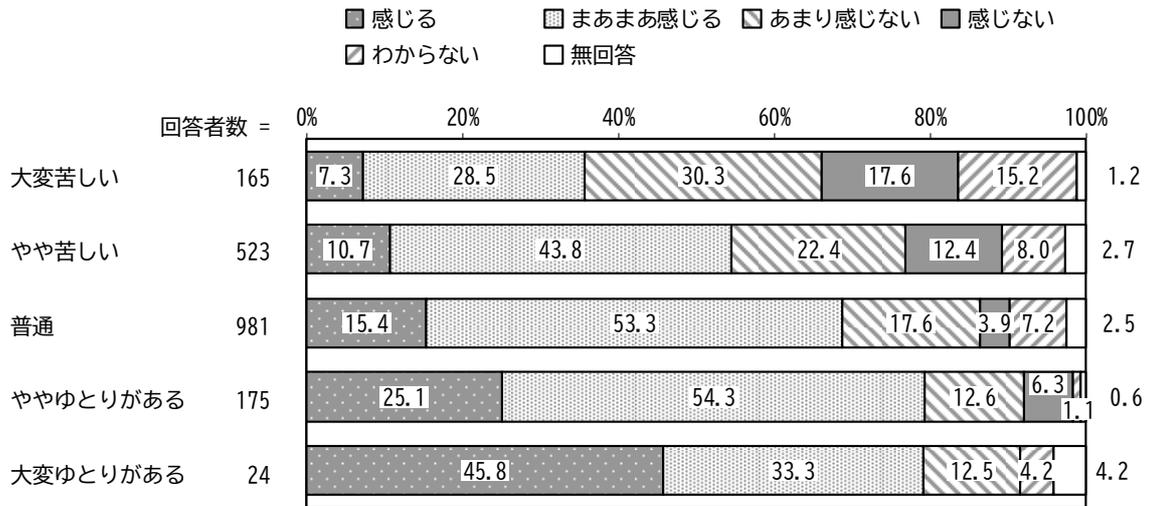
問 35 あなたの家庭では、仕事と生活の調和が図られていると感じますか。
(○は1つ)

「まあまあ感じる」の割合が 48.4%と最も高く、次いで「あまり感じない」の割合が 19.5%、「感じる」の割合が 14.6%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



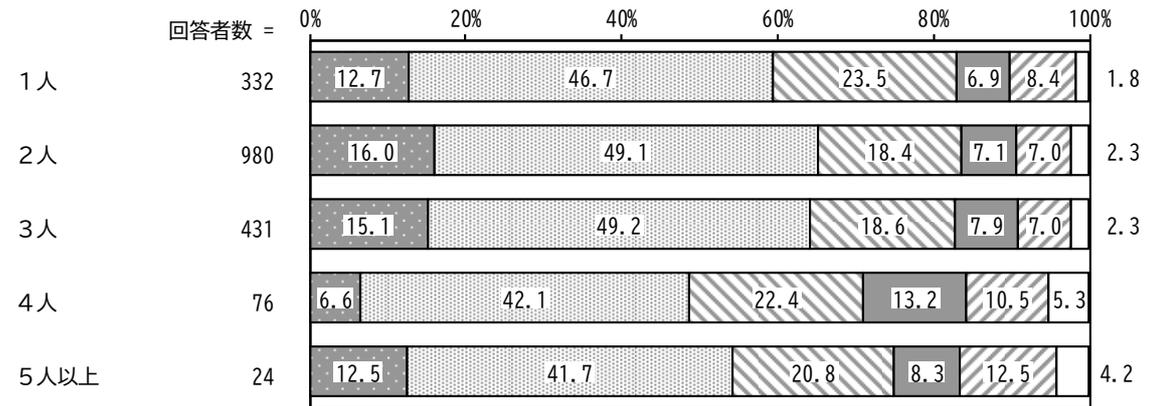
【現在の暮らし向き別】

現在の暮らし向き別にみると、大変ゆとりがあるで「感じる」の割合が高くなっています。



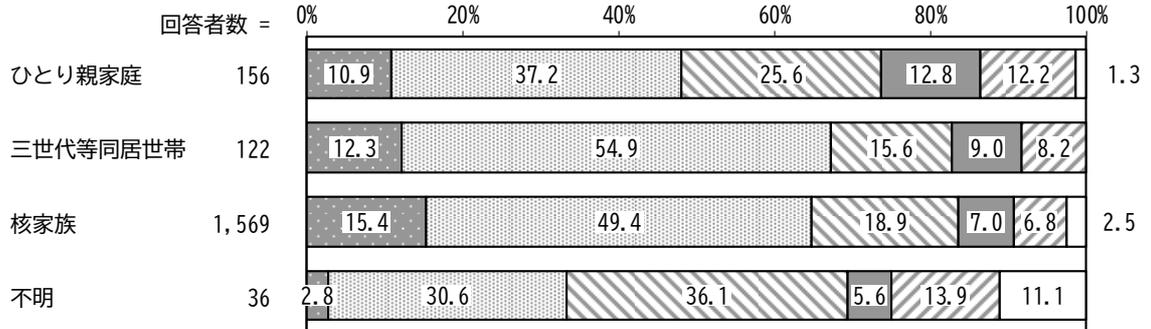
【子どもの人数別】

子どもの人数別にみると、大きな差はみられません。



【世帯類型別】

世帯類型別にみると、不明で「あまり感じない」の割合が高くなっています。

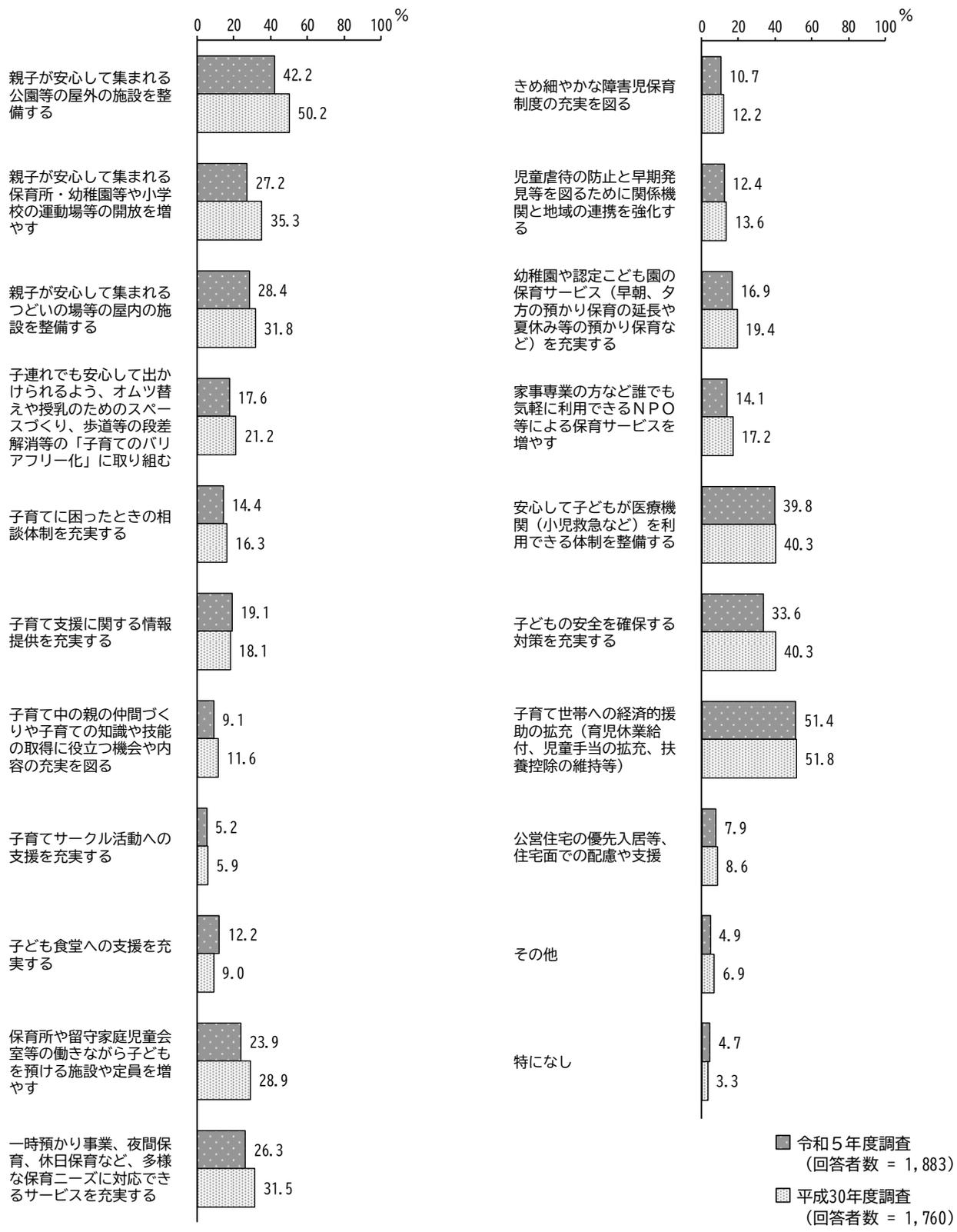


(10) 行政サービスへの要望について

問 36 行政（市、府、国）に対して、子育てサービスの現状やあなたの子育て経験などから、どのような支援策の充実を図ってほしいですか。（〇はいくつでも）

「子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持等）」の割合が 51.4%と最も高く、次いで「親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する」の割合が 42.2%、「安心して子どもが医療機関（小児救急など）を利用できる体制を整備する」の割合が 39.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する」「親子が安心して集まれる保育所・幼稚園等や小学校の運動場等の開放を増やす」「一時預かり事業、夜間保育、休日保育など、多様な保育ニーズに対応できるサービスを充実する」「子どもの安全を確保する対策を充実する」の割合が減少しています。



※前回調査では、「幼稚園や認定こども園の保育サービス（早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休み等の預かり保育など）を充実する」の選択肢が「幼稚園の保育サービス（早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休み等の預かり保育など）を充実する」でした。

【現在の暮らし向き別】

現在の暮らし向き別にみると、大変苦しいで「子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する	親子が安心して集まれる保育所・幼稚園等や小学校の運動場等の開放を増やす	親子が安心して集まれるつどいの場等の屋内の施設を整備する	親子が安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくり、歩道等の段差解消等の「子育てのバリアフリー化」に取り込む	子育てに困ったときの相談体制を充実する	子育て支援に関する情報提供を充実する	子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識や技能の取得に役立つ機会や内容の充実を図る	子育てサークル活動への支援を充実する	子ども食堂への支援を充実する	保育所や留守家庭児童会室等の働きながら子どもを預ける施設や定員を増やす	一時預かり事業、夜間保育、休日保育など、多様な保育ニーズに対応できるサービスを充実する
全体	1,883	42.2	27.2	28.4	17.6	14.4	19.1	9.1	5.2	12.2	23.9	26.3
大変苦しい	165	39.4	24.8	26.7	18.8	10.9	18.8	7.9	4.2	18.2	19.4	23.0
やや苦しい	523	36.7	27.2	26.8	18.4	16.8	21.0	10.7	5.4	15.7	22.4	23.7
普通	981	45.6	27.6	29.9	16.9	13.9	18.5	9.0	4.8	10.0	24.4	27.1
ややゆとりがある	175	42.3	28.0	28.0	18.9	14.3	17.7	7.4	8.0	9.1	29.1	33.7
大変ゆとりがある	24	37.5	20.8	12.5	8.3	4.2	8.3	8.3	—	—	33.3	25.0

区分	きめ細やかな障害児保育制度の充実を図る	児童虐待の防止と早期発見等を図るために関係機関と地域の連携を強化する	幼稚園や認定こども園の保育サービス 早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休み等の預かり保育など)を充実する	家事専門の方など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスを増やす	安心して子どもが医療機関 小児救急など)を利用できる体制を整備する	子どもの安全を確保する対策を充実する	子育て世帯への経済的援助の拡充 育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持等)	公営住宅の優先入居等、住宅面での配慮や支援	その他	特になし	無回答
全体	10.7	12.4	16.9	14.1	39.8	33.6	51.4	7.9	4.9	4.7	2.5
大変苦しい	12.1	14.5	19.4	10.9	45.5	32.1	66.1	17.6	7.9	3.6	4.2
やや苦しい	10.3	14.0	15.1	14.9	39.2	32.7	65.2	11.9	6.3	4.0	2.1
普通	10.5	11.1	17.2	14.3	40.4	34.6	45.2	4.6	3.7	5.0	2.7
ややゆとりがある	12.0	13.1	17.7	14.3	36.6	32.6	34.3	6.3	5.7	6.3	1.1
大変ゆとりがある	8.3	12.5	20.8	4.2	20.8	25.0	33.3	4.2	—	8.3	—

【子どもの人数別】

子どもの人数別にみると、5人以上で「子ども食堂への支援を充実する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する	親子が安心して集まれる保育所・幼稚園等や小学校の運動場等の開放を増やす	親子が安心して集まれるつどいの場等の屋内の施設を整備する	子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくり、歩道等の段差解消等の「子育てのバリアフリー化」に取り組む	子育てに困ったときの相談体制を充実する	子育て支援に関する情報提供を充実する	子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識や技能の取得に役立つ機会や内容の充実を図る	子育てサークル活動への支援を充実する	子ども食堂への支援を充実する	保育所や留守家庭児童会室等の働きながら子どもを預ける施設や定員を増やす	一時預かり事業、夜間保育、休日保育など、多様な保育ニーズに対応できるサービスを充実する
全体	1,883	42.2	27.2	28.4	17.6	14.4	19.1	9.1	5.2	12.2	23.9	26.3
1人	332	40.4	25.6	29.2	17.2	13.0	24.4	6.6	5.1	14.5	28.0	27.1
2人	980	42.4	25.4	27.4	15.9	14.6	18.9	9.7	4.7	10.2	23.1	24.4
3人	431	45.2	30.9	29.7	20.2	15.5	16.5	10.2	6.5	13.5	23.0	30.2
4人	76	42.1	35.5	35.5	28.9	13.2	18.4	5.3	2.6	13.2	25.0	28.9
5人以上	24	29.2	37.5	29.2	20.8	16.7	16.7	16.7	8.3	33.3	29.2	12.5

区分	きめ細やかな障害児保育制度の充実を図る	児童虐待の防止と早期発見等を図るために関係機関と地域の連携を強化する	幼稚園や認定こども園の保育サービス 早期、夕方、の預かり保育の延長や夏休み等の預かり保育(など)を充実する	家事専業の方など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスを増やす	安心して子どもが医療機関 小児救急(など)を利用できる体制を整備する	子どもの安全を確保する対策を充実する	子育て世帯への経済的援助の拡充 育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持等)	公営住宅の優先入居等、住宅面での配慮や支援	その他	特になし	無回答
全体	10.7	12.4	16.9	14.1	39.8	33.6	51.4	7.9	4.9	4.7	2.5
1人	9.9	15.7	15.7	14.2	42.8	34.3	43.4	9.0	6.0	4.5	3.0
2人	9.3	11.7	16.0	13.2	38.7	33.2	50.5	6.2	4.6	5.1	2.1
3人	13.9	11.6	19.7	15.8	39.4	33.9	58.0	9.3	5.3	3.5	2.1
4人	13.2	14.5	21.1	15.8	42.1	30.3	60.5	13.2	2.6	3.9	5.3
5人以上	16.7	4.2	12.5	25.0	45.8	41.7	58.3	25.0	8.3	4.2	8.3

【世帯類型別】

世帯類型別にみると、ひとり親家庭で「子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する	親子が安心して集まれる保育所・幼稚園等や小学校の運動場等の開放を増やす	親子が安心して集まれるつどいの場等の屋内の施設を整備する	子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくり、歩道等の段差解消等の「子育てのバリアフリー化」に取り組む	子育てに困ったときの相談体制を充実する	子育て支援に関する情報提供を充実する	子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識や技能の取得に役立つ機会や内容の充実を図る	子育てサークル活動への支援を充実する	子ども食堂への支援を充実する	保育所や留守家庭児童会室等の働きながら子どもを預ける施設や定員を増やす	一時預かり事業、夜間保育、休日保育など、多様な保育ニーズに対応できるサービスを充実する
全体	1,883	42.2	27.2	28.4	17.6	14.4	19.1	9.1	5.2	12.2	23.9	26.3
ひとり親家庭	156	30.1	25.0	25.6	15.4	14.1	25.6	8.3	3.2	19.2	19.2	23.7
三世帯等同居世帯	122	48.4	26.2	31.1	19.7	9.0	19.7	12.3	4.9	13.1	21.3	18.0
核家族	1,569	43.2	27.5	28.5	17.7	14.8	18.4	9.0	5.4	11.2	24.8	27.2
不明	36	30.6	27.8	27.8	13.9	16.7	19.4	8.3	5.6	19.4	13.9	25.0

区分	きめ細やかな障害児保育制度の充実を図る	児童虐待の防止と早期発見等を図るために関係機関と地域の連携を強化する	幼稚園や認定こども園の保育サービス（早朝、夕方、の預かり保育の延長や夏休み等の預かり保育など）を充実する	家事専業の方など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスを増やす	安心して子どもが医療機関（小児救急など）を利用できる体制を整備する	子どもの安全を確保する対策を充実する	子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持等）	公営住宅の優先入居等、住宅面での配慮や支援	その他	特になし	無回答
全体	10.7	12.4	16.9	14.1	39.8	33.6	51.4	7.9	4.9	4.7	2.5
ひとり親家庭	5.1	15.4	11.5	6.4	39.1	34.0	59.0	19.2	3.8	6.4	3.8
三世帯等同居世帯	10.7	16.4	11.5	10.7	44.3	32.0	57.4	6.6	4.1	3.3	—
核家族	11.3	11.9	17.8	15.0	39.5	33.7	50.4	6.8	5.0	4.5	2.5
不明	11.1	8.3	19.4	16.7	41.7	33.3	38.9	8.3	5.6	11.1	5.6

【子どもに関する悩み別】

子どもに関する悩み別にみると、子育てのことがよくわからないことで「子育てに困ったときの相談体制を充実する」の割合が高くなっています。

単位：％

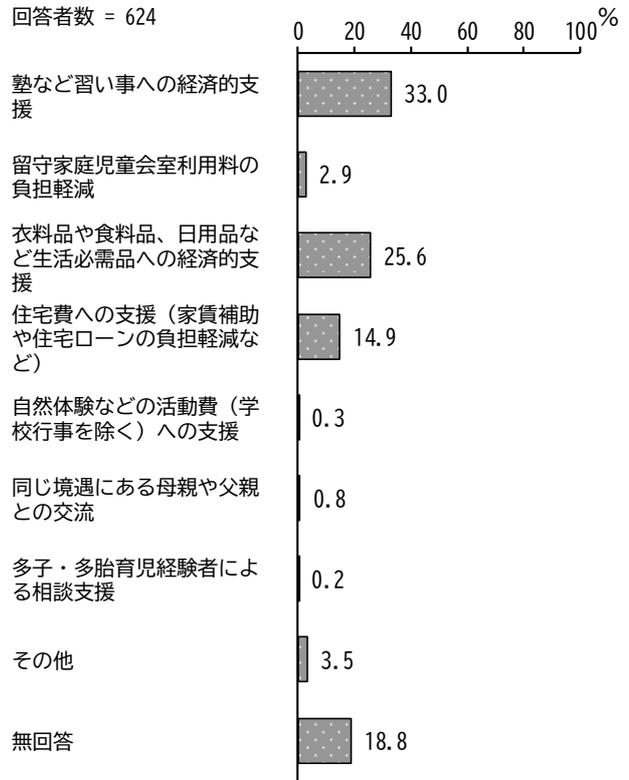
区分	回答者数 (件)	親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する	親子が安心して集まれる保育所・幼稚園等や小学校の運動場等の開放を増やす	親子が安心して集まれるつどいの場等の屋内の施設を整備する	子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくり、歩道等の段差解消等の「子育てのバリアフリー化」に取り組む	子育てに困ったときの相談体制を充実する	子育て支援に関する情報提供を充実する	子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識や技能の取得に役立つ機会や内容の充実を図る	子育てサークル活動への支援を充実する	子ども食堂への支援を充実する	保育所や留守家庭児童会室等の働きながら子どもを預ける施設や定員を増やす	一時預かり事業、夜間保育、休日保育など、多様な保育ニーズに対応できるサービスを充実する
全体	1,883	42.2	27.2	28.4	17.6	14.4	19.1	9.1	5.2	12.2	23.9	26.3
病気や健康に関すること	536	46.1	29.5	31.9	21.1	19.6	25.6	10.8	6.0	15.3	26.9	28.5
発育発達に関すること	324	41.4	28.7	32.1	19.4	22.2	27.8	11.7	6.2	16.0	25.0	31.5
食事や栄養に関すること	391	49.1	35.3	34.5	23.5	18.4	28.6	13.6	6.4	17.4	28.1	31.5
子育てのことがよくわからないこと	65	47.7	32.3	35.4	27.7	32.3	32.3	10.8	6.2	18.5	29.2	24.6
子どもとの接し方に自信が持てないこと	221	49.3	30.8	34.4	24.0	23.1	26.2	14.5	6.3	15.4	27.6	33.9
子どもと過ごす時間が十分取れないこと	443	40.0	26.2	30.7	19.2	13.5	23.0	10.2	5.6	15.1	30.5	31.8
子どもの教育に関すること	840	44.2	29.9	33.2	19.4	17.5	23.9	12.4	6.5	13.9	28.0	29.8
子どもの友達づきあいに関すること	642	46.4	31.0	31.6	19.5	18.8	23.4	12.1	6.5	13.6	26.8	30.4
子どもの不登校などに関すること	101	38.6	30.7	41.6	19.8	27.7	29.7	8.9	9.9	22.8	27.7	27.7
その他	50	48.0	36.0	40.0	30.0	22.0	22.0	8.0	12.0	20.0	22.0	36.0
特になし	312	39.4	21.8	21.5	15.1	8.0	12.8	4.8	3.5	8.0	17.6	16.3

区分	きめ細やかな障害児保育制度の充実を図る	児童虐待の防止と早期発見等を図るために関係機関と地域の連携を強化する	幼稚園や認定こども園の保育サービス 夏休み等の預かり保育などを充実する	家事専業の方など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスを増やす	安心して子どもが医療機関 小児救急など）を利用できる体制を整備する	子どもの安全を確保する対策を充実する	子育て世帯への経済的援助の拡充 育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持等）	公営住宅の優先入居等、住宅面での配慮や支援	その他	特になし	無回答
全体	10.7	12.4	16.9	14.1	39.8	33.6	51.4	7.9	4.9	4.7	2.5
病気や健康に関すること	13.4	17.2	19.0	17.9	49.1	42.7	55.8	11.0	4.9	3.4	2.6
発育発達に関すること	24.7	17.6	19.1	17.6	46.0	35.5	57.1	10.8	5.2	4.3	0.3
食事や栄養に関すること	15.6	19.2	19.7	21.5	50.1	42.7	59.8	12.3	4.6	4.6	2.0
子育てのことがよくわからないこと	12.3	21.5	20.0	18.5	55.4	33.8	58.5	10.8	6.2	3.1	1.5
子どもとの接し方に自信が持てないこと	14.0	16.3	22.6	19.5	43.0	36.7	56.6	12.7	4.1	2.7	0.5
子どもと過ごす時間が十分取れないこと	12.4	15.1	17.6	12.6	45.6	39.1	57.1	10.6	7.4	3.8	1.1
子どもの教育に関すること	11.5	14.8	18.5	14.8	46.5	37.4	56.0	8.8	5.7	3.8	1.7
子どもの友達づきあいに関すること	12.6	14.8	17.9	15.3	48.1	40.8	57.2	9.2	4.8	3.1	2.0
子どもの不登校などに関すること	20.8	18.8	12.9	22.8	39.6	38.6	60.4	12.9	6.9	3.0	2.0
その他	18.0	16.0	26.0	26.0	32.0	40.0	50.0	16.0	20.0	2.0	2.0
特になし	4.8	8.7	15.1	7.1	30.8	27.6	43.9	5.8	4.5	8.0	4.2

(前ページの表 続き)

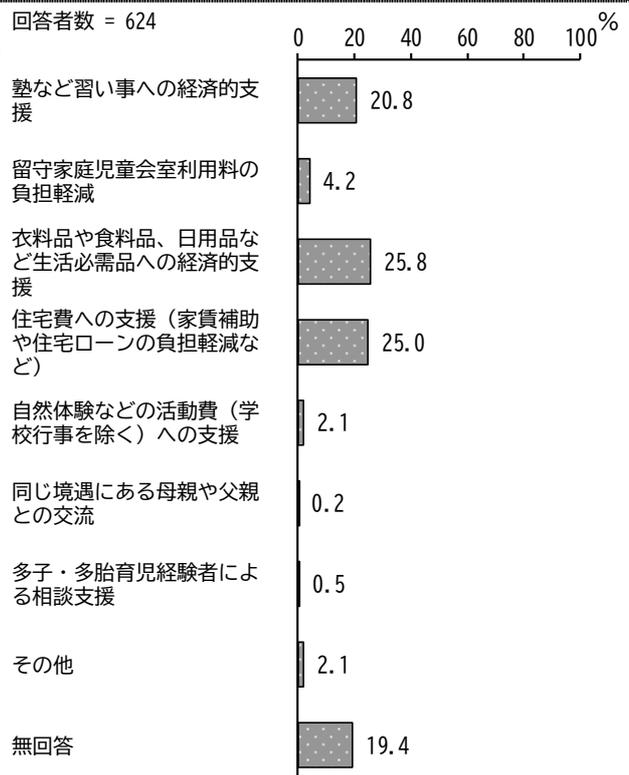
問 37 子どもが3人以上いる、もしくは多胎（双子や三つ子）の子どもがいる方にお伺いします。
 どのような支援やサービスがあれば、子育ての負担を軽減するのに有効だと思われるか。もっとも有効だと思われる番号に○をつけてください。

「塾など習い事への経済的支援」の割合が33.0%と最も高く、次いで「衣料品や食料品、日用品など生活必需品への経済的支援」の割合が25.6%、「住宅費への支援（家賃補助や住宅ローンの負担軽減など）」の割合が14.9%となっています。



問 37-1 子どもが3人以上いる、もしくは多胎（双子や三つ子）の子どもがいる方にお伺いします。
 2番目に有効だと思われる番号に○をつけてください。

「衣料品や食料品、日用品など生活必需品への経済的支援」の割合が25.8%と最も高く、次いで「住宅費への支援（家賃補助や住宅ローンの負担軽減など）」の割合が25.0%、「塾など習い事への経済的支援」の割合が20.8%となっています。



Ⅲ 自由回答

1 就学前児童の保護者

※（ ）は意見数

項目	主な意見（要約）
1. 教育・保育施設について (194)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園、姉妹で家から逆方向の別施設に決まった。他のご家庭も多い。兄弟がいる場合は考慮して欲しい。第2子以降、保育料ゼロは大変助かる。ありがとう。【0歳】 ・ 保育所の定員人数をもう少し増やして欲しい。【0歳】 ・ 一時預かり保育が充実しているように見えて、受け入れ拒否（園の先生の都合）や人数オーバーで実際は入れない事がある事を知って欲しい。困っている。【2歳】 ・ 保育園入所の申し込み方法が変わり、生まれ月にかかわらず平等になったのは良かった。だが、園での入所予定者数や何人が希望して申し込みしているかなど、分かることが増えると希望園を変えたり、安心したりの材料になる。【5歳】 ・ 保育園、学校入学にあたり、準備物等は説明会で初めて告知でなく、HP等で掲載して欲しい。毎年同じ様だと思うので。品うすになり講入が難しくなり、共働きは説明会時休むし、買い物の段取りが後手になる。【5歳】
2. 公園・遊び場について (131)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園や遊具が少ない。空き地はあるが、ボール遊びはダメと、もう少し子供が遊べる場所があると良いと思う。駅から近いと、ベビーカーでしか行けない方にはもっと助かる。【0歳】 ・ おにクルのような施設の設置、無料又は安価な駐車場を併設した大きな公園の設置、雨の日でも遊べる無料又は安価な施設の設置。【3歳】 ・ 幼稚園に入っても使える遊び場が増えると嬉しい（特に屋内）今は川の遊び場まで行っている。近辺に公園は多くあるがもう少し遊具（シーソーとか）が増え、トイレがキレイだとありがたい。【3歳】 ・ 公園について、小さすぎて遊具が少なく、全く利用されていない小規模公園を度々見かける。そして少し遊具のある（すべり台、ブランコ、すなば、鉄棒）がある公園に子ども達が集まっている。中途ハンパな公園をつくるより、普通に公園を点在させて欲しい。そして、せまくてボールあそびができない。校区内にボールあそびが出来る公園がないと言っている小学生が複数いた。そのあたりの整備希望。【4歳】 ・ 公園の整備、公園の周りの駐車禁止を徹底して欲しい。雑草をこまめに処理して欲しい。【4歳】
3. 子育て環境全般について (59)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団が苦手な保護者に対して、地域社会や子育てで孤独を感じないような支援をして欲しいと強く願う。【2歳】 ・ 子育て世帯への目が厳しいように感じる生活。（バス、電車で泣いていると迷惑がられる。外で遊ぶと、子どもの声がウルサイ。ボールで遊ぶな、等）将来的に子どもが減ると、子どもを迷惑に感じる人が増えるのではと心配になる。そうはならない市になって欲しい。【3歳】 ・ 市は、子育てしやすい。私はここで生まれ、育ち、結婚してもここを離れたくなかった。私の両親も主人の両親もここに住んでいる。自分の子ども達も、できればここに住んで欲しい。【5歳】

<p>4. 経済的支援について(181)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯への経済的援助（共働きでも）児童手当の振込み先を世帯主の父親だけでなく、世帯主じゃない母親にも振込みできるように選択させて欲しい。【0歳（R5.4月以降）】 ・ひとり親家庭の金銭的支援は充実しているけれど中間層ほどの支援にも値しないので一律に金銭的支援して欲しい。金銭的な余裕があれば子どもと一緒に過ごせる時間も増えると思う。児童手当だけでは全然足りない。【0歳】 ・子育て世帯への経済的支援と育児用品支援金をお願いしたい。母親にゆとりがあると子供たちと接する時間を楽しめるため。【1歳】 ・低所得者向けの支援ばかりで働く意欲がそがれる。しっかりと納税している人をもっとサポートして欲しい。【3歳】 ・一番はやはり経済的支援が助かる。時々、母子家庭を対象にした支援をみかけるが、母子家庭といえ、祖父母と同居しており、家事、育事、経済的支援等がある場合もあり、となると、核家族で、親族が遠方で支援を簡単に得られない立場としては、不公平感を感じる。支援施策をしてくださるなら、平等をお願いしたい。【3歳】
<p>5. 子育て支援事業・施策全般について(140)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・産後ケアサービスを利用しましたがありがたいサービスだと思った。あのような子どもと参加できるサービスがもう少し長い期間うけられるといいなと思う。【0歳（R5.4月以降）】 ・産後ママ安心ケアを利用して助産院をしり、2人目3人目と妊娠中においてお世話になっている。孤独を感じる子育てのスタートだったが（市に友人も知人もいないため）今は地域支援室や地域の子育てサロンに参加して楽しく過ごせている。もっと早く色々な情報を得て子どもと一緒に外にでる機会をつくれていたらなと思った。今後とも様々な支援をよろしく。いつもありがとう。【0歳】 ・育休中であっても、第2子出産の予定があれば保育所の申請ができるようにしてほしい。産休中だったらできるのにほんとうにしんどい。単身赴任の家庭への支援も考えてほしい。仕事復帰してからの定時で帰られる制度、子どもの体調不良の際の時間休など配慮が欲しい。【2歳】 ・子育て支援のお米クーポンは助かった。（他府の）紙おむつ、おしりふき、など支給してくれる制度があるといいなと思う。（他市）他市の5つの支援無料化もとても助かると感じた。「おむつ定期便」公共施設の入場料無償化。【4歳】 ・子育て支援施策はみな平等に。【4歳】
<p>6. 就労について(10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3才まで自宅保育をしたいがワンオペで大変すぎ。3才以下の子供がいる家庭の夫の仕事の労働時間がもう少し減らしたら嬉しいと思う。でも給料が減っては困るので、これ以上人数を増やしたいが増やせないのが現状。【1歳】 ・インフルエンザやコロナ等で長期間、仕事を休む際、一時的に収入が減る。又は、子どもの病気等で仕事を休む際休みにくく、融通の効く職場を探すのに苦労する等自分を含めその様な方が多い。働きながらも育児がしやすい環境があればいつも思う。【3歳】
<p>7. 健診・医療について(33)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小児科がもっと気軽に受診できるようにしてほしい（最近、ネット予約の小児科が多く、すぐに定員に達してしまい、予約がとれない）【3歳】 ・病児保育には本当にお世話になった。満員のことが多かったので、定員が増えるといいなと思う。【4歳】

8. 相談・情報発信について(25)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援拠点事業を利用するのに事前に電話予約して利用となっているが、インターネットで予約、予約変更ができればとてもいいのと思う。他のお母さん達とも話している時に話題でできた。【1歳】 ・第2子を保育園にあずけるに当たり、第1子の通学へのつきそいや通院などのつきそいが必要で短時間しか働く事が出来ない相談をした。その際、通学にかかる時間は加味されず、なかなか保育園に通わせる事が出来なかった。最初は無理に長い時間働き、やっと保育園に通わせる事が出来た。障害児が増えている中、その子供を育てている環境や、学校から要求される事への理解を、役所内の部所が違ってほしい（教育委員会や保育課など）【4歳】
9. 安心・安全について(29)	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道がバス通り（メインとなる通り）でもとても狭くベビーカーで押しにくい。送迎で自転車の方もいるが、自転車レーンがなく危険だと感じる。ベビーカーを上の子と手つなぎで安心して歩けるようにしてほしい。【0歳】 ・駅から図書館、公園の方へ行く道が狭くて、歩道もないため、子どもが一人では行けない（一緒でも危ない）ベビーカーも車にぶつかりそうで危ないので、歩道をつくってほしい。歩きタバコを禁止にほしい。【0歳（R5.4月以降）】
10. 放課後児童クラブ（学童保育）について(36)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の留守家庭児童会の土曜日常設。【1歳】 ・上の子が小学校。児童会へ安心して預けているが、オープンスクエアと価格差がありすぎて、悩んでいる。内容が違う事も承知しているが、今の児童会のレベルだと、一人で帰らせても一緒かなと思う事もある。何事も補助があると、とても助かる（3人いる）【3歳】
11. その他(13)	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートに答える時間もない。子どもに対応しながらなので、きちんと回答できているかわからない。【1歳】 ・アンケートの質問の量が多い。【2歳】

2 小学生児童の保護者

※（ ）は意見数

項目	主な意見（要約）
1. 教育・保育施設について (112)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の英語補助に外国人も採用して欲しい。異なる見た目に苦手意識を持たないで接する事を学んで欲しい。【1年生】 ・小学校中学年～高学年では女子のいじめが増加している。いじめに対しては先生により対応が変わってくる。デリケートな問題だからと様子をうかがうばかりでなく、生徒の中に踏み込める先生が増えて欲しいと思う。学級崩壊にならないよう、子どもが楽しく学校に通えるような明るい学校を目指して欲しい。（ちなみに我が子は第3子で楽しく学校に通っている）上の子のときは大変だった。【2年生】 ・小学生の人数は減っているが、先生の数はそのままで手厚い教育が受けられるようにして欲しい。先に進める子は進めるようにして欲しいし、遅れている子もできる限り諦めずに面倒を見てもらいたい。そのために小中一貫校になっても良いと思う。先生ももっと余裕が必要だと思うし、社会経験もつめるような風にしてもらいたい。先生の視野が狭いと子供にも悪影響だと思う。【3年生】 ・中学校の支援学級への支援をもっと手厚くして欲しい。うわさでは先生はほったらかしだと聞くが本当だろうか。教室だけ場所を提供し先生はおしえない等。中学の先生はやる気がないとか今4年生だが中学校に行かせるのが不安。支援学校ではレベルが低すぎてしまう。間の学校って作ってもらえないだろうか。【4年生】 ・子供が通っている校区は一小一中制の校区だが、実際子供が通っていたのだが、一小一中制の良さを感じられなかった。他の小学校からも子供が来て、新たな友達関係ができれば中学校生活も変わっていたように思える。子供自身3年間本当にしんどかったと思う。良さもあるとは思うが、理由がないかぎり中学校を変えることができないので、検討して欲しい。【6年生】
2. 経済的支援について (167)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが複数いる2人目や3人目の支援はたくさんあるが1人目、1人っ子はほぼ例外になる事が多い（学童の利用料、保育料、PTA会費etc）1人目からの支援を充実して欲しい（子供医療証18才までの拡張などは子供がいる家庭みんなに平等だった。ありがたい支援）給食（中学校）もあると成長期の子供達には助かる（おとなりの交野市など）【3年生】 ・私立に通う子供の、学費支援をして欲しい。留守家庭児童室を、駅から近い場所に設けて欲しい。もしくは、駅から、バスなどで送迎してもらえる学校を作って欲しい。【3年生】 ・ひとり親世帯だけでなく、全世帯への経済的支援を要望する。共働きだから生活できている、というわけでなく、生活する為に働かざるを得ない、という状況。私はもう子どもも大きくなったので不要だが、双子のおむつ代とかミルク代はすごく大変だった。他市ではその支援がある事を伺った。うらやましかった。双子でなくても子育ての大変さは一緒だが。【4年生】 ・市は本当にがんばってくださって感謝している。話はちがってくるかもしれないが、「国の大学無償化」について子供3人でその他様々な支援で子供3人っていうのが基準になっていると思うが、確かに1人より2人、2人より3人本当にお金がかかってくると思う。しかし今の出生数は1、2前後1人産もうか産まないかこのせんたくで若い世代はなやんでいる。3人なんて夢のまた夢。2人なら生み損。まず「1人なら産み育てよう」0人より1人、1人より2人へとになっていけそうな政策を市、府、国にお願いしたい。【4年生】

	<ul style="list-style-type: none"> ・市は所得制限なしで支援があるので本当にありがたい。(経済支援) 子供が3人いるのに国の支援は対象外になってばかりで辛い。双子が0～3才の頃が大変だった。まず外出自体がきびしいので支援センターなど行ったことがない。健診も2人連れて行くのが辛かった。多胎児には支援員を積極的につけて欲しい。第3子は3才児(2才半)健診で発達に遅れがありすぐに支援につなげてもらえて助かった。親子教室がなければ行きづまっていたと思う。これからも続けて欲しい支援。ありがとう。【5年生】
3. 安心・安全について(30)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもだけでも安全、安心に利用できる公園づくり(特に性犯罪含む犯罪の防止)【3年生】 ・通学路に信号のない横断歩道に信号をつけて欲しい。暗くなる道に街灯を充実させて欲しい。【4年生】
4. 子育て環境全般について(56)	<ul style="list-style-type: none"> ・役所でやろうとしている事はいつも少しずれている。子育てしながら普通に働くのは無理。低賃金で時間をとられるなら働かない方が子育て的には金的にはキビしいが正しいと思っている。【1年生】 ・タイプの違う発達障害をもつ娘を2人育てている。小学校に入学する前は本当に大変で、親にも誰にもわかってもらえず、毎日どうすれば良いかわからず、うつ病になっていた。そんな時、となとなに会いたくさん話を聞いてもらった。声かけの方法や接し方など、いろんなアドバイスをいただいた。毎日どんなに頑張っても、相手は子供なのでわかってもらえず、しんどい思いをしたが、となとな先生に、母子共にたくさん褒めてもらった。本当に嬉しくて、今でも忘れられない。子育てをしていたら、感謝されることはあれど、褒められることはなかったのでごく嬉しかった。いつかお礼を伝えたいと思っていたので、こちらに書かせてもらった。【2年生】 ・子育ては本当に大変だと思う。一人でかかえ込む方がいると思うのでそういった人をサポートしやすいところがあると全然違うと思う。私も実際子育ての悩みを市の方に聞いてもらった事がある。そうするとなるほどと思い気が楽になった。私は親が近くに住んでいるのでサポートしてもらおう事ができるし相談にもものってくれる。やはり周りに話を聞いてもらう方がいる、いないとでは全然違うと思うのでそういう方のサポートをよろしく。【5年生】
5. 放課後児童クラブ(学童保育)、オープンスクエアについて(76)	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンスクエアをよく利用している。とても助かっている。好きな時に行って、好きな時に帰れるのがラクで(親子共)良いと思う。校庭でも自由に遊べると、もっと有難い。近所でも公園に行くよりかは安全面でも安心なので。【1年生】 ・留守家庭児童会に2年間お世話になっている。先生方が増え、少しずつ充実したものになっていて有り難い。ただ、入口の鍵が未だに南京錠で、「何か起こってからでは遅いのに」とずっと思っている。早急に解決して欲しい。また、朝の時間帯の預かりも児童会にしてもらえると助かる。保育園は7時から開いていたが小学校は8時。子どもが小学校に上がった時、本当に困った。今も。今1の壁というものすごく感じ、働きにくい。【2年生】 ・オープンスクエアは9時からしか開かないので、仕事の時は校庭でボツンと子供一人で待つ事になり、申し訳ない気持ちになった。児童会と同じ時間に開いて欲しい。夏休みは、校庭で全くあそぶ日がなく、(暑すぎて朝から禁止になった)教室でゲームをするしかなく、すごく暇で帰りたいと何度も言っていた。体育館も使えるようにして欲しい。オープンの先生は優しく、よくあそんでくれるので、とても満足している。【2年生】

6. 子育て支援事業・施策について(75)	<ul style="list-style-type: none"> ・車がないので送迎サービスのようなものがあつたら助かる。もっと児童発達支援の施設を増やして欲しい。【1年生】 ・5人の子どものうち、1人は支援学校に通う障害児がいる。その子の子育てを通して思ったことは、手厚く、支援してくれる先生方はいるが人手が足りていない、保育できる施設が少ないこと。もっと障害への理解をもてるよう啓発活動も大事だと思っている。どんな特性のある子ども、いきいき生活できるよう、白い目で見られないようにして欲しい。【2年生】 ・相談したい事等があつても平日仕事で連絡出来ず、結局あきらめる事が市役所の業務時間内に多々ある。無理なのは知っているが「意見を聞く」や「支援を」と言うのであればもうすこし窓口を広げて欲しい。【4年生】
7. 公園・遊び場について(68)	<ul style="list-style-type: none"> ・想像力がふくらむような、運動能力があがるような、子供の心身発達を考えた公園が少ないと思う。安心して子供たちが集まれる、かつクリエイティブな公園を多くつくって欲しい。【2年生】 ・子供が思いっきり遊べる広い公園がもっと欲しい。徒歩で行ける距離に欲しい。【3年生】 ・親が同行するので、土日小学校の校庭を開放して欲しい。サッカーやバスケットボールなど、小さな公園ではできないことを家族でしたいと思うし、他の家族とも交流したい。【5年生】
8. 健診・医療について(17)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生対象の病児保育を増やして欲しい。【1年生】 ・病児保育が少なすぎる。【4年生】
9. 学習・学びについて(28)	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後の教室や体育館、運動場を利用した習い事があれば、子育てに大変役立つと思う。仕事をしていると子供に習い事をさせるのが土日しかなく、休みが習い事でつぶれてしまう。そうかと言って、平日に子供1人で帰らせて習い事に行かせるのは事故や犯罪に巻き込まれる恐れもあり非常に心配。そこで、学校の授業が終わった後、そのまま学校内で習い事ができるシステムがあれば、安全かつ習い事までの送り迎えという負担もなく、とても助かる。【2年生】 ・子供が望む習い事をさせてあげたいのが、共働きのため送迎が難しく、我慢させているのが現状。習い事への送迎サービス等があれば有難い。また子供が3人いるので1人にかかる費用も限られてしまうので、補助があれば本当に助かる。検討の程よろしく。【4年生】
10. その他(15)	<ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページが見にくい。知りたい情報がみつけにくくて、イライラしてしまう。【2年生】 ・このアンケートが長過ぎるので、所要時間 10 分など、最初に示しておくべきだと思う。忙しいのでこちらにかかる時間すら勿体ないと思ってしまった。【3年生】

IV 調査票

1 就学前児童の保護者

🏘️ 枚方市



子ども・子育て支援に関するアンケート調査 (就学前児童)



就学前のお子さんの保護者の皆様へ
～ご協力をお願いします～

答えたくない質問に答える必要はありません。
答えに迷う場合には、できるだけ近い答えを選ぶようにしてください。
考え込まずに気軽にお答えください。

Webフォームからも
回答できます



ご提出のお願い

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に封入いただき、
3月11日（月）までに郵便ポストにご投函ください。

【この調査の問い合わせ先】

枚方市 子ども未来部 子ども青少年政策課
電話：072-841-1375（直通）
FAX：072-843-2244
メール：kodosei@city.hirakata.osaka.jp



1. 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてお伺いします。

問1 封筒のあて名のお子さん（今後は「お子さん」と表記します。）の生年月をお伺いします。

平成・令和・西暦（ ）年（ ）月生まれ

問2 お子さんを含め、子どもは何人いらっしゃいますか。
また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（令和5年4月1日現在の年齢）をご記入ください。
（令和5年4月2日以降にお生まれの場合は「0」（歳）と記入してください。）

（ ）人 末子の年齢（ ）歳

問3 お子さんとの同居・近居（概ね30分以内に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。
続柄はあて名のお子さんからみた関係です。

※(1) お子さんと同居している方(大人)に○をつけてください(○はいくつでも)

- 1. 父母(単身赴任や長期出張中の父母を含む)
- 2. 父(ひとり親家庭) 3. 母(ひとり親家庭)
- 4. 祖父 5. 祖母
- 6. その他の大人()

※(2) お子さんと同居している方(大人)に○をつけてください(○はいくつでも)

- 1. 祖父 2. 祖母
- 3. その他の大人()

問4 日頃、お子さんを預かってもらえる方はいますか。(○はいくつでも)

- 1. 日常的にご自身や配偶者の親、親せきに預かってもらえる
- 2. 緊急時もしくは用事の際にはご自身や配偶者の親、親せきに預かってもらえる
- 3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる
- 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる
- 5. いずれもない

問5 お子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。(○は1つ)

- 1. 父母とも 2. 主に母親 3. 主に父親
- 4. 主に祖父母 5. その他()

問6 このアンケートをご記入いただいた方はどなたですか(○は1つ)

- 1. 母親 2. 父親 3. その他()

問7 お住まいの地域の小学校区名をご記入ください。

()小学校区

小学校区が分からない場合、お住まいの町名をご記入ください
(丁目、番地は不要です)。

枚方市()

2. 保護者の就労状況についてお伺いします。

問 8 世帯の現在の経済的な暮らし向きについて、どう感じていますか。(○は1つ)

1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. 普通
4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある

問 9 「母親」の働いている状況についてお伺いします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。(○は1つ) <父子家庭の場合は記入不要です。⇒【問10】へ>

1. フルタイムで働いている
2. フルタイムで働いているが、今は休んでいる(産休・育休・介護休業中)
3. パート・アルバイトなどで働いている
4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる(産休・育休・介護休業中)
5. 以前は働いていたが、今は働いていない
6. これまで働いたことがない

⇒【問10】へ

※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

問 9-1 問9で「1.」～「4.」を選ばれた方にお伺いします。1週間・1日当たりどのくらい働きますか。家を出る時間と帰宅時間についてもお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

1週当たり()日 1日当たり()時間
家を出る時間()時台 帰宅時間()時台

※必ず(18)時台のように、24時間制でお答えください。

問 10 「父親」の働いている状況についてお伺いします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。(○は1つ) <母子家庭の場合は記入不要です。>

1. フルタイムで働いている
2. フルタイムで働いているが、今は休んでいる(育休・介護休業中)
3. パート・アルバイトなどで働いている
4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる(育休・介護休業中)
5. 以前は働いていたが、今は働いていない
6. これまで働いたことがない

※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

問 10-1 問10で「1.」～「4.」を選ばれた方にお伺いします。1週間・1日当たりどのくらい働きますか。家を出る時間と帰宅時間についてもお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

1週当たり()日 1日当たり()時間
家を出る時間()時台 帰宅時間()時台

※必ず(18)時台のように、24時間制でお答えください。

⇒「母親」「父親」ともにフルタイムで働いている方(休業中の方も含む)は【問13】へ

問 1 1 問9または問10で、「3.」または「4.」を選ばれた、パート・アルバイトなどで働いている方(休業中の方も含む)にお伺いします。フルタイムへの転換希望はありますか。

(1) 母親(○は1つ)

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイトなどで働き続けたい
4. パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親(○は1つ)

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイトなどで働き続けたい
4. パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

問 1 2 問9または問10で「5.」または「6.」を選ばれた、仕事をお持ちでない方にお伺いします。働きたい希望はありますか。カッコ内には具体的な数字を入れてください。

(1) 母親(○は1つ)

1. 子育てや家事などに専念したい(働く予定はない) ⇒【問13】へ
2. 1年より先、一番下の子どもが、()歳になったころに働きたい
3. すぐにも、もしくは1年以内に働きたい

→希望する働き方(いずれかに○)
ア. フルタイム
イ. パートタイム、アルバイトなど
→希望する就労時間(数字を記入)
1週当たり()日 1日当たり()時間

(2) 父親(○は1つ)

1. 子育てや家事などに専念したい(働く予定はない) ⇒【問13】へ
2. 1年より先、一番下の子どもが、()歳になったころに働きたい
3. すぐにも、もしくは1年以内に働きたい

→希望する働き方(いずれかに○)
ア. フルタイム
イ. パートタイム、アルバイトなど
→希望する就労時間(数字を記入)
1週当たり()日 1日当たり()時間



問 12-1 問12で「3.」を選ばれた、すぐにも、もしくは1年以内に働きたいと考えておられる方にお伺いします。就労希望がありながら、現在働いていない主な理由は何ですか。(○は1つ)

1. 利用できる保育サービス(※)(保育所(園)等への入園)がない
2. 利用できる保育サービス(※)(保育所(園)等への入園以外)がない
3. 働きながら子育てできる適当な仕事がない
4. 自分の知識・能力にあう仕事がない
5. 配偶者の育児・家事への協力が得られない
6. 働くことに家族や親族の理解が得られない
7. 職場において、周りの協力が得られない
8. その他()

(※)この調査において「保育サービス」とは、【認可保育所、認定こども園、小規模保育施設、企業主導型保育施設、認可外保育施設、幼稚園(通常の保育時間終了後に預かるサービスを含む)、一時預かり、ファミリーサポートセンター、臨時保育室で、定期的に受けているサービス】とします。
以下の設問も同様の定義です。サービスの説明については、【問19-1】をご参照ください。

3. 子育てについてお伺いします。

問 1 3 希望する子どもの数は何人ですか。
()人

問 1 4 希望する子どもの数が現在の子ども数より多い方にお伺いします。現在の家庭・教育環境等において、もう一人子どもを生ま育てようと思いませんか。(○は1つ)
1. 生ま育てようと思う ⇒【問15】へ
2. 生ま育てようとは思わない

問 14-1 問14で「2.」を選ばれた方にお伺いします。どのような環境を整えればもう一人子どもを生ま育てようと思いませんか。最もあてはまる答えの番号に○をつけてください。(○は1つ)
1. 保育環境 2. 経済的な環境 3. 労働環境
4. 教育環境 5. 家庭環境(家族の理解等)
6. その他()

問 1 5 子育てについて、どのように感じていますか(○は1つ)
1. 楽しいと感じることが多い
2. 楽しいと感じることつらいと感じることが同じくらい
3. つらいと感じることが多い
4. わからない
5. その他()

問 1 6 子育てをする中で、どのような支援・対策が重要だと感じますか。(○は3つまで)

1. 保育サービス(※)の充実
2. 地域における子育て支援サービスの充実(地域子育て支援拠点事業(※))
3. 子育て支援のネットワークづくりへの支援
4. 地域における親子の交流の場の充実(ふれあいルーム(※)など)
5. 訪問型の支援サービスの充実
6. 健やかな妊娠・出産に対する支援
7. 子どもの教育環境の充実
8. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
9. 仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備
10. 子どもを対象にした犯罪・事故の防止策の充実
11. 配慮を要する子どもに対する支援
12. 地域における子どもの安全な遊び場の整備(公園・広場など)
13. 子育てに困ったときの相談事業の充実
14. その他()

(※)この調査において「保育サービス」とは、【認可保育所、認定こども園、小規模保育施設、企業主導型保育施設、認可外保育施設、幼稚園(通常の保育時間終了後に預かるサービスを含む)、一時預かり、ファミリーサポートセンター、臨時保育室で、定期的に受けているサービス】とします。
以下の設問も同様の定義です。サービスの説明については、問19-1をご参照ください。

※地域子育て支援拠点事業…乳幼児の親子が自由に利用でき、育児相談をしたり、子育て情報を得ることができる室内の遊び場、「つどいの広場」「子育て支援センター」などよばれています。市内10保育所(園)等、ファミリーサポートひらかた、広場さぶり、すこやか広場・きょうぶんで実施。
※ふれあいルーム…図書館などで本とふれあいながら親子の交流ができる場。



問 17 子育てに関して、あなたが日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。また、「2.」を選ばれた場合は、具体的な内容に○をつけてください。

(1) 子どもに関すること (○はいくつでも)

1. 病気や健康に関すること
2. 発育発達に関すること

以下もお選びください。(○はいくつでも)

ア. 友達とうまくつきあうことができない	イ. 集団生活に入れない
ウ. 言葉の発達が遅い	エ. 興味や関心ごとが偏っている
オ. 落ち着きがない	カ. かんしゃくをよく起こす
キ. その他()	

3. 食事や栄養に関すること
4. 育児のことがよくわからないこと
5. 子どもとの接し方に自信が持てないこと
6. 子どもと過ごす時間が十分取れないこと
7. 子どもの教育に関すること
8. 子どもの友達つきあひに関すること
9. 子どもの登園拒否などに関すること
10. その他()
11. 特にな

(2) あなたに関すること (○はいくつでも)

1. 子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと
2. 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと
3. 子育てが大変なことを親族、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと
4. 自分の子育てについて親族、近隣の人、職場など周りの見る目が気になること
5. 子育てに関して話し相手や相談相手がないこと
6. 保護者同士のつきあひに気がつかうこと
7. 仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
8. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
9. 自分は子育てに向いていない(のではないかと思う)こと
10. 子どもをかわいいと思えないこと
11. 子育てによる身体の疲れが大きいこと
12. 子育てにかかる出費がかさむこと
13. 住居がせまいこと
14. その他()
15. 特にな

問 18 お子さんの子育てや健康や教育について、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(○は1つ)

1. いる/ある ⇒【問 18-1】へ
2. ない ⇒【問 19】へ

問 18-1 問 18で「1.」を選ばれた方にお伺いします。気軽に相談できるのは、どのような人や場所などですか。(○はいくつでも)

1. 配偶者
2. ご自身や配偶者の親、親せき、家族
3. 近所の人
4. 同じくらいの子どもを持つ友人(子育てサークルなどのメンバーも含む)
5. その他の友人・知人
6. 保健所・保健センター(母子保健・健診)
7. 枚方市子どもの育ち見守り室「ととな」(※)・大阪府子ども家庭センター
8. 保育所
9. 幼稚園
10. 認定こども園
11. ひらかた子ども発達支援センター(※)
12. 地域における子育て支援サービスの場(地域子育て支援拠点、一時預かりなど)
13. 民生委員・児童委員
14. かかりつけ医
15. 自ら育児書、家庭の医学書、インターネットで調べる
16. スマホやインターネットの交流サイト
17. その他()

※枚方市子どもの育ち見守り室「ととな」…親子関係、子育て、友達のことなど18歳未満の子どもについての「家庭児童相談」(旧枚方市家庭児童相談所)、15歳からおおむね39歳までのひきこもりや不登校、就労についての「ひきこもり等子ども・若者相談」、ひとり親家庭の自立に向けた「ひとり親相談」を受ける枚方市の総合相談窓口。

※ひらかた子ども発達支援センター…障害や発達に関わる相談に幅広く応じます。子どもの特性や支援の必要性を提案し、成長段階に応じて一貫した支援を行えるようコーディネートします。

4. 保育サービスの利用についてお伺いします。

問 19 平日(月曜日～金曜日)に、「幼稚園」や「保育所」、「認定こども園」などの子どもを預かる施設(問19-1に記載の施設)やサービスを「定期的に」利用されていますか。(○は1つ)

1. 利用している
2. 利用していない ⇒【問 19-4】へ

問 19-1

問 19 で「1. 利用している」を選ばれた方にお伺いします。お子さんは、現在、どのような施設やサービスを利用していますか。年間を通じて平日に定期的に利用されているサービスに、○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 幼稚園(通常の就園時間(概ね 9:00~14:00)だけ利用している)
2. 幼稚園+預かり保育(通常の就園時間に加えて、時間を延長し、定期的に預かり保育も利用している)
3. 認可保育所
4. 認定こども園(幼稚園として利用している)
5. 認定こども園(幼稚園として利用し、定期的に預かり保育も利用している)
6. 認定こども園(保育所として利用している)
7. 小規模保育施設
8. 企業主導型保育施設
9. その他の認可外の保育施設
10. 一時預かり
11. ファミリーサポートセンター
12. その他()



※保育サービスの説明については、下記を参照

保育サービス	説明
幼稚園	小学校以降の教育の基礎を培うための幼児期の教育を行う施設
認可保育所	就労等のために保育が必要な保護者に代わって乳幼児を保育する市が認可した施設
認定こども園	就学前の子どもに教育・保育を一体的に提供する施設 保護者の就労の有無に関わらず利用できる。本市には、幼稚園型認定こども園と幼 保連携型認定こども園がある。
小規模保育施設	3歳未満の乳幼児を対象とした定員6人以上 19 人以下の保育施設
企業主導型保育施設	企業が従業員の働き方に応じた柔軟な保育サービスを提供するために設置した認 可外保育施設 施設によっては、地域の子どもも受け入れることができる。
一時預かり	冠婚葬祭や育児疲れ等の理由で、保育所で一時的に子どもを預かるサービス
ファミリー サポートセンター	有償ボランティアによる子どもの預かりや送迎を受けられる事業
臨時保育室	希望する認可保育所(園)等を可能な限り、複数園申し込んだが、待機となっている 児童で保育所(園)等への入所までの間、一時的に利用できる施設

問 19-2

問 19 で「1. 利用している」を選ばれた方にお伺いします。現在利用している幼稚園や保育所、認定こども園などについて、もっとも多いパターンとして、1週間に、また、1日あたりどのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。カッコ内に具体的な数字を入れてください。
※時間は、必ず(例)9時台~19時台のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

1週当たり()日
1日当たり()時間 ()時台~()時台

(2) 希望

1週当たり()日
1日当たり()時間 ()時台~()時台

問 19-3

問 19 で「1. 利用している」を選ばれた方にお伺いします。

幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用されている主な理由は何ですか。(○は1つ)

1. 保護者が現在就労している
2. 保護者が就労予定である/求職中である
3. 保護者が家族・親族などを介護しなければならない
4. 保護者に病気や障害がある
5. 保護者が学生である
6. 子どもの教育や発達のため
7. 子どもが集団の中で遊べる場所であるため
8. 育児疲れやリフレッシュのため
9. その他()

問 19-4

問 19 で「2. 利用していない」を選ばれた方にお伺いします。
保育サービスを利用していない主な理由は何ですか。(○は1つ)

1. 子どもの母親か父親がみている
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 預けたいが、保育サービスに空きがない
5. 預けたいが、経済的な理由でサービスを利用できない
6. 預けたいが、場所や時間帯の条件が整わない
7. 預けたいが、サービスの質など、納得できるサービスがない
8. 子どもがまだ小さい(()歳くらいになったら預けようと考えている)
9. どんなサービスがあるか知らない
10. その他()

問 2 0 幼稚園や保育所、認定こども園などを、現在利用している、利用していないにかかわらず、お子さんに平日に「定期的に」利用させたいもの(継続も含む)をお答えください。(○はいくつまで)

1. 幼稚園(通常の就園時間(概ね 9:00~14:00)だけ利用)
2. 幼稚園+預かり保育(通常の就園時間に加えて、時間を延長し、定期的に預かり保育も利用している)
3. 認可保育所
4. 認定こども園(幼稚園として利用)
5. 認定こども園(幼稚園として利用し、定期的に預かり保育も利用している)
6. 認定こども園(保育所として利用)
7. 小規模保育施設
8. 企業主導型保育施設
9. その他の認可外の保育施設
10. 一時預かり
11. ファミリーサポートセンター
12. その他()
13. 特にない

※上記の保育サービスの説明については、【問 19-1】を参照

問 20-1 問 20 で選択したサービスの利用を希望する主な理由は何ですか。(○は3つまで)

- ア. 保護者が現在就労している
- イ. 保護者が現在就労しているが、もっと日数や時間を増やしたい
- ウ. 保護者が就労予定である/求職中である
- エ. そのうち就労したいと考えている
- オ. 育児疲れやリフレッシュのために子どもを預けたい
- カ. 子どもが集団の中で遊べる場所として利用したい
- キ. 子どもの教育や発達のため
- ク. 保護者が家族・親族などを介護しなければならない
- ケ. 保護者に病気や障害がある
- コ. 保護者が学生である/就学したい
- サ. その他()

問 20-2 問 20 で「1.」「2.」「4.」「5.」のいずれか(幼稚園を利用)に○をつけた方で、「3.」または「6.」~「12.」のいずれかにも○をつけた方にお伺いします。

他の施設より、特に幼稚園または認定こども園(幼稚園として利用)の利用を強く希望しますか。(○は1つ)

1. はい
2. いいえ

質問が多く大変お手数をおかけしますが、最後までご記入
いただきますようお願いいたします。



5. 土曜日と日曜日・祝日の保育についての希望をお伺いします。

問 2 1 土曜日や日曜日・祝日に、幼稚園や保育所、認定こども園などの利用希望はありますか。(一時的な利用は除きます)(○は1つ)希望がある場合は、カッコ内に具体的な数字を入れてください。
※時間は、必ず(例)9時台~19時台のように24時間制でご記入ください。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
利用したい時間帯 ()時台~()時台
3. 月に1~2回は利用したい
利用したい時間帯 ()時台~()時台

(2) 日曜日・祝日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
利用したい時間帯 ()時台~()時台
3. 月に1~2回は利用したい
利用したい時間帯 ()時台~()時台

問 2 2 「幼稚園」または「認定こども園(幼稚園として利用)」を利用されている方にお伺いします。夏休み・冬休みなど長期休業中の利用を希望しますか。(○は1つ)希望がある場合は、カッコ内に具体的な数字を入れてください。

※時間は、必ず(例)9時台~17時台のように24時間制でご記入ください。

※これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。

1. 利用する必要はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日使いたい
利用したい時間帯 ()時台~()時台
3. 休みの期間中、週に数日利用したい
利用したい時間帯 ()時台~()時台

6. 病児・病後児の保育の利用についてお伺いします。

問 2 3 問19-1で平日に定期的に幼稚園や保育所、認定こども園などを利用していると答えた保護者の方にお伺いします。この1年間に、お子さんが病気やけがで、幼稚園や保育所、認定こども園などを利用できなかったことはありますか。(○は1つ)

1. あった ⇒ 【問23-1】へ
2. なかった ⇒ 【問24】へ



問 23-1 問 23 で「1. あった」を選ばれた方にお伺いします。この1年間で、お子さんが病気で幼稚園や保育所、認定こども園などを利用できなかった場合の対処方法とその日数は何日くらいですか。その日数についてカッコ内に具体的な数字を入れてください。(半日程度についても1日としてカウントしてください) (〇はいくつでも)

対処方法	日数(年間)
ア. 父親が仕事を休んだ	()日
イ. 母親が仕事を休んだ	()日
ウ. ご自身や配偶者・パートナーの親、親せき、友人・知人にみてもらった(同居している場合も含む)	()日
エ. 働いていない父親が母親が子どもをみた	()日
オ. 病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した	()日
カ. 民間事業者による訪問型サービス(ベビーシッター)を利用した	()日
キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	()日
ク. その他()	()日

問 23-2 問 23-1 で「ア.」「イ.」を選ばれた方にお伺いします。そのときに「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。(〇は1つ) 希望がある方はカッコ内に具体的な数字を入れてください。

※病気の子どものための保育施設などの利用には、一定の利用料がかかり、また、利用前にかかりつけの診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要な場合があります。

1. できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい →()日
2. 利用したいと思わない ⇒ 【問 23-4】へ

問 23-3 問 23-2 で「1. できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」を選ばれた方にお伺いします。利用する場合、下記のいずれのサービスが望ましいと思われますか。(〇はいくつでも)

1. 幼稚園・保育所などに併設した施設で子どもをみてるサービス
2. 小児科に併設した施設で子どもをみてるサービス
3. 地域子育て支援拠点などの小規模な施設で子どもをみてるサービス
4. ファミリーサポートセンターに登録している近所の人などがその自宅などで子どもをみてるサービス
5. 民間事業者などが自宅を訪問し、子どもをみてるサービス
6. その他()

問 23-4 問 23-2 で「2. 利用したいと思わない」を選ばれた方にお伺いします。その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 病気の子どもを家族以外の人にみてもらうのは不安である
2. 病気の子どもは家族がみるべきである
3. サービスの質に不安がある
4. 施設のある場所や利用できる時間・日数など、サービスの使い勝手がよくない
5. 利用料が高い
6. 利用料がわからない
7. 父母が仕事を休んで対応できるため
8. その他()
9. 特に理由はない

12

7. 一時預かりの利用についてお伺いします。

問 2 4 この1年間に、私用、ご自身やご家族の通院、不定期な仕事やリフレッシュなどを理由として、子どもを預かるサービスを「不定期に」利用しましたか。(〇はいくつでも)
1年間のおおよその利用日数についてカッコ内に具体的な数字を入れてください。

※幼稚園や保育所、認定こども園などの定期的な利用や子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。

利用したサービス	日数(年間)
1. 一時預かり(私用などの理由で、保育所などで一時的に子どもを保育するサービス)	()日
2. 幼稚園や認定こども園の預かり保育(幼稚園等に通う子どもを対象にして、通常の就園時間を延長して預かるサービスを不定期に利用している場合)	()日
3. ファミリーサポートセンター(有償ボランティアによる子どもの預かりや送迎を受けられる事業)	()日
4. 夜間養護事業:トワイライトステイ(仕事などの理由により、児童養護施設などで休日や夜間に子どもを一時的に預かるもの)	()日
5. ベビーシッター	()日
6. その他()	()日
7. 利用していない	()日

問 2 5 私用、ご自身やご家族の通院、不定期な仕事やリフレッシュなどを理由に、保育所などで実施されている「一時預かり」について、1年間に何日くらいを利用したいと思えますか。(〇は1つ) また、利用したい場合、利用したい目的ごとにカッコ内に日数を記入し、合計のカッコ内についても記入してください。

※サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

利用したい目的	合計()日
1. 利用したい	()日
ア. 買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ	()日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など	()日
ウ. 不定期な仕事	()日
エ. その他()	()日
2. 利用する必要はない ⇒ 【問 26】へ	()日

問 25-1 問 25 で「1. 利用したい」を選ばれた方にお伺いします。問 25 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの子育て支援サービスが望ましいと思えますか。(〇はいくつでも)

※サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

1. 幼稚園・保育所などの大規模施設で子どもをみてるサービス
2. 地域子育て支援拠点などの小規模な施設で子どもをみてるサービス
3. ファミリーサポートセンターに登録している近所の人などがその自宅などで子どもをみてるサービス
4. 民間事業者などが自宅を訪問し、子どもをみてるサービス
5. その他()

13

8. 宿泊を伴う一時預かりの利用についてお伺いします。

問26

保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけて年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

短期入所生活援助事業(ショートステイ)(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください。(利用したい泊数の合計と、目的別の内訳泊数を枠内に具体的な数字を入れてください。)

なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

利用目的	泊数(年間)
1. 利用したい	計()泊
ア. 冠婚葬祭	()泊
イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	()泊
ウ. 保護者や家族の病気	()泊
エ. その他()	()泊
2. 利用する必要はない	

9. 令和6年4月から小学校へ入学するお子さんの保護者の方にお伺いします。

問27

小学校低学年(1~3年生)のうちの、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(○はいくつでも)また選んだ項目について、1週間(またはひと月)の希望日数について、カッコ内に数字を入れてください。

⇒該当のお子さん以外は【問31】へ

※「留守家庭児童会室」の場合は、利用時間も記入してください。時間は(18)時までのように24時間制で記入してください。

1. 自宅	週()日くらい
2. 子どもの祖父母・親せきの家、友人・知人の家	週()日くらい
3. 留守家庭児童会室(※)	週()日くらい
→ 下校時から()時まで	
4. 放課後オープンスクエア(※)	週()日くらい
5. 習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)	月()日くらい
6. ファミリーサポートセンター	月()日くらい
7. その他(生涯学習市民センター、公園など)	月()日くらい

※「留守家庭児童会室」…本市では児童会などよばれています。保護者が仕事などで昼間に自宅にいない場合などに、保育を必要とする子ども達に適切な遊び及び生活の場を提供し、健全な育成を図るものです。利用にあたっては、保育料が発生します。

※「放課後オープンスクエア」…すべての就学児童を対象として、子どもたちが自主的に、自由に遊んだり、学んだりできる放課後の居場所として、放課後、土曜日、三期休業日に学校施設の一部を令和5年度から全校で開放しています。(留守家庭児童会室のような預かりを目的とした事業とは異なります。)



問28

小学校高学年(4~6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(○はいくつでも)また、選んだ項目について、1週間(またはひと月)の希望日数について、カッコ内に数字を入れてください。

※「留守家庭児童会室」の場合は、利用時間も記入してください。時間は(18)時のように24時間制で記入してください。

※かなり先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週()日くらい
2. 子どもの祖父母・親せきの家、友人・知人の家	週()日くらい
3. 留守家庭児童会室	週()日くらい
→ 下校時から()時まで	
4. 放課後オープンスクエア	週()日くらい
5. 習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)	月()日くらい
6. ファミリーサポートセンター	月()日くらい
7. その他(生涯学習市民センター、公園など)	月()日くらい

⇒【問27】または【問28】で「3. 留守家庭児童会室」を選ばれた方は【問29】へ、

それ以外の方は【問31】へ

問29

問27または問28で「3. 留守家庭児童会室」を選ばれた方にお伺いします。土曜日、日曜日・祝日に、留守家庭児童会室の利用希望はありますか。(それぞれについて○は1つ)

※利用したい時間帯を、カッコ内に(9時台~17時台)のように24時間制で入れてください。

(1) 土曜日

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい
利用したい時間帯()時台~()時台
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい
利用したい時間帯()時台~()時台
3. 利用する必要はない

(2) 日曜日・祝日

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい
利用したい時間帯()時台~()時台
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい
利用したい時間帯()時台~()時台
3. 利用する必要はない

問30

問27または問28で「3. 留守家庭児童会室」を選ばれた方にお伺いします。お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休業期間中の留守家庭児童会室の利用希望はありますか。

(○は1つ)

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい
利用したい時間帯()時台~()時台
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい
利用したい時間帯()時台~()時台
3. 利用する必要はない

10. 地域子育て支援拠点事業の利用についてお伺いします。

※地域子育て支援拠点事業…乳幼児の親子が自由に遊び、交流でき、育児相談のほか子育て情報を得ることができる室内の遊び場です。市内 10 保育所(園)等や、ファミリーポートひらかた(招提南町)、広場さぶり(サブリ村野内)、すこやか広場・きょうぶん(教育文化センター内)で実施しています。

問31 地域子育て支援拠点事業についてお伺いします。現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。(○はい/×いいえ) また、おおよその利用回数について、カッコ内に数字を入れてください。

1. 地域子育て支援拠点事業
1週間あたり()回 または 1ヶ月あたり()回程度

2. その他、市が実施している類似の事業
(具体名:)
1週間あたり()回 または 1ヶ月あたり()回程度

3. 利用していない

問32 地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。(○はい/×いいえ) 希望がある方はカッコ内に数字を入れてください。

1. 利用していないが、今後利用したい
1週間あたり()回 または 1ヶ月あたり()回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
1週間あたり、さらに()回
または 1ヶ月あたり、さらに()回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない ⇒【問33】へ

問32-1 問32で「1.」、「2.」を選ばれた方にお伺いします。地域子育て支援拠点事業を利用するにあたって、どのようなサービスを利用したいですか。(○は3つまで)

1. 常設の子育て親子の交流の場・遊びの場の提供

2. 子育てに関する相談・援助

3. 地域の子育て関連情報の提供

4. 子育てに関する講習

5. 地域に向向いての交流の場の提供(出張ひろば)

6. 保育所や幼稚園などの入所・利用に関する相談

7. さまざまな世代との交流の場の提供

8. 家庭への訪問支援

9. その他()



11. 育児休業制度の利用についてお伺いします。

問33 封筒のあて名のお子さんが生まれたときに、母親、父親は育児休業をとられたかをお伺いします。また、取らなかった(「3.」「4.」を選択)場合、その理由について下の【表】から選び、記号を記入してください。

(1) 母親(○は1つ)

1. 働いていなかった
2. 育児休業を取った、あるいは、今取っている
→ 取得(予定)日数(右の【表】の記号を選択) ()

3. 育児休業を取らずに働いた
→ その理由(下の【表】の記号を選択) ()

4. 育児休業を取らずに離職した
→ その理由(下の【表】の記号を選択) ()

【表】

a. 1ヶ月未満
b. 1~2ヶ月未満
c. 2~3ヶ月未満
d. 3~4ヶ月未満
e. 4~5ヶ月未満
f. 5~6ヶ月未満
g. 6~7ヶ月未満
h. 7~8ヶ月未満
i. 8~9ヶ月未満
j. 9~10ヶ月未満
k. 10~11ヶ月未満
l. 11ヶ月~1年未満
m. 1年~2年未満
n. 2年以上

(2) 父親(○は1つ)

1. 働いていなかった
2. 育児休業を取った、あるいは、今取っている
→ 取得(予定)日数(右の【表】の記号を選択) ()

3. 育児休業を取らずに働いた
→ その理由(下の【表】の記号を選択) ()

4. 育児休業を取らずに離職した
→ その理由(下の【表】の記号を選択) ()

【表】「3.」「4.」を選ばれた場合の理由(理由については複数選択可)

ア. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった

イ. 仕事が多忙だった

ウ. 出産後すぐに仕事に復帰したかった

エ. 仕事に戻るのが難しそうだった

オ. 昇給・昇格などが遅れそうだった

カ. 収入減となり、経済的に苦しくなる

キ. 保育所などに預けることができた

ク. 配偶者が育児休業制度を利用した

ケ. 配偶者が家にいる、ご自身や配偶者の親などにみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった

コ. 子育てや家事に専念するため

サ. 職場に育児休業の制度がなかった

シ. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった

ス. 自営業や会社役員等のため、育児休業を取れなかった

セ. 育児休業を取れることを知らなかった

ソ. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らなかった

タ. その他()



問 33-1 問33で「2.」を選ばれた、育児休業を取られた方にお伺いします。

育児休業後に、職場に復帰しましたか。

(1) 母親が育児休業を取られた場合(○は1つ)

- 1. 育児休業を取ったあと、職場に復帰した
- 2. 現在も育児休業中である ⇒ 問33-3へ
- 3. 育児休業後に仕事をやめた ⇒ 問34へ

(2) 父親が育児休業を取られた場合(○は1つ)

- 1. 育児休業を取ったあと、職場に復帰した
- 2. 現在も育児休業中である ⇒ 問33-3へ
- 3. 育児休業後に仕事をやめた ⇒ 問34へ

問 33-2 問33-1で「1.」を選ばれた、育児休業後に、職場復帰された方にお伺いします。

「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで育児休業を取りたかったですか。右の【表】から選び、カッコ内に記号を記入してください。

(1) 母親

「実際」の取得期間	()	【表】 a. 0歳1ヶ月 b. 0歳2ヶ月 c. 0歳3ヶ月 d. 0歳4ヶ月～0歳6ヶ月 e. 0歳7ヶ月～0歳9ヶ月 f. 0歳10ヶ月～1歳 g. 1歳1ヶ月～1歳3ヶ月 h. 1歳4ヶ月～1歳6ヶ月 i. 1歳7ヶ月～1歳9ヶ月 j. 1歳10ヶ月～2歳 k. 2歳1ヶ月～2歳3ヶ月 l. 2歳4ヶ月～2歳6ヶ月 m. 2歳7ヶ月～2歳9ヶ月 n. 2歳10ヶ月以上
「希望」の取得期間<職場の育休制度の期間内> (○は1つ) 1. 満1歳まで 2. 出生後最初の4月の一斉入所時 3. 出生後2度目の4月の一斉入所時 4. その他()	()	

(2) 父親

「実際」の取得期間	()	【表】 a. 0歳1ヶ月 b. 0歳2ヶ月 c. 0歳3ヶ月 d. 0歳4ヶ月～0歳6ヶ月 e. 0歳7ヶ月～0歳9ヶ月 f. 0歳10ヶ月～1歳 g. 1歳1ヶ月～1歳3ヶ月 h. 1歳4ヶ月～1歳6ヶ月 i. 1歳7ヶ月～1歳9ヶ月 j. 1歳10ヶ月～2歳 k. 2歳1ヶ月～2歳3ヶ月 l. 2歳4ヶ月～2歳6ヶ月 m. 2歳7ヶ月～2歳9ヶ月 n. 2歳10ヶ月以上
「希望」の取得期間<職場の育休制度の期間内> (○は1つ) 1. 満1歳まで 2. 出生後最初の4月の一斉入所時 3. 出生後2度目の4月の一斉入所時 4. その他()	()	

問 33-3 問33-1で「2.」を選ばれた、現在も育児休業中の方、お子さんが1歳未満の方にお伺いします。

お子さんが1歳になった時点で、必ず保育所等に預けることができれば、1歳になるまで育児休業を取りますか。または、保育所等に預けられたとしても、1歳になる前に復帰しますか。

(1) 母親が育児休業中の場合(○は1つ)

- 1. 1歳になるまで育児休業を取りたい
- 2. 1歳になる前に復帰したい
- 3. その他()

(2) 父親が育児休業中の場合(○は1つ)

- 1. 1歳になるまで育児休業を取りたい
- 2. 1歳になる前に復帰したい
- 3. その他()

12. 子育て支援サービスについてお伺いします。

問 3 4 子育て支援サービスについて認知度、利用希望についてお伺いします。下記の1～16のサービスごとにA・Bの両方について「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

サービス名	A 知っている	B 今後利用したい
1) マタニティスクール(両親教室)	はい いいえ	はい いいえ
2) 産後ママ安心ケアサービス(※)	はい いいえ	はい いいえ
3) 乳幼児健康相談	はい いいえ	はい いいえ
4) 離乳食・幼児食講習会	はい いいえ	はい いいえ
5) 保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい いいえ	はい いいえ
6) ふれあいルーム(図書館などで本とふれあいながら親子の交流ができる場)	はい いいえ	はい いいえ
7) 子ども食堂(地域において子どもに食事やだんらんの場を提供する場)	はい いいえ	はい いいえ
8) 幼稚園の未就園児親子教室(地域の未就園児親子対象の幼稚園体験)	はい いいえ	はい いいえ
9) 子育てわくわくサイト(市内開催の子育てイベント等を市のHPに掲載)	はい いいえ	はい いいえ
10) 子育て応援アプリ「スマイル☆ひらかたっ子」	はい いいえ	はい いいえ
11) 枚方市子どもの育ち見守り室「ととな」の家庭児童相談等	はい いいえ	はい いいえ
12) 子育ていつでも電話相談(※)	はい いいえ	はい いいえ
13) 子育てサロン(各小学校区等開催の乳幼児親子を対象とした取り組み)	はい いいえ	はい いいえ
14) 北河内こども夜間救急センター・休日急病診療所	はい いいえ	はい いいえ
15) ひらかた健康ほっとライン24(※)	はい いいえ	はい いいえ
16) 小児救急電話相談(※)	はい いいえ	はい いいえ

※産後ママ安心ケアサービス…出産した病院から退院した後、赤ちゃんのお世話を学んだり、お母さんの不安を和らげるために産科の医療機関及び助産所で、宿泊や日帰りによるケアを提供するサービス

※子育ていつでも電話相談(TEL:072-850-7337)…子育てに関する悩みなどさまざまなことについて、夜間・休日にも気軽に相談できる電話窓口

※ひらかた健康ほっとライン24(TEL:0120-513-080)…通話料無料・24時間年中無休で、看護師や医師等に子育てや出産、健康、医療に関する相談ができる電話窓口

※小児救急電話相談(TEL: #8000)…子どもの夜間急病時、小児科医の支援のもと、看護師が電話相談に応じるサービス

問35 子育てに関する情報をどのような方法で入手していますか。(○はいくつでも)

1. 市の広報やパンフレット
2. 市のホームページ(子育てわくわくサイトなど)
3. 子育て応援アプリ「スマイル☆ひらかたっ子」
4. 保育所(園)
5. 幼稚園
6. 認定こども園
7. 親、きょうだいなど
8. 友人、知人など
9. テレビ、新聞など
10. インターネット(市のホームページ以外)
11. 情報の入手手段がわからない
12. その他()

13. 仕事と子育ての両立、仕事と生活の調和(ワークライフバランス)についてお伺いします。

問36 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。平日と休日それぞれについてカッコ内に時間をご記入ください。また、その時間は十分だと思いますか。(○は1つ)

(1) 母親

ア. 平日

子どもと一緒に過ごす時間 1日当たり()時間

1. 十分だと思う
2. まあまあ十分だと思う
3. あまり十分だと思わない
4. 不十分だと思う
5. わからない

イ. 休日

子どもと一緒に過ごす時間 1日当たり()時間

1. 十分だと思う
2. まあまあ十分だと思う
3. あまり十分だと思わない
4. 不十分だと思う
5. わからない

(2) 父親

ア. 平日

子どもと一緒に過ごす時間 1日当たり()時間

1. 十分だと思う
2. まあまあ十分だと思う
3. あまり十分だと思わない
4. 不十分だと思う
5. わからない

イ. 休日

子どもと一緒に過ごす時間 1日当たり()時間

1. 十分だと思う
2. まあまあ十分だと思う
3. あまり十分だと思わない
4. 不十分だと思う
5. わからない

問37 仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは何ですか。(○はいくつでも)

1. 残業や出張があること
2. 子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてる人がいないこと
3. 配偶者の協力が得られないこと
4. 家族や親族の理解が得られないこと
5. 職場に子育てを支援する制度がないこと(育児休業、子どもの看護休暇、短時間勤務等)
6. 職場の理解や協力が得られないこと
7. 子どものほかに親などの介護をしなければならないこと
8. 子どもを預かってくれる保育所や留守家庭児童会室等が見つからないこと
9. 子どもと接する時間が少ないこと
10. その他()

問38 あなたの家庭では、仕事と生活の調和が図られていると感じますか。(○は1つ)

1. 感じる
2. まあまあ感じる
3. あまり感じない
4. 感じない
5. わからない

14. 行政サービスへの要望についてお伺いします。

問39 行政(市、府、国)に対して、子育てサービスの現状やあなたの子育て経験などから、どのような支援策の充実を図ってほしいですか。(○はいくつでも)

1. 親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する
2. 親子が安心して集まれる保育所や幼稚園等の園庭開放等を充実する
3. 親子が安心して集まれるついで場の屋内の施設を整備する
4. 子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくり、歩道等の段差解消等の「子育てのバリアフリー化」に取り組む
5. 子育てに困ったときの相談体制を充実する
6. 子育て支援に関する情報提供を充実する
7. 子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識や技能の取得に役立つ機会や内容を充実を図る
8. 子育てサークル活動への支援を充実する
9. 子ども食堂への支援を充実する
10. 保育所や留守家庭児童会室等の働きながら子どもを預ける施設や定員を増やす
11. 一時預かり事業、夜間保育、休日保育など、多様な保育ニーズに対応できるサービスを充実する
12. きめ細やかな障害児保育制度の充実を図る
13. 児童虐待の防止と早期発見等を図るために関係機関と地域の連携を強化する
14. 幼稚園等の保育サービス(早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休み等の預かり保育など)を充実する
15. 家事専業の方など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスを増やす
16. 安心して子どもが医療機関(小児救急など)を利用できる体制を整備する
17. 子どもの安全を確保する対策を充実する
18. 子育て世帯への経済的援助の拡充(育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持等)
19. 公営住宅の優先入居等、住宅面での配慮や支援
20. その他()
21. 特になし

問 4 0 子どもが3人以上いる、もしくは多胎（双子や三つ子）の子どもがいる方にお伺いします。
⇒該当しない方は【問 4 1】へ

どのような支援やサービスがあれば、子育ての負担を軽減するのに有効だと思われるか、もっとも有効だと思われる番号に○をつけてください。（○は1つ）

1. 育児用品（紙おむつ、2人乗せベビーカーなど）への経済的支援
2. 外出時のタクシー利用への支援
3. 家事・育児等への訪問サービス支援
4. 同じ境遇にある母親や父親との交流
5. 多子・多胎育児経験者による相談支援
6. 幼稚園や保育所、認定こども園などに通園するのに必要な食材料、日用品、その他諸費用など無償化の対象とならない経費への支援
7. 理由を問わず子どもを一時的に預かってくれるサービス
8. 電車やバスなどの乗車時、エレベーター乗降時などの優先利用の仕組み
9. その他（ ）

問 40-1 子どもが3人以上いる、もしくは多胎（双子や三つ子）の子どもがいる方にお伺いします。
⇒該当しない方は【問 4 1】へ

2番目に有効だと思われる番号に○をつけてください。（○は1つ）

1. 育児用品（紙おむつ、2人乗せベビーカーなど）への経済的支援
2. 外出時のタクシー利用への支援
3. 家事・育児等への訪問サービス支援
4. 同じ境遇にある母親や父親との交流
5. 多子・多胎育児経験者による相談支援
6. 幼稚園や保育所、認定こども園などに通園するのに必要な食材料、日用品、その他諸費用など無償化の対象とならない経費への支援
7. 理由を問わず子どもを一時的に預かってくれるサービス
8. 電車やバスなどの乗車時、エレベーター乗降時などの優先利用の仕組み
9. その他（ ）

問 4 1 市の子ども・子育て支援施策へのご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

大変お忙しい中、多くの質問にも関わらず調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。



2 小学生児童の保護者

㊦ 枚方市



子ども・子育て支援に関するアンケート調査 (小学生)



小学生のお子さんの保護者の皆様へ
～ご協力をお願いします～

答えたくない質問に答える必要はありません。
答えに迷う場合には、できるだけ近い答えを選ぶようにしてください。
考え込まずに気軽にお答えください。

Web フォームからも
回答できます



ご提出のお願い

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に封入いただき、

3月11日（月）まで に郵便ポストにご投函ください。

【この調査の問い合わせ先】

枚方市 子ども未来部 子ども青少年政策課
電話：072-841-1375（直通）
FAX：072-843-2244
メール：kodosei@city.hirakata.osaka.jp



1. 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてお伺いします。

問1 封筒のあて名のお子さん（今後は「お子さん」と表記します。）の生年月をお伺いします。

平成・西暦（ ）年（ ）月生まれ

問2 お子さんを含め、子どもは何人いらっしゃいますか。
また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（令和5年4月1日現在の年齢）をご記入ください。
（令和5年4月2日以降にお生まれの場合は「0」（歳）と記入してください。）

（ ）人 末子の年齢（ ）歳

問3 お子さんとの同居・近居（概ね30分以内に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。
続柄はあて名のお子さんからみた関係です。

《(1) お子さんと同居している方(大人)に○をつけてください》（○はいくつでも）

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1. 父母（単身赴任や長期出張中の父母を含む） | 3. 母（ひとり親家庭） |
| 2. 父（ひとり親家庭） | 4. 祖父 |
| 5. 祖母 | 6. その他の大人（ ） |

《(2) お子さんと同居している方(大人)に○をつけてください》（○はいくつでも）

- | | |
|--------------|-------|
| 1. 祖父 | 2. 祖母 |
| 3. その他の大人（ ） | |

問4 日頃、お子さんを預かってもらえる方はいますか。（○はいくつでも）

1. 日常的にご自身や配偶者の親、親せきに預かってもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際にはご自身や配偶者の親、親せきに預かってもらえる
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる
5. いずれもない

問5 お子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。（○は1つ）

- | | | |
|----------|-----------|---------|
| 1. 父母とも | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父母 | 5. その他（ ） | |

問6 このアンケートをご記入いただいた方はどなたですか。（○は1つ）

- | | |
|-----------|-------|
| 1. 母親 | 2. 父親 |
| 3. その他（ ） | |

問7 お住まいの地域の小学校区名（市立）をご記入ください。

（ ）小学校区（市立）

小学校区が分からない場合、お住まいの町名をご記入ください。
（丁目、番地は不要です）

枚方市（ ）

問 8 お父さんの健康や教育など子育てについて、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(○は1つ)

1. いる/ある
2. ない ⇒【問9】へ

問 8-1 問8で「1. いる/ある」を選ばれた方にお伺いします。気軽に相談できるのは、どのような人や場所などですか。(○はいくつでも)

1. 配偶者 2. ご自身や配偶者の親、親せき、家族 3. 近所の人 4. 同じくらいの子どもの持つ友人 5. その他の友人・知人 6. 保健所・保健センター・北部リーフ 7. 枚方市子どもの育ち見守り室「となどな」(※)、大阪府子ども家庭センター 8. ひらかた子ども発達支援センター(※) 9. 小学校の先生 10. 留守家庭児童会室(※)の指導員 11. 習い事の先生(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) 12. 民生委員・児童委員 13. かかりつけ医 14. 自ら育児書、家庭の医学書、インターネットで調べる 15. スマホやインターネットの交流サイト 16. その他()
--

※枚方市子どもの育ち見守り室「となどな」…親子関係、子育て、友達のことなど 18歳未満の子どものための「家庭児童相談」、15歳からおおむね39歳までのひきこもりや不登校、就労についての「ひきこもり等子ども・若者相談」、ひとり親家庭の自立に向けた「ひとり親相談」を受ける枚方市の総合相談窓口。
 ※ひらかた子ども発達支援センター…障害や発達に関わる相談に幅広く応じます。子どもの特性や支援の必要性を提案し、成長段階に応じて一貫した支援を行えるようコーディネートします。
 ※「留守家庭児童会室」…本市では「児童会」などとよばれています。保護者が仕事などで昼間に自宅にいない場合などに、保育を必要とする子ども達に適切な遊び及び生活の場を提供し、健全な育成を図るものです。利用にあたっては、保育料が発生します。

2. 保護者の就労状況についてお伺いします。

問 9 世帯の現在の経済的な暮らし向きについて、どう感じていますか。(○は1つ)

1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. 普通
4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	

問 10 「母親」の働いている状況についてお伺いします。自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。(○は1つ)

<父子家庭の場合は記入不要です。⇒【問11】へ>

1. フルタイムで働いている 2. フルタイムで働いているが、今は休んでいる(産休・育休・介護休業中) 3. パート・アルバイトなどで働いている 4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる(産休・育休・介護休業中) 5. 以前は働いていたが、今は働いていない 6. これまで働いたことがない	⇒【問11】へ
--	---------

※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
 「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

問 10-1 問10で「1.」～「4.」を選ばれた方にお伺いします。1週間・1日当たりどのくらい働きますか。家を出る時間と帰宅時間についてもお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

1週当たり()日	1日当たり()時間
家を出る時間()時台	帰宅時間()時台

※必ず(18)時台のように、24時間制でお答えください。

問 11 「父親」の働いている状況についてお伺いします。自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。(○は1つ)

<母子家庭の場合は記入不要です。>

1. フルタイムで働いている 2. フルタイムで働いているが、今は休んでいる(育休・介護休業中) 3. パート・アルバイトなどで働いている 4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる(育休・介護休業中) 5. 以前は働いていたが、今は働いていない 6. これまで働いたことがない
--

※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
 「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

問 11-1 問11で「1.」～「4.」を選ばれた方にお伺いします。1週間・1日当たりどのくらい働きますか。家を出る時間と帰宅時間についてもお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

1週当たり()日	1日当たり()時間
家を出る時間()時台	帰宅時間()時台

※必ず(18)時台のように、24時間制でお答えください。

⇒「母親」「父親」ともにフルタイムで働いている方(休業中の方も含む)は【問14】へ

問 12 問10または問11で、「3.」または「4.」を選ばれた、パート・アルバイトなどで働いている方(休業中の方も含む)にお伺いします。フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ)

(1) 母親(○は1つ)

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイトなどで働き続けたい 4. パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい
--

(2) 父親(○は1つ)

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイトなどで働き続けたい 4. パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい
--

問 10 または問 11 で「5.」または「6.」を選ばれた、仕事をお持ちでない方にお伺いします。働きたい希望はありますか。カッコ内には具体的な数字を入れてください。

(1) 母親 (○は 1 つ)

1. 子育てや家事などに専念したい (働く予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが、()歳になったころに働きたい
3. すぐにも、もしくは1年以内に働きたい
→希望する働き方 (いずれかに○)
ア.フルタイム
イ.パートタイム、アルバイトなど
→1週当たり()日 1日当たり()時間

(2) 父親 (○は 1 つ)

1. 子育てや家事などに専念したい (働く予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが、()歳になったころに働きたい
3. すぐにも、もしくは1年以内に働きたい
→希望する働き方 (いずれかに○)
ア.フルタイム
イ.パートタイム、アルバイトなど
→1週当たり()日 1日当たり()時間

問 13-1 問 13 で「3.」を選ばれた、すぐにも、もしくは1年以内に働きたいと考えておられる方にお伺いします。就労希望がありながら、現在働いていない主な理由は何ですか。(○は 1 つ)

1. 留守家庭児童会堂などのサービスが利用できない
2. 働きながら子育てできる適当な仕事がない
3. 自分の知識・能力にあう仕事がない
4. 配偶者の育児・家事への協力が得られない
5. 働くことに家族や親族の理解が得られない
6. その他()

3. 子育てについてお伺いします。

問 14 希望する子どもの数は何人ですか。

()人

問 15 希望する子どもの数が現在の子ども数より多い方にお伺いします。現在の家庭・教育環境等においても、もう一人子どもを生み育てようと思いませんか。(○は 1 つ)

1. 生み育てようと思う ⇒ [問 16]へ
2. 生み育てようとは思わない

問 15-1 問 15 で「2.」を選ばれた方にお伺いします。どのような環境を整えばもう一人子どもを生み育てようと思いませんか。もっともあてはまる答えの番号に○をつけてください。(○は 1 つ)

- | | | |
|-----------|------------------|---------|
| 1. 保育環境 | 2. 経済的な環境 | 3. 労働環境 |
| 4. 教育環境 | 5. 家庭環境 (家族の理解等) | |
| 6. その他() | | |

問 16 子育てについて、どのように感じていますか。(○は 1 つ)

1. 楽しいと感じることの方が多い
2. 楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい
3. つらいと感じることの方が多い
4. わからない
5. その他()

問 17 子育てをする中で、どのような支援・対策が重要だと感じますか。(○は 3 つまで)

1. 放課後対策の充実
2. 子育て支援のネットワークづくり
3. 子どもの教育環境の充実
4. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
5. 仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備
6. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減
7. 配慮を要する子どもに対する支援
8. 地域における子どもの安全な遊び場の整備 (公園・広場など)
9. 子育てに困った時の相談事業の充実
10. その他()



問 1 8 子育てに関して、あなたが日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。また、「2.」を選ばれた場合は、具体的な内容に○をつけてください。

(1) 子どもに関すること(○はいくつでも)

1. 病気や健康に関すること	
2. 発育発達に関すること	
以下もお選びください。(○はいくつでも)	
ア. 友達とうまく付き合うことができない	イ. 集団生活に入れない
ウ. 言葉の発達が遅い	エ. 興味や関心ごとが偏っている
オ. 落ち着かない	カ. かんしゃくをよく起こす
キ. その他()	
3. 食事や栄養に関すること	
4. 子育てのことがよくわからないこと	
5. 子どもとの接し方に自信が持てないこと	
6. 子どもと過ごす時間が十分取れないこと	
7. 子どもの教育に関すること	
8. 子どもの友達づきあいに関すること	
9. 子どもの不登校などに関すること	
10. その他()	
11. 特になし	

(2) あなたに関すること(○はいくつでも)

1. 子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと
2. 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと
3. 子育てが大変なことを、親族、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと
4. 自分の子育てについて、親族、近隣の人、職場など周りの見る目が気になること
5. 子育てに関して話し相手や相談相手がいなこと
6. 保護者同士のつきあいに気をつかうこと
7. 仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
8. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
9. 自分は子育てに向いていない(のではないかと思う)こと
10. 子どもがかわいく思えないことがあること
11. 子育てによる身体の疲れが大きいこと
12. 子育てにかかる出費がかさむこと
13. 住居がせまいこと
14. その他()
15. 特になし

問 1 9 子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。(○は 1 つ) 感じる場合は、特に誰に支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰に支えてほしいと感じますか。下の【表】から選んでください。(複数選択可)

1. 感じる ⇒ 下の【表】から記号を選択 ()	
2. 感じない ⇒ 下の【表】から記号を選択 ()	
【表】	
ア. 近所の人	イ. 民生委員・児童委員
ウ. 自治会、子ども会などの地域団体の人	エ. 地域で活動する NPO などの人
オ. 市役所の職員	
カ. その他()	

4. 留守家庭児童会室の利用についてお伺いします。

問 2 0 平日(月曜日～金曜日)に、現在、留守家庭児童会室を利用されていますか。(○は 1 つ)

1. 利用している
2. 利用していない ⇒ [問 22]へ

問 2 1 問 20 で「1.」を選ばれた方にお伺いします。現在利用している留守家庭児童会室について、もっとも多いパターンとして、1週間当たり何日くらい、時間は何時頃まで利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。カッコ内に数字を入れてください。
※必ず(18)時頃のように 24 時間制で記入してください。

(1) 現在

1 週当たり () 日
利用時間 () 時頃まで

(2) 希望

1 週当たり () 日
利用時間 () 時頃まで
利用学年 () 年生まで

問 21-1 問 20 で「1.」を選ばれた方に引き続きお伺いします。留守家庭児童会室を利用されている主な理由は何ですか。(○は 1 つ)

おさんの身の回りの世話を主にしている方が
1. 働いている
2. ご自身や配偶者の親、親せきの介護をしている
3. 病気や障害がある
4. 学生である
5. その他()

問 21-2 問 20 で「1.」を選ばれた方に引き続きお伺いします。土曜日・日曜日・祝日に、留守家庭児童会室の利用希望はありますか。(一時的な利用は除きます) (○は 1 つ) 希望がある場合は、カッコ内に具体的な数字を入れてください。
※時間は、必ず(例)9 時台～18 時台のように 24 時間制でご記入ください。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい 利用したい時間帯()時台～()時台
3. 月に1～2回は利用したい 利用したい時間帯()時台～()時台

(2) 日曜日・祝日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい 利用したい時間帯()時台～()時台
3. 月に1～2回は利用したい 利用したい時間帯()時台～()時台

⇒ (1) または (2) で「3.」を選ばれた方は【問 21-3】へ、それ以外の方は【問 21-4】へ

問 21-3 問 21-2 で、「3.」を選ばれた方にお伺いします。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1.月に数回仕事が入るため
- 2.平日にすませられない用事をまとめてすませるため
- 3.ご自身や配偶者の親、親せきの介護や手伝いが必要なため
- 4.息抜きのため
- 5.その他()

問 21-4 問20で「1.」を選ばれた方にお伺いします。現在通っている留守家庭児童会室にどのようなことを希望しますか。(〇はいくつでも)

- 1.朝の利用時間を延長する
- 2.夕方利用時間を延長する
- 3.施設や設備を改善する
- 4.指導内容を工夫する
- 5.その他()
- 6.特になし

問 21-5 問20で「1.」を選ばれた方に引き続きお伺いします。小学5年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。(〇はいくつでも)
「1.」を選択した場合は、カッコ内に具体的な数字を入れてください。小学5・6年生のお子さんの保護者の方も、現状を踏まえてご回答ください。

- 1.留守家庭児童会室を利用したい
→小学()年生まで利用したい
- 2.放課後オープンスクエア(※)を利用したい
- 3.習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)に行く
- 4.自宅などで自由に過ごす
- 5.その他()

※「放課後オープンスクエア」…すべての就学児童を対象として、子どもたちが自主的に、自由に遊んだり、学んだりできる放課後の居場所として、放課後、土曜日、三期休業期に学校施設の一部を令和5年度から全校で開放しています。(留守家庭児童会室のような預かりを目的とした事業とは異なります。)

問 21-6 問20で「1.」を選ばれた方に引き続きお伺いします。今後、「放課後オープンスクエア」を利用したいですか。(〇は1つ)

- 1.利用したい ⇒【問 21-7】へ
- 2.利用したくない ⇒【問 23】へ

問 21-7 問 21-6 で「1.」を選ばれた方にお伺いします。どのような利用を希望しますか。(〇はいくつでも)

- 1.長期休業時(夏休みなど)だけ利用したい
- 2.希望する曜日だけ利用したい
- 3.就労日数(月 15 日以上)などの要件に関わらず利用したい
- 4.1回当たり有料でも利用したい
- 5.無料なら利用したい
- 6.留守家庭児童会室の開室時間と同程度の時間帯で利用したい
- 7.利用後(午後 5 時 00 分以降(冬期は午後 4 時 30 分))は、留守家庭児童会室を利用したい
- 8.留守家庭児童会室を退室して、放課後オープンスクエアのみを利用したい
- 9.その他()

問 2-2 問20で「2.」を選ばれた方にお伺いします。留守家庭児童会室を利用していない理由は何ですか。(〇は1つ)

- 1.ご自身や配偶者が子どもをみている
- 2.ご自身や配偶者の親、親せきがみている
- 3.近所の人や父母の友人・知人がみている
- 4.父母とも働いていて利用したいが、留守家庭児童会室に空きがない
- 5.父母とも働いていて利用したいが、延長・夜間などの時間帯の条件が合わない
- 6.父母とも働いていて利用したいが、保育料がかかるため、経済的な理由で利用できない
- 7.父母とも働いているが、子どもは放課後に習い事をしているため、利用する必要がない
- 8.父母とも働いているが、放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思うから
- 9.放課後オープンスクエアを利用しているから
- 10.その他()

問 22-1 問20で「2.」を選ばれた方に引き続きお伺いします。封筒のあて名のお子さんについて、今後、父母とも働く予定があるなどの理由で、留守家庭児童会室を利用したいとお考えですか。(〇は1つ)
希望がある場合は、カッコ内に具体的な数字を入れてください。

※必ず(18)時間のように24時間制でご記入ください。

1.利用したい	
1週当たり()日 利用時間 ()時台まで	
利用学年 ()年生まで	
「1.」を選ばれた方→	土曜日の利用希望 1.ある 2.ない ↳ 利用時間 ()時台~()時台まで
	日曜日・祝日の利用希望 1.ある 2.ない ↳ 利用時間 ()時台~()時台まで
2.今後も利用しない	

あと半分程度です！質問が多く大変お手数をおかけしますが、最後までご記入いただきますようお願いいたします。



5. 一時預かりの利用についてお伺いします。

問23 この1年間に、私用、ご自身やご家族の通院、不定期な仕事などを理由として、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。(〇はいくつでも)この1年間のおおよその利用日数についてカッコ内に数字を入れてください。
※子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。

対処方法	日数(年間)
1.ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった(同居している場合も含む)	()日
2.ファミリーサポートセンターを利用した(有償ボランティアによる子どもの預かりや送迎を受けられる事業)	()日
3.夜間養護事業:トワイライトステイ(仕事などの理由により、児童養護施設などで休日や夜間に子どもを一時的に預かるもの)	()日
4.民間事業者による訪問型サービスを利用した	()日
5.その他()	()日
6.預けるようなことはなかった	

問24 保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。
短期入所生活援助事業(ショートステイ)(児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業)の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに〇をつけ、必要な泊数をご記入ください。(利用したい泊数の合計と、目的別の内訳泊数を枠内に具体的な数字を入れてください。)
なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

利用目的	泊数(年間)
1.利用したい	計()泊
ア.冠婚葬祭	()泊
イ.保護者や家族の育児疲れ・不安	()泊
ウ.保護者や家族の病気	()泊
エ.その他()	()泊
2.利用する必要はない	

6. 枚方子どもいきいき広場についてお伺いします。

問25 お子さんは、「枚方子どもいきいき広場」に参加していますか。(〇は1つ)
※「枚方子どもいきいき広場」…土曜日を基本に小学生を対象に、地域の大人との交流による様々な体験(昔遊びやスポーツ、文化活動など)によって、子どもたちの「生きる力」を育むことを目的に、市内全小学校区で実施している事業

- | | |
|---------------|-------------|
| 1.毎回参加している | 2.時々参加している |
| 3.ほとんど参加していない | 4.参加したことがない |

問25-1 問25で選ばれた理由をお伺いします。(〇はいくつでも)

- | |
|---|
| 1.色々な活動ができるから
2.友だちが参加しているから
3.保護者が仕事だから
4.他に参加している活動(少年野球やスポーツクラブ、文化教室など)があるから
5.学習塾に通っているから
6.家族と一緒に過ごすから
7.興味が無いから
8.その他() |
|---|

問26 「枚方子どもいきいき広場」にどのようなことを期待しますか。(〇はいくつでも)

- | |
|--|
| <<(1)機能について>>
1.安全な遊び場としての機能
2.異年齢や同世代の交流の場としての機能
3.自主性や自発性を養う場としての機能
4.習い事の代わりとして
5.地域の人たちの関わり
6.その他()
7.参加できないのでわからない |
| <<(2)内容について>>
1.学習的な内容(算数・英語教室など)
2.スポーツ活動
3.絵画や音楽活動
4.伝統文化に関する活動(囲碁・将棋、茶道・華道など)
5.昔遊び(けん玉、おはじき、コマ回しなど)
6.手芸・工作・実験
7.料理教室
8.自然観察・収穫体験
9.自由遊び
10.その他()
11.参加できないのでわからない |

7. 子育て支援サービスについてお伺いします。

問27 子育て支援サービスの認知度、利用希望についてお伺いします。下表の①～⑨のサービスごとにA・Bの両方について「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

サービス名	A 知っている	B 今後利用 したい
①子ども食堂(地域において子どもに食事や団らんの場を提供する場)	はい いいえ	はい いいえ
②子育て支援や家庭教育(親支援)に関する学級・講座	はい いいえ	はい いいえ
③枚方市子どもの育ち見守り室「ととな」の家庭児童相談等	はい いいえ	はい いいえ
④教育文化センターの教育相談等	はい いいえ	はい いいえ
⑤子育ていつでも電話相談(※)	はい いいえ	はい いいえ
⑥ファミリーサポートセンター	はい いいえ	はい いいえ
⑦北河内こども夜間救急センター・休日急病診療所	はい いいえ	はい いいえ
⑧ひらかた健康ほっとライン 24(※)	はい いいえ	はい いいえ
⑨小児救急電話相談(※)	はい いいえ	はい いいえ

※子育ていつでも電話相談(TEL:072-850-7337)…子育てに関する悩みなどさまざまなことについて、夜間・休日にでも気軽に相談できる電話窓口。
 ※ひらかた健康ほっとライン 24(TEL:0120-513-080)…通話料無料・24時間年中無休で、看護師や医師等に子育てや出産、健康、医療に関する相談ができる電話窓口。
 ※小児救急電話相談(TEL: #8000)…子どもの夜間急病時、小児科医の支援のもと、看護師が電話相談に応じるサービス。

問28 子育てに関する情報をどのような方法で入手していますか。(○はいくつでも)

1. 市の広報やパンフレット	2. 市のホームページ
3. 小学校	4. 親、きょうだいなど
5. 友人、知人など	6. テレビ、新聞など
7. インターネット(市のホームページ以外)	
8. 情報の入手手段がわからない	
9. その他()	

8. 子どもが心身ともに健やかに成長するための取り組みについてお伺いします。

問29 平日の放課後および休日の日常的なお子さんの過ごし方で多いものについて、下の【表】の中からあてはまる答えの番号を選んでご記入ください。(複数選択可)

(記入例) 平日14～16時は留守家庭児童会室で過ごしていることが多い場合、下欄(選択肢)の2に該当するので、次のようになります。

(1) 平日14～16時	2
--------------	---

 (2)～(6)についても同様です。

(お子さんの過ごす時間帯)

(1) 平日14時～16時	
(2) 平日16時～18時	
(3) 平日18時～20時	
(4) 平日20時以降	
(5) 土曜日	
(6) 日曜日・祝日	

下の【表】の中から選んで、番号を書いてください。(複数選択可)

【表】

1. 学校にいる(授業、遊び、放課後自習教室)	
2. 留守家庭児童会室で過ごす	
3. 枚方子どもいきいき広場で過ごす	
4. 保護者や祖父母等(大人)と過ごす	
5. きょうだい等(子ども)と過ごす	
6. 民間事業者による訪問型サービスを利用する	
7. 友達と家や公園などで過ごす	
8. 生涯学習市民センターや図書館など公共の施設にいる	
9. 地域活動(子ども会、スポーツ活動)に参加する	
10. 学習塾や習い事へ行く	
11. 家でひとり勉強する	
12. 家でひとり過ごす(勉強以外)	
13. その他()	

問30 生涯学習市民センターや青少年センターなどの公共施設でどのような企画やサービスがあれば利用してみたいと思いますか。(○はいくつでも)

1. いろんな図書を自由に読むことができる	
2. 自習ができるスペースがある	
3. 工作などの楽しい講座がある	
4. 英会話やパソコンなど役に立つ講座がある	
5. 子どもの仲間づくりのためのサークルやクラブがある	
6. 子ども自身の悩みなどを積極的に聞き相談に乗ってくれる	
7. 障害などで支援が必要な場合は職員やボランティアが付き添ってくれる	
8. 特になし	
9. その他()	

問31 お子さんが参加したことがある地域での自然体験、社会参加、文化活動はどれですか。(〇はいくつでも)

1. スポーツ活動 2. 文化芸術活動 3. ボランティア活動 4. 体験学習活動(ものづくり体験等) 5. 野外活動(キャンプ等) 6. 社会福祉活動(高齢者訪問等) 7. 国際交流活動(ホームステイ等) 8. 青少年団体活動(こども会、ボーイスカウト、ガールスカウト等) 9. 環境分野での社会貢献活動(リサイクル活動等) 10. 環境教育活動(自然観察等) 11. 地域に根ざした活動(お祭りや地域運動会等) 12. その他()	
13. 参加したことがない	

問31-1 問31で「13.」を選ばれた方にお伺いします。お子さんがこれまで参加していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 活動に関する情報がなく参加しにくい 2. 知り合いなどがおらず参加しにくい 3. 初めての者が参加しにくい雰囲気がある 4. 参加の時間帯が合わない 5. 費用がかかる 6. 活動の内容に興味や関心がない 7. その他()

問32 お子さんが参加したことはないが、今後参加したいと思っている地域での活動は何ですか。(〇はいくつでも)

1. スポーツ活動 2. 文化芸術活動 3. ボランティア活動 4. 体験学習活動(ものづくり体験等) 5. 野外活動(キャンプ等) 6. 社会福祉活動(高齢者訪問等) 7. 国際交流活動(ホームステイ等) 8. 青少年団体活動(こども会、ボーイスカウト、ガールスカウト等) 9. 環境分野での社会貢献活動(リサイクル活動等) 10. 環境教育活動(自然観察等) 11. 地域に根ざした活動(お祭りや地域運動会等) 12. その他() 13. 特にない

9. 仕事と子育ての両立、仕事と生活の調和(ワークライフバランス)についてお伺いします。

問33 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。平日と休日それぞれについてカッコ内に時間をご記入ください。また、その時間は十分だと思いますか。(〇は1つ)

(1) 母親

ア. 平日 子どもと一緒に過ごす時間 1日当たり()時間 1. 十分だと思う 2. まあまあ十分だと思う 3. あまり十分だと思わない 4. 不十分だと思う 5. わからない
イ. 休日 子どもと一緒に過ごす時間 1日当たり()時間 1. 十分だと思う 2. まあまあ十分だと思う 3. あまり十分だと思わない 4. 不十分だと思う 5. わからない

(2) 父親

ア. 平日 子どもと一緒に過ごす時間 1日当たり()時間 1. 十分だと思う 2. まあまあ十分だと思う 3. あまり十分だと思わない 4. 不十分だと思う 5. わからない
イ. 休日 子どもと一緒に過ごす時間 1日当たり()時間 1. 十分だと思う 2. まあまあ十分だと思う 3. あまり十分だと思わない 4. 不十分だと思う 5. わからない

問34 仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 残業や出張が入ること 2. 子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてる人がいないこと 3. 配偶者の協力が得られないこと 4. 家族や親族の理解が得られないこと 5. 職場に子育てを支援する制度がないこと(育児休業、子どもの看護休暇、短時間勤務等) 6. 職場の理解や協力が得られないこと 7. 子どものほかに親などの介護をしなければならぬこと 8. 子どもを預かってくれる保育所や留守家庭児童会室等が見つからないこと 9. 子どもと接する時間が少ないこと 10. その他()

問35 あなたの家庭では、仕事と生活の調和が図られていると感じますか。(〇は1つ)

1. 感じる 2. まあまあ感じる 3. あまり感じない 4. 感じない 5. わからない

10. 行政サービスへの要望についてお伺いします。

問36 行政(市、府、国)に対して、子育てサービスの現状やあなたの子育てで経験などから、どのような支援策の充実を図ってほしいですか。(〇はいくつでも)

1. 親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する
2. 親子が安心して集まれる保育所・幼稚園等や小学校の運動場等の開放を増やす
3. 親子が安心して集まれるつどいの場等の屋内の施設を整備する
4. 子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくり、歩道等の段差解消等の「子育てのバリアフリー化」に取り組む
5. 子育てに困ったときの相談体制を充実する
6. 子育て支援に関する情報提供を充実する
7. 子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識や技能の取得に役立つ機会や内容の充実を図る
8. 子育てサークル活動への支援を充実する
9. 子ども食堂への支援を充実する
10. 保育所や留守家庭児童会室等の働きながら子どもを預ける施設や定員を増やす
11. 一時預かり事業、夜間保育、休日保育など、多様な保育ニーズに対応できるサービスを充実する
12. きめ細やかな障害児保育制度の充実を図る
13. 児童虐待の防止と早期発見等を図るために関係機関と地域の連携を強化する
14. 幼稚園や認定こども園の保育サービス(早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休み等の預かり保育など)を充実する
15. 家事専業の方など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスを増やす
16. 安心して子どもが医療機関(小児救急など)を利用できる体制を整備する
17. 子どもの安全を確保する対策を充実する
18. 子育て世帯への経済的援助の拡充(育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持等)
19. 公営住宅の優先入居等、住宅面での配慮や支援
20. その他()
21. 特になし

問37 子どもが3人以上いる、もしくは多胎(双子や三つ子)の子どもがいる方にお伺いします。
⇒該当しない方は【問38】へ

どのような支援やサービスがあれば、子育ての負担を軽減するのに有効だと思いますか。もっとも有効と思われる番号に〇をつけてください。

1. 塾など習い事への経済的支援
2. 留守家庭児童会室利用料の負担軽減
3. 衣料品や食料品、日用品など生活必需品への経済的支援
4. 住宅費への支援(家賃補助や住宅ローンの負担軽減など)
5. 自然体験などの活動費(学校行事を除く)への支援
6. 同じ境遇にある母親や父親との交流
7. 多子・多胎育児経験者による相談支援
8. その他()

問37-1 子どもが3人以上いる、もしくは多胎(双子や三つ子)の子どもがいる方にお伺いします。
⇒該当しない方は【問38】へ

2番目に有効だと思われる番号に〇をつけてください。

1. 塾など習い事への経済的支援
2. 留守家庭児童会室利用料の負担軽減
3. 衣料品や食料品、日用品など生活必需品への経済的支援
4. 住宅費への支援(家賃補助や住宅ローンの負担軽減など)
5. 自然体験などの活動費(学校行事を除く)への支援
6. 同じ境遇にある母親や父親との交流
7. 多子・多胎育児経験者による相談支援
8. その他()

問38 市の子ども・子育て支援施策へのご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

自由記入欄

大変お忙しい中、多くの質問にも関わらず調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。



枚方市

子ども・子育て支援に関するアンケート調査

発行年月：令和6年5月

発行：枚方市 子ども未来部 子ども青少年政策課

〒573-8666

大阪府枚方市大垣内町2丁目1番20号

電話：072-841-1375